

Student Handbook 2014

学生ハンドブック

履修案内・キャンパスライフ・諸規則

Graduate School of Materials Science

物質創成科学研究科



奈良先端科学技術大学院大学

Nara Institute of Science and Technology

平成26年度 カレンダー

4 2014
H26

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

5 2014
H26

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

6 2014
H26

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

7 2014
H26

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

8 2014
H26

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9 2014
H26

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

10 2014
H26

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

11 2014
H26

日	月	火	水	木	金	土
					1	
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

12 2014
H26

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

1 2015
H27

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2 2015
H27

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

3 2015
H27

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

平成26年度物質創成科学研究科学年曆

学期	月 日 (曜日)	事 項
春学期	4月 1日 (火) ~ 4月 3日 (木)	春季休業
	4月 4日 (金)	入 学 式 (終了後、全学共通オリエンテーション) 新入生オリエンテーション
	4月 7日 (月)	春学期授業開始
	6月 23日 (月)	健康診断日
	6月 25日 (水)	学位記授与式
	8月 2日 (土) ~ 8月 31日 (日)	夏季休業
	9月 25日 (木)	学位記授与式
	9月 30日 (火)	春学期授業終了
秋学期	10月 1日 (水)	創立記念日
	10月 2日 (木)	秋学期入学式 秋学期授業開始
	12月 22日 (月)	学位記授与式
	12月 25日 (木) ~ 1月 4日 (日)	冬季休業
	2月 20日 (金)	秋学期授業終了
	3月 24日 (火)	学位記授与式
	3月 25日 (水) ~ 3月 31日 (火)	春季休業

※ 健康診断日は授業休止となります。

授業時間

1時限	9 : 20 ~ 10 : 50 (90分授業)
2時限	11 : 00 ~ 12 : 30 //
3時限	13 : 30 ~ 15 : 00 //
4時限	15 : 10 ~ 16 : 40 //
5時限	16 : 50 ~ 18 : 20 //

目 次

1	奈良先端科学技術大学院大学の教育方針	
	・ 目的等	1
	・ ディプロマ・ポリシー	2
	・ カリキュラム・ポリシー	3
	・ アドミッション・ポリシー	5
2	物質創成科学研究科の概要	
	・ 特 色	7
	・ 専攻の研究室名・連携研究室名及び教育研究分野	9
3	物質創成科学研究科の教育及び研究指導方針	
	・ 博士前期課程	13
	・ 博士後期課程	16
	・ Education and research guidance policy at the Graduate School of Materials Science	20
4	物質創成科学研究科履修要件等（物質創成科学研究科履修規程を含む）	
	・ 修了要件	29
	・ Completion requirements, etc. for the Graduate School of Materials Science	32
	・ 授業科目の履修等	34
	・ Subject registration, etc.	38
	・ 履修規程	44
	・ Registration Regulations for the Graduate School of Materials Science at the Nara Institute of Science and Technology	49
5	学位審査基準等（学位規程を含む）	
	・ 学位審査基準	55
	・ Degree examination criteria, etc.	57
	・ 学位規程	59
	・ Degree Regulations of Nara Institute of Science and Technology	64
	・ 学位授与までの日程	70
	・ Schedule for awarding of a degree	73
6	物質創成科学研究科授業時間割一覧等	
	・ 平成26年度物質創成科学研究科授業科目及び担当教員一覧	77
	・ List of subjects and faculty members in charge for the Graduate School of Materials Science in academic year 2014	80
	・ 授業時間割一覧	84
7	シラバス等	
	・ 電子シラバスについて	91
	・ 成績評価について	91
	・ 英語教育について	93
8	他研究科授業科目及び担当教員一覧	97
9	各種相談受付体制	105
10	学修支援	
	・ 保健管理センター	109
	・ Health Care Center	110
	・ 健康診断ならびに健康・安全教育	111

	・ Medical Checkups and Health & Safety Education	112
	・ キャリア支援室	113
	・ 総合情報基盤センター	114
	・ Information initiative Center	116
	・ 附属図書館	132
	・ NAIST Library	133
	・ 英語 E-ラーニングシステム (ALC NetAcademy 2)	134
	・ English E-Learning System (ALC NetAcademy 2)	135
11	キャンパスライフ	
	・ 授業料の額及び納付方法	137
	・ 学生証	137
	・ 学生個人報告書	138
	・ 諸手続・諸証明書	138
	・ 通学証明書	140
	・ 日本学生支援機構奨学金制度	141
	・ 民間育英団体の奨学金	141
	・ 授業料免除	141
	・ 海外への留学制度	141
	・ 学生教育研究災害傷害保険	142
	・ 学研災付帯賠償責任保険	142
	・ 学研災付帯学生生活総合保険	142
	・ 学生宿舎	143
	・ 大学借り上げ住宅	143
	・ 駐車場及び駐輪場の利用	143
	・ 国立博物館キャンパスメンバーズ	144
	・ 福利厚生施設	144
	・ 日本語補講	145
	・ その他	145
	・ Campus Life	146
	・ キャンパスマップ・建物平面図	157
12	学則・諸規程	
	・ 学 則	161
	・ Regulations of Nara Institute of Science and Technology	182
	・ 特別研究学生交流規程	202
	・ Regulations for Special Research Students Exchange Program	205
	・ 特別聴講学生交流規程	210
	・ Regulations for Special Auditing Students Exchange Program	213
	・ 研究生規程	218
	・ Regulations for Research Students	220
	・ 科目等履修生規程	223
	・ Regulations for Non-Degree Students	225
	・ 学生表彰規程	228
	・ Regulations for Student Commendation	229
	・ 優秀学生奨学制度規程	231
	・ Regulations for NAIST Excellent Student Scholarship Program	233

1 奈良先端科学技術大学院大学の教育方針

1 奈良先端科学技術大学院大学の教育方針

目的

奈良先端科学技術大学院大学(NAIST)は、学部を置かない大学院大学として、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく高度な教育により人材を養成し、科学技術の進歩と社会の発展に寄与します。

物質創成科学研究科の目的

物質の構造と機能を分子・原子・電子レベルまでに立ち返って解明し、物質科学の創造的な研究を推進するとともに、物質科学の広範な領域をカバーした体系的な教育を通じて、人類社会の諸問題や産業界の要請に強い関心を持ち、物質科学や融合領域の創造的かつ先端的研究を担う人材及び技術革新の場や幅広い科学技術分野で活躍する人材を養成することを目的とします。

教育使命

NAIST は、先端科学技術の発展に資する人材を養成するために、学部を置かない大学院大学として平成3年10月に設置されました。NAIST の研究教育分野は、「情報科学」「バイオサイエンス」及び「物質創成科学」の3つの基盤的な学問領域です。

21世紀における人類の豊かな生活と住みよい社会を実現し、持続していくためには、次代を担う人材を養成し、人類の存続に役立つ多様な研究成果を社会に提供することが不可欠です。そのためには、単に科学技術に精通するだけでなく、大局的な視点をあわせ持つ人材を育成する全人的な教育が必要です。

本学では、「情報科学」、「バイオサイエンス」及び「物質創成科学」という先端科学技術の基盤的な学問領域に加え、それらの融合領域の研究教育、また倫理教育や知的財産教育などにも積極的に取り組んでいます。

人材養成目的

体系的な授業カリキュラムと研究活動を通じて、博士前期課程では、社会・経済を支える高度な専門性を持ち、社会において指導的な立場に立てる人材を、博士後期課程では、科学技術に高い志を持って挑戦し、国際社会で指導的な役割を果たす研究者・技術者を養成します。

教育方針

専門教育カリキュラムに加えて、人間として備えておくべき倫理観、広い視野、理論的な思考力、積極的な行動力、総合的な判断力、さらには豊かな言語表現能力を養う、教育カリキュラムを実施します。

また、新たな融合領域へ挑戦する人材を養成するための、3研究科が連携した教育プログラム、高度な国際性を養成するための、海外の教育研究連携校との共同プログラムを含む、教育プログラムを実施します。

そして、自己評価や外部評価をフィードバックして、常に教育の質の向上を図ると共に、教育研究環境の充実と優秀な学生の経済的支援を進めます。

ディプロマ・ポリシー

奈良先端科学技術大学院大学は、学部を置かない国立の大学院大学として、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく高度な教育により人材を養成し、もって科学技術の進歩と社会の発展に寄与することを目的とし、次のようなディプロマ・ポリシーを定めます。

○博士前期課程

本学修士学位取得者は、社会・経済を支えるために必要とされる、幅広い視野、専門分野の学識、専攻分野における研究技術及び研究者・技術者あるいは高度の専門性を要する職業に必要な能力を備えていなければなりません。次に掲げる知識・能力等を習得している者に修士（工学、理学又はバイオサイエンス）の学位を授与します。

- 1 情報科学（情報科学研究科）、バイオサイエンス（バイオサイエンス研究科）あるいは物質科学（物質創成科学研究科）に関連する幅広い知識及び専門分野における先端知識。
- 2 研究・開発のプロセスを担うことのできる能力。
- 3 プレゼンテーション・コミュニケーション能力。

○博士後期課程

本学博士学位取得者は、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するために必要な研究能力及びその基礎となる豊かな学識をもち、国際社会で指導的な役割を果たす能力を備えていなければなりません。次に掲げる知識・能力等を習得している者に博士（工学、理学又はバイオサイエンス）の学位を授与します。

- 1 創造性の豊かな研究者に求められる情報科学（情報科学研究科）、バイオサイエンス（バイオサイエンス研究科）あるいは物質科学（物質創成科学研究科）に関連する幅広く深い知識及び専門分野における高度な先端知識。
- 2 問題発見・解決能力及び研究立案・推進能力。
- 3 プレゼンテーション能力。
- 4 英語力を含めた国際性とコミュニケーション能力。

カリキュラム・ポリシー

博士前期課程

国内外の教育研究機関・企業等において先端科学技術に関する研究あるいはその活用・普及に従事する人材を養成するための体系的な専門教育カリキュラムを編成するとともに、人間として備えておくべき倫理観はもとより、広い視野、理論的な思考力、更には豊かな言語表現能力を養う教育を実施します。

博士後期課程

博士前期課程の方針に加え、科学技術に高い志をもって挑戦し、国際社会において指導的な役割を果たす人材を養成するため、高度な研究能力及び国際性を養成する教育を実施します。

○情報科学研究科

(博士前期課程)

博士前期課程では、以下の方針に沿って教育を行います。

- 1 情報科学に関連する幅広い知識及び専門分野の高度な先端知識を修得可能なカリキュラム。
- 2 多様な分野からの入学者に対応したカリキュラム。
- 3 専門分野だけに偏らない広い視野を修得可能なカリキュラム。
- 4 研究者として必要な英語力を修得可能なカリキュラム。
- 5 プレゼンテーション・コミュニケーション能力の向上を目指した教育。
- 6 専門分野における問題発見・解決能力の修得を目指した教育。

(博士後期課程)

博士後期課程では、以下の方針に沿って教育を行います。

- 1 ディスカッションや講義を通じた専門分野に関する深い学識の修得。
- 2 研究プロジェクトを主体的に企画立案・遂行する能力の修得。
- 3 国際的に活躍できるためのプレゼンテーション・コミュニケーション能力の修得。
- 4 専門分野だけに留まらない長期的な広い視野の修得。
- 5 未知の問題にも取り組める解決能力の修得。

○バイオサイエンス研究科

(博士前期課程)

博士前期課程では、以下の方針に沿って教育を行います。

《バイオエキスパートコース》

- 1 バイオサイエンスに関連する幅広い知識を修得させるカリキュラムを編成する。
- 2 バイオサイエンスの基盤となる研究力を養成する。
- 3 科学英語能力の向上を目指した教育を行う。
- 4 プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力の向上を目指した少人数クラス

の教育方法を取り入れる。

- 5 産業活動・社会活動における科学技術の問題点やあるべき姿を考察する能力や倫理観を養成する。

《フロンティアバイオコース》

- 1 バイオサイエンスに関連する幅広く深い知識を修得させるカリキュラムを編成する。
- 2 最先端の機器や技術を使いこなす研究力を養成する。
- 3 科学英語能力の向上を目指した教育を行う。
- 4 プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力の向上を目指した少人数クラスの教育方法を取り入れる。
- 5 研究活動における科学技術の問題点やあるべき姿を考察する能力や倫理観を養成する。

(博士後期課程)

博士後期課程では、以下の方針に沿って教育を行います。

- 1 バイオサイエンスに関連するより深く幅広い高度な専門知識を修得させる。
- 2 解決すべき問題を自ら探しだす探査能力を育成する。
- 3 問題解決に向けた方策を提案できる思考力と論理力を養成する。
- 4 提案した方策を自らの力で実行できる高度な研究能力を養成する。
- 5 他の研究者と日本語のみならず英語でも有用な情報を交換し、議論できるコミュニケーション能力を育成する。
- 6 得られた成果を幅広く情報発信できるプレゼンテーション能力を向上させる。

○物質創成科学研究科

(博士前期課程)

博士前期課程では、以下の方針に沿って教育を行います。

- 1 物質科学に関連する幅広い知識及び専門知識を修得させるカリキュラムを編成する。
- 2 物質科学の基盤となる研究・開発能力を養成する。
- 3 英語能力の向上を目指した少人数教育を行う。
- 4 プレゼンテーション・コミュニケーション能力の向上を目指した教育を提供する。
- 5 社会との関わりを深めるための一般科目が充実した教育を提供する。

(博士後期課程)

博士後期課程では、以下の方針に沿って教育を行います。

- 1 物質科学に関する先端研究や講義を通して先端研究能力、物質科学に関連する幅広く深い知識及び高度な先端知識を修得させる。
- 2 多様な視点からの多角的な討論を経験する教育を提供する。
- 3 得られた研究成果のプレゼンテーションを重視した教育を提供する。
- 4 英語力を含めた国際性を強化する教育を提供する。
- 5 研究プロジェクトを主体的に企画提案・運営する能力を養成する。

アドミッション・ポリシー

国内外を問わず、また大学での専攻にとらわれず、高い基礎学力をもった学生あるいは社会で活躍中の研究者・技術者などで、将来に対する明確な目標と志、各々の研究分野に対する強い興味と意欲をもった者を積極的に受け入れます。

○情報科学研究科

情報科学研究科では、情報・通信の科学と技術の発展や変化に柔軟に対応できる能力を身に付けるため、物事を論理的に考えることができ、また、自分の考えが的確に表現できる力をもった人を求めます。

- 1 前期課程では、旺盛な好奇心と何にでも挑戦する実行力をもった人。
- 2 後期課程では、専門テーマにおける問題の発見と解決の方策を見出す力をもった人。

○バイオサイエンス研究科

バイオサイエンス研究科では、次のような人を求めます。

- 1 生命現象の基本原理と生物の多様性を分子レベル及び細胞レベルで解明することに熱意と意欲を持っている人。
- 2 バイオサイエンスの深く広い専門知識を人類社会の諸問題の解決に役立たせることに強い関心を持ち、幅広い科学技術分野での活躍を志している人。

○物質創成科学研究科

物質創成科学研究科では、次のような人を求めます。

- 1 物質科学や融合領域の創造的かつ先端的研究を行うことに熱意と意欲を持っている人。
- 2 人類社会の諸問題や産業界の要請に強い関心を持ち、技術革新や幅広い科学技術分野での活躍を志している人。



2 物質創成科学研究科の概要

2 物質創成科学研究科の概要

特色

物質創成科学研究科は、人類の未来に役立てる新しい素材、機能材料を開発するために、物質の仕組みを電子、原子、分子レベルに立って深く理解し、それに基づいて全く新しい物質や構造を創り出し、また、新規な機能を創造することを目指しています。“基礎なくして応用なし”という信念から、基礎科学指向の研究を重視するとともに、“応用なくして基礎はない”という事実から、応用指向の研究を奨励しつつ、次世代を担う創造性豊かな人材を養成することを目的としています。

- ▶具体的には、光と物質の相互作用を基礎として物質科学を捉えなおした「光ナノサイエンス」を推進しています。「光で観る」、「光で創る」、「光で伝える」という観点から教育研究を推進することで、物理、化学、生物という既存の学問領域を越えた融合領域の展開を目指します。体系だった教育を通して養成した人材を、これからの産業界、学界を担う優れた技術者・研究者として社会に送り出します。
- ▶国際的に活躍している教授陣、各分野で嘱望されている若手教員を擁し、卓越した業績をあげています。科学研究費補助金をはじめ競争的外部資金の導入は、国内でトップクラスです。平成18年度文部科学省「魅力ある大学院教育」イニシアティブ（大学院GP）に採択された「物質科学の先端融合領域を担う研究者の育成」により豊かな創造性と柔軟性を兼ね備えた人材育成を強化するための教育システムを整備しました。この教育システムにより、学生の進路希望や経験に応じたコース制が導入されています。前後期課程一貫の教育を受ける α コース、ダブルメジャーを目指した複数専門分野に取り組む π コース、産官学の研究現場での研究経験を有する研究者、技術者に対する τ コース、広汎な物質科学の専門知識と方法論を身につけた高度専門職業人を目指す σ コースです。また、 α コースでは、修士論文に代えて特別課題研究により、修士を認定することが可能になり、 σ コースでは、修士論文に代えて先端課題に取り組む課題研究を選択することも可能になりました。学生に対する教員数の比率が高いため、きめ細かなマンツーマン教育が実現しています。最新の実験設備を完備し、建物も新しく広々としたスペースで、心行くまで研究や勉強に打ち込める非常によい環境が整っています。また、研究科の共同施設である物質科学教育研究センターおよび9名の技術職員が、研究科の研究教育を全面的にサポートしています。さらに、このプログラムの後継プログラムである「新領域を切り拓く光ナノ研究者の養成」として採択された平成21年度文部科学省「組織的な大学院教育改革推進プログラム」では、前プログラムで整備したカリキュラムを基本骨格とし、各コースの学生に応じて求められる素養を涵養することに重点を置き、カリキュラムの整備を行いました。特に、博士後期課程の学生については、単位制を導入するとともに、前プログラムで組織したスーパーバイザーボードを学位取得要件に反映し、これにより、前後期を通じて定期的に審査、アドバイスを行うことが可能となり、よりきめ細やかな教育を行うことが可能となりました。
- ▶現在では、これまでのプログラムを元に、研究科独自で競争的研究支援、学生主催の国際シンポジウムの開催支援を行っています。また国際化においては、平成21年度採択され日本学術振興会「若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラム」(ITP)“国際ネットワークによる若手バイオ物質科学研究者のステップアップ

教育プログラム”と併せて、博士後期課程の学生へのカリフォルニア大学デービス校で本研究科学生のために開発されたカリキュラムによる物質科学英語研修、学術交流協定校を中心とした2ヶ月以上の研究留学の支援を行っています。この日本学術振興会のプログラムは平成25年度に終了しましたが、5年の期間に構築しました国際ネットワークを活用して、今年度も英語研修派遣と研究留学を継続する予定です。また、国際スーパーバイザーを招聘して行う中間審査会では、英語における口頭発表およびポスター発表の機会があり、国際性を高める多様な経験を積むことが可能になっています。

- ▶文部科学省平成23年度「国際共同研究と連動したバイオ、ナノ、IT分野大学院教育の国際展開イニシアティブ」により、国際共同研究、国際学生ワークショップの開催、国際インターンシップによる多くの留学生の招聘を積極的に推進しており、前述のITPと併せて、学生の国際性を高めるサポートを全面的に行っております。
- ▶物質科学技術の基礎的研究ならびに教育を行う16の基幹研究室と新材料の応用開発や新規デバイスへの展開を推進する6つの連携研究室により運営してきました。連携研究室は、企業の研究所など大学以外の研究機関が担当しています。従って、本研究科の学生は、本学の施設や設備を使った教育・研究ばかりでなく、企業等の研究施設を利用した教育や研究指導を受けることもできるシステムになっています。従来の産から学への一方通行的な産学共同に対し、学も産に入り込んで双方向的な交流による成果を狙っているのが新しい点です。さらに、平成22年度より環境フォトニクススーパー研究グループを設置し、社会のニーズの高まりに対応する機動的な研究体制の整備をはかりました。平成23年度より新しい学問領域である「グリーンフォトニクス」における先進的な研究開発を目指す3つの特定課題研究室を拡充し、社会の持続的な発展とそれを支える人材の育成を行います。
- ▶博士前期課程の約60%、博士後期課程の全員がキャンパス内の宿舎に入居できます。また、希望者のほとんどが、日本学生支援機構の第一種奨学金または第二種奨学金を受給しています。さらに、外国で行われる国際会議に参加するための旅費を援助するばかりでなく、学術交流協定校が全世界に広がり、留学機会にも恵まれています。

物質創成科学専攻

研究室及び教員		教 育 研 究 分 野
基 幹 研 究 室	■ 量子物性科学 教授 柳 久 雄 准教授 香 月 浩 之 助教 石 墨 淳 助教 富 田 知 志	分子性結晶、ナノ粒子、超薄膜などのナノメートル構造物質の光学的・量子的性質をレーザ分光や顕微分光、プローブ顕微鏡などの手法を用いて測定・解析することにより、新しい光機能材料の創成に関する研究・教育を行う。 ● 量子効果、分子性結晶、ナノ粒子、超薄膜、有機エレクトロニクス、フォトニクス、有機レーザ、有機太陽電池、発光トランジスタ、量子ドット、メタ物質、顕微分光、コヒーレント制御、時間分解分光、フェムト秒レーザー、ラマン分光
	■ 凝縮系物性学 教授 大 門 寛 賢 准教授 服 部 さ くら 助教 武 田 宗 孝 特任助教 田 口 宗 孝	固体表面に原子・分子を吸着して形成する表面ナノ物質の物性(電気伝導・磁性・光・反応)を、その基礎となる原子構造や電子状態から解明する多様な装置を用いた研究・教育を行う。また目的に応じた新しい表面解析手法・装置の開発も行う。 ● 固体表面、表面超構造、表面電気伝導、表面磁性、表面発光、表面分子吸着、電子刺激脱離、(断面)走査トンネル顕微鏡、RHEED、電子エネルギーバンド、角度分解光電子分光、フェルミ面、ホールサブバンド、歪半導体、二次元光電子分光、光電子回折、立体原子写真、光電子ホログラフィー、XAFS 光電子回折分光、放射光、円偏光、光電子顕微鏡、三次元逆格子マッピング、第一原理計算、ラマン分光
	■ 高分子創成科学 教授 藤 木 道 也	共役高分子・超分子ポリマー・セラミックスの精密設計・合成・物性・光機能の相関解明を行う。 ● 円偏光、光学活性、らせん、半導体高分子、半導体セラミックス、発光材料、ポリシラン、 π 共役高分子、フタロシアニン、鏡像対称性の破れ
	■ 光機能素子科学 教授 太 田 淳 崇 准教授 徳 田 清 隆 助教 笹 川 俊 彦 助教 野 田 宏 明 特任助教 竹 原 宏 明	人工視覚や脳内埋植デバイスなど、バイオ医療応用に向けた先端半導体技術と光技術を融合したフォトニックデバイスの創出を目指して、光ナノサイエンス技術の実験と理論の両面から研究・教育を行う。 ● イメージセンサ、フォトニックデバイス、人工視覚デバイス、体内埋植デバイス、脳内埋植デバイス、バイオメディカルフォトニックLSI、蛍光検出、CMOS集積回路、生体適合性材料、MEMS、 μ TAS、オプトジェネティクス、デジタルELISA
	■ 情報機能素子科学 教授 浦 岡 行 治 准教授 石 河 泰 明 助教 堀 田 昌 宏 助教 上 沼 睦 典 特任助教 藤 井 茉 美	ディスプレイ、メモリ、LSIなど、次世代の情報機能をもつ半導体素子、電子デバイスの研究を行う。シリコンや化合物半導体を中心とした半導体薄膜や酸化物薄膜に、生体超分子や環境対応材料など新しい材料を導入し、表示機能、演算機能、記憶機能、通信機能、発光機能など様々な機能の高機能化をめざす。 ● 薄膜トランジスタ、ディスプレイ、フレキシブルデバイス、酸化物材料、システムオンパネル、メモリ、LSI、バイオ系材料、微細加工プロセス、発光素子、EL素子、ナノ粒子、High-K、誘電体、高周波通信デバイス、パワーデバイス、プリント、太陽電池、電子ビーム描画、フォトリソグラフィ
	■ 微細素子科学 教授 冬 木 隆	半導体を基盤として原子レベルで制御された極微構造を有する電子材料の創成とデバイス応用にかかわる教育研究を行う。量子物性の発現を目指すと同時に高効率太陽電池や電力制御・変換デバイス開発などエネルギーエレクトロニクスへの展開をはかる。 ● 原子層レベル制御、結晶成長、太陽電池、微細電子デバイス、ワイドギャップ半導体、電力制御・変換デバイス、エネルギーエレクトロニクスデバイス
	■ 反応制御科学 教授 垣 内 喜代三 准教授 森 本 積 樹 助教 谷 本 裕 浩 助教 西 山 靖 浩 助教 重 城 貴 信	光や金属触媒を用いた有機合成反応の新しい制御法の開発、および、それを活用した生理活性有機化合物や機能性有機材料の創成、さらには物性の理論的解析に関する研究・教育を行う。 ● 有機合成化学、有機光化学、有機金属化学、触媒化学、多環式有機化合物、タキソール、生理活性天然物、アルカロイド、炭素骨格変換、不斉光付加環化反応、マイクロリアクター、光解離性保護基、有機金属錯体、均一系触媒反応、強相関電子系、非線型応答理論、複雑系解析
	■ バイオミメティック科学 教授 菊 池 純 一 助教 安 原 主 馬 助教 田 原 圭 志 朗	生体系に学び、生体系を超える人工ナノ組織体としての分子デバイスを開発し、物質科学、情報科学、生命科学などを融合した次世代ナノサイエンスの創成を目指して研究・教育を行う。 ● 人工多細胞組織体、分子デバイス、分子通信インターフェース、時空間分子認識、人工細胞膜マトリックス、人工シグナル伝達系、人工膜輸送、ナノバイオリアクター、バイオインスパイアードシステム、細胞膜ダイナミクス、両親媒性分子、錯体化学、金属間相互作用
	■ エネルギー変換科学 教授 片 岡 幹 雄 准教授 上 久 保 裕 生 助教 山 崎 洋 一	生体における光エネルギー・情報変換機構の解明、蛋白質構造形成及び機能発現の分子機構の解明など、生物物理学及び蛋白質設計工学に関する研究・教育を行う。 ● 構造生物学、生物物理学、光生物学、蛋白質設計工学、X線溶液散乱、中性子非弾性散乱、X線結晶構造解析、中性子結晶構造解析、低温分光法、振動分光法、テラヘルツ分光、蛍光寿命測定、組換えDNA技術、光受容蛋白質、光エネルギー変換、光情報伝達機構、機能性蛋白質、蛋白質構造形成、蛋白質動力学、人工蛋白質、FRET、蛍光性非天然アミノ酸導入

研究室及び教員		教 育 研 究 分 野
基	■ 超分子集合体科学 教授 廣 田 俊 准教授 松 尾 貴 史 助教 長 尾 聡 助教 山 中 優 特任助教 太 虎 林	生体超分子の構造・機能メカニズムを解明するとともに、生物が発揮している素晴らしい機能を化学的に発現し、それを利用する新技術の開発を行う。 ● 超分子科学、生体分子科学、ナノバイオテクノロジー、生物無機化学、生物有機金属化学、タンパク質科学、生物物理化学、光化学、生体機能関連化学、有機合成化学、錯体化学、触媒反応、光スイッチング技術、機能制御、酵素反応、金属タンパク質、DNA、分光法、機能性材料、メディシナルケミストリー、タンパク質構造異常病、薬学
	■ 生体適合性物質科学 教授 谷 原 正 夫 准教授 安 藤 剛 助教 寺 田 佳 世 助教 小 林 未 明	生体と材料の相互作用の分子レベルでの解析から、新しい生体適合性材料、組織再生用足場材料、医薬、新治療方法等の創成につながる基盤的研究・教育を行う。 ● ポストゲノムサイエンス、インテリジェントマテリアル、ペプチド、人工コラーゲン分子、遺伝子治療、医薬、DDS、人工足場材料、血液適合性材料、抗菌性材料、精密設計高分子、光応答性マテリアル、X線がん治療、らせん形成高分子、生体適合性デバイス
幹	■ 光情報分子科学 教授 河 合 壯 准教授 中 嶋 琢 也 助教 湯 浅 順 平 助教 野々口 斐 之	光に応答し光を制御する分子・高分子材料および有機分子と強く相互作用する半導体ナノ材料の合成・開発と解析評価方法について研究を進め、未来の情報、エネルギー技術を担う分子システムの構築を目指します。 ● 光化学、機能分子材料合成、フォトリソリズム、分子キラリティー、導電性高分子、発光性金属錯体、ナノ結晶、エレクトロクロミズム、センサー分子、熱電変換材料、ナノワイヤー、イオン性液体、ナノチューブ、電気化学
	■ 超高速フォトニクス 教授 河 口 仁 司 助教 片 山 健 夫	次世代の光通信網であるフォトニックネットワークを実現するため、超高速光信号処理や、光バッファメモリなどキーマテリアルとなる新機能・省電力光半導体デバイスに関し、実験を主に教育・研究を行う。 ● フォトニックネットワーク、光RAM、光双安定素子、超高速光計測技術、スピンフォトニクス、光物性評価技術、マイクロ共振器レーザー、偏光双安定面発光半導体レーザー(VGSEL)、光デバイス作製技術
研	■ 有機光分子科学 教授 山 田 容 子 准教授 荒 谷 直 樹 助教 葛 原 大 軌 特任助教 鈴 木 充 朗 特任助教 林 宏 暢	有機薄膜太陽電池、有機薄膜トランジスタなどに利用可能な有機半導体材料や近赤外領域に吸収をもつ色素、発光材料、光応答性分子の開発を目的に、新規π共役拡張芳香族化合物を設計・合成し、物性評価と機能開発を通じて、研究・教育を行う。 ● 機能性有機材料、有機半導体材料、機能性色素、有機薄膜太陽電池、ポルフィリノイド、アセン、構造有機化学、有機光化学
	■ ナノ構造磁気科学 准教授 細 糸 信 好	特異な磁気物性を示すナノ構造膜・多層膜を作成し、原子、電子レベルでの構造と物性の解明、新規磁性材料開発につながる機能性発現機構の解明などの基礎的研究・教育を行う。 ● ナノ構造磁性、表面・界面磁性、伝導電子の誘起磁性、間接交換結合、巨大磁気抵抗効果、スピンエレクトロニクス、磁気構造解析、共鳴X線磁気分光・散乱、放射光
室	■ 光物性理論 准教授 稲 垣 剛	物質の励起状態において生じる多体電子相関を明らかにすることを旨として、光と相互作用する物質の性質に関して理論的な立場から教育・研究をおこなう。 ● 高密度励起子系、キャリアマルチプリケーション、励起子ライマン分光法、励起子ボーズ凝縮、テラヘルツ分光
	■ 有機固体素子科学 特任教授 中 村 雅 一 特任助教 松 原 亮 介 特任助教 小 島 広 孝	有機薄膜成長の制御と構造評価、有機材料特有の「やわらかい」電子物性の制御とデバイス応用、および、独自計測技術の開発とそれによる未解明現象の理解を柱とし、未来のフレキシブルエレクトロニクスや環境発電のための新しいデバイスを創出するための研究・教育を行う。 ● 有機半導体、有機モット絶縁体、有機薄膜成長、自己組織化プロセス、走査型プローブ顕微鏡、放射光GIXD、電気分光法、THz時間領域分光法、量子化学計算、分子動力学シミュレーション、有機薄膜トランジスタ、有機太陽電池、THzイメージングセンサ、フレキシブル熱電変換素子
特	■ グリーンバイオナノ 特任准教授 細 川 陽 一 郎	レーザーにより細胞、蛋白質、水分子をナノレベルで操作・計測するための新技術を開発し、新しい観点から細胞、蛋白質、水分子の相互作用を明らかにし、細胞や生体組織のもつ環境適応感覚を理解し、応用するための研究・教育を行う。 ● 植物細胞、動物細胞、蛋白質、水分子、フェムト秒レーザー、光学顕微鏡、原子間力顕微鏡、レーザー誘起津波、レーザートラッピング
	■ グリーンナノシステム 准教授 松 井 文 彦	非破壊・原子サイト選択的な光電子回折分光法を始めとする諸分析法や分析器を開発し、局所物性の発現機構解明に取り組み、界面現象を応用した機能性物質・デバイス開発につなげるための研究・教育を行う。 ● 局所電子状態、原子軌道、光電子回折分光、全方位分解光電子分光、界面・表面、放射光、分析器開発

研究室及び教員		教 育 研 究 分 野
連	■ メソスコピック物質科学 ☆教授 山下 一郎 ☆教授 足立 秀明 ☆准教授 吉井 重雄	ナノとバイオを融合し、生体超分子が固体基板近傍でナノ機能構造作製する「ActiveBio場」の研究を行っています。その手法を「バイオナプロセス」と呼び、ナノエレクトロニクスデバイス、 μ 流路デバイスへの応用展開研究を行っています。 ● ActiveBio場、ウエットナノテクノロジー、バイオナプロセス、ナノエレクトロニクス、ナノテクノロジー、バイオミネラリゼーション、バイオセンサ、マイクロ流路、遺伝子センサ、色素増感太陽電池、薄膜電子材料 (連携機関名: パナソニック(株) 先端技術研究所)
	■ 知能物質科学 ☆教授 高橋 明 ☆教授 和泉 真昇 ☆准教授 岩田 昇	高度ネットワーク社会、クリーンエネルギー・環境適応社会のニーズに適合し、新規デバイスを創出する材料(磁性材料・表示材料・半導体材料)の創成と応用。 ● 酸化物薄膜、ナノ粒子、磁性体薄膜 (連携機関名: シャープ(株) 研究開発本部)
携	■ 機能高分子科学 ☆教授 青野 浩之 ☆教授 本田 崇宏 ☆准教授 榎本 裕志	創薬ターゲットとして主にキナーゼに着目し、コンピュータによるドラッグデザインやコンビナトリアルケミストリーなどの手法も用いながら医薬品の種となる新たな化合物の探索を行う。 ● 創薬科学、有機合成化学、医薬品化学、コンピュータケミストリー、コンビナトリアルケミストリー、キナーゼ、分子生物学、薬理学 (連携機関名: 参天製薬(株))
研	■ 環境適応物質学 ☆教授 余語 克則 ☆准教授 甲斐 照彦 ☆准教授 後藤 和也	CO ₂ 分離回収・固定化技術の開発、および水素やバイオマスなどの新エネルギー技術の開発の2つの方向から、地球温暖化問題の解決に関する基盤技術(材料開発、ナノ構造制御技術)と応用・実用化研究(プロセス開発、システム設計)に関する研究・教育を行う。 ● 地球温暖化、CO ₂ 分離回収・固定、膜分離、吸着分離、新エネルギー(バイオマス、水素)、ナノ構造制御 (連携機関名: (公財)地球環境産業技術研究機構)
究	■ 感覚機能素子科学 ☆教授 小関 英一 ☆教授 佐藤 敏幸 ☆准教授 叶井 正樹	MEMS(Micro Electro Mechanical Systems)、二次元X線検出器、分子イメージングなどセンサ・デバイス関連の基盤技術研究、高機能デバイスの研究、それらの技術を統合・集積化した超小型化学分析システムなど的高機能システム開発に関する研究・教育を行う。 ● センサ技術、 μ TAS(Micro Total Analysis Systems)、MEMS、分子イメージング、マイクロリアクター、X線光電変換膜 (連携機関名: (株)島津製作所基盤技術研究所)
室	■ 先進機能材料 ☆教授 上利 泰幸 ☆教授 藤原 裕也 ☆准教授 高橋 雅也	材料創製および改質技術を基盤として、産業界の抱える課題に向き合い、次世代の電子・光・エネルギーデバイス実現の鍵となる材料および地球環境に配慮した材料・技術に関する研究開発・教育を行う。 ● 超ハイブリッド材料、蓄エネルギー材料、ナノ材料、薄膜・微粒子・ファイバー、めっき、界面制御技術、放熱制御技術、二次電池、微細回路基板、バイオマス (連携機関名: (地独)大阪市立工業研究所)

(注) ☆印:客員

専攻の研究室名・教育連携研究室名及び教育研究分野

3 物質創成科学研究科の教育
及び 研究指導方針

3 物質創成科学研究科の教育及び研究指導方針

博士前期課程

博士前期課程では、物質科学に関する高度な専門知識を基盤に、研究・開発を主体的に担う人材の育成を目指した教育を行っています。

具体的な人材像は下記の通りです。

- (1) 博士後期課程への進学を通じて将来の科学技術の発展を担う創造性豊かな研究者を目指す人材
- (2) 主に産業界における開発研究業務に主体的に携わる人材

物質創成科学研究科では多様な知識と経歴をもつ学生を受入れ、物質科学分野における先端研究者・技術者へと育成することを目的としております。本研究科のカリキュラムはこのような条件を考慮して編成され、学生の希望する分野、進路に合わせた柔軟な講義の履修を可能にしています。さらに、博士後期課程への進学希望者は、前後期課程一貫の教育を受ける α コース、あるいは、ダブルメジャーを目指した複数専門分野に取り組む π コースを選択することができます。

(1) α コース

前後期課程で一貫した博士研究指導を行うことで専門領域に関する深い学識と豊かな創造力を有する人材を育成します。修士論文と博士論文の重複を避けるため、平成20年度入学生から修士論文に代えて特別課題研究報告書により修士を認定することとし、あわせて積極的な短期修了を目指します。

(2) π コース

融合領域の開拓を担う、複数の専門を有する柔軟で視野の広い研究者を目指し複数専門分野における研究指導を行います。その特徴として、博士研究の開始において学生がオリジナルな研究テーマを提案して修士研究とは異なる主指導教員を自ら選び研究指導を受けます。また、幅広い知識の涵養に対応したカリキュラムを用意しています。

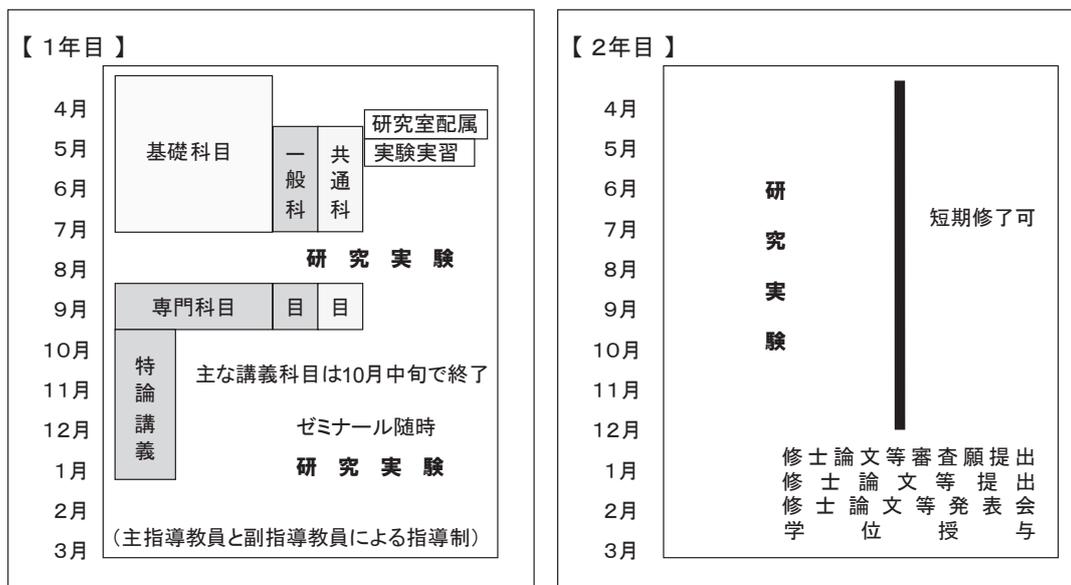
(3) σ コース

広汎な物質科学の専門知識と方法論を身につけた高度専門職業人を養成します。 σ コースでは、平成20年度入学生から修士論文に代えて先端課題に取り組む課題研究を選択することも可能になりました。

1. 集中的な授業日程

授業科目は、4月から9月の春学期に集中して開講されます。教育研究の概略を下図に示します。秋学期は、物質科学の融合分野をカバーする集中講義形式の物質科学特論I-IVと英語スキル向上のための物質科学英語I~IIIを中心に講義が行われています。また、特別課題研究や修士論文研究などは、10月から本格的に取り組める日程を組んでいます。

博士前期課程(2年間)の教育研究概略



2. 幅広い分野をカバーする基礎科目

物質科学の広範な分野を網羅し、かつ多様な分野からの入学者に対応するために、物性・デバイス系科目から化学・生物系科目までの幅広い分野で基礎が学べる「基礎科目」を設置しています。具体的には、まず4月入学直後に必修科目の「光ナノサイエンス概論」で物質創成科学研究科の全研究室で行われている研究の基礎と概要が、各研究室の教授、准教授により講義され、続いて、物質科学における光ナノサイエンスの基盤となる学術的なプラットフォームの形成のための「光ナノサイエンスコア」が全員必修で講義されます。また、光と物質の相互作用を理解するための基本科目「光と電子特講」や有機材料・生体材料の創成に必要な基本科目「光と分子特講」、および光ナノサイエンスの先端融合領域開拓に必要な知識を講義する「先端融合物質科学」を開講し、これらの科目では習熟度に応じてエレメンタリークラスとアドバンスクラスのクラス別の講義を行います。さらに、物性科学のための「現代量子力学特論」、デバイスの基本的な原理を理解するための「先端半導体工学」「先端光電子工学」「先端電子材料工学」、有機材料・生体材料創成のための「現代有機化学特論」「先端高分子化学特論」「現代無機化学特論」や「先端生化学」が開講され、すべての科目が聴講できるカリキュラムを取っています。

3. 基礎科目を基礎とする専門科目と融合領域をカバーする物質科学特論

9月に開講される専門科目は、7月中旬まで開講された基礎科目の知識を基礎としており、物性・デバイス系と化学・生物系に分かれて先端分野の学習ができます。さらに、物性・デバイス・化学・生物の融合分野をカバーする「物質科学特論」4講義が、外部の最先端研究者からなる非常勤講師により集中講義形式で秋学期に開講されます。

4. 国際コミュニケーション能力の向上

先端科学技術を学ぶ学生にとっては国際的なコミュニケーション能力は必要不可欠であり、外国人講師による必修科目の「物質科学英語 I」および希望者による「物質科学英語 IIA」「物質科学英語 IIIA」を開講しています。「物質科学英語 I」は5月から10月まで25名程度の小クラス制で行われています。入学直後と秋季に

行われる TOEIC-IP テストの受験が「物質科学英語 I」の一環として義務付けられており、この能力試験などにより、英語能力の向上度をチェックします。また、英語でのプレゼンテーションスキルや学習スキルの向上を望む学生のために、「物質科学英語 IIA」「物質科学英語 IIIA」が「物質科学英語 I」の終了後に開講されます。

5. 社会との関わりを深めるための充実した一般科目

物質科学の研究は、社会との結びつき無くしてはありえません。この観点から、技術者に求められている倫理を学ぶ「物質科学と倫理」、知的財産制度や特許およびわが国の科学技術政策の実施体制と求められる人材について知る「科学技術政策と知的財産」が必修科目として開講されています。また、春学期には「技術ベンチャー論」が開講され、実際に起業を行うにあたってビジネスモデルの作成法などを学びます。

6. 研究室配属と修士論文研究、連携研究室、短期修了、副指導教員制およびコース制

研究室配属は、「光ナノサイエンス概論」での各研究室の研究の基礎と概要を聴講したあと、5月上旬に行われます。数回の希望調査を行い、最終的に配属希望者が多数の場合は、「入学者選抜試験の面接」、「入学後の TOEIC 英語試験」、「光ナノサイエンスコア I および III」の成績等をもとに配属を決定します。

特別課題研究や修士論文研究などは、配属決定後スタートします。連携研究室に配属された場合には連携機関先で修士論文研究などを行うこともあり、この場合でも研究科内に設けられた各連携研究室やホスト研究室の居室を利用できます。また、主指導教員と副指導教員からなる複数指導制により、きめ細やかで多面的な指導を行うとともに、各学生が高度で多方面な教育・研究指導を受けることができます。さらに、所定の単位を修得し、優秀な研究成果を修めた場合には、2年未満の在学期間で修士の学位を取得することができます。

博士後期課程への進学希望者は、 α コースあるいは π コースを選択することができます。 α コースでは、前期課程の当初から博士論文の完成を目指して集中的な研究指導を行い、専門領域に関する深い学識と豊かな創造力を有する人材育成を目指します。また、積極的に短期修了を推進しています。 π コースでは、融合領域研究を開拓する融合研究展開能力の強化を目指し複数専門分野における研究指導を行います。このため、 π コースでは博士前期課程から博士後期課程への進学時に指導教員を変更します。 α コースあるいは π コースを選択した場合には、主指導教員と副指導教員にさらに2名以上の教員を加えたスーパーバイザーボードを組織して、きめ細かい指導体制のもとで円滑な学位取得を目指します。また、これらの博士後期課程進学希望者については、研究室配属を優先する制度を設けています。

博士前期課程の学生で広汎な物質科学の専門知識と方法論を身につけた高度専門職業人を目指す者は σ コースを選択します。 σ コースでは、主指導教員と副指導教員のきめ細かい指導体制のもとで円滑な学位取得を目指します。

7. 研究グループシラバス

研究指導の透明性を高め、学位取得を客観的、厳格にかつ円滑に行うために、各研究グループは研究指導に対するシラバスを公開しています。研究グループシラバスには、教育体制、研究やゼミの進めかたなどのほかに、グループごとの到達目標などが明示されます。このグループシラバスは、研究科全体で議論しながら改善を進めています。

博士後期課程

博士後期課程では、物質科学を深く、幅広く習得させることにより、産官学を問わず物質科学の融合領域で国際的に活躍し、次世代を担う創造性の豊かな研究者の育成を目標としています。

特に、自立した研究者に求められる課題発見能力と課題解決能力に加えて、以下のような素養を身につけることを目指したカリキュラムを構築しています。

- (1) 創造性の豊かな研究者に求められる素養深い学識
- (2) 研究推進力、融合展開能力
- (3) プレゼンテーション能力
- (4) 語学力を含めた国際性とコミュニケーション能力
- (5) 研究経営能力

これらの目標のために以下の3つのコースを設置しています。

(1) α コース

前後期課程で一貫した博士研究指導を行うことで専門領域に関する深い学識と豊かな創造力を有する人材を育成します。修士論文と博士論文の重複を避けるため、平成20年度入学生から修士論文に代えて特別課題研究報告書により修士を認定することとし、積極的な短期修了を目指します。

(2) π コース

融合領域の開拓を担う、複数の専門を有する柔軟で視野の広い研究者を目指し複数専門分野における研究指導を行います。その特徴として、博士研究の開始において学生がオリジナルな研究テーマを提案して修士研究とは異なる主指導教員を自ら選び研究指導を受けます。また、幅広い知識の涵養に対応したカリキュラムを用意しています。

(3) τ コース

産官学の多様な研究現場で活躍する研究者、技術者に対し、物質科学の高度な専門知識を教授し最先端の研究指導を行うことで、科学技術の発展をリードする創造性の豊かな研究者・技術者の育成を目指します。また、従来の研究実績を配慮した研究指導を行うことでスムーズな学位の取得を支援します。

博士後期課程では最先端の研究者が揃う教授陣とのディスカッションや講義を通して深い学識を身につけるとともに、所属の研究室で指導を受けながら、物質科学に関する最先端の研究を行い博士論文の作成に取り組みます。研究プロセスの一環として、得られた研究成果のプレゼンテーションを重視しています。特に、カリフォルニア大学デービス校で本研究科学生のために整備されたプログラムによる「物質科学英語研修」(1ヶ月)により、実践的な英語力を身につけることができます。国際会議で発表する場合には外国旅費の援助を行うとともに、外国人講師による発表要旨やプレゼンテーションの個別指導を受けることができます。さらに、英文学術雑誌へ論文を投稿する場合にも添削指導を受けられます。国際共同研究や国際会議でのコミュニケーション能力の強化のため「物質科学英語 IIB」「物質科学英語 IIIB」などの国際化科目の開講や TOEIC-IP テストの受験を奨励しています。また、在学中にティーチングアシスタント (TA) やリサーチアシスタント (RA) として教育・研究の補助を行い、教育や研究の経験を積むこともできます。研究指導に

においては主指導教員の指導に加えて、他分野の研究者を含む4-5名からなるスーパーバイザーボードによる複数指導制を取っており、高度で多様な教育・研究指導を受けることができます。優秀な学生については積極的に短期修了を推進しています。

1. 博士論文研究

博士後期課程では最先端の研究を進め優れた研究成果を博士論文としてまとめることが重要です。問題を見つけ出して、研究計画を立て、創意を持った研究を遂行して解法を提案し、さらには解析および考察のうえでその評価を行うことが求められます。関連研究を調査すること、自分の提案を客観的に評価することで自らの研究成果の価値や位置づけを明確にするとともに、残された課題を明らかにすることも欠かせません。指導教員およびスーパーバイザーボードからの細やかで多角的な研究指導を受けることで、高度な研究推進能力や融合展開能力を身に付けます。さらに得られた成果を学術論文や国際会議で公表し、プレゼンテーション能力の強化をはかります。

2. スーパーバイザーボード

主に指導を受ける研究グループ以外の教員との議論を通じて幅広く深い学識を身につけ、なおかつ多様な視点からの多角的な討論を経験することで、ディスカッション能力や融合領域への展開を意識した研究指導の強化を目指します。また、研究成果や研究の展開方向に関する多角的な討論を深めることは、学位の予備的な審査にもつながりスムーズな学位取得にもつながります。

スーパーバイザーボードは異なる研究グループおよび異なる研究分野の教員を含む4-5名の教員から構成されます。それぞれのスーパーバイザーは定期的に個別の研究指導を行うとともに、中間報告審査会では集中的な指導を行います。また、指導内容や評価は電子化されているスーパーバイザーレポートにまとめられ、学位審査の参考資料として取り扱われます。

3. 授業科目と単位制の導入

博士後期課程の修了と学位の取得に向けたプロセスを明確にする目的で平成20年度より博士後期課程に単位制が導入されました。国際性の強化を目指した国際化科目、学識を深め融合領域の展開能力の強化を目指した融合専門科目、研究経営能力の強化を目指した提案型演習科目、異分野の研究者とのディスカッション能力やプレゼンテーション能力を強化する融合ゼミナール、先端的な物質科学の研究推進能力を強化する研究探求科目などから10単位以上を取得することで、次代を担う研究者に求められる高度な能力をスムーズに身につけることができます。また、単位取得には、働きながら学位取得を目指す方（εコース）にとっても可能なように配慮がなされています。

4. 国際性の強化

国際的に活躍する研究者を育成するため、さまざまな国際性強化プロジェクトを推進しています。

(1) 「物質科学英語 IIB, IIIB」の開講

物質科学に関連する文書作成能力、英会話能力や英語でのディスカッション能力、さらには自律的な学習スキルを強化します。

- (2) 英語講義の開講
先端領域の研究について英語で行う講義（「物質科学融合特講」）を設けています。
- (3) 外国人教員による個別指導
外国語の投稿論文や国際会議での発表の指導や添削により、英語でのプレゼンテーション能力を高めます。これらの外国語指導のため外国人教員を配置しています。
- (4) カリフォルニア大学デービス校での1ヶ月の「物質科学英語研修」
カリフォルニア大学デービス校で本研究科学生のために整備されたプログラムによる実践的英語研修を行います。デービスではホームステイにより生活を行います。このための費用は研究科が用意します。
- (5) 短期海外派遣支援制度「サイエンスリテラシー上級II」
国際学会などへの派遣を支援し、海外での成果発表などを支援します。
- (6) 中期海外派遣支援制度「国際インターンシップ」
海外の先端的な研究機関へ2～3ヶ月程度の期間にわたり派遣し、海外での研究を体験することで国際性を高めます。
- (7) 国際スーパーバイザー制度
海外から著名な研究者を招聘し、研究提案や成果に関するピアレビューを受けることで、国際性とディスカッション能力を涵養します。
- (8) 国際セミナー開催支援
学生の提案による海外からの招待講演者を含む国際セミナー開催を支援します。海外からの研究者を5名以上招聘することが可能です。

5. 競争的研究経費奨励制度

将来の科学技術の発展を担う指導的な研究者には、研究活動をマネジメントする能力、すなわち研究経営能力が求められています。研究経営能力には研究に関する企画、提案、推進、報告といった研究推進に関する能力とともに、倫理、コンプライアンス、知財、社会連携などの視点から研究活動を円滑にコーディネートする能力が重要です。このような研究経営能力は、指導教員によるきめ細かい研究指導に加えて、競争的研究経費奨励制度による提案公募型の研究プロジェクトを主体的に企画提案・運営することで一層の強化をはかります。πコースの学生は「リサーチマネジメント演習B」として単位認定されます。

6. 研究グループシラバス

研究指導の透明性を高めるために、博士後期課程においても研究グループごとに研究指導に対するシラバスを公開しています。シラバスに則って、学位取得を客観的、厳格にかつ円滑に行います。

NAIST最優秀学生賞と最優秀学生賞

博士学位論文が合格と認められた博士後期課程の学生の中から、優秀な博士論文研究を行った者を選び、その業績を称え、NAIST最優秀学生賞および最優秀学生賞を与えると同時に、賞金と記念品を贈ります。

特別課題研究や修士論文研究などが合格と認められた博士前期課程の学生のうち、学業および研究の優れた学生を選び、その栄誉を称え、NAIST最優秀学生賞および最優秀学生賞を与えると同時に、賞金と記念品を贈ります。

NAIST最優秀学生賞は、学位授与式において、奈良先端科学技術大学院大学支援財団理事長より贈呈されます。また、最優秀学生賞は、学長により表彰され、研究科長より

贈呈されます。

受賞した博士と修士の学生は、3月中旬に開催される公開研究業績報告会で、研究内容を口頭発表するとともに、ポスターの特別展示を行い、広く社会に公表します。

3 Education and research guidance policy at the Graduate School of Materials Science

Master's course

The master's course offers educational programs to develop individuals who can take the initiative in research and development based on advanced expertise regarding materials science.

The specific image of individuals who this course targets is as follows:

- (1) Individuals who wish to move on to the doctoral course and become highly creative researchers contributing to the future development of science and technology
- (2) Individuals who can take the initiative in development and research activities primarily in the industrial sector

The Graduate School of Materials Science accepts students from diverse specialties and backgrounds to help them become advanced researchers and engineers in the field of materials science. The curriculum of this graduate school is organized with this goal in mind, so that students can flexibly take courses in line with the fields they wish to enter and the career paths that they wish to take. Students who wish to move on to the doctoral course can select either the “ α ” course that offers an integrated master-doctor course or the “ π ” course in which students work on multiple specialized fields to get double majors.

(1) α course

This integrated master-doctor course offers consistent doctoral research guidance to develop highly creative individuals with profound knowledge in specialized domains. In order to avoid overlapping of master's and doctoral theses, a master's degree is conferred based on a specially assigned research report in place of a master's thesis (for students admitted in FY 2008 or later). Students are encouraged to graduate earlier than 2 years.

(2) π course

This course offers research guidance in multiple specialized fields to help students become researchers with multiple specialties, flexible thinking, and a broad perspective to pursue interdisciplinary domains. Specifically, students propose original research topics at the beginning of doctoral research and receive research guidance from main supervisor that they select (different from those for master's research). The curricula are designed for students to acquire broad knowledge.

(3) σ course

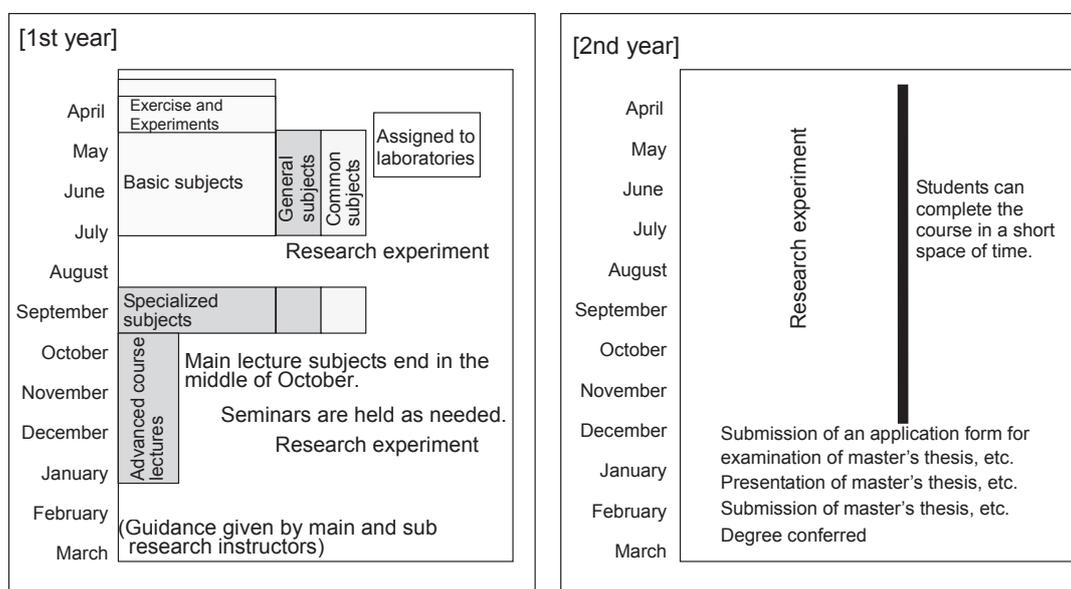
This course trains highly specialized professionals with broad expertise and methodologies in materials science. In the σ course, students (admitted in FY 2008 or later) can select thematic research topics in which they work on advanced assignments in place of a

master's thesis.

1. Intensive class schedule

The class subjects are intensively organized in the spring semester from April to September. The figure below shows an overview of the educational and research programs. Main lectures given in the autumn semester include Materials Science Special I–IV (intensive lectures covering interdisciplinary fields in materials science) and Materials Science English I–Writing, Materials Science English IIA–Presentation, and Materials Science English IIIA–Discussion (for improving English skills). The schedule is arranged so that students can fully start to work on special thematic research and master's thesis research, etc. from October.

Overview of education and research in the master's course (2 years)



2. Basic subjects covering broad fields

Basic subjects are intended to cover extensive fields of materials science and help students from diverse backgrounds learn the basics in various fields (subjects related to physical properties, devices, and chemistry/biology). Specifically, in Opto-Nano Science (a required subject), professors and associate professors from all the laboratories of the Graduate School of Materials Science give lectures in April (immediately after admission) giving an overview of research activities at their respective laboratories. Next, all the students are required to take Opto-Nano Science Core to acquire basic knowledge about opto-nano science in materials science. Lectures on Solid State Physics (a basic subject to help students understand the interactions between materials and light), Physical Chemistry and Biochemistry (a basic subject that is essential for creating organic materials and biomaterials), and Advanced Materials Science (a subject to help students acquire knowledge necessary for pioneering advanced interdisciplinary domains in opto-nano science) are available in different levels (elementary and advanced) depending on the level of proficiency. Also available are Modern Quantum Mechanics (in solid-state science),

Advanced Semiconductor Engineering, Advanced Optoelectronics, and Advanced Electronics Materials Engineering (which help students understand the basic mechanisms of devices) as well as Modern Organic Chemistry, Advanced Polymer Chemistry, Modern Inorganic Chemistry, and Advanced Biochemistry (for creating organic materials and biomaterials). The curriculum is arranged so that students can take all of these subjects.

3. Materials Science Special, a subject that covers specialized subjects (based on basic subjects) and interdisciplinary domains

Specialized subjects available from September are based on the knowledge acquired in basic subjects available until middle July. Students can deepen their knowledge in two advanced fields: physical properties/devices and chemistry/biology. Materials Science Special, which is available in the autumn semester, consists of four lectures that are given by part-time instructors who are highly advanced researchers invited from outside NAIST. This intensive course covers the interdisciplinary fields of physical properties, devices, chemistry, and biology.

4. Improving international communication skills

International communication skills are essential for students who learn advanced science and technology. Materials Science English I–Writing (a required subject for master’s course students), and Materials Science English IIA–Presentation and Materials Science English IIIA–Discussion (elective subjects) are taught by English specialists. Materials Science English I is taught in small classes from May to October. Students taking Materials Science English I are required to take the TOEIC IP Test immediately after admission and in autumn. TOEIC IP and other tests are used to check improvements in English proficiency. After completion of Materials Science English I, both Materials Science English IIA and IIIA are available for students who wish to improve their presentation and discussion skills in English.

5. An array of general subjects available focusing on the sociological aspects of materials science

Research in materials science is closely related to sociological aspects. With this in mind, students are required to take Material Science and Ethics (for learning about ethics that engineers must abide by) and Science & Technology Policy and Intellectual Property (for learning about (i) intellectual property framework and patents and (ii) the Japanese government’s framework for implementing science and technology policy and the human resources required). In the spring semester, Technology Entrepreneurship and Commercialization is available to help students learn how to build a business model when starting a business, among other topics.

6. Assignment to laboratories/master’s thesis research, joint laboratories, short-term completion, vice-supervisor system, and course system

Assignment to laboratories is determined in early May after given an overview of researches at laboratories. Several surveys are conducted regarding the laboratories that

students wish to join. If the number of applicants far exceeds capacity, assignment is determined based on the interview at the time of the admission examination, TOEIC test results after admission, and the results of Opto-Nano Science Core I and III, among others.

Special thematic research and master's thesis research start after assignment has been determined. Students assigned to joint laboratories may be required to conduct master's thesis research, etc. at partner institutions. These students can also use the space in joint laboratories and host laboratories in the graduate school. In-depth and multifaceted guidance is available under the multi-supervisor system consisting of a main and vice-supervisor. Students can receive advanced education and research guidance from various perspectives. Students who earn designated credits and achieve excellent research results can earn a master's degree in an enrollment period of less than two years.

Students who wish to move on to the doctoral course can select either α or π course. In the α course, intensive research guidance for completing the doctoral thesis is offered from the beginning of the master's course. The α course aims to develop highly creative human resources who have profound knowledge in specialized fields. Students are encouraged to graduate earlier than 2 years. In the π course, research guidance is offered in multiple specialized fields to help students develop abilities to pioneer interdisciplinary research. For this reason, in the π course, research instructors are changed when students move on from the master's course to the doctoral course. For students who select the α or π course, a supervisory board consisting of main and vice supervisors plus two or more faculty members is established to facilitate the process of earning a degree under a well-organized guidance framework. A system is in place to preferentially assign students who wish to move on to the doctoral course to laboratories.

The σ course is selected by master's course students who wish to become highly specialized professionals with broad expertise and methodologies in materials science. The σ course is designed to facilitate the process of earning a degree under a well-organized guidance framework consisting of a main and vice-supervisor.

7. Research group syllabi

Respective research groups disclose their research guidance syllabi to enhance transparency of research guidance and ensure objective, rigorous, and smooth degree conferment. The research group syllabi define the educational framework, research and seminar policies, and targets set by respective groups, etc. The group syllabi have been improved based on discussions in the graduate school.

Doctoral course

The doctoral course aims to produce highly creative international researchers of the next generation in interdisciplinary domains of materials science (in industry, government, or academia) by providing students with opportunities to learn materials science deeply and broadly.

Notably, the curriculum is organized to help develop abilities to identify and solve problems (which are required of autonomous researchers) and acquire the following abilities.

- (1) Abilities and profound knowledge required of highly creative researchers
- (2) Abilities to promote research and develop interdisciplinary research
- (3) Presentation skills
- (4) International perspective and communication skills (including linguistic proficiency)
- (5) Research management skills

To achieve this goal, the four courses below are offered:

(1) α course

This integrated master-doctor course offers consistent doctoral research guidance to develop highly creative individuals who have profound knowledge in specialized domains. In order to avoid an overlapping of master's and doctoral theses, a master's degree is conferred based on a specially assigned research report in place of a master's thesis (for students admitted in FY 2008 or later). Students are encouraged to graduate earlier than 2 years.

(2) π course

This course offers research guidance in multiple specialized fields to help students become researchers with multiple specialties, flexible thinking, and a broad perspective to pursue interdisciplinary fields. Specifically, students propose original research topics at the beginning of doctoral research and receive research guidance from main supervisor that they select (different from those for master's research). The curricula are designed for students to acquire broad knowledge.

(3) τ course

This course targets researchers and engineers who are engaged in diverse research activities in industry, government, and academia. The objective is to produce highly creative researchers and engineers who can lead the development of science and technology by teaching advanced expertise in materials science and offering the most advanced research guidance. To facilitate the process of earning a degree, research guidance is given based on past research results.

In the doctoral course, students can acquire profound knowledge through discussions and lectures with faculty members who are highly advanced researchers. They also receive guidance at laboratories to which they are assigned, and work on extremely advanced

research in materials science to prepare their doctoral thesis. As part of the research process, importance is attached to presentations about research results obtained. Notably, students can acquire practical English skills at the University of California, Davis in Practical English for Materials Science (a one-month program designed for students of the Graduate School of Materials Science, NAIST). When delivering presentations at international conferences, expenses for traveling outside Japan are subsidized. Students can receive individual guidance regarding presentation abstracts and presentations from English specialists. They can also receive guidance before contributing papers to scientific journals (with proofreading by English specialists). Materials Science English IIB–Presentation, Materials Science English IIIB–Discussion, and other international communication subjects are available to help develop students’ communication skills in international joint research projects and international conferences. Students are also encouraged to take TOEIC IP tests. Students can also gain experience in education and research by assisting education and research as teaching assistants (TAs) and research assistants (RAs) during the enrollment period. Research guidance is given by a supervisory board consisting of the main supervisor plus four to five researchers in other fields. Thus, students can receive advanced and multifaceted education/research guidance. Students of high caliber are encouraged to graduate earlier than 2 years.

1. Doctoral thesis research

In the doctoral course, students are expected to work on extremely advanced research and compile excellent research results in the form of a doctoral thesis. To this end, students are required to identify problems, organize a research plan, work on original research, propose solutions, and make evaluations based on analysis and discussion. It is also essential for students to study relevant research methods, objectively evaluate their own proposals and clarify the values and unique characteristics of their research results, and identify any remaining challenges. Research instructors and the supervisory board offer detailed research guidance from various aspects so that students can improve their abilities to promote advanced research and develop interdisciplinary research. Students are expected to present the results obtained via papers and international conferences so that they can enhance their presentation skills.

2. Supervisory board

Students have discussions with faculty members other than those of research groups from which students mainly receive guidance, to acquire broad and profound knowledge. The supervisory board provides students with the experience of having discussions from diverse perspectives, helps students improve their discussion skills, and offers research guidance with development of research in interdisciplinary domains in mind. In-depth discussions regarding research results and policies from various perspectives serve as preliminary examinations for degree conferment and facilitate the process of earning a degree.

The supervisory board consists of four to five faculty members including faculty members

from different research groups and different research fields. Respective supervisors offer (i) regular research guidance to individual students and (ii) intensive guidance at midterm evaluation meetings. The details of guidance and evaluation results are compiled in supervisor reports (in the form of electronic data) and used as reference materials in degree examinations.

3. Introduction of subjects and credit-based system

The credit-based system was introduced to the doctoral course in FY 2008 to increase transparency in the process for completing the doctoral course and earning a degree. Students can smoothly acquire the advanced abilities required of next-generation researchers by earning 10 credits or more from international subjects (for enhancing international communication skills), interdisciplinary subjects (for deepening knowledge and enhancing research abilities in interdisciplinary domains), subjects for presenting research (for enhancing research management skills), interdisciplinary seminars (for enhancing abilities to have discussions with researchers in different fields and deliver presentations), and research promotion subjects (for enhancing abilities to promote advanced research in materials science), among others. Arrangements are made so that students in the τ course can earn a degree while working.

4. Enhancing international communication skills

Various projects are underway to enhance international communication skills and thereby produce international researchers.

(1) Materials Science English IIB and IIIB–Presentation and Discussion skills

Students can improve their skills necessary for presenting research related to materials science and have conversations/discussions in English, and enhance their autonomous learning skills.

(2) Lectures in English

In Interdisciplinary Materials Science, lectures are given in English on research in advanced fields.

(3) Individual guidance given by foreign faculty members

Foreign faculty members help students improve their presentation skills in English. Students can receive guidance regarding papers to be contributed to international journals and presentations for international conferences. Students can also have their papers proofread by foreign faculty members.

(4) Practical English for Materials Science (a one-month course) at the University of California, Davis

This practical English training program at the University of California, Davis is specially designed for students of the Graduate School of Materials Science, NAIST. During this

program, students stay with host families. Expenses are paid by the graduate school.

(5) Science Literacy (Advanced Course II) (a short-term overseas dispatch support program)

The graduate school supports students in attending international conferences, etc. and helps students deliver presentations about research results outside Japan, among other initiatives.

(6) International Internship (a mid-term overseas dispatch support program)

Students are dispatched to advanced research institutions outside Japan for a period of about two to three months. This program helps improve international communication skills by experiencing research outside Japan.

(7) International supervisor system

Under this system, distinguished researchers are invited from outside Japan. Students receive peer reviews regarding research proposals and results, and can improve their international communication skills and discussion abilities.

(8) Support for hosting international seminars

The graduate school extends support in hosting international seminars based on proposals from students. Five or more researchers can be invited as speakers from outside Japan.

5. Competitive research sponsorship program

Researchers who will lead the future of science and technology are expected to have the necessary research management skills. Specifically, researchers are required to have the abilities to promote research (research planning, proposal, promotion, and report) and facilitate coordination of research activities from the viewpoint of ethics, compliance, intellectual property, and cooperation with communities, among others. Students can improve their research management skills by receiving in-depth research guidance from supervisors and by taking the initiative in planning, proposing, and administering research projects based on public invitation for research proposals under the competitive research sponsorship program. Students in the π course earn credits in Research Management Exercise B.

6. Research group syllabi

In the doctoral course, respective research groups disclose their research guidance syllabi to enhance transparency of research guidance and ensure objective, rigorous, and smooth degree conferment based on the syllabi.

NAIST Best Student Award and Best Student Award

A doctoral course student who conducts excellent doctoral thesis research is selected from among the students whose doctoral theses reach a certain standard. Both the NAIST Best Student Award and Best Student Award are presented in recognition of this accomplishment. The student also receives prize money and a commemorative gift.

Master's course students with excellent academic performance and research results are selected from among students whose special thematic research or master's thesis research, etc. reach a certain standard. Both the NAIST Best Student Award and Best Student Award are presented to honor their efforts. The student also receives prize money and a commemorative gift.

The NAIST Best Student Award is presented at the degree conferment ceremony from the president of the Foundation for Nara Institute of Science and Technology. The Best Student Award is commended by the NAIST president and presented by the dean.

The award-winning students in the doctoral and master's courses deliver oral presentations about the details of their research at a public research accomplishment report meeting in mid-March. A special poster exhibition is also organized to publicize their accomplishments.

4 物質創成科学研究科履修要件等
(物質創成科学研究科履修規程を含む)

4 物質創成科学研究科履修要件等

修了要件

博士前期課程

博士前期課程に2年以上在学し、下記の修了要件一覧により30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文審査および最終試験に合格しなければならない。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を挙げた場合には、博士前期課程に1年以上在学すれば修了できる。

修了要件一覧 [平成26年度入学者用]

授業科目の種類	設置単位数	修得単位数											
		αコース			πコース			σコース					
		必修科目	選択必修	選択科目	必修科目	選択必修	選択科目	研究論文 ^{※1}			課題研究 ^{※1}		
						必修科目	選択必修	選択科目	必修科目	選択必修	選択科目		
共通科目	10 ^{※2}		2			2			2			2	
一般科目	9 ^{※2}	4			4			4			4		
基礎科目	22	6	2	2	6	2	2	6	2	2	6	2	2
専門科目	13			4 ^{※3}			4 ^{※3}			4 ^{※3}			6 ^{※3}
小計		20以上						22以上					
実験・実習科目	2	2			2			2			2		
ゼミナールA	1	1			1								
ゼミナールB	2							2			2		
融合ゼミナールA	1				1								
融合ゼミナールB	2	2											
研究論文	6				6			6					
特別課題研究	5	5											
課題研究	4										4		
小計		10			10			10			8		
合計		30以上											

(※1) σコースの学生は主指導教員と協議の上、研究論文又は課題研究を選択すること。

(※2) 共通科目の「物質創成科学概論」、及び一般科目の「物質科学解析」、「物質科学英語IIA」「物質科学英語IIIA」、「技術ベンチャー論」、「技術経営」については、修了の要件となる単位としては算入しない。

(※3) 情報科学研究科及びバイオサイエンス研究科が他研究科学生に履修を認めている授業科目を履修し修得した単位、並びに共通科目（「物質創成科学概論」を除く）を履修し修得した単位（2単位を超えたもの）については、専門科目として2単位まで修了に必要な単位として認める。

博士後期課程

学則第42条及び学位規程に関連

1. 博士後期課程の修了要件

博士後期課程を修了して、博士の学位を取得しようとする者は、下記の修了要件一覧により10単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出して、その内容を公聴会で発表し、論文審査及び最終試験に合格しなければならない。博士後期課程の在学期間は通常3年であるが、優れた研究業績を挙げた場合には、博士前期課程と博士後期課程を通じて3年以上在学すれば修了できる。

修了要件一覧 [平成26年度入学者用]

授業科目の種類	設置単位数	修得単位数					
		α コース		π コース		τ コース	
		必修科目	選択科目	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目
国際化科目	10		2		1		
融合専門科目	1			1			
提案型演習科目	5	1		1		3	
融合ゼミナール	3		1		1		1
総合探求	6	6		6		6	
合計		10		10		10	

2. 博士論文を提出するときの条件は概ね次の通りである。

- (1) 直近の中間審査において、各スーパーバイザーから4.0以上の総合評価を受けていること。
- (2) 博士論文の研究内容に、独創性、新規性あるいは有効性があること。
- (3) 以下のいずれかの条件が満たされていること。ただし、短期修了にあっては (a) のみが適用される。
 - (a) 博士論文の内容の少なくとも一部分が、査読付きの英文科学誌に、博士論文を提出しようとするものが筆頭著者となった原著論文として、発表されているかまたは近々発表予定であること。
 - (b) 2ヶ月以上の海外短期留学による国際インターンシップ2単位を習得し、かつ博士論文予備審査に合格すること。予備審査の内容は別途定める。(*)参照。

3. 博士の学位を授与する条件

論文審査により、博士論文を提出した者が、独立した研究者又は技術者として、研究・開発活動を続けて行く十分な素養を備えていると判断できること。

4. 博士論文

博士論文は、英文または邦文のいずれかで記述してもよい。ただし、2. (3) (b)項による博士論文提出者は必ず英文で記述しなければならない。

(*) 博士後期課程の修了要件 2-(3)-(b) の予備審査の内容

- (1) 予備審査委員
主指導教員、副指導教員、スーパーバイザー、ならびに研究科外(学外含む)の専門分野の研究者1名以上(副指導教員が選定する)
- (2) 提出書類
博士論文(英語または日本語)、および投稿済み論文がある場合はその原稿と原稿受理通知、審査コメント等の書類を予備審査会までに予備審査委員全員に提出
- (3) 予備審査会
予備審査委員出席のもと、公開で予備審査会を開催する。予備審査を受けるものは、博士論文内容を発表(45分程度)し、質疑応答(45分程度)を行う。予備審査会のアナウンスは、主指導教員より開催1週間前までに行う。
- (4) 予備審査期限
予備審査は、本審査委員会設置書類提出締め切りの1週間前までに終え、合格と認めた場合は「予備審査合格報告書」を本審査の他の書類と併せて提出する。

4. Completion requirements, etc. for the Graduate School of Materials Science

Completion Requirements

Master's Course

Students are required to be enrolled in the Master's Course for two years or more, earn 30 credits or more from the completion requirements below, receive necessary research guidance, and pass the master's thesis examination and final examination. Students who produce excellent research results can complete the Master's Course with the enrollment period of one year or more.

Completion Requirements (for individuals admitted in academic year 2014)

Subject	Number of credits offered	Number of credits required												
		α course			π course			σ course						
		Required	Required Elective	Elective	Required	Required Elective	Elective	Research thesis* ¹			Thematic research* ¹			
Required	Required Elective							Elective	Required	Required Elective	Elective			
Common Subjects	10 ^{*2}		2			2			2				2	
General Subjects	9 ^{*2}	4			4			4				4		
Basic Subjects	22	6	2	2	6	2	2	6	2	2	6	2	2	
Specialized Subjects	13			4 ^{*3}			4 ^{*3}			4 ^{*3}			6 ^{*3}	
Subtotal		20 or more									22 or more			
Exercise and Experiments in Materials Science	2	2			2			2				2		
Seminar A	1	1			1									
Seminar B	2							2			2			
Interdisciplinary Seminar A	1				1									
Interdisciplinary Seminar B	2	2												
Research Report	6				6			6						
Special Research on Materials Science	5	5												
Research on Materials Science	4										4			
Subtotal		10			10			10			8			
Total		30 or more												

(*1) Students in the σ course are required to select either research thesis or thematic research based on consultation with the main research instructor.

(*2) Credits earned by taking Introduction to Materials Science (a common subject) and Mathematical Analyses for Materials Science, Materials Science English IIA, Materials Science English IIIA, Technology Entrepreneurship and Commercialization, and Management of Technology (general subjects) do not count as credits toward the completion requirements.

(*3) Up to two credits earned by taking (i) subjects that are offered by the Graduate Schools of Information Science and Biological Sciences, and made available to students of other NAIST graduate schools and (ii) common subjects (except Introduction to Materials Science) may be counted as credits earned by taking special subjects that constitute the completion requirements, if the total amount of credits earned from these classes exceeds two credits.

Doctoral Course

In connection with Article 42 of the NAIST Regulations and the Degree Regulations

1. Completion requirements for the Doctoral Course

Students who want to earn a doctoral degree by completing the Doctoral Course are required to earn 10 credits or more from the completion requirements below, receive necessary research guidance, submit a doctoral thesis, present the details of the thesis at a public hearing, and pass a thesis examination and final examination. In principle, students are required to be enrolled in the Doctoral Course for three years. Note that students who produce excellent research results can complete the Doctoral Course with the enrollment period of three years for the Master's Course and Doctoral Course combined.

Completion Requirements (for individuals admitted in academic year 2014)

Subject	Number of credits offered	Number of credits required					
		α course		π course		τ course	
		Required	Elective	Required	Elective	Required	Elective
Internationalization subject	10		2		1		
Interdisciplinary subjects	1			1			
Research management	5	1		1		3	
Interdisciplinary seminars	3		1		1		1
General research	6	6		6		6	
Total		10		10		10	

2. When submitting a doctoral thesis, students are required to meet the conditions including but not limited to the following:

- (1) An overall evaluation score of 4.0 or higher has been given by respective supervisors in the immediate midterm examination.
- (2) The doctoral thesis research is characterized by originality, novelty or applicability.
- (3) Either of the following conditions is met. Note that only (a) is applicable for short-term completion.

(a) At least part of the doctoral thesis has been published or will be published in the near future in the form of an original thesis, in which the individual submitting the doctoral thesis to a peer-reviewed English scientific journal serves as the first author.

(b) A student earns two credits by taking International Internship (a short-term program to study abroad for a period of two months or longer) and passes a doctoral thesis preliminary examination.

3. Conditions for awarding a doctoral degree

The thesis examination verifies that the student submitting the doctoral thesis has sufficient ability to work on research and development activities on an ongoing basis as an independent researcher or engineer.

4. Doctoral thesis

A doctoral thesis may be prepared either in English or Japanese. Note that students submitting a doctoral thesis in accordance with 2. (3) (b) are required to prepare a thesis in English.

授業科目の履修等

・履修方法等

1. 履修手続

授業科目の履修計画については、主指導教員とよく相談し「履修届」を作成の上、指定された期日までに本研究科事務室へ提出してください。

2. 講義の欠席届け

病気・怪我、忌引き、就職試験（学校推薦のみ）などのやむをえない理由で、講義に出席できない場合は、【学生番号】、【名前】、【メールアドレス】、【不在の理由】をメールにて、講義開催日までに（開催日を含む）、所属の研究室の長（出張等で不在の場合はその研究室の他の教員）に連絡してください。この連絡を受けた指導教員は、非常勤講師による一般科目は教務委員長に、その他の科目は担当教員（物質科学特論I-IVは世話役研究室の長）に当該学生の欠席を届けてください。この届けがない場合は欠席とします。

当該学生本人による口頭・書面・メールでの、担当教員への直接の欠席連絡は受け付けません。

これらのメールの理由に基づき、各科目担当教員は、当該学生の出欠について何らかの考慮を行うものとします。なお、研究室配属前の科目については、「教務委員長」を通して申し出てください。

3. 入学前の既修得単位の認定について

本研究科教授会において教育上有益と認めるときは、10単位を超えない範囲で本研究科入学前の他大学院での既修得単位を認定することができます。認定を願い出る者は次の書類を添えて学生課学務係まで願い出てください。

- (1) 入学前の既修得単位認定願出書（学生課にあります。）
- (2) 単位を修得した大学院の単位修得・成績証明書
- (3) 認定を希望する授業科目の講義内容が説明できる書類（講義概要等の写）

※願出手続き等の日時については、掲示等により連絡しますので注意してください。
詳しくは学生課学務係までお問い合わせください。

4. 他の研究科との間における授業交流

本研究科と情報科学研究科及びバイオサイエンス研究科との間において授業交流を実施していますので、履修希望者は次の事項を熟読の上、所定の手続きをとってください。詳細については、学生課学務係に照会してください。

(1) 履修方法等について

- ① 履修希望学生は、所定の履修願を提出してください。
- ② 履修することができる授業科目は、次のとおりです。

研究科名	授業科目の種類
情報科学研究科	基礎科目及び専門科目
バイオサイエンス研究科	一般科目、基礎科目及び専門科目

- ③ 履修希望学生は、相手研究科の学生ハンドブックのシラバス及び時間割を参考に履修科目を選定し、主指導教員の承諾及び履修しようとする当該授業科目担当教員の許可を得てください。
- ④ 授業科目によっては、相手研究科の授業収容人数その他の都合により、履修が許可されないことがあります。
- (2) 単位の認定について
相手研究科で認定された単位は、専門科目として4単位まで修了の要件となる単位として充当することができます。
- (3) 履修願取扱期間
履修願の提出期間及び提出先等手続きに関する詳細については、後日掲示等にて連絡します。

5. 他の大学院との間における授業交流

本研究科と奈良女子大学大学院人間文化研究科との間において授業交流を実施しています。

履修希望者は次の事項を熟読の上、所定の手続きをとってください。詳細については、学生課学務係に照会してください。

- (1) 履修方法等について
 - ① 履修希望学生は、所定の履修願及び理由書を提出してください。
 - ② 総単位数は、博士前期課程において、10単位以下とします。
 - ③ 履修科目の範囲は、原則として講義のみとし、演習、実習、実験、研究等は含みません。
 - ④ 授業科目によっては、相手大学院研究科の授業収容人数その他の都合により、履修が許可されないことがあります。
- (2) 単位の認定について
当該授業科目を履修する前に、本研究科教授会で修了に必要な単位として認められた場合は、相手先大学院研究科で修得した単位は、本研究科所定の単位に認定します。
- (3) 履修願及び理由書取扱期間
詳しい日程は、各大学により取扱いが異なりますので、後日掲示にて連絡します。
- (4) 履修願及び理由書提出手続
 - ① 履修願及び理由書の用紙は、学生課学務係で交付します。
 - ② 履修希望学生は、相手大学院研究科の講義内容及び開講時期等を参考に履修科目を選定し、指導教員の承認を得て、履修願及び理由書を学生課学務係に提出してください。

6. 成績表の交付について

登録科目の確認及び成績の結果については、附属図書館玄関ロビーの証明書自動発行機により成績表（交付用）を出力し、本人自らが確認する方法を取っています。

7. 他の大学院等における研究指導

他の大学院や研究所等において研究指導を受けることが教育上有益であると認められた場合には、該当する他の大学院等と協議の上、他の大学院等において必要な研究指導を受けることができます。研究指導を受けられる期間は、博士前期課程、博士後期課程ともそれぞれ通算して1年以内ですが、博士後期課程については、期間の延長を認められることがあります。他の大学院等における研究指導を希望される場合は、事前に指導教員と相談の上、指導を受ける予定月の2ヶ月前までに学生課学務係に連絡してください。

・教育職員免許状（専修免許状）について

現に中学校教諭又は高等学校教諭一種免許状（理科）を有する者（免許状申請に必要な単位取得者含む）は、本学の博士前期課程を修了する時に次に掲げる「教科に関する科目」を24単位修得していれば当該校種の専修免許状（理科）を取得することができます。

奈良県教育委員会への申請は、学生課学務係が一括して行います。手続き等詳細については、10月中旬に申請予定を照会後、1月頃に電子メール等により通知します。

（教科に関する科目）

区分	授業科目名
基礎科目	光ナノサイエンス概論Ⅰ、光ナノサイエンス概論Ⅱ、光ナノサイエンスコアⅠ、光ナノサイエンスコアⅡ、光ナノサイエンスコアⅢ、光ナノサイエンスコアⅣ、光と電子特講Ⅰ、光と電子特講Ⅱ、光と分子特講Ⅰ、光と分子特講Ⅱ、先端融合物質科学Ⅰ、先端融合物質科学Ⅱ、先端融合物質科学Ⅲ、先端融合物質科学Ⅳ、現代量子力学特論、先端半導体工学、先端光電子工学、先端電子材料工学、現代有機化学特論、先端高分子化学特論、現代無機化学特論、先端生化学
専門科目	光・磁気物性特論、電子原子物性特論、フォトリクス特論、情報素子工学特論、分子フォトサイエンス特論、先端反応構造化学特論、生体機能物質特論、生物物質科学特論、先端物質科学技術特論、物質科学特論Ⅰ、物質科学特論Ⅱ、物質科学特論Ⅲ、物質科学特論Ⅳ
実習等	物質科学実験・実習 ゼミナールA、ゼミナールB、融合ゼミナールA、融合ゼミナールB

以上の授業科目から、24単位を修得すること。

・交通機関運休等の場合の授業の取扱いについて

1. 交通機関運休の場合の取扱い

大規模な災害、事故等の発生により、通学路線のうち「近鉄電車（けいはんな線、奈良線、京都線）」あるいは「奈良交通バス（学研北生駒駅、学園前駅、高の原駅路線）」が運休した場合、授業は休業します。なお、運休が解除された場合の取扱いは次表のとおりです。

2. 気象警報発令時の取扱い

奈良市・生駒市のいずれか又はこれらの市を含む地域に暴風警報（又は暴風雪警報）が発令された場合、授業は休業します。

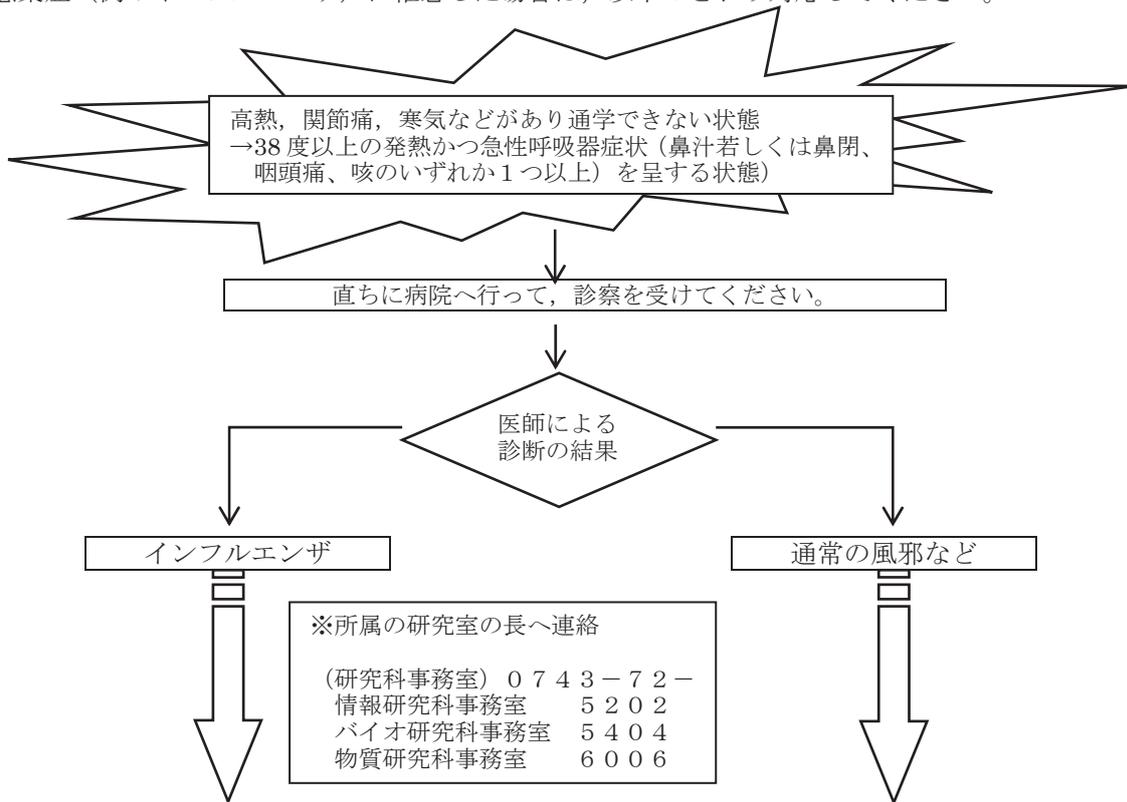
なお、同警報が解除された場合の取扱いは次表のとおりです。

運休及び警報解除時刻	授業の取扱い
午前7時以前に解除された場合	全日授業実施
午前10時以前に解除された場合	午後授業実施
午前10時を経過しても解除されない場合	全日授業休業

（注）発令及び解除の確認は、テレビ・インターネット等の報道によります。

感染症に罹患した場合の出席停止の取扱い

感染症（例：インフルエンザ）に罹患した場合は、以下のとおり対応してください。



学校保健安全法第19条に規定する

「出席停止」となります

「出席停止」とはなりません

※出席停止となる学生は、必要情報（学生番号、氏名、メールアドレス等）を所属の研究室の長（不在の場合はその研究室の他の教員）に連絡してください。
この連絡を受けた教員は、講義等担当教員に当該学生の欠席を届けてください。

不明な点は、各研究科の教務委員又は保健管理センターへ相談してください。

なお、感染症の世界的流行等により、別途、政府等から方針が出された場合は、そちらを優先することもあります。

<参考>出席停止期間（一例、比較的症頻度が高いと思われるもののみ）

対象疾病	*出席停止の期間の基準
インフルエンザ	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで
百日咳	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
麻疹	解熱した後3日を経過するまで
流行性耳下腺炎	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
風疹	発疹が消失するまで

*上記の出席停止の期間は、学校保健安全法関係法令の定めによる基準であり、通学の再開にあたっては、個別に医師に相談してください。

Subject Registration, etc.

• Registration Method, etc.

1. Registration procedure

Students are required to develop subject registration plans based on full consultation with their research instructors, and to prepare and submit registration forms to the Administrative Office of the Graduate School of Materials Science by the specified deadline.

2. Report of absence from lectures

If students cannot attend lectures due to unavoidable reasons including sickness, injury, mourning, and employment examinations (only for students with NAIST's recommendations), they are required to inform the head of their laboratory (other faculty members of the lab if the head is absent due to a business trip, etc.) (i) student ID number, (ii) name, (iii) e-mail address, and (iv) reason(s) for absence via e-mail, on or before the date on which such lectures are given. The faculty member who is informed of such absence is required to report the student's absence to the Director of the Administration Committee in the case of general subjects by part-time instructors, or to the faculty members in charge in the case of other subjects (the director of host courses in the case of Materials Science Special I-IV). Students are deemed "absent" if they fail to report their absence.

Reports of absence (oral, written, e-mail) by students directly to the lecturers are not accepted.

Lecturers in charge of subjects take into consideration the reason(s) for the absence stated in the e-mail when determining the grade of such students. For students not yet assigned to a laboratory, please report any absence directly to the Director of the Administration Committee.

3. Treatment of credits earned prior to admission to NAIST

The Faculty Council of this graduate school can treat up to 10 credits that have been earned at non-NAIST graduate schools as those earned at this graduate school, if deemed educationally beneficial to do so. Students who apply for such treatment are required to apply to the Educational Affairs Section of the Student Affairs Division with the following documents.

- (1) Application form to treat credits that have been earned at non-NAIST graduate schools as those earned at this graduate school (The form is available at the Student Affairs Division.)
- (2) Certificate of credits earned/certificate of academic record issued by non-NAIST graduate schools at which credits have been earned
- (3) Documents that show the details of lectures given in subjects whose credits should be treated as those earned at this graduate school (a copy of the syllabus, etc.)

* The schedule for application procedures, etc. will be notified via the bulletin board, etc. Please check the information carefully. For more information, please contact the Educational Affairs Section of the Student Affairs Division.

4. Credit transfer program with other NAIST graduate schools

A credit transfer program is in place between this graduate school and the Graduate Schools of Information Science and Biological Sciences. Students who want to use the credit transfer program must carefully read the instructions below and follow the prescribed procedures. For more information, please contact the Educational Affairs Section of the Student Affairs Division.

(1) Registration method, etc.

(i) Students who want to use the credit transfer program are required to submit a prescribed registration application form.

(ii) The following subjects are available via the credit transfer program.

Graduate school	Subject
Information Science	Basic subjects and special subjects
Biological Sciences	General subjects, basic subjects, and special subjects

(iii) Students who want to use the credit transfer program are required to select subjects to take by referring to the syllabus and class schedule in the Student Handbook issued by the Graduate Schools of Information Science and/or Biological Sciences, and obtain approval from their main research instructors and permission from faculty members in charge of the subjects that they want to take.

(iv) Students may not be given permission to take specific subjects due to reasons including class capacity at the Graduate Schools of Information Science and/or Biological Sciences.

(2) Credit transfer

Up to four credits earned by taking subjects at the Graduate Schools of Information Science and Biological Sciences may be counted as credits toward the completion requirements of special subjects.

(3) Timing of registration application

For more information about the procedures (including the timing of submitting registration application forms and offices to which application forms should be submitted), students will be notified via the bulletin board, etc. at a later date.

5. Credit transfer program with a non-NAIST graduate school

A credit transfer program is in place between this graduate school and the Graduate School of Humanities and Sciences, Nara Women's University (the Department of Residential Environment and Design, Department of Physics, and Department of Chemistry).

Students who want to use the credit transfer program must carefully read the instructions below and follow the prescribed procedures. For more information, please contact the Educational Affairs Section of the Student Affairs Division.

(1) Registration method, etc.

(i) Students who want to use the credit transfer program are required to submit a prescribed registration application form and a statement of reasons.

(ii) For the Master's Course, the total number of credits shall be ten credits or less.

(iii) In principle, the scope of subject registration shall be lectures only, and shall not cover seminars, practical work, experiments, research, etc.

(iv) Students may not be given permission to take specific subjects due to reasons including class capacity at the Graduate School of Humanities and Sciences, Nara Women's University.

(2) Credit transfer

Credits earned at the Graduate School of Humanities and Sciences, Nara Women's University (the Department of Residential Environment and Design, Department of Physics, and Department of Chemistry) are counted as credits that constitute the completion requirements for this graduate school, as long as the Faculty Council of this graduate school recognizes that such credits constitute the completion requirements before students take such subjects.

(3) Acceptance period for a registration application form and a statement of reasons

The acceptance period differs depending on the graduate school department. Students will be notified via the bulletin board at a later date.

(4) Procedures for submitting a registration application form and a statement of reasons

(i) Registration application and reason statement forms are available from the Educational Affairs Section of the Student Affairs Division.

(ii) Students who want to use the credit transfer program are required to select subjects to take by referring to the details of lectures and the class schedule, etc. at the Graduate School of Humanities and Sciences, Nara Women's University, obtain approval from their research instructors, and submit a registration application form and a statement of reasons to the Educational Affairs Section of the Student Affairs Division.

6. Issuance of academic records

Students can confirm the subject registration status and academic performance by means of academic records which can be obtained from the automatic certificate issuing machine in the entrance lobby of the NAIST Library.

7. Research guidance offered at non-NAIST graduate schools, etc.

Students can receive necessary research guidance at non-NAIST graduate schools and research institutions, etc. (hereinafter referred to as “non-NAIST graduate schools, etc.”) based on consultation with relevant non-NAIST graduate schools, etc. when it is deemed educationally beneficial to do so. The duration for which such research guidance is available is up to one year in total for the Master's Course and Doctoral Course, respectively. Permission may be given to extend the duration for the Doctoral Course. Students who want to receive research guidance at non-NAIST graduate schools, etc. are required to consult with their research instructors in advance, and inform the Educational Affairs Section of the Student Affairs Division at least two months before the month in which such students will start to receive guidance.

- Teaching certificate (specialized certificate)

Students who have obtained a junior high school teacher or high school teacher class 1 certificate (in science) (including those who have earned the credits necessary to apply for obtaining a certificate) are eligible to obtain a specialized certificate (in science) of the school type concerned, provided they have earned 24 credits in the following “subjects related to the field of specialization” at the time of completing the Master's Course at NAIST.

The Educational Affairs Section of the Student Affairs Division is responsible for making applications

collectively to the Nara Prefecture Board of Education. The Educational Affairs Section will check the application schedule in mid-October and inform students of the details (including procedures) via e-mail, etc. in January.

(Subjects related to the field of specialization)

Category	Subject name
Basic Subjects	Opto-Nano Science I, Opto-Nano Science II, Opto-Nano Science Core I, Opto-Nano Science Core II, Opto-Nano Science Core III, Opto-Nano Science Core IV, Solid State Physics I, Solid State Physics II, Organic Chemistry I, Physical Chemistry and Biochemistry II, Advanced Materials Science I, Advanced Materials Science II, Advanced Materials Science III, Advanced Materials Science IV, Modern Quantum Mechanics, Advanced Semiconductor Engineering, Advanced Optoelectronics, Advanced Electronics Materials Engineering, Modern Organic Chemistry, Advanced Polymer Chemistry, Modern Inorganic Chemistry, Advanced Biochemistry
Specialized Subjects	Optical and Magnetic Properties of Matter Special, Electronic Properties and Atomic Structures of Solids and Surfaces Special, Photonics Special, Information Device Special, Molecular Photoscience Special, Advanced Organic Reactions and Stereochemistry Special, Biofunctional Materials Special, Biomaterials Science Special, Advanced Industrial Science and Technology Special, Materials Science Special I, Materials Science Special II, Materials Science Special III, Materials Science Special IV
Seminar Exercises	Experiments in Materials Science, Seminar A, Seminar B, Interdisciplinary Seminar A, Interdisciplinary Seminar B

Students are required to earn 24 credits by taking subjects shown above.

• **Handling of classes when public transport services are suspended, etc.**

1. Handling of classes when public transport services are suspended

Classes will be cancelled when the services of the Kintetsu lines (Keihanna, Nara, and Kyoto) and/or Nara Kotsu Bus lines (routes serving Gakken Kita-Ikoma Sta., Gakuenmae Sta., and Takanohara Sta.) (which are used by students to commute to the NAIST campus) are suspended due to a major disaster, accident, etc. The table below shows the handling of classes when public transport services are restored.

2. Handling of classes when a weather warning is issued

Classes will be cancelled when a storm (or snowstorm) warning is announced in Ikoma City, Nara City and the area including those cities.

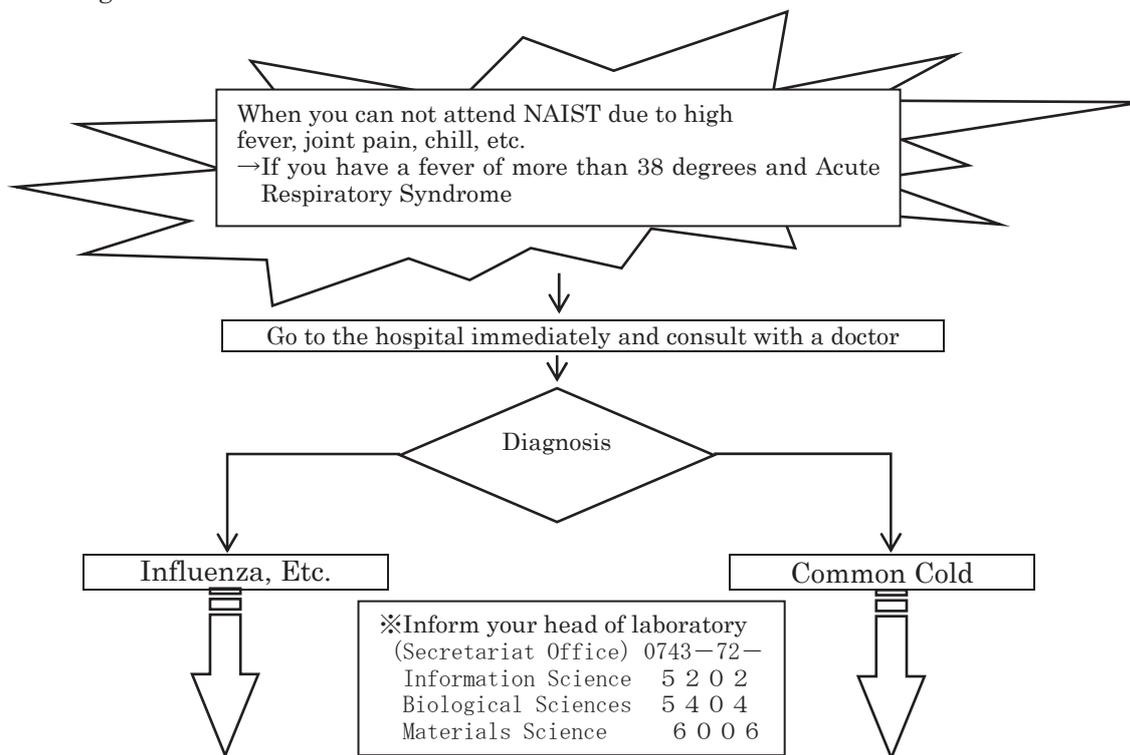
The table below shows the handling of classes when the warning is cancelled.

Status at 7:00 a.m./10:00 a.m.	Handling of classes
Public transport services are restored/the warning is cancelled at or before 7:00 a.m.	Classes are held for the whole day
Public transport services are restored/the warning is cancelled at or before 10:00 a.m.	Classes are held in the afternoon
Public transport services remain suspended/the warning remains in effect after 10:00 a.m.	Classes are cancelled for the whole day

Note: Information on the TV, Internet, etc. is used to check if public transport services are suspended/restored or a warning is issued/cancelled.

Mandatory Exclusion from Class Attendance for those with Infectious Diseases

If you feel you might have contracted an infectious disease, (influenza, etc.) please act according to the chart below;



Mandatory Class Exclusion

(Article 19 of the School Health and Safety Act)

No Exclusion

※ If you are diagnosed with an infectious disease, mandatory class exclusion is immediately in effect and you are required to inform the head of your laboratory (or another faculty member of the lab if the head is absent) of the necessary information (name, student ID number, e-mail address, etc.).

The faculty member who is informed of such diagnosis, etc. is required to report the student's absence to the faculty/ staff involved with the student's studies/ research.

If you have any questions please consult Administration Committee of your course or the Health Care Center.

Note: When government policy declares a pandemic, pandemic measures take precedence.

<For reference> Period of class exclusion (Only common disease examples)

Name of diseases	Period of suspended
Influenza	5 days from the start of symptoms and 2 days from the decline of the fever
Whooping cough	Until the whooping cough has stopped or after finishing a 5 day antibacterial agent treatment
Measles	3 days from the decline of fever
Mumps	Until complete recover and 5 days after swelling of the Parotid gland、Glandula submandibularis and/or Glandula sublingualis.has subsided
Rubella	Until the rash has completely disappeared

* These periods are standards established by the School Health and Safety Act.

You should consult doctors on a case-by-case basis.

奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科履修規程

平成16年4月1日

規程第22号

(趣旨)

第1条 この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則（平成16年学則第1号。以下「学則」という。）第34条に基づき、物質創成科学研究科における学生の履修に関し必要な事項を定める。

(指導教員)

第2条 授業科目の履修指導及び学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）を行うため、学生1人ごとに研究室等が異なる2人以上の指導教員を定める。

2 指導教員のうち、1人を主指導教員とする。

3 学修上又は研究指導上必要がある場合は、指導教員を変更することができる。

(研究指導)

第3条 研究指導の内容は、学生1人ごとに定めるものとする。

(授業科目及び単位数)

第4条 博士前期課程における授業科目、単位数及び履修方法は、別表第1のとおりとする。

2 博士後期課程における授業科目、単位数及び履修方法は、別表第2のとおりとする。

(履修手続き)

第5条 学生は、主指導教員の指導により、所定の履修届を、指定する期日までに研究科長に提出しなければならない。

2 履修しようとする授業科目を変更する場合は、授業科目担当教員及び主指導教員の承認を得て、履修届の変更を研究科長に申告しなければならない。

(履修の認定)

第6条 授業科目履修の認定は、試験又は研究報告により行う。ただし、平常の学修活動の評価をもって試験に代えることがある。

2 試験又は研究報告の成績は、100点を満点とする点数によって評価し、60点以上を合格、59点以下を不合格とする。この場合において次の区分により、優、良、可及び不可をもって表すことができる。

(1) 80点以上 優

(2) 70点～79点 良

(3) 60点～69点 可

(4) 59点以下 不可

3 前項の点数をもって評価し難い場合は、合格又は不合格をもってこれに代えることができる。

4 前2項により合格とされたものには、所定の単位を与える。

5 既に単位を修得した授業科目については、再履修することはできない。

(研究指導の認定)

第7条 研究指導の認定は、主指導教員が行い、研究科長に報告するものとする。

(学位論文の題目)

第8条 学生は、学位論文の題目を主指導教員の承認を得て、指定する期日までに申告しなければならない。

(学位論文の提出)

第9条 学生は、学位論文について主指導教員の承認を得て、指定する期日までに提出しなければならない。

2 学位論文は、課程修了に必要な単位を修得した者又は修得見込みの者で、かつ、指導教員による必要な研究指導が修了した者でなければ提出することができない。

（授業料未納により除籍された者の単位の不認定）

第10条 学則第71条第4号の規定により除籍された者については、授業料未納期間に係る単位は認定しない。

（雑則）

第11条 この規程に定めるもののほか、学生の履修に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

（施行期日）

1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 平成15年度以前に入学した学生（以下「在學生」という。）については、旧奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科履修規則は、この規程の施行後も、なおその効力を有する。ただし、在學生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

（略）

附 則

（施行期日）

1 この規程は、平成22年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 平成21年度以前に入学した学生（以下「在學生」という。）については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。ただし、在學生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

附 則

（施行期日）

1 この規程は、平成23年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 平成22年度以前に入学した学生（以下「在學生」という。）については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。ただし、在學生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

附 則

（施行期日）

1 この規程は、平成24年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 平成23年度以前に入学した学生（以下「在學生」という。）については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。ただし、在學生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

附 則

（施行期日）

1 この規程は、平成25年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 平成24年度以前に入学した学生（以下「在學生」という。）については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。ただし、在學生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

附 則

（施行期日）

1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 平成25年度以前に入学した学生（以下「在學生」という。）については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。ただし、在學生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

別表第1 (第4条第1項関係)

物質創成科学研究科教育課程表

(1) 授業科目名等

(博士前期課程)

区分	授業科目名	単位数	αコース		πコース		σコース				備考		
			履修区分	修了要件単位数	履修区分	修了要件単位数	研究論文		課題研究				
							履修区分	修了要件単位数	履修区分	修了要件単位数			
共通科目	アルゴリズム I	1	○, (*)		○, (*)		○, (*)		○, (*)		○, (*)	○, (*)	全学共通科目
	アルゴリズム II	1	○, (*)		○, (*)		○, (*)		○, (*)		○, (*)	○, (*)	全学共通科目
	計算機システム I	1	○, (*)		○, (*)		○, (*)		○, (*)		○, (*)	○, (*)	全学共通科目
	計算機システム II	1	○, (*)		○, (*)		○, (*)		○, (*)		○, (*)	○, (*)	全学共通科目
	バイオサイエンス概論	1	○, (*)	2	○, (*)	2	○, (*)	2	○, (*)	2	○, (*)	○, (*)	全学共通科目
	物質創成科学概論	1	△		△		△		△		△	△	全学共通科目
	科学技術論・科学技術者論	1	○, (*)		○, (*)		○, (*)		○, (*)		○, (*)	○, (*)	全学共通科目
	科学哲学	1	○, (*)		○, (*)		○, (*)		○, (*)		○, (*)	○, (*)	全学共通科目
	技術と倫理	1	○, (*)		○, (*)		○, (*)		○, (*)		○, (*)	○, (*)	全学共通科目
	科学コミュニケーション	1	○, (*)		○, (*)		○, (*)		○, (*)		○, (*)	○, (*)	全学共通科目
一般科目	物質科学解析	1	△		△		△		△		△	△	「物質科学英語 IIA」の単位を修得した者については「物質科学英語 IIB」を、「物質科学英語 IIIA」の単位を修得した者については「物質科学英語 IIIB」をそれぞれ博士後期課程において単位認定しない。
	物質科学英語 I	1	◎		◎		◎		◎		◎	◎	
	物質科学英語 IIA	1	△		△		△		△		△	△	
	物質科学英語 IIIA	1	△		△		△		△		△	△	
	物質科学と倫理	1	◎	4	◎	4	◎	4	◎	4	◎	◎	
	科学技術政策と知的財産	1	◎		◎		◎		◎		◎	◎	
	サイエンスリテラシー	1	◎		◎		◎		◎		◎	◎	
	技術ベンチャー論	1	△		△		△		△		△	△	
	技術経営	1	△		△		△		△		△	△	
	基礎科目	光ナノサイエンス概論 I	1	◎		◎		◎		◎		◎	
光ナノサイエンス概論 II		1	◎		◎		◎		◎		◎	◎	
光ナノサイエンスコア I		1	◎		◎		◎		◎		◎	◎	
光ナノサイエンスコア II		1	◎		◎		◎		◎		◎	◎	
光ナノサイエンスコア III		1	◎		◎		◎		◎		◎	◎	
光ナノサイエンスコア IV		1	◎		◎		◎		◎		◎	◎	
光と電子特講 I		1					□		□		□	□	
光と電子特講 II		1					□		□		□	□	
光と分子特講 I		1		10		10	□	10	□	10	□	□	
光と分子特講 II		1					□		□		□	□	
先端融合物質科学 I		1	□		□								
先端融合物質科学 II		1	□		□								
先端融合物質科学 III		1	□		□								
先端融合物質科学 IV		1	□		□								
現代量子力学特論		1	○		○		○		○		○	○	
先端半導体工学		1	○		○		○		○		○	○	
先端光電子工学		1	○		○		○		○		○	○	
先端電子材料工学		1	○		○		○		○		○	○	
現代有機化学特論		1	○		○		○		○		○	○	
先端高分子化学特論		1	○		○		○		○		○	○	
現代無機化学特論	1	○		○		○		○		○	○		
先端生化学	1	○		○		○		○		○	○		

区分	授業科目名	単位数	αコース		πコース		σコース				備考
			履修区分	修了要件単位数	履修区分	修了要件単位数	研究論文		課題研究		
							履修区分	修了要件単位数	履修区分	修了要件単位数	
専門科目	光・磁気物性特論	1	○		○		○		○		
	電子原子物性特論	1	○		○		○		○		
	フォトニクス特論	1	○		○		○		○		
	情報素子工学特論	1	○		○		○		○		
	分子フォトサイエンス特論	1	○		○		○		○		
	先端反応構造化学特論	1	○		○		○		○		
	生体機能物質特論	1	○	4	○	4	○	4	○	6	
	生物物質科学特論	1	○		○		○		○		
	先端物質科学技術特論	1	○		○		○		○		
	物質科学特論 I	1	○		○		○		○		
	物質科学特論 II	1	○		○		○		○		
	物質科学特論 III	1	○		○		○		○		
	物質科学特論 IV	1	○		○		○		○		
物質科学実験・実習	2	◎	2	◎	2	◎	2	◎	2		
ゼミナール A	1	◎		◎							
ゼミナール B	2		3	◎	2	◎	2	◎	2		
融合ゼミナール A	1			◎							
融合ゼミナール B	2	◎									
研究論文	6			◎		◎					
特別課題研究	5	◎	5		6		6		◎	4	
課題研究	4							◎			
修了要件単位数			30		30		30		30		

1. 履修区分欄の◎は必修科目を、□は選択必修科目を、○は選択科目を示す。
2. 履修区分欄の△は修了の要件となる単位としては算入しない。

(2) 履修方法

ア 上表のとおり合計30単位以上を履修すること。

イ 学生は研究科教務委員会の指導を受け、αコース、πコース又はσコースを選択すること。

ウ σコースを選択した学生は主指導教員と協議の上、研究論文又は課題研究を選択すること。

エ 基礎科目の選択必修科目については、主指導教員が指定する科目を履修すること。

オ 学則第37条の規定により、他の研究科の授業科目を履修し修得した単位及び(*)で示した共通科目を修得した単位(2単位を超えたもの)については、専門科目として計2単位まで修了の要件となる単位として充当することができる。

別表第2 (第4条第2項関係)

物質創成科学研究科教育課程表

(1) 授業科目名等

(博士後期課程)

区分	授業科目名	単位数	αコース		πコース		τコース		備考
			履修区分	修了要件単位数	履修区分	修了要件単位数	履修区分	修了要件単位数	
国際化科目	物質科学英語 IIB	1	○	2	○	1			博士前期課程で「物質科学英語 IIA」の単位を修得した者については「物質科学英語 IIB」を、「物質科学英語 IIIA」の単位を修得した者については「物質科学英語 IIIB」を単位認定しない。
	物質科学英語 IIIB	1	○		○				
	物質科学英語研修	2	○		○				
	サイエンスリテラシー上級 I	1	○		○				
	サイエンスリテラシー上級 II	1	○		○				
	国際インターンシップ	2	○		○				
	融合インターンシップ	1	○		○				
	光ナノサイエンス特講	1	○	○					
融合専門科目	物質科学融合特講	1			◎	1			
提案型演習科目	リサーチマネージメント演習 A	1	◎	1		1		3	
	リサーチマネージメント演習 B	1			◎				
	リサーチマネージメント演習 C	1					◎		
	先端物質科学演習	2					◎		
融合ゼミナール	特別融合科学ゼミナール A	1	○	1	○	1	○	1	
	特別融合科学ゼミナール B	1	○		○		○		
	特別融合科学ゼミナール C	1	○		○		○		
総合探求	特別物質科学講究	6	◎	6	◎	6	◎	6	
修了要件単位数				10		10		10	

履修区分欄の◎は必修科目を、○は選択科目を示す。

(2) 履修方法

ア 上表のとおり合計10単位以上を履修すること。

イ 博士後期課程から入学した学生は、πコース又はτコースを選択すること。

Registration Regulations for the Graduate School of Materials Science at the Nara Institute of Science and Technology

April 1, 2004
Regulation No. 22

Article 1 (Purpose)

These regulations stipulate matters necessary for registration by students of the Graduate School of Materials Science in accordance with Article 34 of the Regulations of Nara Institute of Science and Technology (2004 Regulations No. 1) (“NAIST Regulations”).

Article 2 (Research instructors)

1. Two or more research instructors of different courses, etc. shall be designated for each student to provide guidance on choosing subjects and preparing a degree thesis, etc. (hereinafter referred to as “research guidance”).
2. One of such research instructors shall be designated as the main research instructor.
3. Research instructors may be changed if needed in the course of studying or research guidance.

Article 3 (Research guidance)

The details of research guidance shall be defined for respective students.

Article 4 (Subjects and number of credits)

1. The subjects, number of credits, and registration methods for the Master’s Course shall be as shown in Schedule 1.
2. The subjects, number of credits, and registration methods for the Doctoral Course shall be as shown in Schedule 2.

Article 5 (Registration procedures)

1. Students shall be required to submit the prescribed registration form, under the guidance offered by the main research instructor, to the dean of the graduate school by the specified date.
2. Students who want to change their chosen subjects written on the registration form shall report the changes to the dean of the graduate school, with the approval of the faculty member in charge of such subjects and the main research instructor.

Article 6 (Awarding of credits)

1. Credits shall be awarded by means of an examination or a research report. Credits may be awarded based on an evaluation of day-to-day study activities, instead of such examination.
2. Academic performance based on an examination or a research report shall be evaluated by points (full score: 100 points); 60 points or more is a “pass”, and 59 points or less is a “fail”. For evaluation purposes, academic performance may be represented as “Excellent,” “Good,” “Fair,” and “Fail” in accordance with the categories below.

(1) 80 points or more	Excellent
(2) 70–79 points	Good
(3) 60–69 points	Fair
(4) 59 points or less	Fail

3. In the event that it is difficult to evaluate academic performance based on points as described in the preceding paragraph, “pass” or “fail” may be used instead of such points.

4. Prescribed credits shall be awarded to students whose academic performance is “pass” in accordance with the two preceding paragraphs.

5. Subjects whose credits have been earned cannot be taken again.

Article 7 (Approval of research guidance)

Research guidance shall be approved by the main research instructor and reported to the dean of the graduate school.

Article 8 (Theme of the degree thesis)

Students shall be required to report the theme of their degree thesis by the specified date, with the approval of the main research instructor.

Article 9 (Submission of the degree thesis)

1. Students are required to submit a degree thesis by the specified date, with the approval of the main research instructor.

2. A degree thesis can be submitted by students who (i) have earned or who are expected to earn credits necessary for completion of the course and (ii) have completed the necessary research guidance offered by research instructors.

Article 10 (Disqualification of credits for students who have been expelled due to unpaid tuition)

Credits accrued during the period of unpaid tuition will be disqualified when the student has been expelled from school, pursuant to Article 71-4 of Regulation.

Article 11 (Miscellaneous provision)

Other matters relating to registration by students shall be stipulated separately.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2004.

(Transitional measures)

2. For students who were admitted in academic year 2003 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”), the former Registration Regulations for the Graduate School of Materials Science at the Nara Institute of Science and Technology shall remain in effect even after these Regulations come into effect. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

(an omission)

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2010.

(Transitional measures)

2. For students who were admitted in academic year 2009 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”), the former Registration Regulations for the Graduate School of Materials Science at the Nara Institute of Science and Technology shall supersede these Regulations after revision. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2011.

(Transitional measures)

2. For students who were admitted in academic year 2010 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”), the former Registration Regulations for the Graduate School of Materials Science at the Nara Institute of Science and Technology shall supersede these Regulations after revision. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2012.

(Transitional measures)

2. For students who were admitted in academic year 2011 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”), the former Registration Regulations for the Graduate School of Materials Science at the Nara Institute of Science and Technology shall supersede these Regulations after revision. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2013.

(Transitional measures)

2. For students who were admitted in academic year 2012 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”), the former Registration Regulations for the Graduate School of Materials Science at the Nara Institute of Science and Technology shall supersede these Regulations after revision. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2014.

(Transitional measures)

2. For students who were admitted in academic year 2013 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”), the former Registration Regulations for the Graduate School of Materials Science at the Nara Institute of Science and Technology shall supersede these Regulations after revision. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

Schedule 1 (supplement to Article 4, Paragraph 1)

Curriculum table of the Graduate School of Materials Science (Master's Course)

(1) Subject name, etc.

Category	Subject name	Number of credits	α COURSE		π COURSE		σ COURSE				Remarks
			Required/ elective	Number of credits required for completion	Required/ elective	Number of credits required for completion	Research thesis		Thematic research		
							Required/ elective	Number of credits required for completion	Required/ elective	Number of credits required for completion	
Common Subjects	Computer System I	1	○, (*)		○, (*)		○, (*)		○, (*)		Common Subjects for All Graduate Schools
	Computer System II	1	○, (*)		○, (*)		○, (*)		○, (*)		Common Subjects for All Graduate Schools
	Algorithm I	1	○, (*)		○, (*)		○, (*)		○, (*)		Common Subjects for All Graduate Schools
	Algorithm II	1	○, (*)		○, (*)		○, (*)		○, (*)		Common Subjects for All Graduate Schools
	Introduction to Biological Science	1	○, (*)	2	○, (*)	2	○, (*)	2	○, (*)	2	Common Subjects for All Graduate Schools
	Introduction to Materials Science	1	△		△		△		△		Common Subjects for All Graduate Schools
	Perspectives on Science and Technology	1	○, (*)		○, (*)		○, (*)		○, (*)		Common Subjects for All Graduate Schools
	Philosophy of Science	1	○, (*)		○, (*)		○, (*)		○, (*)		Common Subjects for All Graduate Schools
	Technology and Professional Ethics	1	○, (*)		○, (*)		○, (*)		○, (*)		Common Subjects for All Graduate Schools
	Science Communication	1	○, (*)		○, (*)		○, (*)		○, (*)		Common Subjects for All Graduate Schools
General Subjects	Mathematical Analyses for Materials Science	1	△		△		△		△		If students have received credit for Material Science English IIA or Material Science English IIIA (master's program), they may not earn credits in the respective Material Science English IIB or Material Science English IIIB (doctoral program).
	Materials Science English I	1	◎		◎		◎		◎		
	Materials Science English IIA	1	△		△		△		△		
	Materials Science English IIIA	1	△		△		△		△		
	Materials Science and Ethics	1	◎	4	◎	4	◎	4	◎	4	
	Science & Technology Policy and Intellectual Property	1	◎		◎		◎		◎		
	Science Literacy	1	◎		◎		◎		◎		
	Technology Entrepreneurship and Commercialization	1	△		△		△		△		
	Management of Technology	1	△		△		△		△		
	Basic Subjects	Opto-Nano Science I	1	◎		◎		◎		◎	
Opto-Nano Science II		1	◎		◎		◎		◎		
Opto-Nano Science Core I		1	◎		◎		◎		◎		
Opto-Nano Science Core II		1	◎		◎		◎		◎		
Opto-Nano Science Core III		1	◎		◎		◎		◎		
Opto-Nano Science Core IV		1	◎		◎		◎		◎		
Solid State Physics I		1					□		□		
Solid State Physics II		1					□		□		
Organic Chemistry I		1					□		□		
Physical Chemistry and Biochemistry II		1		10		10	□	10	□	10	
Advanced Materials Science I		1	□		□						
Advanced Materials Science II		1	□		□						
Advanced Materials Science III		1	□		□						
Advanced Materials Science IV		1	□		□						
Modern Quantum Mechanics		1	○		○		○		○		
Advanced Semiconductor Engineering		1	○		○		○		○		
Advanced Optoelectronics		1	○		○		○		○		
Advanced Electronics Materials Engineering		1	○		○		○		○		
Modern Organic Chemistry		1	○		○		○		○		
Advanced Polymer Chemistry		1	○		○		○		○		
Modern Inorganic Chemistry	1	○		○		○		○			
Advanced Biochemistry	1	○		○		○		○			

Category	Subject name	Number of credits	α COURSE		π COURSE		σ COURSE				Remarks
			Required/elective	Number of credits required for completion	Required/elective	Number of credits required for completion	Research thesis		Thematic research		
							Required/elective	Number of credits required for completion	Required/elective	Number of credits required for completion	
Specialized Subjects	Optical and Magnetic Properties of Matter Special	1	○		○		○		○		
	Electronic Properties and Atomic Structures of Solids and Surfaces Special	1	○		○		○		○		
	Photonics Special	1	○		○		○		○		
	Information Device Special	1	○		○		○		○		
	Molecular Photoscience Special	1	○		○		○		○		
	Advanced Organic Reactions and Stereochemistry Special	1	○	4	○	4	○	4	○	6	
	Biofunctional Materials Special	1	○		○		○		○		
	Biomaterials Science Special	1	○		○		○		○		
	Advanced Industrial Science and Technology Special	1	○		○		○		○		
	Materials Science Special I	1	○		○		○		○		
	Materials Science Special II	1	○		○		○		○		
	Materials Science Special III	1	○		○		○		○		
	Materials Science Special IV	1	○		○		○		○		
Experiments in Materials Science	2	◎	2	◎	2	◎	2	◎	2		
Seminar A	1	◎		◎							
Seminar B	2		3	◎	2	◎	2	◎	2		
Interdisciplinary Seminar A	1			◎							
Interdisciplinary Seminar B	2	◎									
Research Thesis	6			◎		◎					
Specialized Research on Materials Science	5	◎	5		6		6		4		
Research on Materials Science	4							◎			
Number of credits required for completion				30		30		30		30	
<p>1. In the “Required/elective” column, ◎, □, and ○ represent required subjects, required elective subjects, and elective subjects, respectively.</p> <p>2. In the “Required/elective” column, subjects marked △ do not count as credits toward the completion requirements.</p>											

(2) Registration requirements

- A. Students are required to earn 30 credits or more in total as shown in the table above.
- B. Students are required to select the α course, π course, or σ course under the guidance of the Graduate School Administration Committee.
- C. Students who select the σ course are required to select either research thesis or thematic research based on consultation with the main research instructor.
- D. Students are required to take required elective subjects in the basic subjects designated by the main research instructor.
- E. In accordance with Article 37 of the NAIST Regulations, up to two credits in total earned by taking (i) subjects offered by other NAIST graduate schools and (ii) (*)-marked common subjects may be counted as credits earned by taking special subjects that constitute the completion requirements, if the total amount of credits earned from these classes exceeds two credits.

Schedule 2 (supplement to Article 4, Paragraph 2)

Curriculum table of the Graduate School of Materials Science (Doctoral Course)

(1) Subject name, etc.

Category	Subject name	Number of credits	α COURSE		π COURSE		τ COURSE		Remarks
			Required/elective	Number of credits required for completion	Required/elective	Number of credits required for completion	Required/elective	Number of credits required for completion	
Internationalization subjects	Materials Science English IIB	1	○	2	○	1		3	If students have received credit for Material Science English IIA or Material Science English IIIA (master's program), they may not earn credits in the respective Material Science English IIB or Material Science English IIIB.
	Materials Science English IIIB	1	○		○				
	Practical English for Materials Science	2	○		○				
	Science Literacy (Advanced Course I)	1	○		○				
	Science Literacy (Advanced Course II)	1	○		○				
	International Internship	2	○		○				
	Interdisciplinary Internship	1	○		○				
	Opto-Nano Science Speical	1	○		○				
Interdisciplinary subject	Interdisciplinary Materials Science	1			◎	1			
Research management	Research Management Exercise A	1	◎	1		1		3	
	Research Management Exercise B	1			◎				
	Research Management Exercise C	1					◎		
	Exercise in Advanced Materials Science	2					◎		
Interdisciplinary seminars	Seminar for Interdisciplinary Materials Science A	1	○	1	○	1	○	1	
	Seminar for Interdisciplinary Materials Science B	1	○		○				
	Seminar for Interdisciplinary Materials Science C	1	○		○				
General research	Interdisciplinary Materials Science	6	◎	6	◎	6	◎	6	
Number of credits required for completion				10		10		10	

In the "Required/elective" column, ◎ and ○ represent required subjects and elective subjects, respectively.

(2) Registration requirements

- A. Students are required to earn 10 credits or more in total as shown in the table above.
 B. Students who are admitted to NAIST into the Doctoral Course (i.e. not α course) are required to select the π course or the τ course.

5 学位審査基準等（学位規程を含む）

5 学位審査基準等

博士前期課程

各審査委員が、修士論文、特別課題研究あるいは課題研究の内容および発表・質疑応答についてそれぞれ総合的に評価し、各100点満点で採点を行います。各審査委員の、修士論文（特別課題研究報告書または課題研究報告書）、発表・質疑応答の評価がそれぞれ60点以上の場合に、修士論文等を合格とします。具体的には、以下の項目について審査を行います。

修士論文の審査項目

- 研究の背景と目的が十分に理解されている。
- 研究課題に関する知識の整理が十分になされている。
- 研究計画や研究方法について十分な吟味がなされている。
- 実験データや理論計算の結果についての整理と解析は十分になされている。
- 得られた結果に基づく結論や仮説の展開は論理的である。
- 参考文献は適切である。
- 論文および口頭発表は論理的に分かりやすく構成されている。

特別課題研究の審査項目

- 研究の背景と目的が十分に理解されている。
- 研究課題に関する知識の整理が十分になされている。
- 研究計画や研究方法について十分な吟味がなされている。
- 実験データや理論計算の結果についての整理と解析は十分になされている。
- 得られた結果に基づく結論や仮説の展開は論理的である。
- 今後の展開が具体的に考えられており、合理的である。
- 参考文献は適切である。
- 論文および口頭発表は論理的に分かりやすく構成されている。

課題研究の審査項目

- 研究の背景と目的が十分に理解されている。
- 研究課題に関する知識の整理が十分になされている。
- 研究計画や研究方法について十分な吟味がなされている。
- 実験データや理論計算あるいは調査の結果についての整理と解析は十分になされている。
- 今後の展望が適切に述べられている。
- 参考文献は適切である。
- 論文および口頭発表は論理的に分かりやすく構成されている。

「修士論文等審査手続きおよび修士論文、特別課題研究報告書、課題研究報告書の作成の手引き」と論文審査願等書式は、研究科ホームページに掲載されています。

博士後期課程

博士後期課程修了要件に示されたスーパーバイザーの中間審査では、(1) 想像性の豊かな研究者に求められる素養深い学識、(2) 研究推進力、融合展開能力、(3) プレゼンテーション能力、(4) 語学力を含めた国際性とコミュニケーション能力、(5) 研究経営能力 の到達度を評価します。

博士前期課程修士論文の以下の 7 つの審査項目に加え、博士論文に記述された内容と博士論文提出者の科学に対する考え方、取り組み方についての 論理性が問われます。

- 研究の背景と目的が十分に理解されている。
- 研究課題に関する知識の整理が十分になされている。
- 研究計画や研究方法について十分な吟味がなされている。
- 実験データや理論計算の結果についての整理と解析は十分になされている。
- 得られた結果に基づく結論や仮説の展開は論理的である。
- 参考文献は適切である。
- 論文および口頭発表は論理的に分かりやすく構成されている。

「博士論文作成の手引き」は、研究科ホームページに掲載されています。

5. Degree examination criteria, etc.

Master's Course

Respective examination members make an overall evaluation about (i) the details of the master's thesis, special thematic research or thematic research, (ii) presentation, and (iii) Q&A. Each of these three items is graded on a score of 100. The master's thesis, etc. is deemed to have passed the examination if respective examination members give an evaluation score of 60 points or higher for all of the master's thesis (special thematic research report or thematic research report), presentation, and Q&A. Specifically, the examination checks the following items.

Items checked in the master's thesis examination

- Students fully understand the research background and objectives.
- Students have a well-organized knowledge base about the research project.
- Students have closely examined the research plans and research methods.
- Experiment data and theoretical calculation results have been properly organized and analyzed.
- Students have reached a conclusion through a logical process based on obtained results; students have logically developed hypotheses.
- References are appropriate.
- The thesis and oral presentation are organized logically and clearly.

Items checked in the special thematic research examination

- Students fully understand the research background and objectives.
- Students have a well-organized knowledge base about the research project.
- Students have closely examined the research plans and research methods.
- Experiment data and theoretical calculation results have been properly organized and analyzed.
- Students have reached a conclusion through a logical process based on obtained results; students have logically developed hypotheses.
- The future development vision is clear and reasonable.
- References are appropriate.
- The thesis and oral presentation are organized logically and clearly.

Items checked in the thematic research examination

- Students fully understand the research background and objectives.
- Students have a well-organized knowledge base about the research project.
- Students have closely examined the research plans and research methods.
- (i) Experiment data and (ii) theoretical calculation or investigation results have been properly organized and analyzed.
- The future vision is described appropriately.
- References are appropriate.

- The thesis and oral presentation are organized logically and clearly.

Master's Thesis, etc. Examination Procedures and A Guide to Preparing a Master's Thesis, Special Thematic Research Report, or Thematic Research Report and forms (e.g., application forms for thesis examination) are available on the graduate school website.

Doctoral Course

In the midterm examination that is indicated in the Doctoral Course completion requirements, supervisors evaluate the achievement levels in the following aspects:

- (1) Competence and deep knowledge required for highly creative researchers
- (2) Abilities to promote, integrate, and develop research activities
- (3) Abilities to deliver presentations
- (4) International attitude (including linguistic proficiency) and communication abilities
- (5) Abilities to manage research activities

The doctoral thesis examination covers (i) details of the doctoral thesis, (ii) students' attitude to science, and (iii) logicity of approaches, in addition to the seven items to be checked in the master's thesis examination.

- Students fully understand the research background and objectives.
- Students have a well-organized knowledge base about the research project.
- Students have closely examined the research plans and research methods.
- Experiment data and theoretical calculation results have been properly organized and analyzed.
- Students have reached the conclusion through a logical process based on obtained results; students have logically developed hypotheses.
- References are appropriate.
- The thesis and oral presentation are organized logically and clearly.

A Guide to Preparing a Doctoral Thesis is available on the graduate school website.

奈良先端科学技術大学院大学学位規程

平成16年4月1日

規程第19号

（趣旨）

第1条 この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則（平成16年学則第1号。以下「学則」という。）第44条第3項の規定に基づき、奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）において授与する学位に関し必要な事項を定める。

（学位の種類及び専攻分野の名称）

第2条 本学において授与する学位は、修士及び博士とする。

2 学位には、次表の研究科名欄に掲げる研究科ごとに、同表専攻分野の名称欄の名称を付記するものとする。

研 究 科 名	専 攻 分 野 の 名 称
情 報 科 学 研 究 科	理 学 又 は 工 学
バ イ オ サ イ エ ン ス 研 究 科	バ イ オ サ イ エ ン ス
物 質 創 成 科 学 研 究 科	理 学 又 は 工 学

（学位授与の要件）

第3条 修士の学位は、本学の博士前期課程を修了した者に授与する。

2 博士の学位は、本学の博士後期課程を修了した者に授与する。

3 前項に定めるもののほか、博士の学位は、博士論文の審査に合格し、かつ、本学の博士後期課程を修了した者と同等以上の学力を有することを確認（以下「学力の確認」という。）された者に授与することができる。

（学位論文の提出等）

第4条 本学研究科の博士前期課程を修了しようとする者は、所定の学位論文審査願に修士論文を添えて、当該研究科長に提出し、最終試験を受けるものとする。

2 特定の課題についての研究の成果を、前項の修士論文に代えることができる。

3 本学研究科の博士後期課程を修了しようとする者は、所定の学位論文審査願に博士論文、論文目録、論文内容の要旨及び履歴書を添えて、当該研究科長に提出し、最終試験を受けるものとする。

4 前条第3項の規定により、博士の学位の授与を受けようとする者は、学位申請書に博士論文、論文目録、論文内容の要旨、履歴書及び学位論文審査手数料を添え、学位に付記する専攻分野を指定して学長に提出するものとする。

5 学位論文審査手数料は、57,000円とする。

6 学長は、第4項の申請書類を受理したときは、専攻分野に応じて、当該研究科長に回付するものとする。

7 提出した学位論文等及び納付した学位論文審査手数料は、返還しない。

(学位論文)

第5条 学位論文は、1編とし、修士論文は1通、博士論文は3通を提出するものとする。ただし、参考として他の論文を添付することができる。

2 当該研究科長は、学位論文の審査のため必要があるときは、学位論文の訳文、模型、標本その他必要な資料の提出を求めることができる。

(最終試験及び学力の確認)

第6条 最終試験は、学位論文に関連のある専門分野について、筆記又は口述により行うものとする。

2 第3条第3項に規定する学力の確認は、博士論文に関連のある科目及び外国語について、筆記又は口述により行うものとする。

(審査委員会)

第7条 当該研究科の教授会は、論文の審査、最終試験及び学力の確認を行うため、審査委員会を設ける。

2 審査委員会は、当該研究科及び学内共同教育研究施設の教員のうちから2名以上で構成する。ただし、教授2人を構成員としなければならない。

3 審査委員会に主査を置く。

4 前項の規定にかかわらず、当該研究科の教授会において、審査のため必要があると認めるときは、他の研究科の教員又は他の大学院若しくは研究所等の教員等を審査委員に加えることができる。

5 第4条第4項の規定により提出のあった者の論文の審査及び学力の確認は、博士論文が提出された日から1年以内に終了しなければならない。ただし、特別の事由があるときは、当該研究科の教授会の議を経て、その期間を延長することができる。

(審査結果の報告)

第8条 修士の学位に係る審査委員会は、論文の審査及び最終試験が終了したときは、直ちに、学位を授与できるか否かの意見を当該研究科の教授会に文書で報告しなければならない。

2 博士の学位に係る審査委員会は、論文の審査及び最終試験又は学力の確認が終了したときは、直ちに、次の各号に定める書類に、学位を授与できるか否かの意見を添え、当該研究科の教授会に文書で報告しなければならない。

(1) 第4条第3項の規定による提出論文の内容の要旨、審査の結果の要旨及び最終試験の結果の要旨

(2) 第4条第4項の規定による提出論文の内容の要旨、審査の結果の要旨及び学力の確認の結果の要旨

(学位授与の審議)

第9条 当該研究科の教授会は、前条の報告に基づいて、学位の授与について審議する。

(審議結果の報告)

第10条 当該研究科長は、当該研究科の教授会の審議結果を文書で学長に報告しなければならない。

（学位の授与）

第11条 学長は、前条の報告に基づいて学位を授与できると決定した者に学位記を授与する。

2 学位記の様式は、様式第1号、様式第2号及び様式第3号までのとおりとする。

3 学長は、学位を授与できないと決定した者には、その旨通知する。

（博士論文の要旨等の公表等）

第12条 学長は、博士の学位を授与したときは、当該博士の学位を授与した日から3月以内に文部科学大臣に報告するとともに、その論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨をインターネットの利用により公表するものとする。

（博士論文の公表）

第13条 博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を授与された日から1年以内に当該博士論文の全文を公表しなければならない。ただし、当該博士の学位を授与される前に既に公表したときは、この限りでない。

2 前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者は、やむを得ない事由がある場合には、本学の承認を得て、当該博士論文の全文に代えてその内容を要約したものを公表することができる。この場合において、本学は、当該博士論文の全文を求めに応じて閲覧に供するものとする。

3 博士の学位を授与された者が行う前2項の規定による公表は、本学を通じて、インターネットの利用により行うものとする。

（学位名称の使用）

第14条 本学の学位を授与された者が、学位の名称を用いるときは、本学の名称を付記するものとする。

（学位授与の取消）

第15条 学長は、学位を授与された者が、不正の方法により学位の授与を受けた事実が判明したときは、当該研究科の教授会の議を経て、学位授与を取り消し、学位記を返還させ、かつ、その旨を公表するものとする。

（雑則）

第16条 この規程に定めるもののほか、学位の授与に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則**（施行期日）**

1 この規程は、平成25年6月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規程による改正後の学位規程（以下「新学位規程」という。）第12条の規定は、この規程の施行の日以後に博士の学位を授与した場合について適用し、同日前に博士の学位を授与した場合については、なお従前の例による。

3 新学位規程第13条の規定は、この規程の施行の日以後に博士の学位を授与された者について適用し、同日前に博士の学位を授与された者については、なお従前の例による。

様式第1号（第11条関係）（博士前期課程を修了した場合）

修第 号	
学 位 記	
氏 名	
年 月 日生	
本学大学院○○○研究科○○○専攻の博士前期課程を修了したので修士(○○)の学位を授与する	
平成 年 月 日	
奈良先端科学技術大学院大学長	
大学の印	学長名 学長の印

(注1) 用紙の大きさは、A4版とする。

NARA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY	
Hereby confers the degree of Master of (専攻分野の名称)	
Upon	
(氏 名) (Surname) (Givenname)	
(Date of Birth)	
for having successfully completed the Master's Program in the Graduate School of (研究科名) on this day, (年月日)	
Official Seal of the Institute	President's Seal
	(学長署名) (学長名) President
Masterdom No. : (番号)	

(注1) 用紙の大きさは、A4版とする。

様式第2号（第11条関係）（博士後期課程を修了した場合）

博第 号	
学 位 記	
氏 名	
年 月 日生	
本学大学院○○○研究科○○○専攻の博士後期課程を修了したので博士(○○)の学位を授与する	
平成 年 月 日	
奈良先端科学技術大学院大学長	
大学の印	学長名 学長の印

(注1) 用紙の大きさは、A4版とする。

NARA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY	
Hereby confers the degree of Doctor of (専攻分野の名称)	
Upon	
(氏 名) (Surname) (Givenname)	
(Date of Birth)	
for having successfully completed the Doctorate Program in the Graduate School of (研究科名) on this day, (年月日)	
Official Seal of the Institute	President's Seal
	(学長署名) (学長名) President
Doctorate No. : (番号)	

(注1) 用紙の大きさは、A4版とする。

様式第3号（第11条関係）（第3条第3項の規定により授与する場合）

<p style="text-align: center;">博第 号</p> <p style="text-align: center;">学 位 記</p> <p style="text-align: center;">氏 名</p> <p style="text-align: center;">年 月 日生</p> <p>本学に学位論文を提出し所定の審査に合格したので博士(〇〇)の学位を授与する</p> <p>平成 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">奈良先端科学技術大学院大学長</p> <p style="text-align: center;">学長名 学長の印</p> <p>大学の印</p>	<p style="text-align: center;">NARA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY</p> <p style="text-align: center;">Hereby confers the degree of Doctor of (専攻分野の名称)</p> <p style="text-align: center;">Upon</p> <p style="text-align: center;">(氏 名) (Surname) (Givenname)</p> <p style="text-align: center;">_____ (Date of Birth)</p> <p style="text-align: center;">for having submitted a Doctoral Dissertation and having passed the Prescribed Evaluation on this day, (年月日)</p> <p style="text-align: center;">Official Seal of the Institute President's Seal</p> <p style="text-align: right;">(学長署名) (学長名) President</p> <p>Doctorate No. : (番号)</p>
--	---

(注1) 用紙の大きさは、A4版とする。

(注1) 用紙の大きさは、A4版とする。

Degree Regulations of Nara Institute of Science and Technology

April 1, 2004
Regulations No. 19

Article 1 (Purpose)

The purpose of these Regulations is to stipulate matters relating to conferral of degrees by the Nara Institute of Science and Technology (“NAIST”) pursuant to Article 44-3 of the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology (2004 Regulations No. 1) (“NAIST Regulations”).

Article 2 (Degree types and majors)

1. Degrees conferred by NAIST shall be master’s degrees and doctoral degrees.
2. The name of the Graduate School and the major shown in the following table shall be specified in the degree certificate.

Graduate School	Major
Information Science	Science or Engineering
Biological Sciences	Biological Science
Materials Science	Science or Engineering

Article 3 (Degree requirements)

1. A master’s degree shall be conferred to students who have completed the Master’s Course at NAIST.
2. A doctoral degree shall be conferred to students who have completed the Doctoral Course at NAIST.
3. In addition, a doctoral degree may be conferred to individuals who have passed the doctoral thesis examination and been recognized as having academic ability equivalent to or greater than that of a student who has completed the Doctoral Course at NAIST (individuals who have passed the “Examination of Academic Ability”).

Article 4 (Submission of thesis)

1. To complete the Master’s Course, students shall submit a master’s thesis together with the

prescribed application form for thesis examination to the Dean of the relevant Graduate School and take the final examination.

2. Examination of research results on specified themes may be conducted in place of the master's thesis examination specified in the foregoing subsection.
3. To complete the Doctoral Course, students shall submit a doctoral thesis together with the prescribed application form for thesis examination, list of related papers, abstract of the thesis and curriculum vitae to the Dean of the relevant Graduate School and take the final examination.
4. To receive a doctoral degree pursuant to the provision of subsection 3 of Article 3, students shall specify the major to be indicated in the degree certificate, and pay the thesis examination fee when submitting a degree application form, doctoral thesis, list of related papers, abstract of the thesis, and curriculum vitae to the President.
5. The thesis examination fee shall be 57,000 yen.
6. Upon receipt of the documents specified in subsection 4 of this Article, the President shall forward the documents to the Dean of the relevant Graduate School according to the major specified by the student.
7. Thesis and other documents, once submitted, shall not be returned, and the thesis examination fee, once paid, shall not be refunded.

Article 5 (Thesis)

1. One thesis shall be accepted for degree examination. Students shall submit one copy per master's thesis and three copies per doctoral thesis, provided, however that additional papers may be attached to the thesis for reference.
2. The Dean of the relevant Graduate School may request submission of a translation of the thesis, model, specimen, or other materials if necessary for the thesis examination.

Article 6 (Final examination and Examination of Academic Ability)

1. The final examination shall be conducted by means of a written or oral examination on specialized topics relating to the thesis.
2. The Examination of Academic Ability specified in Article 3-3 above shall be conducted by means of a written or oral examination on the academic subjects relating to the doctoral thesis and on foreign language.

Article 7 (Screening Committee)

1. The Faculty Councils of the respective Graduate Schools shall have a Screening Committee for evaluating theses and conducting the final examination and Examination of Academic Ability.

2. Each of the Screening Committees shall consist of at least two faculty members of the respective Graduate School and common educational and research institution, provided, however, that the Committee members shall include two professors thereof.
3. Each of the Screening Committees shall have a chief referee.
4. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection 2, faculty members of other Graduate Schools of NAIST or other graduate schools or research institutions outside of NAIST may be invited to join the Screening Committee if doing so is deemed necessary by the Faculty Council of the Graduate School for screening purposes.
5. Evaluation of doctoral theses submitted pursuant to Article 4-4 and the Examination of Academic Ability shall be completed within one year after the submission thereof, provided, however, that such a period may be extended if there is a special reason, subject to deliberation by the relevant Graduate School.

Article 8 (Notification of results)

1. The Screening Committee involved in conferral of master's degrees shall notify the Faculty Council of the relevant Graduate School of its decision as to whether to confer a master's degree or not in writing, immediately after completion of the evaluation of thesis and final examination.
2. The Screening Committee involved in conferral of doctoral degrees shall notify the Faculty Council of the relevant Graduate School of its decision in writing by specifying whether to confer a doctoral degree or not in the following documents, immediately after completion of the evaluation of thesis and final examination:
 - (1) Abstract of the thesis submitted pursuant to Article 4-3, summary of the evaluation of the thesis and summary of the results of the final examination
 - (2) Abstract of the thesis submitted pursuant to Article 4-4, summary of the evaluation of the thesis and summary of the results of the Examination of Academic Ability

Article 9 (Deliberation by Faculty Council)

The Faculty Council of each of the Graduate Schools shall discuss whether to confer a degree or not based on the notification specified in the foregoing article.

Article 10 (Notification of conclusion)

The Dean of the relevant Graduate School shall notify the President of the conclusion of the deliberation reached by the Faculty Council thereof in writing.

Article 11 (Conferral of degree)

1. The President shall confer a degree to the student who has been approved to receive the degree based on the notification specified in the foregoing article.
2. The format of a degree certificate shall be Form No. 1, Form No. 2 or Form No. 3 shown separately.
3. If it has been decided not to confer a degree to a certain student, the President shall notify the student of the decision.

Article 12 (Publication of abstract of doctoral thesis)

Within three months after conferring a doctoral degree, the President shall notify the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology of the conferral and make the abstract of the doctoral thesis and the summary of the results of the evaluation of the thesis public via the internet .

Article 13 (Publication of doctoral thesis)

1. The recipient of a doctoral degree shall make his or her doctoral thesis public within one year after receipt thereof, provided, however, that this provision shall not apply if the thesis has been made public prior to the receipt thereof.
2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, a recipient of a doctoral degree may make the abstract of his or her doctoral thesis public instead of the full text, subject to approval of NAIST, if there is a justifiable reason. In this case, NAIST shall allow access to the full text of the doctoral thesis when requested.
3. The public release established in the previous two clauses for doctoral degree recipient, shall be conducted via NAIST and the internet.

Article 14 (Reference to the degree)

When an individual who has been conferred a degree from NAIST refers to his or her degree, the name of NAIST shall be also mentioned together with the degree.

Article 15 (Withdrawal of a degree)

If it transpires that an individual was conferred a degree by NAIST by fraudulent means, the President shall withdraw the degree, have the degree certificate returned, and make public the fact, following the deliberation by the Faculty Council of the relevant Graduate School.

Article 16 (Miscellaneous provision)

Other matters relating to conferral of degrees shall be provided for separately.

Supplementary provisions

These Regulations shall come into effect on April 1, 2004.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on June 1, 2013.

(Transitional measures)

2. The revised degree regulations (hereinafter referred to as “new degree regulations”) outlined in Article 12 shall apply to those who have been conferred the doctoral degree on or after the date of regulation revision. However, for those who were conferred the doctoral degree prior to the date of revision, the regulations in force at the time of conferment shall apply.
3. The revised degree regulations outlined in Article 13 shall apply to those who have been conferred the doctoral degree on or after the date of regulation revision. However, for those who were conferred the doctoral degree prior to the date of revision, the regulations in force at the time of conferment shall apply.

Form No. 1 (Refer to Article 11) (To be issued for the degree conferred upon completion of the Master’s Course)

修第	号
学位記	
氏名	
年	月 日 生
本学大学院□□□研究科○○○専攻の博士前期 課程を修了したので修士(○○)の学位を授与する	
平成 年 月 日	
奈良先端科学技術大学院大学長	
大学の印	学長名 学長の印

(Note 1) The sheet is A4-sized.

NARA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY	
hereby confers the degree of Master of (専攻分野の名称)	
Upon	
(氏	名)
(Surname)	(Given name)

(Date of birth)	
for having successfully completed the Master’s Program in the Graduate School of (研究科名) on this day, (年月日)	
Official Seal of the Institute	President’s Seal
	(学長署名) (学長名) President
Masterdom No.: (番号)	

(Note 1) The sheet is A4-sized.

Form No. 2 (Refer to Article 11) (To be issued for the degree conferred upon completion of the Doctoral Course)

博第	号
学位記	
氏名	
年 月 日生	
<p>本学大学院○○○研究科○○○専攻の博士後期課程を修了したので博士(○○)の学位を授与する</p>	
平成 年 月 日	
奈良先端科学技術大学院大学長	
大学の印	学長名 学長の印

(Note 1) The sheet is A4-sized.

NARA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY	
hereby confers the degree of Doctor of (専攻分野の名称)	
Upon	
(氏	名)
(Surname)	(Given name)
_____ (Date of birth)	
<p>for having successfully completed the Doctoral Program in the Graduate School of (研究科名) on this day, (年月日)</p>	
Official Seal of the Institute	President's Seal
	(学長署名) (学長名) President
Doctorate No.: (番号)	

(Note 1) The sheet is A4-sized.

Form No. 3 (Refer to Article 11.) (To be issued for the degree conferred pursuant to Article 3-3)

博第	号
学位記	
氏名	
年 月 日生	
<p>本学に学位論文を提出し所定の審査に合格したので 博士(○○)の学位を授与する</p>	
平成 年 月 日	
奈良先端科学技術大学院大学長	
大学の印	学長名 学長の印

(Note 1) The sheet is A4-sized.

NARA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY	
hereby confers the degree of Doctor of (専攻分野の名称)	
Upon	
(氏	名)
(Surname)	(Given name)
_____ (Date of birth)	
<p>for having submitted a Doctoral Dissertation and having passed the Prescribed Evaluation on this day, (年月日)</p>	
Official Seal of the Institute	President's Seal
	(学長署名) (学長名) President
Doctorate No.: (番号)	

(Note 1) The sheet is A4-sized.

学位授与までの日程

学位授与は、3ヵ月毎（3月、6月、9月、12月）に行われます。

博士前期課程

学位授与までのおよその日程を、3月に学位授与を行う場合を例として、次に表します。

日程	内容
1月中旬	論文審査願、特別課題研究審査願、課題研究審査願・論文等審査委員候補者名簿・電子化承諾書提出締切
1月下旬	研究科会議（論文等題目・論文等審査委員の承認）
2月中旬	修士論文、特別課題研究、課題研究要旨提出締切（[A 4 - 2枚]） 修士論文、特別課題研究報告書、課題研究報告書提出締切（草稿と論文等要旨を各審査委員に提出）
2月下旬	発表会、判定会議
2月末	論文等審査結果報告書等提出締切
3月中旬	教授会（審査の報告・審議・議決）
3月中旬	修士論文等（清書）提出締切 修士論文等（清書）のPDF版を学術情報課に提出

修士論文、特別課題研究報告書、課題研究報告書を、論文等と記載してあります。

博士後期課程

博士論文の提出から論文審査および学位授与の日程は、下表のとおりです。
教授会の開催の有無によって、日程が少し変更になる可能性もあります。

	内容	
(1)	研究科会議で審査会設置の可否、審査員（4～5名）の選定	審議書類【①論文審査委員候補者名簿、②論文目録、③論文要旨、④論文審査願、⑤履歴書、⑥同意承諾書（原著論文が他機関との共著の場合、原則として各他機関共著者に付き1通）】を、研究科会議議事提出締切日前日までに <u>主指導教員</u> が教務委員長に提出。
(2)	博士論文（審査用）の提出	博士論文（審査用）と、上記(1)の②論文目録、③論文要旨を、別途定める締切日までに <u>当該学生</u> が <u>審査委員</u> に提出。
(3)	教授会で審査委員の報告	上記(1)で選出された審査委員を、上記の会議終了後、最も早く開催される教授会で報告。
(4)	研究科会議（判定会議）で最終審査報告と学位授与判定	審議書類【学位論文の審査過程、⑦博士学位論文審査及び最終試験結果報告書*1、⑧論文審査結果の要旨*1、⑨「博士論文の著作権について」、⑩「博士論文公表延期願」、⑪「博士論文の内容を要約したもの」（1年以内にインターネットによる公開ができない場合のみ⑩、⑪が必要）】を、主指導教員が研究科会議議事提出締切日前日までに、 <u>教務委員長</u> に提出。 （*1印の書類はコピーを提出し、本紙は(5)で提出する）
(5)	教授会で学位授与の決定	審議書類【⑦博士学位論文審査及び最終試験結果報告書、⑧論文審査結果の要旨#、⑫論文内容の要旨#、⑬最終試験結果の要旨、研究指導認定報告書（学生課より配布）、⑭短期修了者推薦報告書】を、教授会の2日前までに、各研究室単位で主指導教員が研究科事務室まで提出。 （#印の書類はWEB公開）
(6)	博士論文の提出	博士論文及び要旨、要約（該当者のみ）のPDFファイルを、学位授与式の1週間前までに、本学図書館に提出
(7)	学位授与	

注 1) (1)と(4)までの間に、審査委員会は公聴会の開催と最終審査を実施します。ただし、公聴会のアナウンスは、研究科長より開催1週間前までに行います。

注 2) 博士論文提出時の条件にかかる原著論文のアクセプト時期は、原則として、別途定める日時までとします。

注 3) 博士論文提出条件3(b)による者に対する学位論文予備審査の期日は別途定めることとします。

注 4) 「博士論文公表延期願」を提出した場合でも、博士論文は本学図書館内、国立国会図書館内において閲覧に供されます。

注 5) 「博士論文の内容を要約したもの」は、「論文要旨」とは別途、博士論文の要点と結論に至るまでの内容を短くまとめたものを作成し、指導教員の確認を得たうえで提出してください。

注 6) 各番号の書類書式等は、物質創成科学研究科学内ホームページに掲載されています。

平成26年度 博士学位授与までの日程

博士論文の提出から論文審査および学位授与の日程は、下表のとおりです。教授会の開催の有無等によって、日程が少し変更になる可能性もあります。

(1)		(2)		(3)		(4)		(5)		(6)		(7)	
審査委員会 設置		博士論文 提出		審査委員 報告		原著論文 アクセプト		審査報告 授与判定		授与決定		博士論文の 提出	
6月授与 書類締切	4月の 研究科会議 4/22	4月の 研究科会議 終了後の 最初の金曜日 4/25	↑	6月の 教授会で 報告	↑	5/16(金) 17:00	↑	5月の 研究科会議 5/20	↑	6月の 教授会で 決定	↑	6/18(水)	6/25(水)
	前週(木)												
9月授与 書類締切	6月の 研究科会議 6/24	6月の 研究科会議 終了後の 最初の金曜日 6/27	↑	7月の 教授会で 報告	↑	8/15(金) 17:00	↑	8月の 研究科会議 8/26	↑	8月の 教授会で 決定	↑	9/18(木)	9/25(木)
	前週(木)												
12月授与 書類締切	9月の 研究科会議 9/24	9月の 研究科会議 終了後の 最初の金曜日 9/26	↑	10月の 教授会で 報告	↑	11/14(金) 17:00	↑	11月の 研究科会議 11/25	↑	12月の 教授会で 決定	↑	12/15(月)	12/22(月)
	前週(木)												
3月授与 書類締切	12月の 研究科会議 12/24	1/6(火)	↑	2月までに 開催される 教授会で 報告	↑	2/20(金) 17:00	↑	2月の 研究科会議 2/24	↑	3月の 教授会で 決定	↑	3/17(火)	3/24(火)
	前週(木)												

各日付は、締切日(時)を示す。

注1) 公聴会の開催には、博士論文提出後少なくとも1週間を有する。

注2) (1)と(4)までの間に、審査委員会は公聴会の開催と最終審査を実施する。ただし、公聴会のアナウンスは、研究科長より開催1週間前までに行う。

注3) 博士論文提出時の条件にかかる原著論文のアクセプト時期は、原則として、別途定める日時までとする。

注4) 各番号の書類書式等は、物質創成科学研究科学内ホームページに掲載されている。

注5) (2)博士論文提出の日程については、研究科会議日程等が確定次第公告するので留意すること。

注6) 3月学位授与の公聴会は、19日(月)～23日(金)にて開催。

注7) 博士論文(電子版)を、学位授与式の1週間前までに、本学図書館に提出

Schedule for awarding of a degree

Degrees will be awarded on a quarterly basis (in March, June, September, or December).

Master's Course

The table below shows the rough schedule for the awarding of a degree. In the example below, a degree is to be awarded in March.

Timeline	Details
Mid-January	Deadline for submitting an application form for thesis examination, special thematic research examination, or thematic research examination; a list of Thesis, etc. Doctoral Thesis Examining Committee candidate members; a form of approval for publishing a thesis in electronic format
Late January	A graduate school meeting (approval of the titles of theses, etc./Thesis, etc. Doctoral Thesis Examining Committee members)
Mid-February	Deadline for submitting an abstract of a master's thesis, special thematic research report, or thematic research report (two sheets of A4 paper) Deadline for submitting a master's thesis, special thematic research report, or thematic research report (Students are required to submit a draft and an abstract of their thesis, etc. to respective examination members.)
Late February	Presentation sessions/a meeting to determine whether to award a degree
End of February	Deadline for submitting reports regarding thesis, etc. examination results
Mid-March	A Faculty Council meeting (delivering reports, holding discussions, and making resolutions about the examination results)
Mid-March	Deadline for submitting master's thesis, etc. (final version) Submitting PDF files of master's thesis, etc. (final version) to the Academic Information Division

“Thesis, etc.” means a master's thesis, special thematic research report, and thematic research report.

Doctoral Course

The table below shows the schedule from submission of a doctoral thesis, to thesis examination and awarding of a degree. The schedule is subject to slight change depending on whether a Faculty Council meeting is held or not.

	Details	
(1)	A graduate school meeting determines whether the Doctoral Thesis Examining Committee can be set up, and selects examination members (four to five individuals).	<p><u>Main research supervisors</u> submit to the Director of the Administration Committee the following documents required for discussion by the day before the deadline for submitting the minutes of the graduate school meeting:</p> <ul style="list-style-type: none"> (i) Doctoral Thesis Examining Committee List (ii) List of Research Papers (iii) Doctoral Thesis Summary (iv) Application Form for Doctoral Thesis Examination (v) Resume (vi) Acceptance of Distribution Terms, Letter of Consent (If an original thesis is prepared with co-authors at other institutions, attach a form for each co-author at other institutions, in principle.)
(2)	Submission of doctoral thesis (for examination)	<p><u>Students</u> submit to the Doctoral Thesis Examining Committee <u>members</u> a doctoral thesis (for examination), (ii) List of Research Papers, (iii) and Doctoral Thesis Summary by the separately-set deadline.</p>
(3)	Delivering a report about the Doctoral Thesis Examining Committee members at a Faculty Council meeting	A report is delivered by the Doctoral Thesis Examining Committee members selected in (1) above at the first Faculty Council meeting held after the end of the above graduate school meeting.
(4)	Delivering a report about the results of the final examination and determining whether to award a degree at a graduate school meeting	<p>Main research instructors submit to <u>the Director of the Administration Committee</u> the following documents required for discussion by the day before the deadline for submitting the minutes of the graduate school meeting:</p> <p>A document showing the doctoral thesis examination process</p> <ul style="list-style-type: none"> (vii) Report on Doctoral Thesis Examination and Final Examination^{*1} (viii) Summary of Thesis Examination Results^{*1} (ix) About Copyright of Doctoral Thesis (x) Application Form for Postponement of Release of Doctoral Thesis on the web. (xi) Summary of Contents of Doctoral Thesis ((x) and (xi))

		are necessary for the case when the doctoral thesis cannot be released within one year) (For documents marked with * ¹ , submit photocopies; submit original documents in (5).)
(5)	Making a decision at Faculty Council meeting to award a degree	Main research supervisors in respective courses submit to the Administrative Office of the Graduate School of Materials Science the following documents required for discussion at least two days before the Faculty Council meeting: (vii) Report on Doctoral Thesis Examination and Final Examination (viii) Summary of Thesis Examination Results [#] (xii) Summary of Doctoral Thesis [#] (xiii) Summary of Final Examination Results, a research guidance certification report (distributed by the Student Affairs Division) (xiv) Recommendation Report for Students completing Courses Early (The documents marked with [#] will be released on the web.)
(6)	Submission of doctoral thesis	Submit pdf files of the doctoral thesis, summary, and summary of contents (students who hand in (x)) to the NAIST library office for archiving by one week in advance of awarding a degree.
(7)	Awarding of a degree	

Note 1: During the period from (1) to (4), the Doctoral Thesis Examining Committee holds public hearings and conducts final examinations. The schedule of the public hearings will be announced by the dean of the graduate school at least one week before such public hearings are held.

Note 2: In principle, the original thesis that is required when submitting a doctoral thesis must be received by the separately-set deadline (date and time).

Note 3: The schedule of the doctoral thesis preliminary examination shall be set separately for students who meet the doctoral thesis submission condition 3(b).

Note 4: The doctoral thesis will be available at the NAIST library and National Diet Library, even when handing in “Application Form for Postponement of Release of Doctoral Thesis on the web”.

Note 5: “Summary of Contents of Doctoral Thesis” is different from “Summary of Doctoral Thesis”. It should be approved by the main-supervisor.

Note 6: The files with numbering can be found on the Graduate School of Materials Science web site.

Schedule for awarding of a doctoral degree in academic year 2014

The table below shows the schedule from submission of a doctoral thesis, to thesis examination and awarding of a degree. The schedule is subject to slight change depending on whether a Faculty Council meeting is held or not.

(1)		(2)		(3)		(4)		(5)		(6)		(7)				
Doctoral Thesis Examining Committee set up		Submission of doctoral thesis		Delivering a report about the Doctoral Thesis Examining Committee members		Original theses accepted		Examination results reported Meeting held to determine whether to award a degree		Decisions made to award a degree		Awarding of a degree		Submission of doctoral thesis		
Degree to be awarded in June	↑	Graduate school meeting in April	↑	Delivering a report at a Faculty Council meeting in June	↑	17:00 on Friday, May 16	↑	Graduate school meeting in May	↑	Decisions made at a Faculty Council meeting in June	↑	Wednesday, June 18	↑	Wednesday, June 25		
Submission deadline		Apr. 22	On Thursday in the previous week					May 20	On Thursday in the previous week							
Degree to be awarded in September	↑	Graduate school meeting in June	↑	Delivering a report at a Faculty Council meeting in July	↑	17:00 on Friday, August 15	↑	Graduate school meeting in August	↑	Decisions made at a Faculty Council meeting in August	↑	Thursday, September 18	↑	Thursday, September 25		
Submission deadline		Jun. 24	On Thursday in the previous week					Aug. 26	On Thursday in the previous week							
Degree to be awarded in December	↑	Graduate school meeting in September	↑	Delivering a report at a Faculty Council meeting in October	↑	17:00 on Friday, November 14	↑	Graduate school meeting in November	↑	Decisions made at a Faculty Council meeting in December	↑	Monday, December 15	↑	Monday, December 22		
Submission deadline		Sep. 24	On Thursday in the previous week					Nov. 25	On Thursday in the previous week							
Degree to be awarded in March	↑	Graduate school meeting in December	↑	Delivering a report at a Faculty Council meeting to be held by February	↑	17:00 on Friday, February 20	↑	Graduate school meeting in February	↑	Decisions made at a Faculty Council meeting in March	↑	Tuesday, March 17	↑	Tuesday, March 24		
Submission deadline		Dec. 24	On Thursday in the previous week					Feb. 24	On Thursday in the previous week							

Date and time in the table show the deadline.

Note 1: After submission of a doctoral thesis, it takes at least one week to hold a public hearing.

Note 2: During the period from (1) to (4), the Doctoral Thesis Examining Committee holds public hearings and conducts final examinations. The schedule of the public hearings will be announced by the dean of the graduate school at least one week before such public hearings are held.

Note 3: In principle, the original thesis that is required when submitting a doctoral thesis must be received by the separately-set deadline (date and time).

Note 4: Document forms, etc. indicated with Roman numerals are available on the website of the Graduate School of Materials Science (accessible only by NAIST students).

Note 5: The schedule of doctoral thesis submission (2) will be publicly announced as soon as the graduate school meeting schedule, etc. is fixed. Students are advised to keep themselves properly informed.

6 物質創成科学研究科授業時間割一覽等

平成26年度物質創成科学研究科授業科目及び担当教員一覧

博士前期課程

区分	授業科目名	単位数	担当教員	授業時期	総授業時間数	備考
共通科目	アルゴリズムI	1	井上	4~5月	15	全学共通科目
	アルゴリズムII	1	松本(裕)、他	5~6月	15	全学共通科目
	計算機システムI	1	中島	4~5月	15	全学共通科目
	計算機システムII	1	安本、他	5~6月	15	全学共通科目
	バイオサイエンス概論	1	真木、他	5~6月	15	全学共通科目
	物質創成科学概論	1	香月・荒谷	5~6月	15	全学共通科目
	科学技術論・科学技術者論	1	太田	6~7月	15	全学共通科目
	科学哲学	1	(中尾)	7~8月	15	全学共通科目
	技術と倫理	1	(上田)	10~11月	15	全学共通科目
	科学コミュニケーション	1	別所	10~11月	15	全学共通科目
一般科目	物質科学解析	1	石墨・富田・武田・笹川 堀田・山崎・上沼・長尾	4月	15	
	物質科学英語 I	1	McDowell	4~7月 9~11月	15	
	物質科学英語 IIA	1	McDowell	10~11月	15	単位修得した場合、博士後期課程で「物質科学英語 IIB」は単位認定しない。
	物質科学英語 IIIA	1	McDowell	12月	15	単位修得した場合、博士後期課程で「物質科学英語 IIIB」は単位認定しない。
	物質科学と倫理	1	(飯沼)	6~7月・9月	15	
	科学技術政策と知的財産	1	井上・(大竹・松尾)	6~7月	15	
	サイエンスリテラシー	1	菊池・河合・山田	秋学期	15	
	技術ベンチャー論	1	(光井)	6~7月	15	
	技術経営	1	(光井)	8月	15	
基礎科目	光ナノサイエンス概論 I	1	各研究室教員	4月	15	
	光ナノサイエンス概論 II	1	各研究室教員	4月	15	
	光ナノサイエンスコア I	1	服部・中村 重城・小林・片山・(池田和)	4月	15	
	光ナノサイエンスコア II	1	服部・細糸・中村 野田・谷本	4~5月	15	
	光ナノサイエンスコア III	1	柳・河合・上久保 西山・寺田・湯浅・野々口	4月	15	
	光ナノサイエンスコア IV	1	柳・(池田篤) 田原・山中・葛原	4月	15	
	光と電子特講 I	1	(EC)稲垣・松井 (AC)大門・服部・細糸	5月	15	
	光と電子特講 II	1	(EC)徳田・松井 (AC)大門・香月・細糸	5~6月	15	
	光と分子特講 I	1	(EC)谷原・森本・安藤 (AC)藤木・廣田・中嶋	5月	15	
	光と分子特講 II	1	(EC)廣田・(池田篤)・松尾 (AC)垣内・菊池・中嶋	5~6月	15	
	先端融合物質科学 I	1	(EC)稲垣・松井 (AC)大門・服部・細糸	5月	15	
	先端融合物質科学 II	1	(EC)谷原・森本・安藤 (AC)藤木・廣田・中嶋	5月	15	
	先端融合物質科学 III	1	(EC)徳田・松井 (AC)大門・香月・細糸	5~6月	15	
	先端融合物質科学 IV	1	(EC)廣田・(池田篤)・松尾 (AC)垣内・菊池・中嶋	5~6月	15	

区分	授業科目名	単位数	担当教員	授業時期	総授業時間数	備考
基礎科目	現代量子力学特論	1	稲垣	6～7月	15	
	先端半導体工学	1	浦岡・石河	6～7月	15	
	先端光電子工学	1	太田	6～7月	15	
	先端電子材料工学	1	浦岡・石河	6～7月	15	
	現代有機化学特論	1	山田・森本	6～7月	15	
	先端高分子化学特論	1	藤木・安藤	6～7月	15	
	現代無機化学特論	1	松尾・(矢野重)	6～7月	15	
	先端生化学	1	谷原・上久保	6～7月	15	
専門科目	光・磁気物性特論	1	柳・香月・細糸	9～10月	15	
	電子原子物性特論	1	大門・服部・稲垣・松井	9～10月	15	
	フォトニクス特論	1	太田・冬木・徳田	9～10月	15	
	情報素子工学特論	1	浦岡・石河・中村	9～10月	15	
	分子フォトサイエンス特論	1	河合・山田・中嶋・荒谷	9～10月	15	
	先端反応構造化学特論	1	藤木・垣内・森本・谷本・西山	9～10月	15	
	生体機能物質特論	1	菊池・安藤・安原・田原・寺田	9～10月	15	
	生物物質科学特論	1	廣田・上久保・松尾・細川	9～10月	15	
	先端物質科学技術特論	1	連携研究室教員	9～10月	15	
	物質科学特論 I	1	(木口)	秋学期	15	
	物質科学特論 II	1	(宮崎)	秋学期	15	
	物質科学特論 III	1	(水野・中野)	秋学期	15	
	物質科学特論 IV	1	(増田・徳富)	秋学期	15	
物質科学実験・実習	2	各研究室教員	4～5月	60		
ゼミナール A	1	配属研究室教員		15		
ゼミナール B	2	配属研究室教員		30		
融合ゼミナール A	1	各研究室教員		15		
融合ゼミナール B	2	各研究室教員		30		
研究論文	6	配属研究室教員				
特別課題研究	5	配属研究室教員				
課題研究	4	配属研究室教員				

担当教員の()は、非常勤講師を示す。

(注)：日程の詳細は、後日発表する。

平成26年度物質創成科学研究科授業科目及び担当教員一覧

博士後期課程

区分	授業科目名	単位数	担当教員	授業時期	総授業時間数	備考
国際化科目	物質科学英語 IIB	1	McDowell	9月 - 10月	15	博士前期課程で「物質科学英語 IIA」を単位修得した者は単位認定しない。
	物質科学英語 IIIB	1	McDowell	11月	15	博士前期課程で「物質科学英語 IIIA」を単位修得した者は単位認定しない。
	物質科学英語研修	2	国際交流委員長	1月	30	
	サイエンスリテラシー上級 I	1	配属研究室教員	通年	15	
	サイエンスリテラシー上級 II	1	配属研究室教員	通年	15	
	国際インターンシップ	2	国際交流委員長	通年	30	
	融合インターンシップ	1	配属研究室教員	通年	15	
	光ナノサイエンス特講	1	教務委員長	通年	15	
融合専門科目	物質科学融合特講	1	大門・冬木・香月・徳田・中嶋・荒谷・(杉山)	10月 - 12月	15	
提案型演習科目	リサーチマネジメント演習 A	1	教務委員長	通年	15	
	リサーチマネジメント演習 B	1	教務委員長	通年	15	
	リサーチマネジメント演習 C	1	配属研究室教員	通年	15	
	先端物質科学演習	2	配属研究室教員	通年	30	
融合ゼミナール	特別融合科学ゼミナール A	1	教務委員長	秋学期	15	
	特別融合科学ゼミナール B	1	教務委員長	秋学期	15	
	特別融合科学ゼミナール C	1	教務委員長	秋学期	15	
総合探求	特別物質科学講究	6	配属研究室教員	通年		

担当教員の()は、非常勤講師を示す。
(注)：日程の詳細は、後日発表する。

List of subjects and faculty members in charge for the Graduate School of Materials Science in academic year 2014

Master's Course

Category	Subject	Number of credits	Lecturer	Class period	Total number of classes	Remarks
Common Subjects	Computer System I	1	Nakashima	April-May	15	Common Subjects for All Graduate Schools
	Computer System II	1	Yasumoto(others)	May-June	15	Common Subjects for All Graduate Schools
	Algorithm I	1	Inoue	April-May	15	Common Subjects for All Graduate Schools
	Algorithm II	1	Matsumoto(others)	May-June	15	Common Subjects for All Graduate Schools
	Introduction to Biological Science	1	Maki(others)	May-June	15	Common Subjects for All Graduate Schools
	Introduction to Materials Science	1	Katsuki·Aratani	May-June	15	Common Subjects for All Graduate Schools
	Perspectives on Science and Technology	1	Ohta	June-July	15	Common Subjects for All Graduate Schools
	Philosophy of Science	1	(Nakao)	July-August	15	Common Subjects for All Graduate Schools
	Technology and Professional Ethics	1	(Ueda)	October-November	15	Common Subjects for All Graduate Schools
	Science Communication	1	Bessho	October-November	15	Common Subjects for All Graduate Schools
General Subjects	Mathematical Analyses for Materials Science	1	Ishizumi · Tomita · Takeda · Sasagawa · Horita · Yamazaki · Uenuma · Nagao	April	15	
	Materials Science English I	1	McDowell	April-July September-November	15	
	Materials Science English IIA	1	McDowell	October-November	15	If credit is received for this subject, students may not earn credits in Material Science English IIB (doctoral program).
	Materials Science English IIIA	1	McDowell	December	15	If credit is received for this subject, students may not earn credits in Material Science English IIIB (doctoral program).
	Materials Science and Ethics	1	(Inuma)	June-July/ September	15	
	Science & Technology Policy and Intellectual Property	1	Inoue · (Ohtake · Matsuo)	June-July	15	
	Science Literacy	1	Kikuchi · Kawai · Yamada	Autumn semester	15	
	Technology Entrepreneurship and Commercialization	1	(Mitsui)	June-July	15	
	Management of Technology	1	(Mitsui)	August	15	
Basic Subjects	Opto-Nano Science I	1	Faculty members of respective courses	April	15	
	Opto-Nano Science II	1	Faculty members of respective courses	April	15	
	Opto-Nano Science Core I	1	Hattori · Nakamura Jujo · Kobayashi · Katayama · (Ikeda.k)	April-May	15	
	Opto-Nano Science Core II	1	Hattori · Hosoi · Nakamura Noda · Tanimoto	April-May	15	
	Opto-Nano Science Core III	1	Yanagi · Kawai · Kamikubo Nishiyama · Terada · Uasa · Nonoguchi	April	15	
	Opto-Nano Science Core IV	1	Yanagi · (Ikeda.a) Tahara · Yamanaka · Kuzuhara	April-May	15	

Category	Subject	Number of credits	Lecturer	Class period	Total number of classes	Remarks
Basic Subjects	Solid State Physics I	1	(EC)Inagaki · Matsui (AC)Daimon · Hattori · Hosoito	May	15	
	Solid State Physics II	1	(EC)Tokuda · Matsui (AC)Daimon · Katsuki · Hosoito	May-June	15	
	Organic Chemistry I	1	(EC)Tanihara · Morimoto · Ando (AC)Fujiki · Hirota · Nakashima	May	15	
	Physical Chemistry and Biochemistry II	1	(EC)Hirota · (Ikeda.a) · Matsuo (AC)Kakiuchi · Kikuchi · Nakashima	May-June	15	
	Advanced Materials Science I	1	(EC)Inagaki · Matsui (AC)Daimon · Hattori · Hosoito	May, autumn semester	15	
	Advanced Materials Science II	1	(EC)Tanihara · Morimoto · Ando (AC)Fujiki · Hirota · Nakashima	May, autumn semester	15	
	Advanced Materials Science III	1	(EC)Tokuda · Matsui (AC)Daimon · Katsuki · Hosoito	May, autumn semester	15	
	Advanced Materials Science IV	1	(EC)Hirota · (Ikeda.a) · Matsuo (AC)Kakiuchi · Kikuchi · Nakashima	May-June, autumn semester	15	
	Modern Quantum Mechanics	1	Inagaki	June-July	15	
	Advanced Semiconductor Engineering	1	Uraoka · Ishikawa	June-July	15	
	Advanced Optoelectronics	1	Ohta	June-July	15	
	Advance Electronics Materials Engineering	1	Uraoka · Ishikawa	June-July	15	
	Modern Organic Chemistry	1	Yamada · Morimoto	June-July	15	
	Advanced Polymer Chemistry	1	Fujiki · Ando	June-July	15	
	Modern Inorganic Chemistry	1	Matsuo · (Yano)	June-July	15	
	Advanced Biochemistry	1	Tanihara · Kamikubo	June-July	15	

Category	Subject	Number of credits	Lecturer	Class period	Total number of classes	Remarks
Specialized Subjects	Optical and Magnetic Properties of Matter Special	1	Yanagi • Katsuki • Hosoito	September-October	15	
	Electronic Properties and Atomic Structures of Solid and Surfaces Special	1	Daimon • Hattori • Inagaki • Matsui	September-October	15	
	Photonics Special	1	Ohta • Fuyuki • Tokuda	September-October	15	
	Information Device Special	1	Uraoka • Ishikawa • Nakamura	September-October	15	
	Molecular Photoscience Special	1	Kawai • Yamada • Nakashima • Aratani	September-October	15	
	Advanced Organic Reactions and Stereochemistry Special	1	Fujiki • Kakiuchi • Morimoto • Tanimoto • Nishiyama	September-October	15	
	Biofunctional Materials Special	1	Kikuchi • (Ikeda.a) • Ando • Terada	September-October	15	
	Biomaterials Science Special	1	Hirota • Kamikubo • Matsuo • Hosokawa	September-October	15	
	Advanced Industrial Science and Technology Special	1	Faculty members of collaborative courses	September-October	15	
	Materials Science Special I	1	(Kiguchi)	Autumn semester	15	
	Materials Science Special II	1	(Miyazaki)	Autumn semester	15	
	Materials Science Special III	1	(Mizuno • Nakano)	Autumn semester	15	
	Materials Science Special IV	1	(Masuda • Tokutomi)	Autumn semester	15	
Experiments in Materials Science	2	Faculty members	April-May	60		
Seminar A	1	Faculty members of assigned laboratory		15		
Seminar B	2	Faculty members of assigned laboratory		30		
Interdisciplinary Seminar A	1	Faculty members		15		
Interdisciplinary Seminar B	2	Faculty members		30		
Research Thesis	6	Faculty members of assigned laboratory				
Specialized Research on Materials Science	5	Faculty members of assigned laboratory				
Research on Materials Science	4	Faculty members of assigned laboratory				

Lecturers in charge (shown in parentheses) are part-time instructors

Note: The detailed schedule will be released at a later date.

List of subjects and faculty members in charge for the Graduate School of Materials Science in academic year 2014

Doctoral Course

Category	Subject	Number of credits	Lecturer	Class period	Total number of classes	Remarks
Internationalization subjects	Materials Science English IIB	1	McDowell	September-October	15	If credit is received for this subject, students may not earn credits in Material Science English IIA (master's program).
	Materials Science English IIIB	1	McDowell	November	15	If credit is received for this subject, students may not earn credits in Material Science English IIIA (master's program).
	Practical English for Materials Science	2	Chair of International exchange committee	January	30	
	Science Literacy (Advanced Course I)	1	Faculty members assigned to courses	One year	15	
	Science Literacy (Advanced Course II)	1	Faculty members assigned to courses	One year	15	
	International Internship	2	Chair of International exchange committee	One year	30	
	Interdisciplinary Internship	1	Faculty members assigned to courses	One year	15	
	Opto-Nano Science Special Lectures	1	Chair of Curriculum Committee	One year	15	
Interdisciplinary subjects	Interdisciplinary Materials Science	1	Daimon,Fuyuki,Katsuki, Tokuda,Nakashima, Aratani,(Sugiyama)	October-December	15	
Research Management	Research Management Exercise A	1	Chair of Curriculum Committee	One year	15	
	Research Management Exercise B	1	Chair of Curriculum Committee	One year	15	
	Research Management Exercise C	1	Faculty members assigned to courses	One year	15	
	Exercise in Advanced Materials Science	2	Faculty members assigned to courses	One year	30	
Interdisciplinary seminars	Seminar for Interdisciplinary Materials Science A	1	Chair of Curriculum Committee	Autumn semester	15	
	Seminar for Interdisciplinary Materials Science B	1	Chair of Curriculum Committee	Autumn semester	15	
	Seminar for Interdisciplinary Materials Science C	1	Chair of Curriculum Committee	Autumn semester	15	
General research	Interdisciplinary Materials Science	6	Faculty members assigned to courses	One year		

Lecturers in charge (shown in parentheses) are part-time instructors
 Note: A detailed schedule will be released separately.

H26年度物質創成科学研究科授業時間割一覽

月日	曜日	備考	1時限目	2時限目	3時限目	4時限目	5時限目	
4/1	火	春期休業						
4/2	水	春期休業						
4/3	木	春期休業						
4/4	金			入学式	入学者オリエンテーション		曼陀羅ガイダンス	
4/5	土							
4/6	日							
4/7	月	授業開始	TOEIC-IPテスト		物質科学解析-導入テスト	ネットワークガイダンス、安全教育		
4/8	火		物質科学解析-1	物質科学解析-2	物質科学解析-3	RI・X線講習会(新規)		
4/9	水		物質科学解析-4	物質科学解析-5	物質科学解析-6	光ナノサイエンス概論I-1.光ナノサイエンス概論I-2.光ナノサイエンス概論I-3		
4/10	木		物質科学解析-7	物質科学解析-8	光ナノコアI-1	光ナノサイエンス概論I-4.光ナノサイエンス概論I-5.光ナノサイエンス概論I-6		
4/11	金		物質科学解析-テスト	光ナノコアIII-1	光ナノコアI-2	計算機システムI-1	アルゴリズムI-1	
4/12	土							
4/13	日							
4/14	月		光ナノコアI-3	光ナノコアIII-2	光ナノコアIII-3	光ナノサイエンス概論I-7.光ナノサイエンス概論I-8.光ナノサイエンス概論I-9		
4/15	火		光ナノコアIII-4	光ナノコアI-4	光ナノコアI-5	計算機システムI-2	アルゴリズムI-2	
4/16	水		光ナノコアI-6	光ナノコアIII-5	光ナノコアIII-6	光ナノサイエンス概論I-10.光ナノサイエンス概論I-11.光ナノサイエンス概論I-12		
4/17	木		光ナノコアIII-7	光ナノコアI-7	光ナノコアI-8	光ナノサイエンス概論II-1.光ナノサイエンス概論II-2.光ナノサイエンス概論II-3		
4/18	金		光ナノコアIII-8	光ナノコアI-予備	光ナノコアIII-予備	計算機システムI-3	アルゴリズムI-3	
4/19	土							
4/20	日							
4/21	月		光ナノコアI-テスト	光ナノコアIII-テスト	光ナノコアII-1	光ナノサイエンス概論II-4.光ナノサイエンス概論II-5.光ナノサイエンス概論II-6		
4/22	火		光ナノサイエンス概論II-7.光ナノサイエンス概論II-8.光ナノサイエンス概論II-9		光ナノコアIV-1	計算機システムI-4	アルゴリズムI-4	
4/23	水		光ナノサイエンス概論II-10.光ナノサイエンス概論II-11.光ナノサイエンス概論II-12		研究室見学			
4/24	木	希望2回目	光ナノコアIV-2	光ナノコアII-2	安全教育(実1)	安全教育(実2)		
4/25	金		光ナノコアII-3	光ナノコアII-4	光ナノコアIV-3	計算機システムI-5	アルゴリズムI-5	
4/26	土							
4/27	日							
4/28	月	順位開示	光ナノコアIV-4	光ナノコアIV-5	光ナノコアII-5	光ナノコアII-6		
4/29	火	祝日						
4/30	水		光ナノコアIV-6	光ナノコアIV-7	光ナノコアIV-8	光ナノコアII-予備		
5/1	木		光ナノコアII-7	光ナノコアII-8	研究室見学			
5/2	金	希望3回目	安全教育(実3)	安全教育(実4)	光ナノコアIV-予備	計算機システムI-6	アルゴリズムI-6	
5/3	土	祝日						
5/4	日	祝日						
5/5	月	祝日						
5/6	火	祝日						
5/7	水		光ナノコアII-テスト	光ナノコアIV-テスト				
5/8	木		物質科学英語Iグループ1-1					
5/9	金	研究室配属				計算機システムI-7	アルゴリズムI-7	
5/10	土							
5/11	日							
5/12	月		光と電子I-1/先端融合I-1	光と分子I-1/先端融合II-1	実験実習-5	実験実習-6	実験実習-7	
5/13	火		物質科学英語Iグループ2-1	光と電子I-2/先端融合I-2	実験実習-8	計算機システムI-8	アルゴリズムI-8	
5/14	水		光と分子I-2/先端融合II-2	光と電子I-3/先端融合I-3	実験実習-9	実験実習-10	実験実習-11	
5/15	木	高専入試	物質科学英語Iグループ1-2		実験実習-12	実験実習-13	実験実習-14	
5/16	金		光と電子I-4/先端融合I-4	光と分子I-3/先端融合II-3		バイオサイエンス概論-1	物質創成科学概論-1/アルゴリズムII-1	
5/17	土							
5/18	日							
5/19	月		(仮)ITP成果報告会					
5/20	火		物質科学英語Iグループ2-2	光と電子I-5/先端融合I-5	実験実習-15	メンタルヘルス・フィジカルヘルス講習会	東芝インターンシップ説明会(予定)	
5/21	水		光と分子I-4/先端融合II-4	光と電子I-6/先端融合I-6	実験実習-16	実験実習-17	実験実習-18	
5/22	木		物質科学英語Iグループ1-3	光と分子I-5/先端融合II-5	実験実習-19	実験実習-20	実験実習-21	
5/23	金		光と電子I-7/先端融合I-7	光と分子I-6/先端融合II-6		バイオサイエンス概論-2	物質創成科学概論-2/アルゴリズムII-2	
5/24	土							
5/25	日							
5/26	月		光と分子I-7/先端融合II-7	光と電子I-8/先端融合I-8	実験実習-22	実験実習-23	実験実習-24	
5/27	火		物質科学英語Iグループ2-3	光と分子I-8/先端融合II-8	光と電子I-予備/先端融合I-予備	バイオサイエンス概論-3/計算機システムII-1	物質創成科学概論-3/アルゴリズムII-3	
5/28	水		光と電子II-1/先端融合III-1	光と分子II-1/先端融合IV-1	実験実習-25	実験実習-26	実験実習-27	
5/29	木		物質科学英語Iグループ1-4	光と分子II-2/先端融合IV-2	実験実習-28	実験実習-29	実験実習-30	
5/30	金		光と分子II-3/先端融合IV-3	光と電子II-2/先端融合III-2	光と分子I-予備/先端融合II-予備	バイオサイエンス概論-4/計算機システムII-2	物質創成科学概論-4/アルゴリズムII-4	
5/31	土							

月日	曜日	備考	1時限目	2時限目	3時限目	4時限目	5時限目
6/1	日						
6/2	月		光と分子II-4/先端融合IV-4	光と分子II-5/先端融合IV-5	光と分子II-6/先端融合IV-6		
6/3	火		物質科学英語Iグループ2-4	光と電子II-3/先端融合III-3		バイオサイエンス概論-5/計算機システムII-3	物質創成科学概論-5/アルゴリズムII-5
6/4	水		光と電子II-4/先端融合III-4	光と分子II-7/先端融合IV-7			
6/5	木		物質科学英語Iグループ1-5	光と電子II-5/先端融合III-5	RI・X線講習会(補)		
6/6	金		光と分子II-8/先端融合IV-8	光と電子II-6/先端融合III-6		バイオサイエンス概論-6/計算機システムII-4	物質創成科学概論-6/アルゴリズムII-6
6/7	土						
6/8	日						
6/9	月		光と電子II-7/先端融合III-7	光と電子II-8/先端融合III-8	光と電子II-予備/先端融合II-予備		
6/10	火		物質科学英語Iグループ2-5	現代量子力学-1/現代有機化学-1	光と分子II-予備/先端融合IV-予備	バイオサイエンス概論-7/計算機システムII-5	物質創成科学概論-7/アルゴリズムII-7
6/11	水		先端光電子-1/先端高分子化学-1	先端半導体-1/先端生化学-1			
6/12	木		物質科学英語Iグループ1-6	物質科学と倫理-1			
6/13	金		先端電子材料-1/現代無機化学-1	現代量子力学-2/現代有機化学-2		バイオサイエンス概論-8/計算機システムII-6	物質創成科学概論-8/アルゴリズムII-8
6/14	土						
6/15	日						
6/16	月		先端光電子-2/先端高分子化学-2	先端半導体-2/先端生化学-2			
6/17	火		物質科学英語Iグループ2-6	先端電子材料-2/現代無機化学-2		科学技術論・科学技術者論-1	計算機システムII-7
6/18	水		現代量子力学-3/現代有機化学-3	先端光電子-3/先端高分子化学-3			
6/19	木		物質科学英語Iグループ1-7	物質科学と倫理-2			
6/20	金		先端半導体-3/先端生化学-3	先端電子材料-3/現代無機化学-3		科学技術論・科学技術者論-2	計算機システムII-8
6/21	土						
6/22	日						
6/23	月	健康診断					
6/24	火		物質科学英語Iグループ2-7	現代量子力学-4/現代有機化学-4			
6/25	水	学位授与式	先端光電子-4/先端高分子化学-4	先端半導体-4/先端生化学-4			
6/26	木		先端電子材料-4/現代無機化学-4	現代量子力学-5/現代有機化学-5			
6/27	金		先端光電子-5/先端高分子化学-5	先端半導体-5		科学技術論・科学技術者論-3	全学共通コマ
6/28	土						
6/29	日						
6/30	月		科学技術政策と知的財産(松尾)	科学技術政策と知的財産(松尾)			
7/1	火		物質科学英語Iグループ2-8	先端電子材料-5/現代無機化学-5	基礎科目予備	科学技術論・科学技術者論-4	全学共通コマ
7/2	水		現代量子力学-6/現代有機化学-6	先端光電子-6/先端高分子化学-6	基礎科目予備		
7/3	木		物質科学英語Iグループ1-8	物質科学と倫理-3	基礎科目予備		
7/4	金		先端生化学-5		現代無機化学-6	科学技術論・科学技術者論-5	全学共通コマ
7/5	土						
7/6	日						
7/7	月		科学技術政策と知的財産(井上)	科学技術政策と知的財産(井上)	先端半導体-6		
7/8	火		科学技術政策と知的財産(井上)	科学技術政策と知的財産(井上)	先端電子材料-6	科学技術論・科学技術者論-6	全学共通コマ
7/9	水	第1回入試					
7/10	木	第1回入試					
7/11	金	第1回入試					
7/12	土	第1回入試					
7/13	日						
7/14	月		科学技術政策と知的財産(大竹)	科学技術政策と知的財産(大竹)	基礎科目予備		
7/15	火		現代量子力学-7/現代有機化学-7	先端光電子-7/先端高分子化学-7	基礎科目予備	科学技術論・科学技術者論-7	全学共通コマ
7/16	水	東京入試					
7/17	木		先端半導体-7/先端生化学-6	物質科学と倫理-4	基礎科目予備		
7/18	金	第1回入試予備				科学技術論・科学技術者論-8	全学共通コマ
7/19	土						
7/20	日						
7/21	月	祝日					
7/22	火		先端電子材料-7/現代無機化学-7	現代量子力学-8/現代有機化学-8	基礎科目予備	科学哲学-1	科学哲学-2
7/23	水		先端光電子-8/先端高分子化学-8	先端半導体-8/先端生化学-7	基礎科目予備		
7/24	木		先端電子材料-8/現代無機化学-8	先端生化学-8	基礎科目予備		
7/25	金		基礎科目予備	基礎科目予備		科学哲学-3	科学哲学-4
7/26	土						
7/27	日						
7/28	月						
7/29	火					科学哲学-5	科学哲学-6
7/30	水						
7/31	木						
8/1	金					科学哲学-7	科学哲学-8

月日	曜日	備考	1時限目	2時限目	3時限目	4時限目	5時限目
9/1	月		光・磁気物性-1/分子フォトサイエンス-1	電子原子物性-1/生体機能物質-1			
9/2	火		物質科学英語Iグループ3-1	フォトニクス-1/先端反応構造化学-1			
9/3	水		情報素子工学-1/生物物質科学-1	光・磁気物性-2/分子フォトサイエンス-2			
9/4	木		物質科学英語Iグループ4-1	物質科学と倫理-5			
9/5	金		先端物質科学技術-1	先端物質科学技術-2			
9/6	土						
9/7	日						
9/8	月		電子原子物性-2/生体機能物質-2	フォトニクス-2/先端反応構造化学-2			
9/9	火		物質科学英語Iグループ3-2	情報素子工学-2/生物物質科学-2			
9/10	水		先端物質科学技術-3	先端物質科学技術-4			
9/11	木		物質科学英語Iグループ4-2	物質科学と倫理-6			
9/12	金		光・磁気物性-3/分子フォトサイエンス-3	電子原子物性-3/生体機能物質-3			
9/13	土						
9/14	日						
9/15	月	祝日					
9/16	火		物質科学英語Iグループ3-3	フォトニクス-3/先端反応構造化学-3			
9/17	水		情報素子工学-3/生物物質科学-3	光・磁気物性-4/分子フォトサイエンス-4			
9/18	木		物質科学英語Iグループ4-3	物質科学と倫理-7			
9/19	金		先端物質科学技術-5	先端物質科学技術-6			
9/20	土						
9/21	日						
9/22	月		電子原子物性-4/生体機能物質-4	フォトニクス-4/先端反応構造化学-4			
9/23	火	祝日					
9/24	水		情報素子工学-4/生物物質科学-4	光・磁気物性-5/分子フォトサイエンス-5			
9/25	木	学位授与式	物質科学英語Iグループ4-4	物質科学と倫理-8			
9/26	金		先端物質科学技術-7	先端物質科学技術-8			
9/27	土						
9/28	日						
9/29	月		電子原子物性-5/生体機能物質-5	フォトニクス-5/先端反応構造化学-5			
9/30	火		物質科学英語Iグループ3-4	情報素子工学-5/生物物質科学-5	専門科目予備		
10/1	水	創立記念日					
10/2	木	入学式	物質科学英語Iグループ4-5	光・磁気物性-6/分子フォトサイエンス-6	専門科目予備		
10/3	金		先端物質科学技術-9	先端物質科学技術-10	専門科目予備	技術と倫理-1	技術と倫理-2
10/4	土						
10/5	日						
10/6	月		電子原子物性-6/生体機能物質-6	フォトニクス-6/先端反応構造化学-6	専門科目予備		
10/7	火		物質科学英語Iグループ3-5	情報素子工学-6/生物物質科学-6	専門科目予備	科学コミュニケーション-1	全学共通コマ
10/8	水		先端物質科学技術-11	先端物質科学技術-12	専門科目予備		
10/9	木		物質科学英語Iグループ4-6	光・磁気物性-7/分子フォトサイエンス-7	専門科目予備		
10/10	金		電子原子物性-7/生体機能物質-7	フォトニクス-7/先端反応構造化学-7	専門科目予備	技術と倫理-3	技術と倫理-4
10/11	土						
10/12	日						
10/13	月	祝日					
10/14	火	第2回入試				全学共通コマ	全学共通コマ
10/15	水	第2回入試					
10/16	木	第2回入試					
10/17	金		情報素子工学-7/生物物質科学-7	光・磁気物性-8/分子フォトサイエンス-8	物質科学英語IIA-1	全学共通コマ	全学共通コマ
10/18	土						
10/19	日						
10/20	月		電子原子物性-8/生体機能物質-8	フォトニクス-8/先端反応構造化学-8	専門科目予備		
10/21	火		物質科学英語Iグループ3-6	情報素子工学-8/生物物質科学-8	専門科目予備	科学コミュニケーション-2	科学コミュニケーション-3
10/22	水				物質科学英語IIA-2		
10/23	木		物質科学英語Iグループ4-7				
10/24	金				物質科学英語IIA-3	技術と倫理-5	技術と倫理-6
10/25	土						
10/26	日						
10/27	月						
10/28	火		物質科学英語Iグループ3-7			科学コミュニケーション-4	科学コミュニケーション-5
10/29	水				物質科学英語IIA-4		
10/30	木		物質科学英語Iグループ4-8				
10/31	金				物質科学英語IIA-5	全学共通コマ	全学共通コマ

月日	曜日	備考	1時限目	2時限目	3時限目	4時限目	5時限目
11/1	土						
11/2	日						
11/3	月	祝日					
11/4	火		物質科学英語I グループ3-8			科学コミュニケーション-6	科学コミュニケーション-7
11/5	水				物質科学英語IIA-6		
11/6	木		物質科学英語IIA-7				
11/7	金				物質科学英語IIA-8	技術と倫理-7	技術と倫理-8
11/8	土						
11/9	日						
11/10	月						
11/11	火					科学コミュニケーション-8	全学共通コマ
11/12	水						
11/13	木						
11/14	金					全学共通コマ	全学共通コマ
11/15	土						
11/16	日						
11/17	月						
11/18	火					全学共通コマ	全学共通コマ
11/19	水						
11/20	木						
11/21	金					全学共通コマ	全学共通コマ
11/22	土						
11/23	日						
11/24	月	祝日					
11/25	火					全学共通コマ	全学共通コマ
11/26	水						
11/27	木						
11/28	金						
11/29	土						
11/30	日						
12/1	月						
12/2	火		物質科学英語III A-1				
12/3	水				物質科学英語III A-2		
12/4	木		物質科学英語III A-3				
12/5	金				物質科学英語III A-4		
12/6	土						
12/7	日						
12/8	月						
12/9	火		物質科学英語III A-5				
12/10	水				物質科学英語III A-6		
12/11	木		物質科学英語III A-7				
12/12	金				物質科学英語III A-8		
12/13	土						
12/14	日						
12/15	月						
12/16	火						
12/17	水						
12/18	木						
12/19	金						
12/20	土						
12/21	日						
12/22	月	学位授与式					

月日	曜日	備考	1時限目	2時限目	3時限目	4時限目	5時限目
1/4	日						
1/5	月						
1/6	火						
1/7	水						
1/8	木						
1/9	金						
1/10	土						
1/11	日						
1/12	月	祝日					
1/13	火						
1/14	水						
1/15	木						
1/16	金						
1/17	土						
1/18	日						
1/19	月						
1/20	火						
1/21	水						
1/22	木						
1/23	金						
1/24	土						
1/25	日						
1/26	月						
1/27	火						
1/28	水						
1/29	木						
1/30	金						
1/31	土						
2/1	日						
2/2	月						
2/3	火						
2/4	水						
2/5	木						
2/6	金						
2/7	土						
2/8	日						
2/9	月						
2/10	火						
2/11	水	祝日					
2/12	木						
2/13	金						
2/14	土						
2/15	日						
2/16	月						
2/17	火						
2/18	水						
2/19	木						
2/20	金						
2/21	土						
2/22	日						
2/23	月						
2/24	火						
2/25	水						
2/26	木						
2/27	金						
2/28	土						

平成26年度の各講義は、以下の講義室等で開講される。

区分	授業科目名	講義室等
共通科目	アルゴリズムI	情報L1・L2・L3
	アルゴリズムII	
	計算機システムI	
	計算機システムII	
	バイオサイエンス概論	ミレニアムホール又はバイオ大講義室
	物質創成科学概論	ミレニアムホール又は物質大講義室
	科学技術論・科学技術者論	ミレニアムホール
	科学哲学	情報L1
	技術と倫理	情報L1
	科学コミュニケーション	バイオ大講義室
一般科目	物質科学解析	物質創成科学研究科大講義室
	物質科学英語IA	小講義室F105
	物質科学英語IIA	演習室E207・208
	物質科学英語IIIA	演習室E207・208
	物質科学と倫理	物質創成科学研究科大講義室
	科学技術政策と知的財産	
	サイエンスリテラシー	
	技術ベンチャー論	調査センター1階研修ホール
	技術経営	
	基礎科目	光ナノサイエンス概論 I
光ナノサイエンス概論 II		
光ナノサイエンスコア I		
光ナノサイエンスコア II		
光ナノサイエンスコア III		
光ナノサイエンスコア IV		
光と電子特講 I		物質創成科学研究科大講義室ほか
光と電子特講 II		
光と分子特講 I		
光と分子特講 II		
先端融合物質科学 I		物質創成科学研究科大講義室ほか
先端融合物質科学 II		
先端融合物質科学 III		
先端融合物質科学 IV		
現代量子力学特論		物質創成科学研究科大講義室 もしくは演習室E207, 208 (履修者数が決定次第、教務揭示版に 揭示し、電子メールでも通知する。)
先端半導体工学		
先端光電子工学		
先端電子材料工学		
現代有機化学特論		
先端高分子化学特論		
現代無機化学特論		
先端生化学		
物質科学特論 I	物質創成科学研究科大講義室	
物質科学特論 II		
物質科学特論 III		
物質科学特論 IV		

区分	授業科目名	講義室等
専門 科目	光・磁気物性特論	物質創成科学研究科大講義室 もしくは演習室E207, 208 (履修者数が決定次第、教務掲示板に 掲示し、電子メールでも通知する。)
	電子原子物性特論	
	フォトニクス特論	
	情報素子工学特論	
	分子フォトサイエンス特論	
	先端反応構造化学特論	
	生体機能物質特論	
	生物物質科学特論	
	先端物質科学技術特論	
その他	物質科学実験・実習	物質創成科学研究科大講義室および各研究室
	ゼミナール A	配属研究室
	ゼミナール B	
	融合ゼミナール A	
	融合ゼミナール B	
	研究論文	
	特別課題研究	
	課題研究	

7 シラバス等

電子シラバスについて

物質創成科学研究科では研究科ホームページでシラバスを公開しています。

シラバスについては以下のアドレス、もしくは「大学ホームページ→物質創成科学研究科ホームページ→教育・研究→カリキュラム→電子シラバス」からページを開くことができます。

電子シラバス：<http://mswebs.naist.jp/education/curriculum.html>

成績評価について

1. 成績評価を終了したときには、その旨を研究科ホームページや掲示板等により、各講義の終了後3週間以内に受講者にお知らせします。

成績は、附属図書館1階に設置している証明書自動発行機により確認することができます。

2. 通知された成績評価に疑義がある場合は、上記1の成績評価終了の通知をした日から1ヶ月以内に講義担当教員に申し出てください。

なお、申し出は各シラバスに記載しているオフィスアワーの欄を参照してください。

Online Syllabus

Syllabi are available from the Graduate School of Materials Science Homepage. They can be viewed, printed and downloaded by accessing the following:

<http://mswebs.naist.jp/english/education-and-research/1038/>

Evaluation of academic performance

1. After their academic performance has been evaluated, students will be informed of the result within three weeks after the completion of lectures via the graduate school website and the bulletin board, etc.

Academic performance can be checked via the automatic certificate issuing machine on the first floor of the NAIST Library.

2. In the event of any doubt about the result of the academic performance evaluation, students are required to inform the faculty members in charge of the lectures within one month from the date of receiving notification of completion of the academic performance evaluation stated in 1 above.

To inform the faculty members in charge, please check the office hours in the syllabus.

英語教育について

先端科学技術を学ぶ学生にとって国際コミュニケーション能力は必要不可欠であり、英語能力は必須です。物質創成科学研究科では、英語能力を向上させるため、様々な授業科目や課外プログラムを提供しています。

<科目>

博士前期課程

- 物質科学英語 I (ライティング)
- 物質科学英語 IIA (プレゼンテーション)
- 物質科学英語 IIIA (ディスカッション)

博士後期課程

- 物質科学英語 IIB (プレゼンテーション)
- 物質科学英語 IIIB (ディスカッション)

「物質科学英語 I」は博士前期課程の必修科目であり、writing skills や research article を中心に学習します。TOEIC スコアに基づきグループ分けをします。博士後期課程の学生もライティングスキルを向上させるために聴講することが可能です。

「物質科学英語 IIA・B」の内容と評価は全く同じで、博士前期課程と博士後期課程の学生は同じ講義を受講します。研究成果のプレゼンテーション能力の向上を目的に学習します。秋学期に行われる中間審査会の準備に合わせて設定されています。

「物質科学英語 IIIA・B」の内容と評価も全く同じで、博士前期課程と博士後期課程の学生は同じ講義を受講します。ディスカッション能力を向上するために異文化コミュニケーションや言語学習など様々なテーマを通して学習します。

<課外プログラム>

<TOEIC>

TOEIC 準備コースが夏に開講されます。博士前期課程及び後期課程の学生に受講することを勧めています。全研究科の学生も受講することができます。

博士前期課程1年生は、年2回のTOEIC-IPテストの受験を義務付けており、博士前期課程2年生および博士後期課程の学生にも受験を勧めています。

<Self-Access Writing Center (SAWC)>

SAWC(E206)は物質創成科学研究科の学生や教職員が自由に使える自習勉強の教材がたくさん揃っています。月曜日から金曜日の9:00~17:00まで自由に行うことができ、通常、英語専門の講師が教材と言語学習のアドバイスをします。

<English Proofreading>

物質創成科学研究科の学生は、SAWC へ英語の原稿を持ち込み英語専門の講師から校正を受けることができます。また、英語の原稿を e メールで送り、後日校正してもらうこともできます。

<e ラーニング>

英語自習教材「ALC NetAcademy2」を大学ホームページに導入しており、いつでも自学自習できる環境を整えています。

[学内専用アドレス] : <http://itcw3.naist.jp/NetAcademy/NetAcademy.html>

特に下記のコースを勧めます。

技術英語<基礎>コース

技術英語パワーアップコース

英語語彙力の向上のため、WordEngine を勧めます。SAWC からアクセスカードを入手すれば、WordEngine を無料で使うことができます。

<英会話グループ>

物質創成科学研究科の学生向けに、毎週火曜日（12:00-13:00）SAWC にてランチタイム英会話を開催しています。学内には様々な英会話グループがあり、詳細は SAWC にお問い合わせください。

English Language Education

Students studying advanced science and technology are expected to be able to communicate internationally, and so English proficiency is essential. To help students communicate effectively in English, the Graduate School of Materials Science offers a variety of English language subjects and extracurricular programs.

Subjects

The following subjects comprise the base of the English language education:

Master's Course

- Materials Science English I—Writing
- Materials Science English II A—Presentation
- Materials Science English III A—Discussion

Doctoral Course

- Materials Science English II B—Presentation
- Materials Science English III B—Discussion

Materials Science English I is a required subject in the first year of the Master's Course. The focus of this course is on writing skills and the research article. All first-year Master's students are divided into four smaller groups based on TOEIC scores—in this way students are able to work together with their classmates at an appropriate level. This subject is not included in the Doctoral Course, however Doctoral students wishing to improve their English writing skills are most welcome to audit this course (i.e. not for credit).

Materials Science English II A and *Materials Science English II B* are offered to Master's Course and Doctoral Course students, respectively. Content, and evaluation for both *Materials Science English II A* and *B* are exactly the same, with Master's and Doctoral students taking the same lectures together. The focus is on presentation skills. Students are given opportunity to improve oral presentation of their own research in English. The subject is usually scheduled in autumn in order to help students prepare for their Mid-Term Evaluation. Lectures are given in English with support for all levels of English proficiency.

Similar to the above, *Materials Science English III A* and *B* are also the same subject, offered to both Master's and Doctoral Course students, respectively. The focus of this subject is on discussion skills and various topics are covered, such as inter-cultural communication, and language learning. Lectures given all in English are designed to help students participate actively and effectively in discussions in English.

Extracurricular Programs

TOEIC

During the summer, a short, not-for-credit, TOEIC Preparation Course is offered. All students, Master's and Doctoral, are encouraged to join. Staff and faculty are also warmly welcomed, as are students from the Biological and Information Science Graduate Schools.

Students can check their progress in English proficiency by taking TOEIC IP tests in spring and autumn. Students in the first academic year of the Master's Course are required to take the tests. Students in the second academic year of the Master's

Course and students in the Doctoral Course are also strongly encouraged to take the tests.

Self-Access Writing Center (SAWC)

The *Self-Access Writing Center*, located on the second floor of Building E (E206), is freely available to all students, faculty and staff, and offers a wide range of English learning materials for anyone wishing to improve their English level at their own pace. The SAWC is open from 9:00 to 17:30 Monday to Friday. An English language specialist is usually available in the SAWC to offer advice on study techniques and the various learning materials.

English Proofreading

The Graduate School of Materials Science provides opportunity for students, faculty and staff to have their English proofread by an English specialist. This service may be used for manuscripts, abstracts, presentations, speeches, letters, emails, etc. You are free to bring your English documents to the SAWC (E206) where an English language specialist is usually available to offer advice and revisions. Alternatively, English documents can be sent by email and checked at a later date.

E-Learning

ALC NetAcademy 2 is an online English learning website. It is accessible free-of-charge, 24/7 from the NAIST website, or from the following URL: <http://itcw3.naist.jp/NetAcademy/NetAcademy.html>. Note that in order to access NetAcademy, you must be logged in to NAIST network. Students are especially encouraged to try the following courses:

技術英語<基礎>コース

技術英語パワーアップコース

Word Engine is another online English learning website recommended to test and develop your English vocabulary. Students can apply for an access card from the SAWC and use this website free-of-charge.

English Conversation Groups

A variety of groups are open to students wishing to communicate more in English. Details on these various groups are available from the SAWC, and displayed on a poster in the foyer of Building E. In particular, students are encouraged to join the Tuesday lunchtime group from 12:00–13:00 in the SAWC (E206).

8 他研究科授業科目及び担当教員一覧

平成26年度情報科学研究科授業科目及び担当教員一覧

区分	授業科目名	領域	授業形態	単位数	担当教員	毎週授業時間数				総授業時間数	英語科目	備考	
						I	II	III	IV				
基礎科目	計算機システムⅠ		L	1	中島康彦、小野直亮(ビデオ講義担当)	2		2		15		全学共通科目 Ⅲ期は原則秋入学対象	
	計算機システムⅡ		L	1	安本慶一、荒川豊、小野直亮(ビデオ講義担当)	2		2		15		全学共通科目 Ⅲ期は原則秋入学対象	
	アルゴリズムⅠ		L	1	井上美智子、加藤有己(ビデオ講義担当)	2		2		15		全学共通科目 Ⅲ期は原則秋入学対象	
	アルゴリズムⅡ		L	1	松本裕治、新保仁、Kevin Duh、進藤裕之、加藤有己(ビデオ講義担当)	2		2		15		全学共通科目 Ⅲ期は原則秋入学対象	
	バイオサイエンス概論		L	1	真木壽治 他	2				15		全学共通科目	
	物質創成科学概論		L	1	香月浩之 他	2				15		全学共通科目	
	情報理論		L	1	榑勇一	2				15			
	形式言語理論基礎		L	1	伊藤実	2				15			
	プログラミング基礎演習Ⅰ		P	1	門田暁人、伊原彰紀	4				30			
	プログラミング基礎演習Ⅱ		P	1	松本健一、畑秀明		4			30			
	信号処理論		L	1	岡田実、東野武史	2				15			
	数値計算法		L	1	加藤博一、山本豪志朗	2				15			
	応用解析学		L	1	小笠原司、高松淳		2			15			
	最適化数学基礎		L	1	杉本謙二	2				15			
	微分積分学		L	1	池田和司	2				15			
	データ解析基礎		L	1	金谷重彦	2				15			
	確率過程論基礎		L	1	笠原正治		2			15			
	組合せ数学		L	1	(丸尾健二)			2		15			
	代数的構造		L	1	(阪井章)	2				15			
	専門科目	計算理論Ⅰ	C	L	1	伊藤実		2			15		
		計算理論Ⅱ	C	L	1	井上美智子		2			15	○	
		計算理論Ⅲ	C	L	1	(関浩之)		2			15	○	
		ハードウェア設計論Ⅰ	C	L	1	姚駿、高前田伸也	2				15	○	
		ハードウェア設計論Ⅱ	C	L	1	井上美智子、米田友和、大和勇太		2			15	○	
		高性能計算機アーキテクチャ	C	L	1	中島康彦		2			15		
		分散システムとミドルウェア	C	L	1	安本慶一		2			15	○	
ユビキタス情報処理		C	L	1	荒川豊			2		15			
モバイルコンピューティング論		C	L	1	柴田直樹		2			15	○		
ソフトウェア設計論		C	L	1	飯田元、(吉田則裕)	集中講義				15			
システム要求工学		C	L	1	田中康、高井利憲、(片平真史、宮本祐子、氏家亮)	集中講義				15			
仮想化システム基盤		C	L	1	市川昊平				2	15	○		
ソフトウェア工学Ⅰ		C	L	1	松本健一、畑秀明	2				15			
ソフトウェア工学Ⅱ		C	L	1	門田暁人、伊原彰紀			2		15			
符号理論		C	L	1	榑勇一			2		15	○		
集合と圏		C	L	1						15		H26年度不開講	
帰納と再帰		C	L	1						15	○	H26年度不開講	
情報ネットワーク論Ⅰ		C	L	2	山口英、門林雄基	4				30	○		
情報ネットワーク論Ⅱ		C	L	2	藤川和利、猪俣敦夫、垣内正年			4		30			
現代情報セキュリティ論		C	L	2	山口英、(村井純)		2	2		30	○		
人工知能:探索とマイニング		M	L	1	松本裕治、新保仁、Kevin Duh	2				15	○		
環境知能		M	L	1	(萩田紀博)、神原誠之			2		15	○		
自然言語処理		M	L	1	松本裕治、(柏岡秀紀)、進藤裕之			2		15			
コンピュータビジョンⅠ		M	L	1	佐藤智和、中島悠太			2		15	○		
コンピュータビジョンⅡ		M	L	1	向川康博			2		15			
コンピュータグラフィックス		M	L	1	加藤博一、Christian Sandor、山本豪志朗	2				15	○		
バーチャルリアリティ		M	L	1	神原誠之、武富貴史				2	15			
画像情報処理		M	L	1	横矢直和、河合紀彦		2			15			
無線通信システム		M	L	1	岡田実、東野武史		2			15			
信号検出理論		M	L	1	岡田実、東野武史			2		15	○		
ネットワークシミュレーション		M	L	1	岡田実、東野武史			2		15			
音情報処理		M	L	1	中村哲、戸田智基、(猿渡洋)、川波弘道			2		15			
系列データモデリング		M	L	1	戸田智基、Sakti Sakriani Watiarsi、Graham Neubig	2				15	○		
ヒューマンコンピュータインタラクション		M	L	1	Christian Sandor				2	15	○		
パターン認識		M	L	1	浮田宗伯		2			15			
離散事象システム論		A	L	1	笠原正治、笹部昌弘			2		15			
システム制御Ⅰ	A	L	1	杉本謙二	2				15				
システム制御Ⅱ	A	L	1	(平田健太郎)			2		15	○			
ロボティクスⅠ	A	L	1	小笠原司、高松淳	2				15				
ロボティクスⅡ	A	L	1	小笠原司、高松淳、(松本吉央、加賀美聡、山崎俊太郎)			2		15	○			
数理モデル論	A	L	1	池田和司、久保孝富		2			15				

専門科目	計算神経科学	A	L	1					15	○	H26年度不開講
	生命機能計測学	A	L	1	杉浦忠男、(飯田秀博、銭谷勉)			2	15		
	システムズバイオロジ I	A	L	1	金谷重彦、Md. Altaf-Ul-Amin	2			15	○	
	システムズバイオロジ II	A	L	1	金谷重彦、Md. Altaf-Ul-Amin			2	15		
	医用画像解析	A	L	1	佐藤嘉伸			2	15	○	
	ビッグデータアナリティクス	共	L	1	中村哲、金谷重彦、(岩爪道昭、神谷祐樹、松井くにお)			2	15		
	先進情報科学特別講義 I, III	共	L	1					15	○	H26年度不開講
	先進情報科学特別講義 II, IV	共	L	1	樫原茂、川波弘道、川原純、久保孝富、Sakti Sakriani Watiasri、中島悠太、畑秀明、松原崇充、大和勇太、吉川 雅博			2	15	○	10クラス実施 (2クラスで1単位)
	プロジェクト実習 I	共	P	2					60		H26年度不開講
	プロジェクト実習 II	共	P	2	各テーマ担当教員及び学外講師		テーマ毎に異なる		60		数クラス実施
	プロジェクト実習 III	共	P	2					60		H26年度不開講
	プロジェクト実習 IV	共	P	2	各テーマ担当教員及び学外講師		テーマ毎に異なる		60		数クラス実施
	ソフトウェア開発演習 I	共	P	2	飯田元、伊原彰紀			2	30		
	ソフトウェア開発演習 II	共	P	2	市川昊平、池田篤俊			2	30		
	先端複合技術論	共	L	1	飯田元、高松淳、猪俣敦夫、田中康、高井利憲、山口明彦			1	1	15	
	先端複合演習 I	共	P	2	高松淳、田中康、高井利憲、山口明彦、大平健司、(Daniel Port)		テーマ毎に異なる		30		
	先端複合演習 II	共	P	2	高松淳、田中康、高井利憲、山口明彦、大平健司、(Daniel Port)		テーマ毎に異なる		30		
	先端ロボット概論	A	L	1	高松淳、山口明彦、(重見聡史、松本隆志、安川裕介、丁明、大原賢一、中岡慎一郎、小枝正直)			2		15	
	先端ロボット構成論	A	P	2	高松淳、神原誠之、松原崇充、池田篤俊、山口明彦、吉川雅博		集中講義		60		
	先端ロボット開発論 I	A	P	1	池田篤俊、山口明彦、吉川雅博		集中講義		30		
	先端ロボット開発論 II	A	P	1	高松淳、池田篤俊、山口明彦、吉川雅博		集中講義		30		
	情報セキュリティ運用リテラシー I	C	L	1	山口英、猪俣敦夫、(高木浩光、松本隆、上原哲太郎)		集中講義		15		(大阪大学中之島センター)
	情報セキュリティ運用リテラシー II	C	L	1	藤川和利、(歌代和正)、猪俣敦夫、(岡村久道、山川智彦)		集中講義		15		(大阪大学中之島センター)
	情報セキュリティPBL演習 A	C	P	1	藤川和利、猪俣敦夫、奥田剛、大平健司、(岡村真吾)		集中講義		15		
	情報セキュリティPBL演習 B	C	P	1	藤川和利、猪俣敦夫、奥田剛、大平健司、(岡村真吾)		集中講義		15		
情報セキュリティPBL演習 C	C	P	1	藤川和利、猪俣敦夫、奥田剛、大平健司		集中講義		15			
情報セキュリティPBL演習 D	C	P	1	門林雄基、奥田剛、榎山寛章、(篠田陽一、三輪信介)		集中講義		15			
情報セキュリティPBL演習 E	C	P	1	藤川和利、猪俣敦夫、奥田剛、大平健司		集中講義		15			
情報セキュリティPBL演習 F	C	P	1	猪俣敦夫、奥田剛、大平健司、(曾根秀昭、林優一、本間尚文)		集中講義		15			
情報セキュリティPBL演習 G	C	P	1	藤川和利、猪俣敦夫、奥田剛、大平健司、(岡村真吾)		集中講義		15			
一般科目	科学技術論・科学技術者論			1	担当教員			2	15		全学共通科目
	科学コミュニケーション			1	担当教員			2	15		全学共通科目
	英語プレゼンテーション法入門			1	(David Sell)	2			15	○	TOEIC点数により火・金の2クラス
	英語コミュニケーション法 I			1	Mike Barker			2	15	○	
	英語コミュニケーション法 II			1	Mike Barker			2	15	○	
	英語ライティング法			1	Mike Barker		2		15	○	
	英語プレゼンテーション法			1	Mike Barker	2			15	○	
	英語プロジェクトマネジメント法			1	Mike Barker		2		15	○	
	英語論文検索法			1	Mike Barker			2	15	○	
	英語デジタルメディア活用法			1	Mike Barker			2	15	○	
	異文化間コミュニケーション(先進学際領域特論 I)			1	(David Sell)			2	15	○	
	技術ベンチャー論			1	(光井将一)		2		15		
	知的財産権			1	久保浩三			2	15	○	
	技術経営			1	(光井将一)		集中講義		15		
	科学哲学			1	(中尾央)		2		15		全学共通科目
	技術と倫理			1	(上田修史)			2	15		全学共通科目、隔年で英語
	環境と情報			1					15		H26年度不開講
	日本文化入門			2	(Adarsh Bala Sharma)	2	2		30	○	
	アカデミックボランティア I			1	戸田智基・佐藤智和		テーマ毎に異なる		30		
	アカデミックボランティア II			1	戸田智基・佐藤智和		テーマ毎に異なる		30		
研究室特論	コンピューティングアーキテクチャ特論 I			1	中島康彦・姚駿・高前田伸也		特論毎に異なる				
	コンピューティングアーキテクチャ特論 II			1	中島康彦・姚駿・高前田伸也		特論毎に異なる				
	コンピューティングアーキテクチャ特論 III			1	中島康彦・姚駿・高前田伸也		特論毎に異なる				
	コンピューティングアーキテクチャ特論 IV			1	中島康彦・姚駿・高前田伸也		特論毎に異なる				
	ディメンダブルシステム学特論 I			1	井上美智子・米田友和・大和勇太		特論毎に異なる				
	ディメンダブルシステム学特論 II			1	井上美智子・米田友和・大和勇太		特論毎に異なる				
	ディメンダブルシステム学特論 III			1	井上美智子・米田友和・大和勇太		特論毎に異なる				
	ディメンダブルシステム学特論 IV			1	井上美智子・米田友和・大和勇太		特論毎に異なる				
ユビキタスコンピューティングシステム特論 I			1	安本 慶一・荒川豊・玉井森彦		特論毎に異なる					

研究室特論	ユビキタスコンピューティングシステム特論Ⅱ	1	安本 慶一・荒川豊・玉井森彦	特論毎に異なる		
	ユビキタスコンピューティングシステム特論Ⅲ	1	安本 慶一・荒川豊・玉井森彦	特論毎に異なる		
	ユビキタスコンピューティングシステム特論Ⅳ	1	安本 慶一・荒川豊・玉井森彦	特論毎に異なる		
	ソフトウェア基礎学特論Ⅰ	1	伊藤 実・柴田直樹	特論毎に異なる		
	ソフトウェア基礎学特論Ⅱ	1	伊藤 実・柴田直樹	特論毎に異なる		
	ソフトウェア基礎学特論Ⅲ	1	伊藤 実・柴田直樹	特論毎に異なる		
	ソフトウェア基礎学特論Ⅳ	1	伊藤 実・柴田直樹	特論毎に異なる		
	ソフトウェア工学特論Ⅰ	1	松本健一・門田暁人・伊原彰紀・畑秀明・(Daniel Port)	特論毎に異なる		
	ソフトウェア工学特論Ⅱ	1	松本健一・門田暁人・伊原彰紀・畑秀明	特論毎に異なる		
	ソフトウェア工学特論Ⅲ	1	松本健一・門田暁人・伊原彰紀・畑秀明	特論毎に異なる		
	ソフトウェア工学特論Ⅳ	1	松本健一・門田暁人・伊原彰紀・畑秀明	特論毎に異なる		
	ソフトウェア設計学特論Ⅰ	1	飯田 元・市川晃平・(Daniel Port)	特論毎に異なる		
	ソフトウェア設計学特論Ⅱ	1	飯田 元・市川晃平	特論毎に異なる		
	ソフトウェア設計学特論Ⅲ	1	飯田 元・市川晃平	特論毎に異なる		
	ソフトウェア設計学特論Ⅳ	1	飯田 元・市川晃平	特論毎に異なる		
	インターネット工学特論Ⅰ	1	山口 英	特論毎に異なる		
	インターネット工学特論Ⅱ	1	山口 英	特論毎に異なる		
	インターネット工学特論Ⅲ	1	山口 英	特論毎に異なる		
	インターネット工学特論Ⅳ	1	山口 英	特論毎に異なる		
	情報基盤システム学特論Ⅰ	1	藤川 和利	特論毎に異なる		
	情報基盤システム学特論Ⅱ	1	藤川 和利	特論毎に異なる		
	情報基盤システム学特論Ⅲ	1	藤川 和利	特論毎に異なる		
	情報基盤システム学特論Ⅳ	1	藤川 和利	特論毎に異なる		
	自然言語処理学特論Ⅰ	1	松本 裕治	特論毎に異なる		
	自然言語処理学特論Ⅱ	1	松本 裕治	特論毎に異なる		
	自然言語処理学特論Ⅲ	1	松本 裕治	特論毎に異なる		
	自然言語処理学特論Ⅳ	1	松本 裕治	特論毎に異なる		
	知能コミュニケーション特論Ⅰ	1	中村 哲	特論毎に異なる		
	知能コミュニケーション特論Ⅱ	1	中村 哲	特論毎に異なる		
	知能コミュニケーション特論Ⅲ	1	中村 哲	特論毎に異なる		
	知能コミュニケーション特論Ⅳ	1	中村 哲	特論毎に異なる		
	ネットワークシステム学特論Ⅰ	1	岡田 実	特論毎に異なる		
	ネットワークシステム学特論Ⅱ	1	岡田 実	特論毎に異なる		
	ネットワークシステム学特論Ⅲ	1	岡田 実	特論毎に異なる		
	ネットワークシステム学特論Ⅳ	1	岡田 実	特論毎に異なる		
	視覚情報メディア特論Ⅰ	1	横矢 直和	特論毎に異なる		
	視覚情報メディア特論Ⅱ	1	横矢 直和	特論毎に異なる		
	視覚情報メディア特論Ⅲ	1	横矢 直和	特論毎に異なる		
	視覚情報メディア特論Ⅳ	1	横矢 直和	特論毎に異なる		
	インタラクティブメディア設計学特論Ⅰ	1	加藤 博一	特論毎に異なる		
	インタラクティブメディア設計学特論Ⅱ	1	加藤 博一	特論毎に異なる		
	インタラクティブメディア設計学特論Ⅲ	1	加藤 博一	特論毎に異なる		
	インタラクティブメディア設計学特論Ⅳ	1	加藤 博一	特論毎に異なる		
	光メディアインタフェース特論Ⅰ	1	向川 康博	特論毎に異なる		
	光メディアインタフェース特論Ⅱ	1	向川 康博	特論毎に異なる		
	光メディアインタフェース特論Ⅲ	1	向川 康博	特論毎に異なる		
	光メディアインタフェース特論Ⅳ	1	向川 康博	特論毎に異なる		
	環境知能学特論Ⅰ	1	萩田 紀博	特論毎に異なる		
	環境知能学特論Ⅱ	1	萩田 紀博	特論毎に異なる		
	環境知能学特論Ⅲ	1	萩田 紀博	特論毎に異なる		
環境知能学特論Ⅳ	1	萩田 紀博	特論毎に異なる			
ロボティクス特論Ⅰ	1	小笠原 司	特論毎に異なる			
ロボティクス特論Ⅱ	1	小笠原 司	特論毎に異なる			
ロボティクス特論Ⅲ	1	小笠原 司	特論毎に異なる			
ロボティクス特論Ⅳ	1	小笠原 司	特論毎に異なる			
知能システム制御特論Ⅰ	1	杉本 謙二	特論毎に異なる			
知能システム制御特論Ⅱ	1	杉本 謙二	特論毎に異なる			
知能システム制御特論Ⅲ	1	杉本 謙二	特論毎に異なる			
知能システム制御特論Ⅳ	1	杉本 謙二	特論毎に異なる			
数理情報学特論Ⅰ	1	池田 和司	特論毎に異なる			
数理情報学特論Ⅱ	1	池田 和司	特論毎に異なる			
数理情報学特論Ⅲ	1	池田 和司	特論毎に異なる			
数理情報学特論Ⅳ	1	池田 和司	特論毎に異なる			
計算システムズ生物学特論Ⅰ	1	金谷 重彦	特論毎に異なる			
計算システムズ生物学特論Ⅱ	1	金谷 重彦	特論毎に異なる			

研究室特論	計算システムズ生物学特論Ⅲ	1	金谷 重彦	特論毎に異なる						
	計算システムズ生物学特論Ⅳ	1	金谷 重彦	特論毎に異なる						
	大規模システム管理特論Ⅰ	1	笠原 正治・笹部昌弘・川原 純	特論毎に異なる						
	大規模システム管理特論Ⅱ	1	笠原 正治・笹部昌弘・川原 純	特論毎に異なる						
	大規模システム管理特論Ⅲ	1	笠原 正治・笹部昌弘・川原 純	特論毎に異なる						
	大規模システム管理特論Ⅳ	1	笠原 正治・笹部昌弘・川原 純	特論毎に異なる						
	生体医用画像特論Ⅰ	1	佐藤 嘉伸	特論毎に異なる						
	生体医用画像特論Ⅱ	1	佐藤 嘉伸	特論毎に異なる						
	生体医用画像特論Ⅲ	1	佐藤 嘉伸	特論毎に異なる						
生体医用画像特論Ⅳ	1	佐藤 嘉伸	特論毎に異なる							
研究指導	ゼミナールⅠ	1	所属研究室担当教員	2				15		
	ゼミナールⅡ	1	所属研究室担当教員	2	4			15		
	研究論文	4	所属研究室担当教員							
	課題研究	4	所属研究室担当教員							
博士後期課程科目	国際化科目ⅠA, B	1	Mike Barker, (David Sell)	2	2	2	2	15	○	各期から選択
	国際化科目ⅡA, B, C	2	所属研究室担当教員	テーマ毎に異なる				30	○	
	先進学際領域特論Ⅰ	1	(David Sell)				2	15	○	
	先進学際領域特論Ⅱ	1						15	○	H26年度不開講
	先進情報科学特別講義Ⅰ～Ⅳ	1	担当教員				2	15	○	10クラス実施 (2クラスで1単位)
	先進情報科学考究	2	所属研究室担当教員	随時実施				30		
	先進ゼミナール	2	所属研究室担当教員	随時実施				30		
	博士学位論文研究Ⅰ,Ⅲ,Ⅴ	3	所属研究室担当教員	随時実施				45		
	博士学位論文研究Ⅱ,Ⅳ,Ⅵ	3	所属研究室担当教員					随時実施	45	

- ・ 講義形態のLは講義科目、Pは演習科目を示す。
- ・ 領域のCはコンピュータ科学領域、Mはメディア情報学領域、Aはシステム情報学領域、共は各領域に共通の授業科目を示す。
- ・ 担当教員の（ ）は、非常勤講師を示す。集中講義日程の詳細は電子シラバスに掲載。
- ・ 研究室特論について、修了に必要な単位としては算入しないが、所属する研究室以外の特論も一部履修可能である。他研究室からの履修が可能かどうかは電子シラバスに掲載。

平成26年度バイオサイエンス研究科授業科目及び担当教員一覧

博士前期課程

区分	授業科目名	単位数	担当教員	授業時期	総授業時間数	備考
科共通	科学技術論・科学技術者論	1	担当教員	1年次春学期	15	全学共通科目
	計算機システムⅠ	1	中島	春学期	15	全学共通科目
	計算機システムⅡ	1	安本、他	春学期	15	全学共通科目
	アルゴリズムⅠ	1	井上	春学期	15	全学共通科目
	アルゴリズムⅡ	1	松本(裕)	春学期	15	全学共通科目
	物質創成科学概論	1	香月、他	春学期	15	全学共通科目
	科学コミュニケーション	1	別所、他	春学期	15	全学共通科目
	科学哲学	1	中尾	春学期	15	全学共通科目
一般科目	技術と倫理	1	上田	春学期	15	全学共通科目
	技術ベンチャー論	1	光井	春学期	15	
	技術経営	1	光井	春学期	15	
	科学英語	1	McAleese	1年次春学期	15	
	科学英語演習	3	川市	1年次	45	
	グローバルコミュニケーションの基礎	1	McAleese	1年次秋学期	15	
	英語による科学的発見の思考法	1	真木(智)	2年次春学期	15	
	科学英語プレゼンテーションの技法	1	McAleese、真木(智)	2年次秋学期	15	
	科学英語ライティングの技法	1	McAleese	春学期	15	
	発音とリズムのコミュニケーション技術	1	McAleese	春学期	15	
	社会生命科学	1	別所	1年次	15	
ゲノム先端科学	1	別所	1年次	24		
基礎科目	現代生物学概論	1	塩坂、他	1年次春学期	20	
	先端科学のための実践生物学Ⅰ	1	秋山、他	1年次春学期	15	
	先端科学のための実践生物学Ⅱ	1	木俣、他	1年次春学期	15	
	応用生命科学・微生物バイオテクノロジー	1	高木、他	1年次春学期	15	
	応用生命科学・環境植物科学	1	梅田、他	1年次春学期	15	
	応用生命科学・バイオメディカルサイエンス	1	加藤、他	1年次春学期	15	
	応用生命科学・情報生物学	1	別所、他	1年次春学期	15	
	バイオゼミナール基礎Ⅰ	1	出村、他	1年次春学期	15	
	バイオゼミナール基礎Ⅱ	1	駒井、他	1年次春学期	15	
	バイオゼミナール実践Ⅰ	1	河野、他	1年次春学期	15	
	バイオゼミナール実践Ⅱ	1	塩坂、他	1年次	15	
	プロジェクト演習	1	別所、他	1年次秋学期	15	
	フロンティアプロジェクト演習	1	伊東、他	1年次秋学期	15	
	専門科目	発生生物学特別講義	1	別所、他	春学期	15
バイオインダストリー特論		1	高木、他	1年次春学期	15	
バイオインダストリー特論演習		1	高木、他	1年次春学期	15	
ゲノム機能解析特論		1	田坂、他	2年次春学期	15	
蛋白質機能解析特論		1	田坂、他	2年次秋学期	15	
動物科学特論		1	加藤、他	1、2年次	15	
植物科学特論		1	高山、他	1、2年次	15	
統合システム生物学特論		1	箱嶋、他	1、2年次	15	
知的財産特論		1	井上	秋学期	15	
フロンティアバイオチュートリアル		1	伊東、他	2年次	15	
国際バイオ特論		2	真木(智)、他	1、2年次	30	
情報生命学特論		1	別所	秋学期	15	
生命機能計測学		1	杉浦	秋学期	15	情報科学研究科開講科目
システムズバイオロジⅡ		1	金谷	秋学期	15	情報科学研究科開講科目

区分	授業科目名	単位数	担当教員	授業時期	総授業時間数	備考
	ゼミナールⅠ	2	配属研究室教員	1年次春学期	60	
	ゼミナールⅡ	2	配属研究室教員	1年次秋学期	60	
	ゼミナールⅢ	2	配属研究室教員	2年次春学期	60	
	ゼミナールⅣ	2	配属研究室教員	2年次秋学期	60	
	研究実験Ⅰ	3	配属研究室教員	1年次春学期	90	
	研究実験Ⅱ	3	配属研究室教員	1年次秋学期	90	
	研究実験Ⅲ	3	配属研究室教員	2年次春学期	90	
	研究実験Ⅳ	3	配属研究室教員	2年次秋学期	90	
	研究論文	2	配属研究室教員	1、2年次		
	課題研究Ⅰ	2	配属研究室教員	1年次春学期	60	
	課題研究Ⅱ	2	配属研究室教員	1年次秋学期	60	
	課題研究Ⅲ	2	配属研究室教員	2年次春学期	60	
	課題研究Ⅳ	2	配属研究室教員	2年次秋学期	60	
	課題論文	2	配属研究室教員	1、2年次		

平成26年度バイオサイエンス研究科授業科目及び担当教員一覧

博士後期課程

授業科目名	単位数	担当教員	授業時期	総授業時間数	備考
海外ラボインターンシップ	3	真木(智)	1年次秋学期	45	
国際バイオゼミナール I	1	真木(智)、他	各年次	15	
国際バイオゼミナール II	1	真木(智)、他	各年次	15	
国際バイオゼミナール III	1	真木(智)、他	各年次	15	
国際バイオゼミナール IV	1	真木(智)、他	各年次	15	
国際バイオゼミナール V	1	真木(智)、他	各年次	15	
国際バイオゼミナール VI	1	真木(智)、他	各年次	15	
国際学生ワークショップ	2	真木(智)、他	2年次	30	
英語による科学的発見の思考法	1	真木(智)	春学期	15	
科学英語プレゼンテーションの技法	1	McAleese、真木(智)	秋学期	15	
科学英語ライティングの技法	1	McAleese	春学期	15	
発音とリズムのコミュニケーション技術	1	McAleese	春学期	15	
研究者倫理	1	塩崎、他	各年次	15	
UCDオンラインゼミナール	1	中島、他	各年次	15	
UCDリポート	1	真木(智)、他	3年次	15	
研究実験 I	6	アドバイザーコミティー教員	1年次	180	
研究実験 II	6	アドバイザーコミティー教員	2年次	180	
研究実験 III	6	アドバイザーコミティー教員	3年次	180	

9 各種相談受付体制

9 各種相談受付体制



授業内容に関する相談

本学では、授業に対する理解をより深めることを目的として、オフィスアワーの時間帯を設定しています。

オフィスアワーでは、学生が授業担当教員の研究室を訪問し、授業についての質問又は相談をすることができます。

各授業担当教員のオフィスアワーの時間帯及び連絡方法については、各授業科目のシラバスの頁を参照してください。

各教員の部屋番号および電話番号については以下のアドレス、もしくは「物質創成科学研究科ウェブサイトトップページ→学内限定ページ→物質創成科学研究科事務室HP→物質創成科学研究科事務室→内線電話番号表を参照してください。

物質創成科学研究科事務室 HP : <http://mswebs.naist.jp/GAKUNAI/ms-jimu/index.php>

研究指導に関する相談

教育・研究上の悩み等については、指導教員（本学では、複数教員指導制を採用しています）が相談に応じます。

就職に関する相談

就職に関する各種相談に就職担当教員並びに指導教員が応じます。

また、博士後期課程学生のためのキャリアパス支援室(室長：藤木教授)が新たに設置されました。博士後期課程学生の就職支援を行っていきます。

(10 学習支援「キャリア支援室」の頁も参照してください。)

健康に関する相談

体のことや心の悩み等については、保健管理センターで相談に応じます。保健管理センターには専門のカウンセラーが月に数回来ていますので、日程調整のうえ相談に応じています。(詳しくは、10学修支援「保健管理センター」の頁を参照してください。)

学生なんでも相談窓口

みなさんが、大学院生活を送るうえで、さまざまな問題や悩みに直面することがあると思います。

本学では、そういった学生を支援するため、各研究科、保健管理センター、学生課に相談員を配置し、「学生なんでも相談」窓口を設けています。

相談員が、問題解決へのアドバイスのほか、相談内容によってはさらに適切な相談窓口を紹介しています。

悩み事が生じた場合は、一人で抱え込まず「学生なんでも相談」窓口を訪ねてください。

相談内容の秘密は厳守します。

相 談 員	内線番号	メールアドレス
池 田 和 司 (情報科学研究科)	5980	kazushi@is.naist.jp
出 村 拓 (バイオサイエンス研究科)	5460	demura@bs.naist.jp
谷 原 正 夫 (物質創成科学研究科)	6120	mtanihar@ms.naist.jp
寶 學 英 隆 (保健管理センター)	5105	hougaku@hcc.naist.jp
西 山 絹 代 (保健管理センター)	5108	nisiyama@hcc.naist.jp
上 西 正 人 (学生課)	5082	uenisi@ad.naist.jp
中 野 正 (学生課)	5909	ryugaku@ad.naist.jp

各相談員へ電話・メール等で相談してください。

Student Consultation

Graduate students are faced with a variety of different problems and worries in the course of their everyday lives.

In order to give support to students facing problems, each graduate school, the Health Care Center, and the Student Affairs Division, has a Miscellaneous Consultation for Students office with consultation staff on hand.

As well as providing advice for the solution of problems, consultation staff can also point consults to an appropriate consultation office.

So don't keep your troubles to yourself. If you have any worries, please talk them over with Miscellaneous Consultation for Students staff. Strict confidentiality is maintained regarding the content of all consultations.

Member	Extension	E-mail
Kazushi Ikeda (Graduate School of information Science)	5980	kazushi@is.naist.jp
Taku Demura (Graduate School of Biological Science)	5460	demura@bs.naist.jp
Masao Tanihara (Graduate School of Materials Science)	6120	mtanihar@ms.naist.jp
Hidetaka Hougaku (Health Care Center)	5105	hougaku@hcc.naist.jp
Kinuyo Nishiyama (Health Care Center)	5108	nisiyama@hcc.naist.jp
Masato Uenishi (Student Affairs Division)	5082	uenisi@ad.naist.jp
Tadashi Nakano (Student Affairs Division)	5909	ryugaku@ad.naist.jp

Please consult by phone, email, etc. to each counselor.

ハラスメントに関する相談

ハラスメントとは、相手の意に反する言動や行為により、相手の人格を傷つけ、人権を侵害する行為をいいます。

ハラスメントには、主に以下の形態があります。

◎セクシュアル・ハラスメント

勉学、教育その他の場面において、優位な立場や権限を利用し、逆らえない立場にある者に対して性的な強要や働きかけで、相手や周囲に不快感や屈辱感を抱かせること。

◎アカデミック・ハラスメント

勉学、教育、研究に関連する場面において、教育等の権威的地位を有する者が、優位な立場や権限を利用して、精神的な面を含めて教育を受ける権利の侵害や学業の妨害、教育及び研究の妨害、教育研究に関わる職務の妨害等を生じさせる不適切な言動及び差別的待遇行為。

◎パワー・ハラスメント

上司又はこれに準ずる者が職務権限を利用して、職務とは関係のない事項又は職務上であっても適正な範囲を超えた事項について、有形無形に圧力を加える行為。

本学では、セクシュアル・ハラスメントに関する相談窓口を設けております。

セクシュアル・ハラスメントに関する苦情や相談がある場合は、各研究科・各センター・保健管理センター・事務局に相談員をおいていますので、遠慮なく電話やメール等で連絡してください。なお、相談員等の詳細は、本学ホームページのイントラネット／学生用ホームページの中にあるハラスメント関係を参照してください。

10 学 修 支 援

10 学修支援

保健管理センター（キャンパスマップ③）

学生の心身の健康を保持するため、**check** 機能として健康診断を、**cure** 機能としては日常診療を行い、**care** 機能として生活指導・健康教育を充実させ、これらを相乗させ健康増進（health promotion）を目指すよう、大学会館の2階に保健管理センターがあります。

センターには、診察室・健康相談室・学生懇話室・休養室が配置され、内科医師・看護師各1名が常勤しています（他に、3名のカウンセラー、1名の看護師が非常勤）。

1. 利用時間：

診察

診察時間	月	火	水	木	金
10:30～13:30	○（～12:00）	○	×	○（～12:00）	○
15:00～16:30	×	○	○	×	○

相談・休養・談話室 月曜日～金曜日 9:00～17:00

2. **診療**：身体的に異常があれば、遠慮なくセンターを受診して下さい。簡単な診断機器での対応や必要時は薬を処方します。当センターで対処出来ない病気や病態については、専門医や病院を紹介します。
3. **からだと心の相談**：心の悩みがあれば、医師と看護師で相談に応じます。週に2回、専門のカウンセラー3名によるカウンセリングも行っています。秘密は厳守しますので、気軽に相談して下さい。
4. **健康診断**：一般定期健康診断（6月）やRI、エックス線、遺伝子組換え、有機溶剤、特定化学物質の特殊定期健康診断を行っています。日程など必要な事項は、電子メール・案内状・掲示板で連絡します。
（なお、当該年度内に人間ドックを受けられる方は、コピーを必ず保健管理センターにご提出ください）
5. **健康診断書の発行**：就職や進学に必要な健康診断書を発行します。一般定期健康診断時の全項目を検査していることが条件となります。発行は、附属図書館玄関ロビーにある証明書自動発行機または保健管理センターで行います。
6. **セルフチェック**：センター受付前に、自動身長体重計・自動血圧計・自動視力計を常置しています。健康チェックに役立てて下さい。
7. **学生懇話室**：リラクゼーション、団欒・交流に活用下さい。
8. **休養室**：からだの不調などで休養をとりたい時は利用して下さい。
9. **無料と守秘義務**：センターの利用は全て無料です。設備・機器類は大切に扱って下さい。ただし、紹介された医療機関を受診される場合の医療費は、健康保険証扱いの自己負担となります。身体的・精神的相談も含め、全ての医療行為には守秘義務があり秘密は厳守します。
10. **HCC NEWS（保健管理センターだより）**：HCC NEWS（保健管理センターだより）を年1回発行、配布しています。種々の情報を掲載していますので参考にして下さい。

11. 連絡先

センター所長室：医師 寶學英隆（内線5105）
診察室受付：看護師 西山絹代（内線5108）

健康保持・増進のため、保健管理センターを活用下さい。

10. Study Support

Health Care Center (③ on the campus map)

The Health Care Center (on 2F of the University Union Building) offers three functions below to maintain and promote student mental and physical health.

Check: Medical checkup

Cure: Day-to-day diagnosis and treatment

Care: Day-to-day lifestyle guidance and health education

The center has a consultation room, health counseling room, student chat room, and resting room, and is staffed by one physician and one nurse on a full-time basis (as well as three counselors and one nurse on a part-time basis).

1. Open hours

【Clinic】

Clinic Hours	Mon.	Tue	Wed.	Thu.	Fri.
10:30~13:30	○ (~12:00)	○	×	○ (~12:00)	○
15:00~16:30	×	○	○	×	○

Consultation, Resting, and Chat room: 9:00–17:00 from Mon. through Fri.

2. Diagnosis and treatment

If you are experiencing any physical problems, please do not hesitate to visit the center. Diagnostic equipment is in place to offer simple treatment, and the center prescribes medicine if necessary. If the care required is beyond the capacity of the center, you will be introduced to outside specialists or hospitals.

3. Mental health counseling

A doctor and nurses work together to offer mental counseling. The center is visited by professional counselors twice a week (three counselors each time) to offer counseling services. Please feel free to visit the center. Confidentiality obligations are strictly observed.

4. Medical checkups

General regular medical checkups are available in June, while special regular medical checkups are offered to those who handle RI, X-ray, gene recombination, organic solvents, and specified chemical substances. Patients are informed of all details (including the schedule) via e-mails, letters, and bulletin boards.

(Those who take a complete medical checkup are required to submit copy of the report to Health Care Center.)

5. Issuing health certificates

The center issues health certificates required for job applications and enrollment in advanced academic programs. Health certificates are available if you have gone through all the check items in the general regular medical checkups. Health certificates are issued (i) via the automatic certificate issuing system at the entrance lobby of the NAIST Library or (ii) at the Health Care Center.

6. Self checks

Automatic height and weight scales, digital sphygmomanometers, and automatic optometers (located in front of the reception desk of the center) are available anytime for self checks.

7. Student chat room

The room is available for relaxation and chatting.

8. Resting room

The resting room is available when you feel ill and want to take a rest.

9. Free-of-charge services and confidentiality obligations

- All the services offered by the center are free of charge. Please note, however, that medical expenses are incurred (but 70% of the expenses is covered by the National Health Insurance program) when you consult physicians at medical institutions introduced by the center.
- Please handle equipment carefully.
- All the medical practices (including physical and mental counseling) are subject to confidentiality obligations, which are strictly observed.

10. HCC NEWS (the Health Care Center News)

HCC NEWS (the Health Care Center News) is issued and distributed annually to provide useful information.

11. Contact information

Director's office at the center: Dr. Hidetaka Hougaku (physician) (extension 5105)

Reception desk at the Consultation Room: Ms. Kinuyo Nishiyama (nurse) (extension 5108)

The Health Care Center is always available to maintain and promote your health.

健康診断ならびに健康・安全教育

本学構成員に対し、健康の保持増進を図るため学校保健安全法に則り一般健康診断を、安全・衛生を確保するため労働安全衛生法に則り特殊健康診断を実施しています。

1. 健康診断

名称	区分	日程	対象	内容
一般健康診断 (※1)	情報科学研究科	6月25日(水)	学生全員	問診・診察、身体計測、視力・聴力検査、血圧測定、胸部X線検査、尿検査、血液検査
	バイオサイエンス研究科	6月24日(火)		
	物質創成科学研究科	6月23日(月)		
特殊健康診断	RI・X線健康診断 (※2)	(年2回) 第1回は一般定期健康診断時に、第2回は12月に予定	放射線実験従事者として登録の学生	問診、診察、血液検査
	遺伝子組換え健康診断 (※3)	(年1回) 一般定期健康診断時に併せて実施	遺伝子組換え実験従事者として登録の学生	問診、診察、血液検査
	有機溶剤健康診断	(年2回) 第1回は一般定期健康診断時に、第2回は12月に予定	有機溶剤実験従事者で、使用頻度・取扱量から産業医が必要と判断した学生	問診、診察、血液検査、尿検査など
	特定化学物質健康診断	(年2回) 第1回は一般定期健康診断時に、第2回は12月に予定	特定化学物質実験従事者で、使用頻度・取扱量から産業医が必要と判断した学生	各特定化学物質に定められた問診、診察、血液検査、尿検査など

※1：健康診断証明書の交付には、この一般健康診断時の全項目を受検していることが条件となります。

※2：RI・X線健康診断を受検していないと放射線実験はできません。

※3：遺伝子組換え健康診断を受検していないと遺伝子組換え実験はできません。

2. 健康・安全教育

健康の保持増進を図り、安全・衛生を確保し、安全意識の高い学生を世に送り出すため全学的な健康・安全教育を行っています。

名称	区分	日程	対象
健康教育	フィジカルヘルス・メンタルヘルス	5月20日(火) 4時限	新入学生全員
安全教育	安全教育(共通編)	4月7日(月) 4～5時限	
	安全教育(実験編)		

Medical Checkups and Health & Safety Education

NAIST offers general medical checkups in accordance with the School Health and Safety Act to maintain and promote the health of its students, while conducting special medical checkups in accordance with the Industrial Safety and Health Act to ensure student safety and health.

1. Medical checkups

Name	Category	Date	Target	Details
General medical checkup ^{*1}	Graduate School of Information Science	Wed., June 25	All students	Interview/examination, body measurement, visual acuity/hearing tests, blood pressure measurement, chest X-ray, urine tests, and blood tests
	Graduate School of Biological Sciences	Tue., June 24		
	Graduate School of Materials Science	Mon., June 23		
Special medical checkup	RI/X-ray ^{*2}	(Twice a year) The first special medical checkup is conducted concurrently with the general regular medical checkup. The second special medical checkup is scheduled for December.	Students registered as participants of radiation experiments	Interview, examination, and blood tests
	Gene recombination ^{*3}	(Once a year) The special medical checkup is conducted concurrently with the general regular medical checkup.	Students registered as participants of gene recombination experiments	Interview, examination, and blood tests
	Organic solvents	(Twice a year) The first special medical checkup is conducted concurrently with the general regular medical checkup. The second special medical checkup is scheduled for December.	Students registered as participants of experiments using organic solvents and identified by industrial physicians based on frequency and volume of organic solvents handled	Interview, examination, blood tests, urine tests, etc.
	Specified chemical substances	(Twice a year) The first special medical checkup is conducted concurrently with the general regular medical checkup. The second special medical checkup is scheduled for December.	Students registered as participants of experiments using specified chemical substances and identified by industrial physicians based on frequency and volume of specified chemical substances handled	Interview, examination, blood tests, urine tests, etc., required for respective specified chemical substances

^{*1} Health certificates are available if you have gone through all the check items in the general medical checkups.

^{*2} Students who do not take medical checkups in the category of “RI/X-ray” are not allowed to engage in radiation experiments.

^{*3} Students who do not take medical checkups in the category of “Gene recombination” are not allowed to engage in gene recombination experiments.

2. Health & safety education

NAIST offers health and safety education programs for all the students to (i) maintain and promote health, (ii) ensure safety and health, and (iii) develop human resources with high levels of safety awareness.

Name	Category	Date	Target
Health education	Physical & mental health	Tue., May 20 4th period	All new students
Safety education	Safety education (common)	Mon., April 7 4th–5th periods	
	Safety education (experiment)		

キャリア支援室

本学では、学生（主に博士後期課程学生）及び博士研究員のキャリア形成をサポートするために、平成 25 年度からキャリア支援室を設置しています。事務局棟 1 階（学生課隣り）に位置し、室内には求人票、情報検索用のパソコン 2 台、就職関連本（SPI 対策本や会社四季報など）を取り揃え、キャリア・アドミニストレーターが皆さんのキャリア形成に関する様々なサポートを行っています。

1. 開室時間：10:30～17:30（12:00～13:00 を除く）

※土曜、日曜、祝日、その他大学が定める休日は閉室します。

2. 就職関連図書の貸出

就職活動やキャリアビジョン策定に役立つ図書の貸出を行っています。

図書貸出のルール

①貸出期間：原則 1 週間以内

※ただし、次の貸出を希望する学生がいない場合は 1 週間の延長が可能です。

その際、返却日までにキャリア支援室まで連絡してください。

※長期間返却しない場合は、次回の貸出を受け付けません。

②貸出可能な冊数：2 冊まで

※閲覧用図書、雑誌の貸出は行いません。

※貸出の際には、本人確認のため学生証が必要です。

③貸出および返却場所：キャリア支援室

3. 就職ガイダンス

学生の就職活動を支援するために、就職ガイダンスを実施しています。日程等の詳細は、後日、キャリア支援室ホームページやメールによりお知らせします。

●平成 26 年度実施予定

第 1 回	平成 26 年度就職活動の進め方	9 月～翌年 6 月で 第 1～13 回実施
第 2 回	自己分析対策講座	
第 3 回	自己 P R 作成講座	
第 4 回	履歴書・エントリーシート対策	
第 5 回	面接対策・マナー講座	
第 6 回	就職ナビサイト活用講座	
第 7 回	企業・業界研究に役立つ新聞の読み方講座	
第 8 回	面接集中講座①（集団面接）	
第 9 回	模擬グループディスカッション	
第 10 回	面接集中講座②（集団面接）	
第 11 回	面接集中講座③（集団面接）	
第 12 回	実践！模擬面接講座	
第 13 回	直前対策講座	
模擬エントリーシート添削、模擬試験（SPI 対策テスト）、公務員試験対策、留学生向け就職ガイダンス		

4. キャリア相談

キャリアビジョンや就職活動を進めていく上での悩み・不安などについての相談を受け付けています。相談には、キャリア・アドミニストレーター（博士後期課程学生のみ）のほか、就職支援機関のキャリア・アドバイザーが対応します。相談は完全予約制で、予約方法の詳細はキャリア支援室ホームページに掲載しています。なお、相談内容の秘密は厳守されます。

5. 連絡先

内線番号 5921/5922

E-mail : career@ad.naist.jp

URL : <http://www.naist.jp/career/>

総合情報基盤センター：ITC（キャンパスマップ⑧）

総合情報基盤センター(ITC: Information Initiative Center)は、本学の情報基盤および情報ネットワークシステム(曼陀羅システム)の整備・運用・管理、情報セキュリティ管理、情報メディアを活用した教育研究の支援を行なっています。

皆さんが曼陀羅システムで利用できる主なサービス

- 個人常用ワークステーション(ITC が管理する PC)
- ソフトウェア
- メール
- 印刷
- 無線 LAN を含む学内ネットワーク
- ファイルサーバ(ホームディレクトリやプロジェクトディスク)
- その他、利用方法など詳しい情報は以下をご参照ください
<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/mandara.html>

皆さんが曼陀羅システムを利用する上で守るべきこと

曼陀羅システムを利用する際は右の“情報ネットワーク利用に関する倫理規定”に記載されている遵守事項を守ってください。また、“全学情報環境システム運用方針”、“PC のセキュリティ対策について”、および“P2P ソフトウェア利用に関して”のページも必ず読み、ルールを守った上で利用してください。

■ 全学情報環境システム運用方針

http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/mandara_operation_policy_ja.pdf

■ PC のセキュリティ対策について

<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/security/>

使用する PC においてはセキュリティ対策を必ず実施してください。

■ P2P ソフトウェア利用に関して

<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/p2p/>

P2P ソフトウェアは学内および学生宿舎での利用を禁止しています。

これらの遵守事項やルール、また日本の法律を破った場合は、アカウント停止等の必要な措置を厳正に講じます。

曼陀羅システムとは

総合情報基盤センターでは、大学の情報基盤・情報ネットワークシステムのことを、**曼陀羅システム**と呼んでいます。“曼陀羅”とは密教における無限小の求心が逆に無限大の拡散に繋がる心理を意味しています。本学ではこれを基本理念として、利用者のニーズに基づいたシステム展開と、先進的な環境構築のために戦略的なアーキテクチャ構成を行っています。また“曼陀羅”が表す「過不足の無い充実した状態」の達成を目指し、曼陀羅システムの構築を進めています。

奈良先端科学技術大学院大学 情報ネットワーク利用に関する倫理規定

<http://reiki.naist.jp/kiyaku/pdf/12020.pdf>

遵守事項(倫理規定第4条)

1. 他の者の通信の秘密を侵害しないこと
2. プライバシー等の他の者の人権を侵害しないこと
3. 著作権等の知的財産権を侵害しないこと
4. わいせつな図画の流布に係る通信行為が其他法令に違反し、又は公序良俗に反する通信を行わないこと
5. 有害なプログラムやデータによる情報ネットワークシステムや機器類の損傷その他情報ネットワークシステムの運用を妨害する行為をしないこと
6. 許可された利用権限以外のアクセスを行わないこと
7. 宗教的又は政治的な目的のために利用しないこと
8. 個人的な営利を目的として利用しないこと
9. 情報ネットワークシステムの円滑な利用を妨害しないこと
10. その他個人、本学や社会の利益を不当に損なう行為をしないこと

曼陀羅システムの各情報

曼陀羅システムの詳細や利用方法等については ITC のホームページをご覧ください。

■ ITC ホームページ

<http://itcw3.naist.jp/>

■ 利用方法が知りたいときは

<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/mandara.html>

■ アナウンスについて

メンテナンス等により曼陀羅システムが利用できなくなる場合は、ITC のホームページに記載すると共にメールでお知らせしますので、ITC からのメールは必ずお読みください。

■ 連絡先について

<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/ITC-mail-lists/itc-trouble.html>

ITC が管理するマシン、ネットワーク、プリンタなどに障害が起きた場合は、以下の連絡先に連絡してください。研究科により連絡先が違いますので注意してください。

研究科	連絡先	ITC 担当窓口
情報科学研究科	メールまたは WEB から ITC に連絡してください - メール (To: itc-trouble@itc.naist.jp) - WEB (http://itcw3.naist.jp/ITC-local/ITC-mail-lists/itc-trouble.html)	ITC 情報棟 B207
バイオサイエンス研究科	所属する研究室のコンピュータ係に連絡してください	バイオ技術職員室 バイオ棟 D214
物質創成科学研究科	所属する研究室の情報機器管理者に連絡してください	物質技術職員室 物質棟 E202

なお、メールや WEB からの連絡ができない場合(情報)や、コンピュータ係・情報機器管理者が不在の場合(バイオ・物質)、およびコンピュータウイルス感染などの非常時においては ITC の各担当窓口にご連絡ください。

Information Initiative Center : ITC(Ⓢ)on the campus map)

ITC manages and operates Information infrastructure and Information network (Mandara System) in NAIST. ITC also conducts the support of education and research by utilizing Information security management and Information media.

The Mandara System includes:

- Personal Workstation (ITC manages these PCs)
- Licensed Software
- Email
- Printers
- IT Network and Wireless LAN
- File Server (Home Directory and Project Disk)
- See below for more about the Mandara System.
<http://itcw3.naist.jp/mandara.en.html>

Basic Rules and Regulations

When you use the Mandara System, you must observe the Ethical Regulations and the following Basic Rules.

- Mandara Operation Policy
http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/mandara_operation_policy_en.pdf

- Computer Security on Mandara
<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/security/index.en.html>

It is necessary to keep your computer secure in order to use the network properly.

- Use of P2P Software
<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/p2p/index.en.html>

Using peer-to-peer (P2P) file-sharing software in NAIST or the NAIST dormitory is prohibited.

[If you break these regulations, rules and the Laws of Japan, ITC may suspend your account. So you have to keep these rules.](#)

What is "Mandara"

The university-wide information system at NAIST is named "Mandara", which refers to the truth in Esoteric Buddhism (i.e., the seeking of the infinitesimal paradoxically leads to infinite proliferation).

The Mandara System features strategic architectural configuration to meet user needs and build an advanced environment.

Meanwhile, an information processing environment has been developed from the viewpoint of researchers based on the basic principle of "fulfillment without excess or deficiency" as represented by Mandara.

Ethical Regulations for NAIST Information Network Use

http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/ethical_regulations/ethical_regulations_en.pdf

Network Rules (Ethical Regulations – Article 4)

1. Do not violate the personal communication of others.
2. Do not violate the rights or privacy of others.
3. Do not violate copyrights or intellectual property rights.
4. Do not send or participate in the sending of obscene/indecent pictures or writing, immoral communication, or any other communication that violates Japanese laws and ordinances.
5. Do not obstruct the management and operation of the Information Network System or damage the network or its equipment through the use or downloading of harmful software or data.
6. Only access the Information Network System within the authorized limits.
7. Do not use the Information Network System for religious or political purposes.
8. Do not use the Information Network System for personal profit.
9. Do not obstruct the proper management and operation of the Information Network System.
10. Do not participate in or perform acts that unjustly impair or harm personal, university, or social interests and activities.

More Information about the Mandara System

You can get more information about the Mandara System on the ITC web pages.

- ITC web page

<http://itcw3.naist.jp/>

- How to use the Mandara System

<http://itcw3.naist.jp/mandara.en.html>

- ITC Announcement

When the Mandara System is scheduled to stop due to some reasons such as the maintenance of network, ITC will inform you through the ITC web page and email. So, please read the email from ITC.

- Contact Information

<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/ITC-mail-lists/itc-trouble.en.html>

When you have troubles with machines ITC manages, network and printer, please contact the person in charge through the following contact information. Please be reminded that the contact Information is different in each school.

Graduate School	Contact Information	ITC Staff's Room
Information Science	ITC - Email (To: itc-trouble@itc.naist.jp) - WEB (http://itcw3.naist.jp/ITC-local/ITC-mail-lists/itc-trouble.en.html)	IS building - B207
Biological Sciences	PC administrators and faculties in your lab	BS building - D214
Materials Science	PC administrators and faculties in your lab	MS building - E202

If the student of Information Science cannot contact the person by email or web, the person in charge is not available (for the student of Biosciences and Materials Sciences), or you have troubles such as the infection of computer virus, please contact ITC staff directly.

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学情報ネットワーク利用に関する倫理 規程

平成16年4月1日
規程第 86 号

(目的)

第1条 この規程は、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）における情報ネットワークの利用に関して、通信の秘密、人権若しくは知的財産権を侵害する行為、倫理上問題となる行為又は情報ネットワークの適切な運用を妨害する行為を防止し、情報ネットワークシステムの円滑な運用を図り、もって教育研究及び管理運営の活性化に資することを目的とする。

(定義)

第2条 この規程において用いる用語の定義は、次のとおりとする。

- (1)「情報ネットワークシステム」とは、本学が管理・運用する情報ネットワーク設備、それらに接続されたコンピュータ、情報関連機器及びそれらにおいて用いられるソフトウェアをいう。
- (2)「利用者」とは、役員、職員、学生その他本学において教育研究又は事務若しくは技術に従事する者で、本学の情報ネットワークシステムを利用する者をいう。
- (3)「システム管理者」とは、総合情報基盤センター長その他本学の情報ネットワークシステムを管理する者をいう。

(利用目的の限定)

第3条 情報ネットワークシステムの利用は、教育研究及び大学運営に関する目的に限られる。

(遵守事項)

第4条 利用者は、情報ネットワークシステムが社会に対して強くかつ広い影響力を持つものであることを認識し、その適切かつ円滑な運用に努め、次に掲げる事項を遵守しなければならない。この場合において、利用者は、個人情報又は業務上知り得た情報を適切に取り扱わなければならない。

- (1) 他の者の通信の秘密を侵害しないこと。
- (2) プライバシー等の他の者の人権を侵害しないこと。
- (3) 著作権等の知的財産権を侵害しないこと。
- (4) わいせつな図画の流布に係る通信行為その他法令に違反し、又は公序良俗に反する通信を行わないこと。
- (5) 有害なプログラムやデータによる情報ネットワークシステムや機器類の

- 損傷その他情報ネットワークシステムの運用を妨害する行為をしないこと。
- (6) 許可された利用権限以外のアクセスを行わないこと。
 - (7) 宗教的又は政治的な目的のために利用しないこと。
 - (8) 個人的な営利を目的として利用しないこと。
 - (9) 情報ネットワークシステムの円滑な利用を妨害しないこと。
 - (10) その他個人、本学や社会の利益を不当に損なう行為をしないこと。

(システム管理者の責務)

第5条 システム管理者は、この規程の趣旨及び前条に規定する遵守事項を利用者に周知するとともに、情報ネットワークシステムの利用に関する倫理について啓発活動に努めなければならない。

- 2 システム管理者は、この規程に違反する行為又は状態があるときは、違反した者の情報ネットワークシステムの利用を停止するなど必要な措置を講ずることができる。

(実情調査等)

第6条 第4条に規定する遵守事項に違反する行為又は状態がある場合、発見者は、総合情報基盤センター（以下「センター」という。）に通知しなければならない。

- 2 センターは、実情を調査し、第4条に規定する遵守事項に違反した者が判明した場合は、学長及び当該違反者が所属する長に調査結果の報告を行うものとする。
- 3 センターは、当該事案に他の学内委員会の所掌に属する事項が含まれる場合には、前項の報告に併せて、当該委員会に調査結果を通知するものとする。
- 4 センターは、第2項の実情調査を行うに当たって、当事者その他の関係者のプライバシー、名誉その他人権に十分配慮して公正な事情聴取を行わなければならない。

(処分等)

第7条 学長は、前条第2項の報告に基づき、所定の手続を経て、違反の行為の程度に応じて、懲戒処分その他必要な措置を厳正に講ずる。

(雑則)

第8条 この規程に定めるもののほか、情報ネットワークの利用に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成17年10月20日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年8月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年3月1日から施行する。

Ethical Regulations for NAIST Information Network Use

Note: This is English translation of the Ethical Regulations for NAIST Information Network Use, which is originally in Japanese. It is provided as a reference for international staff and students to understand the content of Ethical Regulations for NAIST Information Network Use and it should not be regarded as official regulations.

Article 1 (Purpose)

These regulations have been created to prevent actions that may violate communication privacy, human rights, or intellectual property rights, actions of moral misconduct, and those actions that may interfere with proper operation during the use of NAIST's information network. In addition, they have been created to ensure smooth operation of the information network system and contribute to the improvement of its management, supervision and role in education and research.

Article 2 (Definitions)

- (1) The “Information Network System” refers to the facilities for the management and operation of the information network, the computers connected to this network, equipment related to the network, and the software used on it.
- (2) “Users” refers to NAIST directors, staff, faculty, students and those engaged technical, administrative, research, or educational activities, who use NAIST's information system.
- (3) “System administrator” refers to the director of the Information Initiative Center and those involved with administration and management of the information network system.

Article 3 (Restrictions of Use)

The information network system is to be solely used for the purposes of education, research and university administration and management.

Article 4 (Network Rules)

Users recognize that the Information Network System can have strong and broad effects on society and, in order to ensure the smooth and proper operation of the network, agree to abide by the following rules. In using the internet, the user must handle all information, personal and otherwise, attained through the system properly.

- (1) Do not violate the personal communication of others.

- (2) Do not violate the rights or privacy of others.
- (3) Do not violate copyrights or intellectual property rights.
- (4) Do not send or participate in the sending of obscene/indecent pictures or writing, immoral communication, or any other communication that violates Japanese laws and ordinances.
- (5) Do not obstruct the management and operation of the Information Network System or damage the network or its equipment through the use or downloading of harmful software or data.
- (6) Only access the Information Network System within the authorized limits.
- (7) Do not use the Information Network System for religious or political purposes.
- (8) Do not use the Information Network System for personal profit.
- (9) Do not obstruct the proper management and operation of the Information Network System.
- (10) Do not participate in or perform acts that unjustly impair or harm personal, university, or social interests and activities.

Article 5 (System Administrator Duties)

The system administrator will alert all users of these regulations and the rules within, while promoting moral awareness concerning information network system usage.

- (2) The system administrator may take measures such as canceling access to the Information Network System of those individuals who violate or are in violation of these regulations or any of the rules within.

Article 6 (Network Investigation)

Upon discovering acts or computers in violation of the rules in article 4, report this to the Information Initiative Center. (Herein referred to as “Center”)

- (2) After investigating possible violations and finding violations of the rules in article 4, the Center will notify the university president and the dean of the violator’s graduate school of the investigation results.
- (3) In the case where a violation involves areas under the administration of a university committee, the Center will also notify the appropriate committee of the investigation results.
- (4) In performing the investigation in (2), the Center will perform an impartial interview of the possible violation and those involved, taking care to respect their respective privacy, rights, and reputation.

Article 7 (Disciplinary Actions)

After receiving a report of the investigation in Article 6-(2) and after following the appropriate procedures, the university president will decide strict disciplinary actions appropriate to the severity of the violation.

Article 8 (Miscellaneous Provisions)

Provisions and rules in addition to those stated in these regulations will be established concerning information network usage.

Supplementary Provision

These regulations shall come into effect on April 1, 2004.

Supplementary Provision

These regulations shall come into effect on April 1, 2005.

Supplementary Provision

These regulations shall come into effect on April 1, 2010.

Supplementary Provision

These regulations shall come into effect on April 1, 2011.

全学情報環境システムの運用方針

— 2013年度版 —

総合情報基盤センター

総合情報基盤センターでは本センターが管理運用する全学情報環境システムについて、2013年度は以下のような指針に基づいて運用を行う。

(アカウントについて)

1. 総合情報基盤センター保有システムのアカウント(以下、曼陀羅アカウント)について総合情報基盤センターでは以下の条件を満足する場合にのみ、曼陀羅アカウントを発行する。アカウントは本人のみの使用を許可しており、他人への貸与を禁止する。
 - 本学教職員
 - 本学学生
 - 本学役員
 - 本学が契約している派遣会社からの派遣職員
 - 本学によって受け入れが認められている外部研究員
 - 運用管理上必要となるアカウント
 - その他総合情報基盤センター長が認めるもの
2. 曼陀羅アカウントの失効について
異動、退職等により本学を離れると同時に曼陀羅アカウントは失効する。曼陀羅アカウントの失効とは、該当アカウントで曼陀羅システムに login できなくなり、メールアカウントが無効となることである。ただし、メールの転送設定は、本学を離れてから3ヶ月間有効である。
3. 各研究室購入機器におけるアカウント(以下、研究室アカウント)について
以下の手順で各研究室がアカウント作成を行うこと
 - UNIX マシン上で研究室アカウントを作成する際は本学環境内での UID , GID の衝突を避けるため総合情報基盤センターまで連絡すること。
 - 基本的に研究室アカウントは各研究室が管理すること。

- 曼陀羅アカウントを持っているものは、全学ファイルサーバ上のホームディレクトリを利用してよい。それ以外の研究室アカウントのホームディレクトリは各研究室で用意すること。
4. 全学情報環境システムの各システムにおける super user アカウント (Microsoft Windows については Administrator) は総合情報基盤センターが認めた利用者だけに開放する。
 - 研究遂行上、必要と認められる場合には super user アカウント (または Administrator) を開放する。その際、運用管理上の問題が発生しないように利用者と運用管理についての打ち合わせを十分行い注意喚起すること。
 - それ以外の場合には、基本的に super user (または Administrator) のアカウントは公開しない。
 5. 曼陀羅アカウントの停止について
 - 奈良先端科学技術大学院大学情報ネットワーク利用に関する倫理規程に違反した場合、割り当てた曼陀羅アカウントを停止する。

(個人情報保護について)

6. 利用者に対する個人情報保護に関わる方針を以下のとおり定める。
 - 研究上若しくは職務上で知りえた一切の個人情報は、生涯にわたり第三者に故意または過失によって提供、漏洩しないこと。
 - 個人情報の取り扱い、研究若しくは職務の遂行上正当な理由の場合に限定して行うこと。
 - 研究上若しくは職務上不必要となった個人情報については、完全に破棄または消去すること。
 - 万一、個人情報が提供、漏洩するような事が発生した場合は、本学規約に基づき処理されるものとする。
7. 総合情報基盤センターでは、保持する個人情報をその利用目的に限り使用する。総合情報基盤センターが保持する個人情報及びその利用目的は、以下の通りである。
 - 総合情報基盤センターが保持する個人情報
 - － 曼陀羅アカウントを所持する本人を特定できる個人情報ファイル
この個人情報ファイルに含まれる情報は、氏名・所属・曼陀羅アカウント名・曼陀羅アカウントの有効期間・システムへの設定パラメータである。
 - 利用目的
 - － 曼陀羅アカウントの発行および失効

- システムの利用状況などの調査
- 総合情報基盤センターの円滑な運用

但し、この方針の中でいう個人情報及び個人情報ファイルとは、本学個人情報管理規程第3条で定義されたものをいう。

(全学情報環境システム上のデータについて)

8. 全学情報環境システム上のデータは、全て本学に帰属する。

(総合情報基盤センターから提供される機材について)

9. 総合情報基盤センター保有システムのハードウェアの増設・改変は認めない(付属機器等の接続変更を含む)。
10. 個人常用ワークステーションの本体電源は常に ON の状態にしておくこと (Microsoft Windows, Mac OS で動作するマシンを含む)。
11. 全ての個人常用ワークステーションの勝手な移動は認めない。
 - 同一の部屋内での移動であっても、ネットワークの切断が発生するような移動の場合は必ず利用者に正しい手続きにより連絡させること。
12. 個人常用ワークステーションのローカルディスク領域は各利用者には提供しない。
13. ファイルサーバのホームディレクトリ領域および500GB以下のプロジェクトディスク領域のバックアップは総合情報基盤センターが定期的に行う。
14. ファイルサーバのディスクの割り当ては当面、教員 200GB、学生 100GB とし、必要に応じて割当領域を変更する。
 - 割当領域の変更は、要求ベースで判断する。
 - 全てのディスク空き領域を、各研究室やユーザに対して事前に割り当てることは行わない。足りなくなった時点で割り当てるという方針で行う。

(ネットワーク接続について)

15. ネットワーク接続に当たっては総合情報基盤センターに対してどのような機器を接続するかといった説明を必ず行わせること。ネットワーク運用上障害が予想される場合には、接続を許可しない。

16. IP address 等については総合情報基盤センターに申請を行わせ、正式なアドレスを手させること。
17. 研究室購入の設備を学内ネットワークに接続する場合、接続に必要な機器・器財はすべて研究室側で用意させること (ケーブルを含む)。

(消耗品の管理について)

18. システム運用上発生する消耗品については、各研究科、各部局が消耗品の発注・支払を行うこと。
19. 各フロアのローカルサービスシステムのプリンタ消耗品(トナー、ドラム、用紙など)の補充・交換作業は、利用者が行うこと。またこれらの在庫は、各研究科、各部局が管理すること。

(メンテナンスについて)

20. 全学情報環境システムに不具合が生じ、緊急に対処する必要がない場合は、水曜日午前にシステムを停止して、復旧作業を行うこと。このとき、約1週間前に電子メールにて、事前周知を行うこと。
21. 全学情報環境システムに緊急を要する不具合が生じた場合は、各部局への連絡を行った後、システムを直ちに停止し、復旧作業を行うこと。

(その他)

22. 小規模計算サーバシステム、情報科学研究システム、バイオ情報処理システム、物質創成科学情報処理システム、物質創成研究システムなどの研究系設備については、必要に応じて主たる利用者と共同運用すること。
23. 原則として、異動・退職者の曼陀羅アカウントは即座に失効させること。曼陀羅アカウント失効後、ホームディレクトリ上のデータは消去すること。
24. 全学情報環境システムの機器の破損・盗難が発生した場合には、利用者と総合情報基盤センターが誠意を持って相談の上、解決すること。
25. 全学情報環境システムのマニュアルは総合情報基盤センターが管理・保管すること。利用者がマニュアルを必要な場合、提供すること。

MANDARA Operation Policy (ver.2012)

Information Initiative Center of NAIST

Note: This is English translation of the MANDARA Operation Policy, which is originally in Japanese. It is provided as a reference for international staff and students to understand the content of MANDARA Operation Policy and it should not be regarded as official regulations.

MANDARA Account

1. ITC (Information iniTiative Center) issues MANDARA System user accounts for the following types of users. Users who is issued MANDARA account must not lend it to other people.

: (“MANDARA” is the university system at NAIST)

- University executives
 - Faculty members, staff and students in NAIST
 - Temporary employees who have made a contract with the finance division of the University.
 - Researchers who are authorized by the University Office
 - Any other people who are approved by the chair of ITC
2. MANDARA Account Expiration
 - Your MANDARA account will be considered expired if you are no longer employed or officially affiliated with NAIST. In the case of an expired account, you will not be able to login to the system and your mail account will be voided. You will still be able to transfer you mail for up to 3 months from the date of expiry.
 3. User account settings in laboratory equipment

Please create your user account using the following procedure:

 - If you create user account on UNIX system, you must contact ITC. This is necessary to avoid UID/GID conflicts between your system and MANDARA system.
 - User accounts are managed by each user's respective laboratory.

- People who have MANDARA account on ITC system's can use a home directory assigned in file server. Any other accounts must be prepared by the individual.
4. Super User Accounts ("Administrator" accounts in Microsoft Windows) are available on a limited basis.
 - If you need a super user account to conduct your research, please consult with ITC. If such an account is granted, it is up to the user to ensure responsible usage of the account in order to avoid problems.
 - Super user accounts cannot be issued for any other circumstance other than the one detailed above.
 5. MANDARA Account suspension
 - Any user's MANDARA account who violates any of the policies outlined in the NAIST Information Network Ethics Regulations will be suspended.

Privacy

6. ITC outlines the privacy policy as follows:
 - Information gained in the course of your research may not be disclosed to a third party for the rest of your life.
 - The use of personal information is restricted to cases where such information is deemed necessary for either your research or work.
 - When the personal information become unnecessary for your research, you have to completely delete the information.
 - If personal information is leaked, the issue will be handled according to our university's policies.
7. ITC use the personal information to limited purpose. The ITC saves personal information for the following reasons:
 - Personal information
 - ITC will use personal information files to estimate users' identification.
 - That file includes name, affiliation, MANDARA account name, MANDARA account term and system parameter.

- Purpose
 - MANDARA account assignment and experimentation
 - System observation
 - Stable system operation
- Personal information and files are defined in the third clause of the NAIST Personal Information Management Policy.

Data on MANDARA

8. The amount of data property on MANDARA is vested to our university.

Computer Equipment provided by ITC

9. You may not extend or alter any system hardware provided by ITC. Additionally, you cannot change hardware connections such as USB and Ethernet.
10. Please ensure that all individual workstations' power switches (including Microsoft Windows and Apple machines) are left on.
11. You are not allowed to move personal workstations provided by ITC.
12. ITC is unable to assign local disks attached to your workstation.
13. ITC performs scheduled backups of your home directory and project disks so long as those disks remain under the 500GB storage limit.
14. Your home directory is limited. ITC has assigned a 200GB limit for faculty members and a 100GB limit for students.
 - A) You may request to change the amount or disk space you are assigned.
 - B) ITC is unable to assign an entire disk space to a user or dedicated laboratory.

Network Connectivity

15. You must consult with ITC before connecting any equipment to the MANDARA network. If the proposed equipment poses any potential for network system failures, the request will be denied.
16. Only use IP Addresses that have been assigned by the ITC.
17. Equipment required for connecting to the network (e.g. a network cable) must be provided by the user.

Consumable products

18. Individual departments are responsible for the ordering and funding of consumable products.
19. Individual users are responsible for changing printer equipment such as paper, ink toner, etc. Such equipment is managed by each individual department.

Maintenance

20. Please be aware that the network requires periodic downtime for maintenance. In such cases ITC will issue a notice by email about 1 week prior to the maintenance shutdown.
21. If a system failure occurs and emergency action is necessary, ITC will immediately shutdown the system and commence recovery work after communicating with the individual departments.

Others

22. ITC operates the following systems with the main user:
 - Small Cluster Server, Information Science System, Bioinformatics Processing System, Material Information Processing System, Material Research System
23. Please consult with ITC before using equipment for presentations.
24. As a general rule, you should remove your data and files from MANDARA system until your MANDARA account expiry date. The files that is managed by ITC will be removed after your account expiring.
25. In the case of broken or stolen MANDARA system equipment, ITC will take the issue up with the user.
26. ITC have an individual MANDARA system user manual. Please see ITC if you require it.

附属図書館 (キャンパスマップ②)

本学附属図書館は先端科学技術（情報科学、バイオサイエンス、物質創成科学）に関する教育・学術研究活動を支援する電子図書館です。本学の電子図書館のコンセプトは、図書・雑誌を冊子体ではなくデジタル技術により曼陀羅ネットワークを介して、いつでもどこでも自由に利用できることです。授業ビデオ・学位論文などの大学生産物を多様なメディアで提供するとともに、世界レベルの情報を統合的にフルテキストまでナビゲートサービスし、高い利用率を誇っています。

また、図書や雑誌を冊子体で提供する来館型図書館サービスについても、本学の教職員および学生は、24時間閲覧室の利用と貸出サービスの利用ができます。「知の森コーナー」、新しいタイプの閲覧室「マルチメディアラウンジ」・「シアターラウンジ」の整備、他大学図書館・国立国会図書館・奈良県立図書情報館との協定によるサービスの充実にも努めています。

電子図書館の主なサービス

1. 高度な情報検索

本学蔵書・電子化資料・学術リポジトリと電子ジャーナル・電子ブック・データベースを横断的に高速検索することができます。書誌・目次・抄録情報のみでは実現不可能な、本文情報を含めたいきめ細かい高度な検索機能を提供しています。

2. パーソナライズ機能

Web 経由で各種申し込みや進捗状況の把握を行うことができます。定期的に参照しているコンテンツ、自分自身の検索履歴・オンラインコンテンツの管理が行えます。

3. 新着情報通知機能 (SDI)

本文テキストをデータベース化することにより、利用者があらかじめ登録したキーワードに合致する資料の新着情報を電子メールで自動通知します。

4. 授業アーカイブ

研究科における授業をデータベース化して公開する取り組み「授業アーカイブ事業」を平成 17 年度から行っています。大学の要である日々の講義を、許諾を得たうえで蓄積・公開しています。

5. 学内生産物の組織的な保存、管理

学内の学生、教員、研究者などが生産する学位論文、テクニカルレポート、科学研究費補助金研究成果報告書などの研究成果、また学内で行われる招待講演なども、著者または講演者から、インターネット経由で利用する許諾を得た上で、デジタル情報として収集し、データベース化することで一元的な保存、管理および提供を可能にしています。



NAIST Library (② marked on the campus map)

We, NAIST Library support education and research in advanced sciences and technologies (especially in information science, biological sciences, and materials science). We pursue to make our library keep providing NAIST members with excellent accesses to books, magazines and scientific information anytime, anywhere connected with the internet through “MANDARA network”.

We provide accesses to digitalized NAIST academic works (e.g. lectures and academic dissertations), and efficiency navigation to full-text of latest scientific information on the library website we are proud of with frequent access.

We also provide usual library services (e.g. book circulation, magazine browsing) for 24 hours. And we are improving services: setting up the booth offering books in specialized theme, “CHI NO MORI”, renovation for new reference rooms, “Multimedia Lounge” and “Theater Lounge”, enlarging interlibrary services (already available with National Diet Library and Nara Prefectural Library and Information Center).

The major services of the library

1. Advanced search

NAIST library provides fast crossover search function on the library web from our book collection, digitalized NAIST academic works, our institutional repository collection, available e-journals and e-books. This will give you fine result by search in full-text data of our collection and available e-journals as well as in bibliographies, tables of contents and abstracts.

2. Personalization

NAIST library provides functions to allow the members to request services and to confirm order status via the personalized web page for each member. The members can also receive and check the news of subscribed academic materials, and manage the history of the viewed materials on the personalized web page.

3. Selective dissemination of information ("SDI")

NAIST library provides "SDI" function to send an email to inform of arrival of the material including the words of concern that the members registered on the personalized web page.

4. Lecture archives

NAIST library launched “Lecture archives”, that have digitalized our schools’ lecture movies, to make them public or release to the members on the library web from the year 2005. NAIST library is digitalizing and releasing the lectures, the principal activity of NAIST, with permission from lecturers.

5. Centralized production of digitalized works

NAIST library takes the central role in producing, releasing and managing digitalized data of NAIST academic works with permission for access through the internet.

The major types of digitalized works are follows:

- a. Scientific articles
- b. Academic dissertations
- c. Technical reports
- d. KAKENHI Research-results reports
- e. Lecture movies (including guest lecturers if permitted.)

英語Eラーニングシステム(ALC NetAcademy 2)



1. ALC NetAcademy 2 とは

ALC NetAcademy 2はLAN環境で使用するネットワーク型の英語学習システムです。英語力の向上、TOEICテスト対策、理工系の論文読解等、自学自習に役立ててください。

学習者は各自の英語レベル、興味ある教材、リスニング・リーディングなど強化したい分野を選んで学習が可能です。

2. 利用対象者

本学の学生・教職員であれば「在学生の皆様へ(学内専用)」ホームページから利用することができます。学内はもちろん、自宅などの学外からも24時間利用することができます。利用登録等は必要ありません。

3. アクセス

「在学生の皆様へ(学内専用)」ホームページのその他「ALC NetAcademy」からログインしてください。
(<http://itcw3.naist.jp/NetAcademy/NetAcademy.html>)

アカウント・パスワード：曼陀羅システムと同じアカウント・パスワードで利用できます。

4. コース

スーパースタANDARDコース、STANDARDコース、初中級コース プラス、技術英語<基礎>コース、技術英語パワーアップコースの5つのコースを利用できます。

5. 動作環境

NetAcademy2は以下の環境で動作確認ができています。

OS	Windows XP SP2 / Vista / 7 ※
WWW ブラウザ	Internet Explorer 7 / 8 / 9
その他	FlashPlayer 11

※対象OS以外でもFlashPlayerが動作すれば利用できるようです。ただし、表示がおかしい等の不具合が発生する可能性があります。

※MacOS X 10.3/10.4では『[初中級コース]の[TOEIC(R) テスト演習]で学習できない』という症状が確認されています。



English E-Learning System (ALC NetAcademy 2)

1. What's ALC NetAcademy 2?

ACL NetAcademy 2 is an online English learning system which provides self-study courses to improve English competence, practice TOEIC, and develop reading skills for scientific papers.

2. Who can Use NetAcademy 2?

Students and faculty members of NAIST can use the system. This system is on service 24 hours a day and is accessible at home or from outside the campus. Registration is not required.

3. How to Access?

You can directly access the following URL, using the same account and password as MANDARA System:

<http://itcw3.naist.jp/NetAcademy/NetAcademy.html>

4. What Courses are available?

The following five courses are available:

- Super-standard Course
- Standard Course
- Course for Beginners and Intermediates Plus
- Technical English (Basic Course)
- Technical English (Power-up Course)

5. Recommended System Requirements

NetAcademy 2 has been tested on the following platforms:

OS	Windows XP SP2 / Vista / 7 *
WWW Browser	Internet Explorer 7 / 8 / 9
Browser Plug-in	Flash Player 11

*NetAcademy 2 should run on other platforms as long as Flash Player operates properly.

However, there is a possibility that texts and animations are not displayed properly, etc.

*On MacOS X 10.3/10.4, TOEIC Test in the Course for Beginners and Intermediates Plus has been confirmed not to work properly.

11 キャンパスライフ



11 キャンパスライフ

授業料の額及び納付方法

1. 授業料の額及び口座振替による引落日

区分	授業料の額(※1)	引落日(※2)
博士前期課程	535,800 円	春学期(4月～9月)分:平成26年5月27日(火)
博士後期課程	(半期 267,900 円)	秋学期(10月～3月)分:平成26年11月27日(木)

※1: 在学中に授業料改訂が行われた場合には、新授業料が適用されます。

(5月及び11月に、電子メールにより授業料金額を通知しますので、ご確認願います。)

※2: 5月及び11月の授業料の引落日は27日ですが、27日が金融機関休業日の場合、翌営業日の引き落としとなります。(引き落とし日の前営業日の15時に残高照会が行われます)

2. 納付方法

本学で定める春学期分及び秋学期分の引落日に、それぞれ半期分を口座振替(代行納付)により引落しします。(春学期分と併せて秋学期分も納入を希望される方は、5月9日(金)までに申し出てください。なお、免除申請者は申請の結果がわかるまで猶予されます。)口座振替の手続き等の詳細については会計課資金係(内線6227)まで問い合わせてください。

授業料の納付を2期分怠ると除籍となりますので、ご注意ください。

学生証

本学の学生証はカードになっています。このカードは、学生の身分を証明すると同時に、各建物への時間外の入室(午後7時以降翌朝午前7時30分までの間、土曜、日曜、祝日)や証明書自動発行機の操作、図書館の本を貸し出しするための電子キーとしての働きもしますので、学内では常時着用してください。カードには、各学生の所属研究科、入学年、学生番号が入力されていますので、各建物への入室許可条件を自動判別することになります。

カード所持にあたっての注意事項

- ① 学内では学生証入れ等を使用し、常時着用すること。
- ② 他人に貸与又は譲渡しないこと。
- ③ 紛失した場合あるいは磁気不良等でカードが使用できない場合は、直ちに学生課学務係へ届け出ること。
当該建物に入る際、カードリーダーを通しても作動しない場合は、インターホンで所属と氏名を告げてロックを解除してもらうこと。(事務局棟1階:防災センターで対応)
- ④ 有効期間が満了したとき及び退学等により学生の身分を失ったときは、直ちに学生課学務係へ返却すること。
- ⑤ 学生証の取扱いについては以下の事項に注意すること。
 - ・高磁場・磁気(NMR等)に近づけない
 - ・高温な場所(夏場の車内等)に放置しない
 - ・折り曲げない

学生個人報告書

入学手続き時に提出していただいた「学生個人報告書」の情報は、緊急時における連絡用として使用しますので、以下の記載事項に変更が生じた場合は、速やかに学生課学務係へ届け出てください。

- 記載事項
 - ・入学後の住所、電話番号、携帯電話番号
 - ・勤務先の情報（有職者のみ）
 - ・緊急時の連絡先欄の連絡先氏名、続柄、住所、電話番号
- 届出方法
 - 学生課窓口（学務係）で受け付けます。

諸手続・諸証明書

1. 諸手続

手続きには、大学があらかじめ掲示等で通知をし、一定の期間内に行うものと、必要となった都度自発的に行うものがあります。手続きを怠ったり時期を失したりした場合には、本人の不利益となるばかりでなく、多方面に支障をきたすことがあるので、十分注意してください。

提出書類	内 容	問合せ・提出窓口
休学願	3ヶ月以上修学できない場合 (個人留学を含む。病気の場合は診断書添付) ※原則として1ヶ月前までに提出	学生課学務係 (内線 5085)
復学願	休学期間の途中で復学する場合 (病気の場合は診断書添付)	
復学届	休学期間満了時に復学する場合 (病気を理由に休学し、指導教員の指示があった場合は診断書添付)	
退学願	退学する場合 ※原則として1ヶ月前までに提出	
改姓(名)届	姓名が変更した場合 ※住民票等、姓名の変更を確認できるものを添えて提出すること	
留学願	海外に留学するとき(短期留学、3ヶ月以上の研修、インターンシップ等) ※渡航が決定次第速やかに提出	
海外渡航届	海外に渡航するとき(但し、学生出張の場合は除く)	
学生証再交付願	学生証を紛失したとき、汚損により使用不能となったとき	キャリア支援室 (内線 5921)
進路・就職(内定)届	修了等により本学の学籍がなくなる時	
旅行(一時帰国)届	外国人留学生が一時帰国・出国する時 ※事前に提出すること。所定用紙については留学生交流係まで問い合わせてください。	学生課留学生交流係 (内線 5909, 5087)

学生課関係の各種の願・届出書等の所定用紙は、学生課窓口及び学内専用ホームページ[在学生の皆様へ]-[各種申請・願・届出書等覧]
(<https://ad-info.naist.jp/gakusei/shinsei.html>)から入手できます。

●休学・退学の手続きに関する注意事項

(1) 休学

- 病気その他やむを得ない事由により、引き続き3ヶ月以上修学できない場合に申請することができます。
- 休学期間は1年以内です。ただし、特別の理由がある場合は1年を限度として延長を申請できます。休学期間の延長を申請する場合には、休学期間終了の2週間前までに再度休学(延長)願を提出してください。
- 休学期間が終了すると、自動的に復学となります。復学届を提出してください。
- 休学期間は標準修業年限及び在学年限に算入しません。
- 復学後の修了の見込み等もお知らせください。
- 一部の証明書(修了見込証明書、健康診断証明書、学割証)について発行することはできません。
- 図書館の利用はできません。
- 休学期間中の授業料は徴収しません。

(2) 退学

- 博士後期課程に3年以上在籍し、指導教員から研究指導を認定された上で退学される場合は、学籍(履歴)上は「研究指導認定退学」となります。
- すでに納付した授業料は返還できません。

(3) 共通

- 授業料の納付が許可の条件となります。
- 納付済みの授業料は返還しません。ただし、次に該当する場合は授業料を返還します。
 - ・ 休学が許可された場合、休学期間中の授業料相当額
 - ・ 春学期の授業料を徴収するときに当該年度の秋学期の授業料を併せて納付した方が、秋学期開始までに退学が許可された場合、秋学期に係る授業料相当額
- 学籍異動希望日の2週間前が締切となります。願出の提出が遅れた場合は許可日が翌月となります。
- 原則学期単位で申請してください。
休学：開始日は原則4月または10月から。終了日は9月末または3月末。
退学：許可希望日は原則9月末または3月末。
- 願出書の理由欄には具体的にご記入ください。「一身上の都合」では申請できません。
 - ・ 休学：病気療養の場合には診断書を添付、業務多忙の場合には勤務先名称をご記入ください。
- 学生宿舍等の退去、奨学金受給停止手続きなども考慮してください。

2. 諸証明書

●証明書自動発行機で交付する証明書等

在学証明書、修了見込証明書、成績証明書、修了証明書、健康診断証明書及び学生旅客運賃割引証（学割証）については、学生証があれば証明書自動発行機により、即日交付します。なお、交付条件のあるものについては、次表（備考欄）を参照してください。

証明書の名称	交付条件等	証明書自動発行機 取扱時間及び設置場所
在学証明書 英文在学証明書	研究生等の非正規生を除く	取扱時間： 月曜日から金曜日 （祝日及び年末年始は除く） 7:30～19:00 まで 設置場所： 附属図書館玄関ロビー
修了見込証明書 英文修了見込証明書	博士前期課程については半年間在学後、 博士後期課程についてはD2 から交付可能	
（博士前期課程在籍時の） 修了証明書 英文修了証明書 成績証明書 英文成績証明書	本学学内進学者のみ対象	
成績証明書／ 英文成績証明書	研究科長名で交付される証明書で、修得した科目のみ記載され、不合格科目は記載されません。	
成績表／英文成績表	自身の成績を確認するものです。修得した科目及び不合格科目について記載しています。	
健康診断証明書	一般定期健康診断時の全項目を検査している者に限る。なお、秋学期入学者は翌年に実施される同健康診断を受検後に発行	
学校学生生徒旅客運賃割引証（学割証）	・年間割当数 1 人当たり 10 枚 ・有効期間 3 か月 （研究生等の非正規生、休学者を除く）	

●窓口で交付する証明書

証明書自動発行機により発行していない証明書については、所定の証明書交付申請書を使用し、学生課窓口申し込んでください。交付に日時を要するものがあるので、あらかじめ余裕をもって申し込んでください。

証明書の名称	交付条件	問合せ・申請窓口
国費外国人留学生証明書等 留学生に係る証明書	交付申請受付日の翌日午後交付 （土曜・日曜・祝日を除く）	学生課留学生交流係 （内線 5909, 5087）
学生宿舍入居証明書	交付申請受付日の翌日午後交付 （土曜・日曜・祝日を除く）	学生課学生支援係 （内線 5920）
学研災保険加入証明書	交付申請受付日の翌日午後交付 （土曜・日曜・祝日を除く）	学生課学生支援係 （内線 5920）

●通学証明書

（1）通学定期券について

自宅から本学間の通学定期券を購入する場合は、入学（進学）時に配布しています通学定期乗車券発行控に学生番号、氏名及び住所を記入の上、定期券売り場で定期券購入申込書、学生証及び通学定期乗車券発行控を提示してください。（記入欄がなくなりましたら学生課窓口へ申

し出てください。)

なお、本学が指定している近鉄の最寄り駅は、京都線は「高の原」駅、奈良線は「学園前」駅、けいはんな線は「学研北生駒」駅です。

(2) 実習用通学定期券について

外部研究機関等における実習のため、実習用通学定期券を購入する場合は、通学証明書を発行しますので、実習開始の1ヶ月前までに学生課学生支援係に申し出てください。(鉄道会社等の承認が必要なため、発行に日数を要します。)

※研究生等の非正規生や休学中の学生は通学定期券を購入することはできません。

日本学生支援機構奨学金制度

学業・人物ともに優秀であり、かつ経済的理由により、修学が困難であると認められる場合には、本人の出願に基づいて選考の上、奨学金が貸与されます。

日本学生支援機構奨学金制度には、無利子の第一種奨学金制度と有利子の第二種奨学金制度があります。第一種奨学金の貸与をうけ、在学中に特に優れた業績をあげた者として支援機構が認定したものには、貸与期間終了時に、学資金の全部または一部の返還が免除される制度があります。

区 分	貸与月額		貸与期間
	第一種奨学金	第二種奨学金	
博士前期課程	月額50,000円、88,000円の 選択可能	申請者が次の貸与月額から 選択(5・8・10・13・15万円)	当該課程の標準(最 短)修業年限以内
博士後期課程	月額80,000円、122,000円 の選択可能		

申請手続き等詳細については、学生課学生支援係へ問い合わせください。

民間育英団体の奨学金

民間の育英奨学団体から奨学生の募集があった場合は、その都度通知します。

授業料免除

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者及び入学前1年以内に、学資負担者が死亡し、又は学生若しくは学資負担者が風水害等の被害を受けたこと等により、授業料の納付が著しく困難であると認められる者に対し、選考の上、授業料の全額又は一部を免除する制度があります。申請手続き等詳細については、学生課学生支援係へ問い合わせください。

海外への留学制度

日本学生支援機構では、大学間交流協定などにより海外の大学等に短期間(1年以内)留学をする学生を対象とした海外留学支援制度(短期派遣:月額6~10万円)や修士または博士の学位取得を目指し、海外の大学に1年以上留学する学生等を対象とした海外留学支援制度(長期派遣:月額9~15万円程度)などがあります。詳細は、日本学生支援機構のHPをご覧ください。<http://www.jasso.go.jp/>

その他、政府奨学金や民間団体の奨学金の募集案内は、学生課留学生交流係より電子メールで通知いたします。

学生教育研究災害傷害保険（略称：学研災）

学生教育研究災害傷害保険は、学生が正課中、学校主催行事中、学校認定団体の課外活動中、キャンパス内の休憩中及び通学中や学外実習等の移動中に被った不慮の災害事故に対する救済措置として全国の国・公・私立大学等の学生を対象とした傷害保険です。本学では、入学手続き時に加入手続きを行い、全員加入となっています。

詳細については、「しおり」を参照してください。

なお、接触感染予防保険金支払特約については、任意加入となりますので、加入を希望する場合は、詳細を学生課学生支援係へ問い合わせてください。

区分	保険料	保険期間
博士前期課程	1,750 円	2 年間
博士後期課程	2,600 円	3 年間

学研災付帯賠償責任保険（略称：付帯賠償）

学研災付帯賠償責任保険は、学生が正課中、学校行事及びその往復中で、他人にけがをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する保険制度です。

本学学生には、次の2コースが適用されますが、AコースにはBコースの補償内容を含んでいますので、Aコースの加入をお勧めします。本学では任意加入としていますので、加入を希望する場合は、詳細を学生課学生支援係へ問い合わせてください。

なお、連携研究室に配属された場合は、必ずAコースに加入してください。

区分・名称	Aコース	Bコース
	学生教育研究賠償責任保険（略称：学研賠）	インターンシップ・教職資格活動等賠償責任保険（略称：インターン賠）
活動内容	正課、学校行事及びその往復（Bコースの活動内容を含む）	正課、学校行事として行われるインターンシップ等の活動及びその往復
対人賠償・対物賠償	1 事故 1 億円限度	
保険料（※）	340 円	210 円

※4月入学者は翌年3月31日まで、10月入学者は翌年9月30日まで

学研災付帯学生生活総合保険（略称：学研災付帯付帯学総）

学研災付帯学生生活総合保険は、学生生活全般を補償する保険制度です。

本学では、任意加入としていますので、加入を希望する場合は、各自で申し込みを行ってください。詳細パンフレットは、学生課学生支援係に設置しています。

学生宿舎 (キャンパスマップ⑬)

本学キャンパス内には次のとおり学生宿舎が設置されています。

[学生宿舎の概要]

区分	単 身 用	夫 婦 用	家 族 用
建物構造	鉄筋 5 階建	鉄筋 5 階建	鉄筋 5 階建
居室数	559 室	50 室	10 室
居室面積	13 m ²	36.98～41.45 m ²	51.56 m ²
設備等	机, ベッド, ミニキッチン, トイレ等	机, キッチン, トイレ, 浴室, 洗濯機, エアコン等	机, キッチン, トイレ, 浴室, 洗濯機, エアコン等
共用設備	浴室, ランドリー室, ラウンジ等	—————	—————
寄宿料	月額 5,900 円	月額 11,900 円	月額 14,200 円
共益費	月額 4,100 円	月額 600～1,100 円	月額 1,100 円
光熱水料	入居者負担	入居者負担	入居者負担

大学借り上げ住宅

(独)都市再生機構の賃貸住宅(公団住宅)を大学が借り上げ、希望者に提供しています。対象団地は中登美第三団地、富雄団地、平城第一団地の3団地です。

詳細は学生課学生支援係へ問い合わせてください。

駐車場及び駐輪場の利用

1. 自動車に通学する場合

大学構内に自動車で乗り入れることはできません。大学北側の高山地区公共駐車場に駐車してください。駐車場は有料で、現金(1日300円)を用意し又は予め定期券(駐車券)を購入して駐車してください。

なお、定期券(駐車券)は、初回のみ高山地区公共駐車場北側の大学支援財団(高山サイエンスプラザ内)で購入してください。2回目以降は、大学会館1階売店で購入することができます。

・定期券料金(学生): 1ヶ月1,500円、3ヶ月4,000円、6ヶ月7,500円

2. 自転車及びバイクに通学する場合

大学構内に自転車及びバイクで乗り入れることはできません。大学北側の高山地区公共駐車場内にある駐輪場に駐輪してください。駐輪料金は無料です。

なお、駐輪場を利用する場合は、学生課学生支援係で登録手続きを行ってください。登録のない自転車やバイクは、放置自転車として撤去されます。

国立博物館キャンパスメンバーズ

大学と国立博物館が連携を図ることによって、博物館が所蔵する文化財を核として、文化や歴史を学ぶ場や機会を提供することを目的としています。本学では現在、奈良国立博物館・京都国立博物館とキャンパスメンバーズの提携を結んでいます。

本制度により、本学学生（正規生・非正規生）は、学生証を提示すると各博物館が開催する平常展・特別陳列が無料で何度でも観覧できます。また、各博物館が開催する特別展が特別割引料金等で観覧できます。その他の特典等の詳細については本学ホームページ (http://www.naist.jp/campus-student/e02_06_j.html) をご覧ください。

福利厚生施設

1. 大学会館（キャンパスマップ③）

学生及び教職員の厚生施設である大学会館に、食堂、喫茶室、売店、保健管理センターを設けています。

2. 研究者交流施設「ゲストハウスせんたん」（キャンパスマップ⑦）

本学学生・教職員も利用できます。申込み方法等は次のとおりです。詳しくは本学ホームページ (http://www.naist.jp/faculty-person/b02_06_j.html) をご覧ください。

区分	利用時間	申込み方法
宿泊施設	チェックイン：15時から チェックアウト：11時まで	人事課福利厚生係まで利用を申し出てください。（内線 5033） 電子メール：fukuri@ad.naist.jp
集会施設	午前9時から午後9時まで (12月29日～1月3日利用不可)	
フィットネス室	午前9時から午後10時まで	特に必要ありません

3. 各種運動施設

本学学生・教職員が利用できます。申込み方法等は次のとおりです。

区分	利用時間	申込み方法
グラウンド	午前7時から日没まで	毎月20日（土、日、祝日の場合は翌平日）に翌月分を抽選。 ・場所：先端科学技術研究調査センター 1階ロビー ・時間：午前9時
バレー・バスケットコート	午前7時から午後10時まで	
テニスコート	午前7時から日没まで	
テニスコート（照明付き）	午前7時から午後9時まで	

テニス、ソフトボール等スポーツ用具類、バーベキューセットの貸出しも行っています。利用についての詳細は、学生課学生支援係に問い合わせてください。

4. 高山サイエンスプラザ

大学の隣接地に、本学の支援財団が運営する高山サイエンスプラザがあり、その施設内にもレストラン、書店、研修室等が設けられています。

日本語補講

NAIST 内で『ボランティア団体ネットワークいこま（代表者：山崎先生）』がボランティアで日本語補講を実施してくださっています。多くの留学生がこの日本語補講に参加し、日本語学習に力を入れています。先生方は皆さん親切でとても素晴らしい授業をしてくださっています。

日本で生活するにあたり、日本語能力はやはり不可欠です。皆さんがより快適に楽しく生活を送るためにもより多くの留学生に日本語補講に参加していただきたいと思っています。

補講日：毎週火曜日 18：00 ～ 20：30 毎週土曜日 10：00 ～ 12：30

参加費：無料

休講日：夏季休暇、冬季休暇、国民の休日など

参加を希望される方は留学生交流係へ問い合わせてください。日本語レベルによりクラス分けされていますので、みなさんの現時点での日本語のレベルもあわせて教えてください。こちらから、先生に連絡し先生から皆さんに詳しいお知らせが届くようになっています。

その他

1. 学生課窓口業務取扱時間

8：30～17：30（土、日、祝日、創立記念日、夏期一斉休業の期間及び12月29日～1月3日の期間を除く。）

上記時間外でも緊急の場合は、事務室入口から申し出てください。

2. 大学からの通知事項

本学学生への通知事項は、電子メールもしくは掲示により行いますが、個人あての通知事項は、主に電子メールで行います。諸手続の通知の確認を怠ったために、不利益が生じることがないように各自で充分注意してください。

3. 学生向け HP の開設【<https://ad-info.naist.jp/member/>】

本学ホームページ内に「在学生の皆様へ（学内専用）」を開設しています。お知らせ（新着情報）や、学務関係（履修・成績評価終了通知・時間割変更）、オンライン型英語学習システム（ALC NetAcademy）、就職関連情報など様々なコンテンツを用意しています。

1 1 Campus Life



Tuition and payment

1. Tuition fee and due date (by automatic bank transfer)

Course	Tuition fee (*1)	Due date (*2)
Master's course	535,800 yen	Spring semester (April to September): Due May 27 (Tuesday), 2014
Doctoral course	(267,900 yen for a half-year term)	Autumn semester (October to March): Due November 27 (Thursday), 2014

*1: If the tuition fee is revised during your enrollment, the new tuition fee will be charged.

(You will be notified of the tuition fee for the semester by e-mail during April and October.)

*2: Payment (by automatic bank transfer) is due on May 27 and November 27 every year. If the due date falls on a non-business day of the financial institution, the payment will be transferred on the following business day. (Your account balance is checked at 3:00 pm on the business day preceding the due date.)

2. Payment

The tuition fee for a half-year term is automatically withdrawn from your bank account on the due dates of the spring and autumn semesters designated by NAIIST. (If you wish to pay the tuition fee for both semesters combined on the due date in May, please contact us by May 9 (Friday), 2013. If you have applied for tuition fee waiver, payment of the tuition fee will be postponed until the result of the application is announced. For details of automatic bank transfer procedures and other related matters, please inquire at the Funding Section of the Finance Division (extension: 6227).

Note that failure to pay the tuition fee for two consecutive semesters will result in expulsion from NAIIST.

Student ID Card

NAIIST students are issued a student ID card, which not only verifies your status as a NAIIST student but also serves as an electronic key. This key is needed for: entry to NAIIST's facilities before or after the normal service hours, namely between 7:00 pm and 7:30 am, and on Saturday, Sunday and national holidays; use of the automatic certificate issuing machine; and borrowing of books from the NAIIST Library. Therefore, you should carry your student ID card at all times while attending NAIIST. Your graduate school, year of enrollment, and student number are registered in the card, and card readers automatically scan this information to check whether you are eligible to enter specific facilities in NAIIST.

Precautions on handling your student ID card

- (1) You should keep your student ID card in a case and carry it at all times at NAIST.
- (2) You are not allowed to lend or assign your student ID card to anyone else.
- (3) If you lose your student ID card or your card has become unusable due to failure of the magnetic strip, etc., you should immediately report it to the Educational Affairs Section of the Student Affairs Division.
If the card reader does not react properly upon inserting your student ID card to enter a certain building, call the Security Center on the first floor of the Administration Bureau building through the interphone, state your affiliation and name, and the key will be unlocked for you.
- (4) When your student ID card has expired or you are no longer a NAIST student due to withdrawal or for other reasons, return your student ID card to the Educational Affairs Section of the Student Affairs Division without delay.
- (5) Protecting your card:
 - Keep your student ID card away from strong magnetic fields or devices (e.g. NMR machines).
 - Do not leave your card in hot places (e.g. in a car during summer).
 - Do not fold your student ID card.

Student Personal Report

The information contained in the “Student Personal Report” (*Gakusei kojīn houkokusho*) submitted at the time of enrollment is used for contacting you in case of emergency. If any of the following registration details changes, please inform the Educational Affairs Section of the Student Affairs Division without delay.

● Registration details

- Your address and telephone number (fixed and/or mobile) where you can be reached after enrollment in NAIST
- Information about your place of work (if you are a working student)
- Name of a contact person in case of emergency, person’s relationship with you, and his/her address and telephone number

● Where to report

Please report the change to the Educational Affairs Section of the Student Affairs Division.

Procedures and issuance of certificates

1. Procedures

When requested by NAIST, by means of a notice on the bulletin board, etc., you should perform the procedures as requested within the specified period. You should also perform the prescribed procedures when necessary for your own personal reasons. Please note that failure or delay in doing so could cause hinder you in many ways and become an inconvenience to other people.

Document to be submitted	When to submit	Contact office
Leave of absence request form (Kyugaku Negai)	When you are to take a leave of absence for three consecutive months or longer by illness, studying abroad, and so on. (If illness is the reason for the leave, a medical certificate should be attached.) * In principle, the form should be submitted at least one month in advance.	Educational Affairs Section, Student Affairs Division (Extension: 5085)
Return from leave request form (Fukugaku Negai)	When you wish to return to NAIST before the period of the leave of absence is over. (For those who were absent due to illness, please attach a medical certificate.)	

Return from leave notice form (Fukugaku Todoke)	When you wish to return from leave during your scheduled leave of absence period.	
Withdrawal form (Taigaku Negai)	When you are to withdraw from NAIST * In principle, the form should be submitted at least one month in advance.	
Change of name form	When your name changes * A residence certificate or other document proving your change of name should also be submitted.	
Overseas Study Application	When you go studying abroad * In principle, the form should be submitted as soon as possible	
Overseas travel form	When you are to travel overseas (except when the travel is needed as part of the regular coursework at NAIST)	
Student ID card reissue request form	When you have lost your student ID card or your card has become unusable due to damage or dirt	
Plan after completion of course /job (informal employment offer) report form	When you graduate or leave school	Career Services Office (Extension: 5921)
Notice of Absence from Japan	When international students are to temporarily return to their home countries or depart from Japan. * Please submit "Notice of Absence from Japan" before leaving. ※The form is available at International Student Affairs Section for the document.	International Student Affairs Section, Student Affairs Division (Extension: 5909, 5087)
The forms to be submitted to the Student Affairs Division are available at its counter, or can be downloaded from the intranet and website for NAIST students at: https://ad-info.naist.jp/gakusei/shinsei.html		

●Notes on procedures for leave of absence or withdrawal

(1) Leave of absence

- You can apply for leave of absence if you are unable to attend school for three consecutive months or longer due to illness or for other justifiable reasons.
- The period of leave of absence is up to one year, however, you may apply for an extension of the period for another one year at the longest, if you have special reasons. To apply for an extension of the period of leave of absence, you are required to submit the leave of absence (extension) request form again, at least two weeks prior to the expiration of the initial period of leave of absence.
- Upon expiration of the period of leave of absence, you are automatically readmitted to NAIST. Please submit "Return from leave notice form."
- The period of leave of absence does not count toward the standard years of study and years of enrollment.
- Please also indicate when you expect to complete your course after returning to NAIST.
- Some certificates (including certificate of expected completion, certificate of health, and certificate of student travel discount) cannot be issued during the period of leave of absence.
- You cannot use the NAIST Library during the period of leave of absence.
- You do not have to pay tuition fees for the period of leave of absence.

(2) Withdrawal

- If you withdraw from NAIST after having been enrolled in the doctoral course for at least three years, provided your instructor confirms you have received his or her research guidance, you are treated as “having withdrawn from NAIST with the approval of your research instructor” in your personal record.
- Tuition fees, once paid, cannot be reimbursed.

(3) Common matters

- Permission for both leave of absence and withdrawal is conditioned on payment of the tuition fee.
- Tuition fees, once paid, cannot be reimbursed except in the following cases:
 - If leave of absence is permitted, the portion of the tuition fee for the period of leave of absence will be reimbursed.
 - If you paid the combined tuition fee for the spring and autumn semesters in April, and are permitted to withdraw from NAIST before the beginning of the autumn semester, the tuition fee for the autumn semester will be reimbursed.
- The deadline for submitting the form is two weeks prior to the date you wish to take leave of absence or withdraw. If you fail to submit the form by the deadline, the date of permission will be in the following month.
- In principle, a request for leave of absence or withdrawal should be made on a semester by semester basis.

Leave of absence: The period should commence from April or October and end at the end of September or March, in principle.

Withdrawal: The date you wish to withdraw from NAIST should be the end of September or March.
- You should indicate the reason for the leave of absence or withdrawal in the form in detail; “for personal reasons” cannot be accepted.
 - Leave of absence: If you take leave of absence due to illness, a medical certificate should be attached. If the reason is “pressure of business,” indicate the name of your workplace.
- Note that you may be required to move from NAIST’s dormitory or take procedures to stop payment of scholarship.

2. Issuance of certificates**●Certificates that are automatically issued**

You can use the automatic certificate issuing machine to have the following certificates issued within the same day: certificate of enrollment, certificate of expected completion, certificate of academic record, certificate of completion, certificate of health and certificate of student travel discount. For conditions of issuance of these certificates, please refer to the following table.

Certificate	Conditions of issuance	Service hours and location of the automatic certificate issuing machine
Certificate of enrollment(Japanese/ English)	Not issued to non-regular students, including research fellows.	<p>Service hours: 7:30 am to 7:00 pm Monday to Friday (excluding national holidays and year-end holidays)</p> <p>Location: Entrance lobby of NAIST Library</p>
Certificate of expected completion(Japanese/ English)	Students should have been enrolled in the master's course for at least six months or be in the second year in the doctoral course to apply for this certificate.	
Certificate of completion of Master's course (Japanese/ English) Certificate of academic records of Master's course (Japanese/ English)	Only available to students who have processed to doctoral course examination	
Certificate of academic record (Japanese/ English)	The certificate of academic record is an official certificate issued in the name of the Dean of the Graduate School that does not include failed courses.	
Academic record (Japanese/ English)	The academic record is issued for students to check their academic performance including failed courses.	
Certificate of health(Japanese only)	The certificate is issued only to those who have completed all annual health checkups. Students admitted to NAIST from the autumn semester will be issued the certificate after taking the annual health checkup in the following year.	
Certificate of student travel discount (Japanese only)	<ul style="list-style-type: none"> • Up to 10 certificates are issued per student annually. • The certificate is valid for three months. (Not issued to non-regular students, including research fellows and students on leave of absence.) 	

● Certificates issued over-the-counter

If you need certificates other than those issued by the automatic certificate issuing machine, apply at the Student Affairs Division using the prescribed application form. You should apply well in advance, as some certificates take time to issue.

Certificate	Conditions of issuance	Contact office
Certificate of completion Certificate of academic record (at the master's course of NAIST)	Issued in the afternoon of the day following the application (except on Saturday, Sunday and national holidays). * Issued to those who have gone on to the doctoral course internally from the master's course at NAIST.	<p>Educational Affairs Section, Student Affairs Division (Extension: 5085)</p>
Certificate of enrollment (in English)	Issued in the afternoon of the day following the application (except on Saturday, Sunday and national holidays).	
Certificate of expected completion (in English)		

Certificate of academic record (in English)		
Certificate for Japanese Government Scholarship students	Issued in the afternoon of the day following the application (except on Saturday, Sunday and national holidays).	International Student Affairs Section, Student Affairs Division (Extension: 5909, 5087)
Certificate for international students (Ex. Certificate for Japanese Government Scholarship students)	Issued in the afternoon of the day following the application (except on Saturday, Sunday and national holidays).	International Student Affairs Section, Student Affairs Division (Extension: 5909, 5087)
Certificate of occupancy in student dormitory	Issued in the afternoon of the day following the application (except on Saturday, Sunday and national holidays).	Student Support Section, Student Affairs Division (Extension: 5920)
Certificate of Enrollment Personal Accident Insurance for Students Pursuing	Issued in the afternoon of the day following the application (except on Saturday, Sunday and national holidays).	Student Support Section, Student Affairs Division (Extension: 5920)

● Commuter certificate

(1) Student commuter pass

To buy a student commuter pass between your place of residence and NAIST, fill in your student number, name and address in a commuter pass application form (*Tsuugaku teiki joshaken hakko hikae*) distributed at the beginning of each academic year, and present the form together with a commuter pass purchase form and your student ID card to a train station with a commuter pass office. (If there is no more space on your commuter pass application form, please apply at the Student Affairs Division for an additional copy.)

The nearest Kintetsu stations designated by NAIST are Takanohara Station on the Kyoto Line, Gakuenmae Station on the Nara Line, and Gakken-Kita-Ikoma Station on the Keihanna Line.

(2) Student commuter passes for commuting to off-campus facilities

If you are going to work at off-campus facilities as part of your study at NAIST and need a student commuter pass for that purpose, you should apply at the Student Support Section of the Student Affairs Division to have a commuter certificate issued. The application should be submitted at least one month before starting work at the off-campus facilities (the certificate takes longer to issue because we must obtain approval from the railway company).

* Non-regular students, including research fellows and students on leave of absence, cannot purchase student commuter passes.

Scholarships of private organizations

Students will be informed of scholarship programs offered by private organizations whenever applications are invited.

Tuition waiver

NAIST offers a tuition fee waiver program, under which students selected from among applicants are exempt from payment of all or part of tuition fees provided that: the student has difficulty in paying tuition fees for financial reasons and is recognized for academic excellence; or the student has extreme difficulty in paying tuition fees because of the death of the person who would normally have paid the tuition fee within one year prior to his or her admission to NAIST or due to damage by wind, flood or other natural disaster to the student or the person who would normally have paid the tuition fee. For details about application procedures, please inquire at the Student Support Section of the Student Affairs Division.

Study Abroad (Short-term study abroad program)

JASSO is providing the scholarship for qualified students under the student exchange agreement on a short-term basis within one year (Monthly stipend: ¥60,000~¥100,000) and also the scholarship for qualified students who study overseas to pursue a master or doctoral degree for over a year (Monthly stipend: ¥90,000 ~ ¥150,000 ~). Please access the website of JASSO homepage for details at <http://www.jasso.go.jp/>,

The information on other scholarships such as Government Scholarships or Private Scholarships will be notified by the International Student Affairs Section by e-mail.

Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research

Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research (Gakkensai) insures students enrolled in national, public, and private universities in Japan against unexpected physical injuries they may suffer while attending lectures, university events, extracurricular activities, taking a break in the campus, or traveling to and from university or off-campus facilities for research/educational purpose. At NAIST, all students are required to take out the Gakkensai insurance as part of enrollment procedures.

For more details about the Gakkensai insurance, please refer to the booklet.

Special insurance for contagious infection prevention has become optional. If you would like to apply for the insurance, please inquire at the Student Support Section of the Student Affairs Division.

Course	Insurance premium	Insurance period
Master's course	1,750 yen	2 years
Doctoral course	2,600 yen	3 years

Optional Secondary Coverage

Personal Liability Insurance for Students is also offered in addition to Gakkensai. This optional coverage insures students against third-party liability for damage caused by the student to others or their property while attending lectures, university events, or traveling to and from university facilities, both on- and off-campus.

Two options are available to NAIST students: Plan A and Plan B. Plan A includes the coverage of Plan B, as well. Students are recommended to consider the Plan A insurance option. At NAIST, students are not obligated to be covered by any of these optional insurance plans. If you wish to take out a policy, please inquire at the Student Support Section of the Student Affairs Division for details.

If you are assigned to Collaborative Laboratories, please be sure to take out Plan A.

Option	Plan A	Plan B
	Liability insurance for students pursuing education and research	Liability insurance for students engaged in internship and teacher training
Coverage	Damage to others or their property caused by the student while attending lectures, university events and traveling to and from university facilities for these purposes (including the activities covered by Plan B)	Damage to others or their property caused by the student while attending internship and other official activities of the university and traveling to and from university facilities for these purposes
Amount of coverage	Up to 100 million yen per incident	
Insurance premium*	340 yen	210 yen

- Valid for a one-year period until March 31 for students admitted in April and until September 30 for students admitted in October.

General Insurance for Students supplementary to Gakkensai

General Insurance for Students supplementary to Gakkensai provides comprehensive coverage against risks that may arise in campus life. At NAIST, students are not obligated to be covered by this insurance. If you wish to take out the insurance, please complete the necessary procedures by yourself. Brochures with details of this insurance are available at the Student Support Section of the Student Affairs Division.

Student dormitories (Campus map 13)

Student dormitories are located within the campus of NAIST as shown below.

Outline of student dormitories

Type	Single-person occupancy	Couple occupancy	Family occupancy
Structure	Five-story reinforced concrete building	Five-story reinforced concrete building	Five-story reinforced concrete building
No. of residential units	559	50	10
Floor area	13 m ²	36.98 – 41.45 m ²	51.56 m ²
Fixtures	Desk, bed, mini kitchen, toilet, etc.	Desk, kitchen, toilet, bath, laundry machine, air conditioner, etc.	Desk, kitchen, toilet, bath, laundry machine, air conditioner, etc.
Common facilities	Bath, laundry, lounge, etc.	_____	_____
Dormitory fee	5,900 yen/month	11,900 yen/month	14,200 yen/month
Common service charge	4,100 yen/month	600 – 1,100 yen/month	1,100 yen/month
Utility charge	To be paid by the occupant	To be paid by the occupant	To be paid by the occupant

Dwellings rented by NAIST for students

NAIST also rents apartment complexes (Nakatomi Daisan Danchi, Tomio Danchi and Heijo Daiichi Danchi) owned by the Urban Renaissance Agency, and rents them out to students upon application. If you are interested, please inquire at the Student Support Section of the Student Affairs Division for details.

Parking a car and bicycle

1. Commuting by car

You are not allowed to drive a car on the premises of NAIST. Please park your car in the public parking lot in the Takayama District, north of NAIST. The parking fee must be paid in cash (300 yen per day) or using a parking pass. Please note that the first time you buy a parking pass, you should buy it at the Foundation for Nara Institute of Science and Technology (in Takayama Science Plaza) at the north of the public parking lot in the Takayama District. Anytime after that, you can buy the pass at the shop on the first floor of the University Union.

Parking pass fee (for students): 1,500 yen per month, 4,000 yen per three months, 7,500 yen per six months

2. Commuting by bicycle and motorcycle

You are not allowed to ride a bicycle or motorcycle on the premises of NAIST. Please park your bicycle or motorcycle in the public parking lot in the Takayama District, north of NAIST. Parking is free.

If you wish to use the parking lot, you must register at the Student Support Section of the Student Affairs Division. Parking of bicycles and motorcycles in the parking lot without registration constitutes illegal parking, and such bicycles and motorcycles will be removed.

National museums campus members

NAIST has joined the campus members system. The campus members system is a cooperative system between national museums and universities which aims to provide students with the opportunity and facilities to study culture and history through the sharing of the museums collections of cultural assets.

Holders of NAIST Student ID cards (both regular and non-regular students) are allowed free entry to the regular exhibitions including featured exhibitions at the Kyoto National Museum and Nara National Museum as many times as they wish. Or discount rate applies to the special exhibition. For more details about other benefits, please refer to the website of NAIST. (http://www.naist.jp/campus-student/e02_06_j.html)

Student welfare facilities

1. University Union (Campus map 3)

University Union houses a restaurant, tea room, shop, and healthcare center for the welfare of students and faculty members of NAIST.

2. Social venue for researchers: Guesthouse Sentan (Campus map 7)

Students and faculty members of NAIST can use the facilities of Guesthouse Sentan as outlined below. For more details, please refer to the website of NAIST. (http://www.naist.jp/faculty-person/b02_06_j.html)

Facilities	Period of use/service hours	Where to apply
Accommodation	Check-in time: after 3:00 pm Check-out time: before 11:00 am	Welfare Section of the Personnel Division Extension: 5033 E-mail: fukuri@ad.naist.jp
Meeting room	Open from 9:00 am to 9:00 pm (Closed from December 29 to January 3)	
Fitness room	Open from 9:00 am to 10:00 pm	Application is not necessary.

3. Sports facilities

Students and faculty members of NAIST may use the following sports facilities for free.

Facilities	Open hours	Selection by drawing
Athletic field	7:00 am to sunset	Successful applicants are selected by ballot, which is held on the 20 th day of the preceding month (or the following weekday if the day falls on a Saturday, Sunday or national holiday). Venue of ballot: Lobby on the first floor, Research Center for Advanced Science and Technology Time of ballot: 9:00 am
Volleyball/basketball court	7:00 am to 10:00 pm	
Tennis court	7:00 am to sunset	
Tennis court (with lighting)	7:00 am to 9:00 pm	

You can also rent sporting goods for tennis, softball, etc. and barbecue equipment.

For details about using the sports facilities, please inquire at the Student Support Section of the Student Affairs Division.

4. Takayama Science Plaza

Takayama Science Plaza, operated by the Foundation for NAIST, adjoins NAIST, which houses a restaurant, bookstore, seminar rooms.

Japanese Language Classes

The Network Ikoma (representative : Ms.Yamazaki) provides Japanese classes on a volunteer basis at NAIST. Many students take these classes, working hard to improve their Japanese. The teachers are extremely kind, and the content of the classes they offer is excellent.

Proficiency in Japanese is key to life in Japan. We hope that many international students will take these classes so they may have a more comfortable and enjoyable stay in Japan.

Days : Tuesdays, 18 : 00 ~ 20 : 30 Saturdays, 10 : 00 ~ 12 : 30

Fees : Free of charge

Classes closed : Summer vacation, winter vacation, and national holidays.

Please contact the International Student Affairs Section if you are interested in participating.

Students are assigned to a class depending on their level, so please inform us of your current Japanese level.

We will contact the teachers, who provide students with further details on the classes.

Other matters

1. Counter hours of the Student Affairs Division

8:30 am – 5:30 pm (except Saturdays, Sundays, national holidays, foundation day of NAIST,

Office closing days for summer, and December 29 to January 3)

In case of emergency, you can enter the office, if open, even before or after the counter hours.

2. Notification from NAIST

NAIST notifies students of necessary information by e-mail or through the bulletin board. Private notices will usually be sent by e-mail. Please check incoming e-mails carefully: If you overlook important information sent by NAIST such as a request to submit an application, you may suffer a disadvantage.

3. Website for students [<https://ad-info.naist.jp/member/>]

You can access the website for students by clicking “Internal Only” on NAIST’s website. This website contains various useful information, including announcements (the latest updates), educational affairs (curriculum, notice to students for the academic records, changes of class schedule), an online English study system (ALC NetAcademy) and job information.

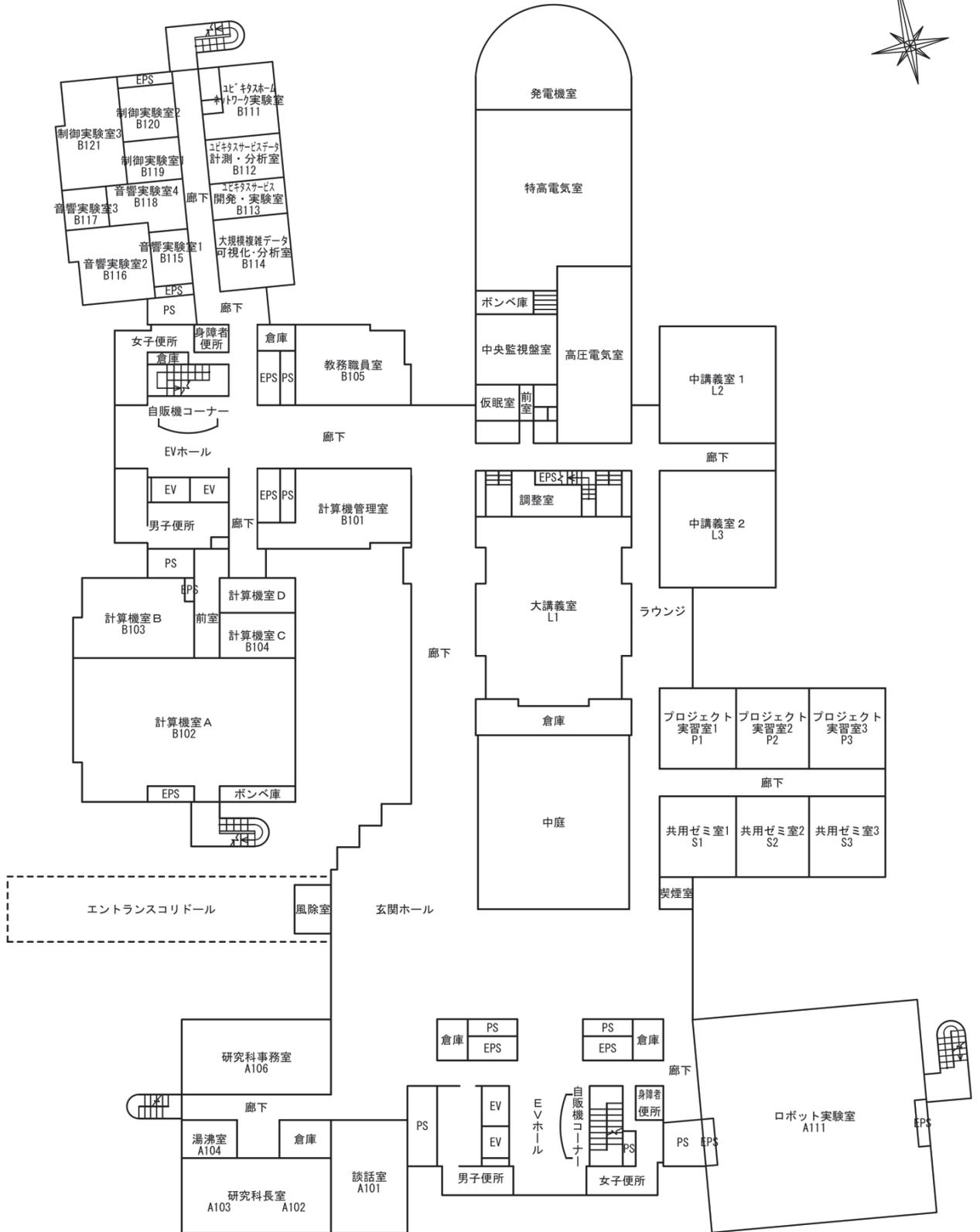
・キャンパスマップ



- | | |
|-------------------------------|-----------------------------|
| ①事務局 | ⑩動物飼育実験施設 |
| ②総合情報基盤センター・
附属図書館(電子図書館) | ⑪植物温室 |
| ③大学会館・保健管理センター | ⑫物質創成科学研究科・
物質科学教育研究センター |
| ④先端科学技術研究推進センター・
産官学連携推進本部 | ⑬学生宿舎・職員宿舎 |
| ⑤学際融合領域研究棟 2号館 | ⑭グリーンラボ |
| ⑥ミレニアムホール | ⑮正門 |
| ⑦ゲストハウスせんたん | ⑯事務局別館 |
| ⑧情報科学研究科 | ⑰バイオナノプロセス実験施設 |
| ⑨バイオサイエンス研究科・
遺伝子教育研究センター | ⑱学際融合領域研究棟 1号館 |

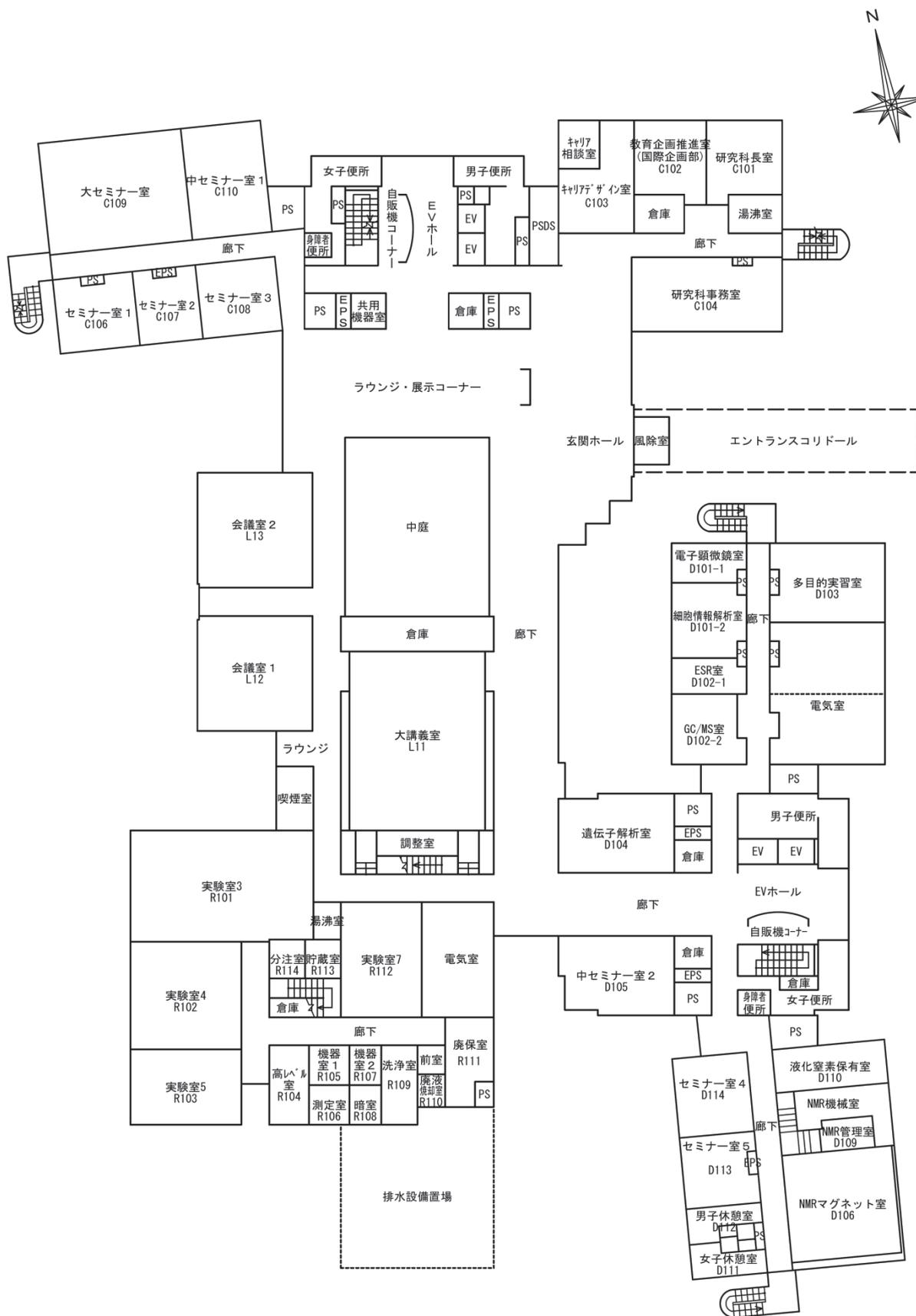
・ 情報科学研究科平面図

建物平面図



1 F 平面図

・バイオサイエンス研究科平面図

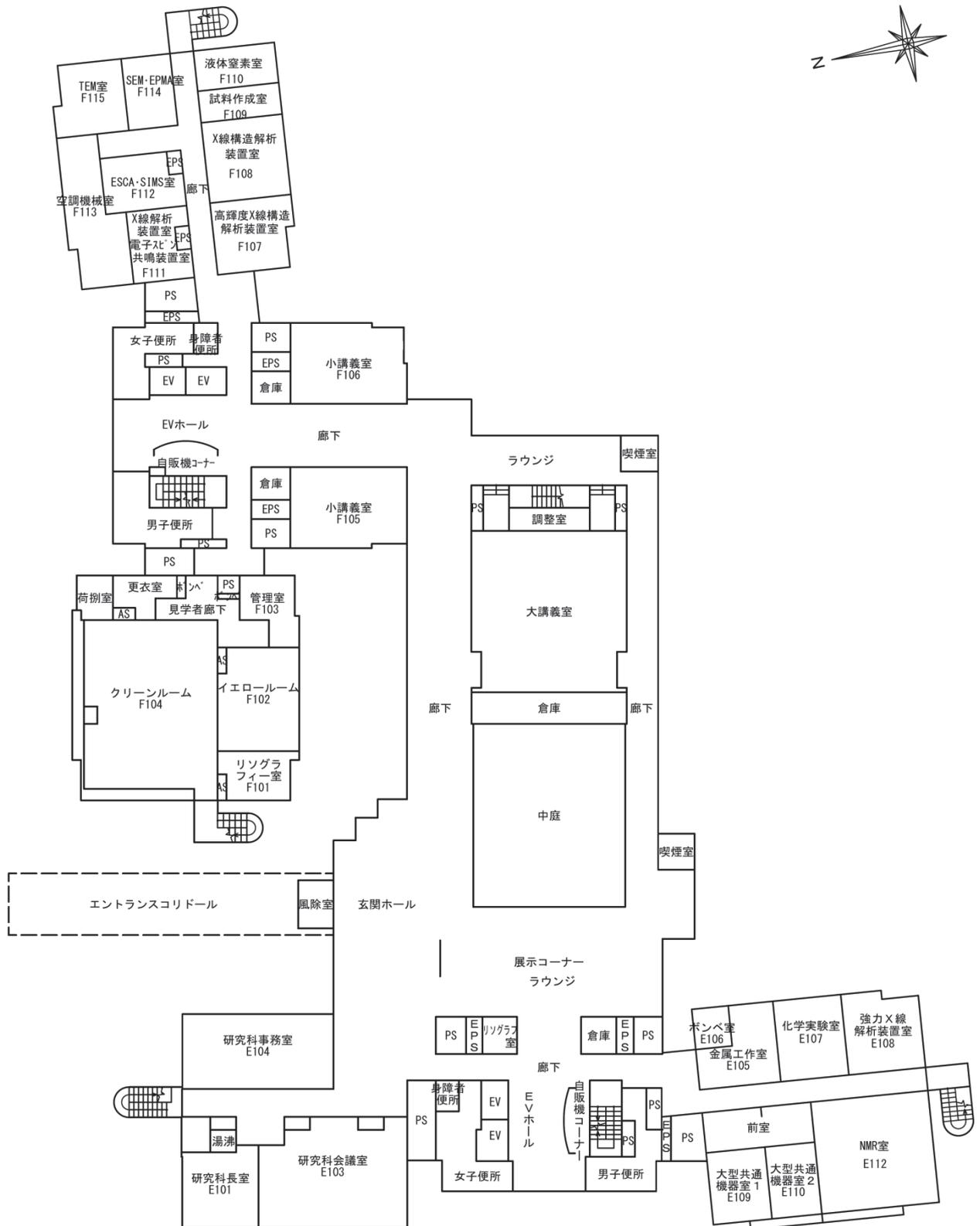


建物平面図

1 F 平面図

・物質創成科学研究科平面図

建物平面図



1 F 平面図

12 学則・諸規程

平成26年4月からの学則について

- ・現在掲載しております学則は、平成26年3月時点のものです。
- ・平成26年4月以降は、掲載しております3月時点のものから、変更がおこなわれます。
- ・詳細は、本学ホームページ (<http://reiki.naist.jp/kiyaku/pdf/02010.pdf>) を参照ください。

奈良先端科学技術大学院大学学則

平成16年4月1日
学則第 1 号学
則

目次

- 第1章 総則（第1条－第3条）
- 第2章 教育研究組織等（第4条－第11条）
- 第3章 学長、副学長及び研究科長等（第12条－第19条）
- 第4章 教授会（第20条）
- 第5章 入学定員及び収容定員（第21条）
- 第6章 学年、学期及び休業日（第22条－第24条）
- 第7章 入学（第25条－第30条）
- 第8章 標準修業年限及び在学年限（第31条・第32条）
- 第9章 教育方法等（第33条－第40条）
- 第10章 修了の要件及び学位等（第41条－第46条）
- 第11章 休学、留学、再入学、転入学、転学、転研究科及び退学（第47条－第53条）
- 第12章 検定料、入学料及び授業料等（第54条－第65条）
- 第13章 特別聴講学生、特別研究学生、科目等履修生及び研究生（第66条－第69条）
- 第14章 賞罰及び除籍（第70条・第71条）
- 第15章 学生宿舍（第72条）
- 第16章 公開講座（第73条）
- 附則

第1章 総則

（目的）

第1条 奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）は、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく高度な教育により人材を養成し、もって科学技術の進歩及び社会の発展に寄与することを目的とする。

（自己評価等）

- 第2条 本学は、その教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価（以下「自己評価等」という。）を行い、その結果を公表するものとする。
- 2 本学は、自己評価等の結果について、学外者による検証を行う。
 - 3 自己評価等の実施に関し必要な事項は、別に定める。

(情報の積極的な提供)

第3条 本学は、教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を提供するものとする。

第2章 教育研究組織等

(大学院)

第4条 本学に、大学院を置く。

(研究科、専攻)

第5条 大学院に、次に掲げる研究科及び専攻を置く。

研 究 科	専 攻
情報科学研究科	情報科学専攻
バイオサイエンス研究科	バイオサイエンス専攻
物質創成科学研究科	物質創成科学専攻

(研究科の目的)

第6条 研究科ごとに、次に掲げる教育研究上の目的を定める。

(1) 情報科学研究科

コンピュータ本体及び情報ネットワークに関する技術、コンピュータと人間のインタラクション及びメディアに関する技術、ロボット等コンピュータを駆使する各種システム及び生命現象や生命機能を解き明かすバイオ情報処理に関する技術などの分野で、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく体系的な教育プログラムの実施により、高度情報化社会を支える研究開発を担う研究者や高度な専門性を持った技術者を養成することを目的とする。

(2) バイオサイエンス研究科

生命現象の基本原則と生物の多様性を分子・細胞・個体レベルで解明し、また、その成果を人類社会の諸問題の解決に活用するための最先端の研究を推進するとともに、バイオサイエンスが関わる広範な領域をカバーした体系的な教育を行い、バイオサイエンスの深化とその活用を担う、創造的かつ先端的な研究者及び高度な専門性を持った技術者を養成することを目的とする。

(3) 物質創成科学研究科

物質の構造と機能を分子・原子・電子レベ

ルまでに立ち返って解明し、物質科学の創造的な研究を推進するとともに、物質科学の広範な領域をカバーした体系的な教育を通じて、人類社会の諸問題や産業界の要請に強い関心を持ち、物質科学や融合領域の創造的かつ先端的研究を担う人材及び技術革新の場や幅広い科学技術分野で活躍する人材を養成することを目的とする。

(教員組織)

第7条 研究科に、教員組織を置く。

2 教員組織に関し必要な事項は、別に定める。

(課程及び課程の目的)

第8条 研究科の課程は、博士課程とする。

2 博士課程は、これを前期の課程（以下「博士前期課程」という。）及び後期の課程（以下「博士後期課程」という。）に区分し、博士前期課程は、これを修士課程として取り扱うものとする。

3 博士前期課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を養うことを目的とする。

4 博士後期課程は、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

(総合情報基盤センター)

第9条 本学に、総合情報基盤センターを置く。

2 総合情報基盤センターに、附属図書館を置く。

3 総合情報基盤センターに関し必要な事項は、別に定める。

(先端科学技術研究推進センター)

第9条の2 本学に、先端科学技術研究推進センターを置く。

2 先端科学技術研究推進センターに関し必要な事項は、別に定める。

(学内共同教育研究施設)

第10条 本学に、次に掲げる学内共同教育研究施設を置く。

(1) 遺伝子教育研究センター

(2) 物質科学教育研究センター

2 学内共同教育研究施設に関し必要な事項は、別に定める。

(保健管理センター)

第11条 本学に、保健管理センターを置く。

2 保健管理センターに関し必要な事項は、別に定める。

第3章 学長、副学長及び研究科長等

(構成員)

第12条 本学の構成員は、次のとおりとする。

学長

副学長

研究科長

副研究科長

総合情報基盤センター長

先端科学技術研究推進センター長

学内共同教育研究施設の長

遺伝子教育研究センター長

物質科学教育研究センター長

保健管理センター所長

教員

一般職員

その他必要な職員

2 教員は、教授、准教授、講師、助教及び助手とする。

3 一般職員は、事務職員、技術職員、看護職員及び教務職員とする。

(学長)

第13条 学長は、本学の校務をつかさどり、所属職員を統督する。

(副学長)

第14条 副学長は、学長を補佐する。

(研究科長)

第15条 研究科長は、当該研究科及び研究科に係る学内共同教育研究施設の運営をつかさどる。

(副研究科長)

第16条 副研究科長は、当該研究科長を補佐する。

(総合情報基盤センター長)

第17条 総合情報基盤センター長は、総合情報基盤センターの業務をつかさどる。

(先端科学技術研究推進センター長)

第17条の2 先端科学技術研究推進センター長は、先端科学技術研究推進センターの業務をつかさどる。

(学内共同教育研究施設の長)

第18条 各学内共同教育研究施設の長は、当該学内共同教育研究施設の業務をつかさどる。

(保健管理センター所長)

第19条 保健管理センター所長は、保健管理センターの業務をつかさどる。

第4章 教授会

(教授会)

第20条 研究科に、教授会を置く。

2 教授会は、当該研究科に係る次に掲げる事項について審議する。

- (1) 教育課程の編成に関する事項
- (2) 学生の入学に関する事項
- (3) 学生の休学に関する事項
- (4) 学生の留学に関する事項
- (5) 学生の転学に関する事項
- (6) 学生の退学に関する事項
- (7) 学位の認定に関する事項
- (8) 学生の成績に関する事項
- (9) 学生団体、学生活動及び学生生活に関する事項
- (10) 学生の賞罰に関する事項
- (11) 研究の体制に関する事項
- (12) 研究科の教育及び研究について密接に関係する学内共同教育研究施設の教育及び研究に関する事項
- (13) 自己点検等に関する事項
- (14) その他教育及び研究に関する事項

3 教授会は、当該研究科の教育又は研究に携わる専任の教授及び准教授で組織する。ただし、研究科長は、必要に応じて、その他教育又は研究に携わる教員を教授会の構成員とすることができる。

4 前項にかかわらず、外国出張中の者、休職中の者その他の者を構成員から除くことができる。

5 教授会に議長を置き、研究科長をもって充てる。

6 議長は、教授会を主宰する。

7 議長に事故があるときは、副研究科長が議長の職務を代行する。

- 8 教授会は、構成員の過半数の出席がなければ、議事を開き、議決することができない。
- 9 教授会の議事は、出席構成員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 10 研究科長が必要と認めたときは、構成員以外の者を教授会に出席させることができる。

第5章 入学定員及び収容定員

(入学定員及び収容定員)

第21条 入学定員及び収容定員は、別表のとおりとする。

第6章 学年、学期及び休業日

(学年)

第22条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

- 2 前項の規定にかかわらず、秋学期に入学した者の学年は、10月1日に始まり、翌年9月30日に終わる。

(学期)

第23条 前条の学年を、次の学期に分ける。

- (1) 春学期 4月1日から9月30日まで
- (2) 秋学期 10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

第24条 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日及び土曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に定める休日
 - (3) 創立記念日（10月1日）
 - (4) 春季、夏季及び冬季の休業日
- 2 前項第4号の休業日については、別に定める。
 - 3 学長は、必要があると認めるときは、臨時の休業日を定めることができる。
 - 4 第1項の規定にかかわらず、研究科長が教育上の必要があると認めるときは、休業日に授業を行うことができる。

第7章 入学

(入学資格)

第25条 博士前期課程に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条第1項に定める大学を卒業した者
 - (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
 - (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
 - (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
 - (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 - (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - (7) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第155条第1項第6号に定める文部科学大臣の指定した者
 - (8) 次のいずれかに該当し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと、本学において認めた者
 - ア 大学に3年以上在学した者
 - イ 外国において、学校教育における15年の課程を修了した者
 - ウ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
 - エ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 - (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学したことがある者であって、本学において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
 - (10) 本学において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの
- 2 博士後期課程に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。
- (1) 修士の学位又は専門職学位（学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者
 - (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
 - (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
 - (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学

校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
 - (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
 - (7) 学校教育法施行規則第156条第6号に定める文部科学大臣の指定した者
 - (8) 本学において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの
- 3 第1項第10号及び前項第8号に定める入学資格審査の実施方法等については、各研究科において、別に定める。

（入学の時期）

第26条 入学の時期は、学期の始めとする。

（入学の出願）

第27条 本学に入学を志願する者は、入学願書に所定の書類等を添えて、学長に願出しなければならない。

（入学者の選抜）

第28条 本学に入学を志願する者については、別に定めるところにより選抜を行う。

（入学手続き及び入学許可）

第29条 前条の選抜の結果に基づき合格の通知を受け、入学しようとする者は、所定の書類等を提出しなければならない。

2 学長は、前項の手続きを完了した者に入学を許可する。

（博士後期課程への進学）

第30条 本学の博士前期課程を修了し、引き続き博士後期課程に進学を志願する者については、当該研究科の教授会が選考の上、進学を許可する。

第8章 標準修業年限及び在学年限

(標準修業年限)

第31条 博士前期課程の標準修業年限は2年、博士後期課程の標準修業年限は3年とする。

(在学年限)

第32条 博士前期課程の学生は4年、博士後期課程の学生は6年を超えて在学することができない。

第9章 教育方法等

(教育方法)

第33条 研究科における教育は、授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）によって行う。

(授業科目及びその単位数並びに履修方法等)

第34条 前条の授業科目及びその単位数並びに履修方法等は、当該研究科において別に定める。

(単位の計算方法)

第35条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間の授業をもって1単位とする。
 - (2) 実験及び実習については、30時間の授業をもって1単位とする。
 - (3) 各研究科において、一の授業科目について、講義、演習、実験又は実習のうち2以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して当該研究科が定める時間の授業をもって1単位とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、研究論文及び課題研究の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

(成績評価基準等の明示等)

第35条の2 各研究科は、学生に対して、授業及び研究指導の方法及び内容並びに1年間の授業及び研究指導の計画をあらかじめ明示するものとする。

- 2 各研究科は、学修の成果及び学位論文に係る評価並びに修了の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

(教育内容等の改善のための組織的な研修等)

第35条の3 本学は、当該研究科の授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

2 教育内容等の改善のための組織的な研修等に関し必要な事項は、別に定める。

(単位の授与)

第36条 授業科目を履修し、その試験又は研究報告に合格した者には、所定の単位を与える。

(他の研究科の授業科目の履修等)

第37条 学生が他の研究科の授業科目を履修することが教育上有益であると当該研究科の教授会において認めるときは、他の研究科の授業科目を履修することができる。

2 前項の規定により履修した授業科目について修得した単位は、当該研究科において定める範囲内で第35条に規定する単位に充当することができる。

3 他の研究科の授業科目の履修に関し必要な事項は、別に定める。

(他の大学院における授業科目の履修等)

第38条 学生が他の大学院の授業科目を履修することが教育上有益であると当該研究科の教授会において認めるときは、あらかじめ、当該他の大学院と協議の上、当該他の大学院の授業科目を履修することを認めることがある。

2 前項の規定により履修した授業科目について修得した単位は、本学において修得したものとみなす。ただし、本学において修得したものとみなすことができる単位数は、10単位を超えないものとする。

3 第1項の規定により授業科目を履修した期間は、在学期間に算入する。

4 前3項の規定は、外国の大学院が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合、外国の大学院の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合及び国際連合大学の教育課程における授業科目を履修する場合について準用する。

5 他の大学院における授業科目の履修等に関し必要な事項は、別に定める。

(入学前の既修得単位の認定)

第39条 学生が本学に入学する前に大学院において履修した授業科目について修得した単位(大学院設置基準第15条において準用する大学設置基準(昭和31年文部省令第28号)第31条に定める科目等履修生として修得した単位を含む。)を、当該研究科の教授会において教育上有益であると認めると

- きは、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
- 2 前項の規定により本学において修得したものとみなすことができる単位数は、本学において修得したものの以外については、10単位を超えないものとする。
 - 3 入学前の既修得単位の認定に関し必要な事項は、別に定める。

(他の大学院等における研究指導等)

- 第40条 学生が、他の大学院又は研究所等において研究指導を受けることが教育上有益であると当該研究科の教授会において認めるときは、あらかじめ、当該他の大学院又は研究所等と協議の上、当該他の大学院又は研究所等において必要な研究指導を受けることを認めることがある。ただし、博士前期課程の学生が当該研究指導を受ける期間は、1年を超えないものとする。
- 2 前項の規定により他の大学院又は研究所等において受けた研究指導は、本学の研究科において受けた研究指導とみなすことができる。
 - 3 第1項の規定により研究指導を受けた期間は、在学期間に算入する。
 - 4 他の大学院等における研究指導等に関し必要な事項は、別に定める。

第10章 修了の要件及び学位等

(博士前期課程の修了の要件)

- 第41条 博士前期課程の修了の要件は、博士前期課程に標準修業年限以上在学し、各研究科の定めるところにより、所要の授業科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、博士前期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。
- 2 前項の場合において、当該研究科の教授会において適当と認められる場合には、特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えることができる。

(博士後期課程の修了の要件)

- 第42条 博士後期課程の修了の要件は、博士後期課程に標準修業年限以上在学し、各研究科の定めるところにより、所要の単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。
- 2 前条第1項ただし書の規定による在学期間をもって博士前期課程を修了した者及び他の大学院の修士課程又は博士前期課程を1年以上2年未満で修了した者の博士後期課程の修了の要件は、前項ただし書中「1年」とあるのは「3年から博士前期課程又は修士課程における在学期間を減じた期間」と読

み替えて、同項の規定を適用する。

- 3 前2項の規定にかかわらず、学校教育法施行規則第156条の規定により、大学院への入学資格に関し修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者が、博士後期課程に入学した場合の博士後期課程の修了の要件は、博士後期課程に3年以上在学し、各研究科の定めるところにより、所要の単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、博士後期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

(修了の認定)

第43条 修了の認定は、当該研究科の教授会が行う。

(学位)

- 第44条 研究科の課程を修了した者には、修了した課程に応じて修士又は博士の学位を授与する。
- 2 前項に定めるもののほか、博士の学位は、本学に博士論文を提出して、その審査に合格し、かつ、本学の博士後期課程を修了した者と同等以上の学力を有することを確認された者にも授与することができる。
 - 3 学位に関し必要な事項は、別に定める。

(修了の時期)

- 第45条 修了の時期は、学期の終りとする。
- 2 前項の規定にかかわらず、学長が必要と認めた場合は、学期の途中において修了させることができる。

(教育職員の免許状授与の所要資格の取得)

- 第46条 教育職員の免許状授与の所要資格（以下「授与資格」という。）を取得しようとする者は、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）に定める所要の単位を修得しなければならない。
- 2 本学において、授与資格を取得できる教育職員の免許状の種類及び免許教科等は、次の表に掲げるとおりとする。

研究科	専攻	免許状の種類	免許教科
情報科学研究科	情報科学専攻	高等学校教諭専修免許状	情報
バイオサイエンス研究科	バイオサイエンス専攻	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修	理科 理科

		免許状	
物質創成科学研究科	物質創成科学専攻	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	理科 理科

第11章 休学、留学、再入学、転入学、転学、転研究科及び退学 (休学)

第47条 病気その他やむを得ない事由により、引き続き3月以上修学できない者は、当該研究科の教授会の審議を経て、学長の許可を得て、休学することができる。

- 2 病気のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。
- 3 休学の事由が消滅したときは、学長の許可を得て、復学することができる。
- 4 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。
- 5 休学期間は、第31条に規定する標準修業年限及び第32条に規定する在学年限に算入しない。
- 6 休学期間は、博士前期課程及び博士後期課程ごとに、それぞれ通算して2年を超えることができない。

(留学)

第48条 外国の大学院又は研究所等に留学しようとする者は、当該研究科の教授会の審議を経て、学長の許可を受けなければならない。

- 2 留学期間中における授業科目の履修等の取扱いについては、第38条及び第40条の規定を準用する。

(再入学)

第49条 本学を退学した者又は除籍された者で、当該研究科に再入学を志願する者がある場合は、当該研究科の教育研究に支障がないときに限り、当該研究科の教授会の選考の上、学長が再入学を許可することがある。

- 2 前項の場合において、既に修得した授業科目の単位及び在学期間の認定は、当該研究科の教授会において行う。

(転入学)

第50条 他の大学院に在学する者又は外国の大学院に在学する者で、本学に転入学を志願する者がある場合は、本学の教育研究に支障がないときに限り、

在籍を希望する研究科の教授会の選考の上、学長が転入学を許可することがある。

- 2 前項の場合において、既に修得した授業科目の単位及び在学期間の認定は、当該研究科の教授会において行う。
- 3 前2項の規定は、我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程に在学する者（学校教育法第102条第1項に規定する者に限る。）及び国際連合大学の課程に在学する者の場合について準用する。

（転学）

第51条 他の大学院又は外国の大学院に転学を志願する者は、当該研究科の教授会の審議を経て、学長の許可を受けなければならない。

- 2 前項の規定は、我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの及び国際連合大学の場合について準用する。

（転研究科）

第52条 転研究科を志願する者がある場合は、転研究科先の教育研究に支障がないときに限り、在籍を希望する研究科の教授会の選考の上、当該研究科長が転研究科を許可することがある。

- 2 前項の場合において、既に修得した授業科目の単位及び在学期間の認定は、当該研究科の教授会において行う。

（退学）

第53条 退学しようとする者は、当該研究科の教授会の審議を経て、学長の許可を受けなければならない。

第12章 検定料、入学料及び授業料等

（検定料、入学料及び授業料の額）

第54条 検定料、入学料及び授業料の額は、次の表のとおりとする。

検定料	入学料	授業料（年額）
30,000円	282,000円	535,800円

（検定料の納付）

第55条 入学、再入学及び転入学を志願する者は、入学願書提出と同時に、検定料を納付しなければならない。

- 2 前項の規定にかかわらず、国費外国人留学生制度実施要項（昭和29年3月31日文部大臣裁定。以下「実施要項」という。）第4条の推薦による入学

志望者は、検定料の納付を要しない。

(入学料の納付)

第56条 入学、再入学及び転入学しようとする者は、所定の期日までに、入学料を納付しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、国費外国人留学生（実施要項第2条に定めるものをいう。以下同じ。）は、入学料の納付を要しない。

(授業料の納付)

第57条 授業料は、春学期（4月から9月まで）及び秋学期（10月から翌年3月まで）の2期に分けて、年額の2分の1ずつ納付しなければならない。

2 納付の時期は、第63条の規定により授業料の徴収猶予を許可された場合を除き、5月及び11月とする。

3 前2項の規定にかかわらず、学生の申出があったときは、春学期の授業料を徴収する時に、当該年度の秋学期に係る授業料を併せて徴収するものとする。

4 入学年度の春学期又は春学期及び秋学期に係る授業料については、第1項及び第2項の規定にかかわらず、入学を許可される者の申出があったときは、入学を許可する時に徴収するものとする。

5 第1項の規定にかかわらず、国費外国人留学生は、授業料の納付を要しない。

(復学等の場合における授業料の額及び徴収方法)

第58条 春学期又は秋学期の中途において復学、転入学又は再入学（以下「復学等」という。）をした者から春学期又は秋学期において徴収する授業料の額は、授業料の年額の12分の1に相当する額（以下「月額」という。）に復学等当月から次の徴収の時期前までの月数を乗じて得た額とし、復学等当月に徴収するものとする。

(学年の途中で修了する場合における授業料の額)

第59条 特別の事情により、学年の途中で修了する者から徴収する授業料の額は、月額に在学する月数を乗じて得た額とする。

(休学する場合における授業料の額)

第60条 休学期間の授業料は、徴収しない。

2 徴収しない授業料の額は、月額に休学当月の翌月から復学当月の前月までの月数を乗じて得た額とする。

(退学等の場合における授業料の額)

第61条 春学期又は秋学期の中途において退学し、転学し、除籍され、又は

退学を命じられた者の授業料は、当該期分を徴収する。

(入学料及び授業料の免除等)

第62条 入学料の全額若しくは一部を免除し、又はその徴収を猶予することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 経済的理由によって、入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者又はその他やむを得ない事情があると認められる者
- (2) 学業成績が特に優秀であり、かつ、人物が優れていると認められる者
- (3) その他学長が必要と認める者

第63条 授業料の全額若しくは一部を免除し、又はその徴収を猶予することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 経済的理由によって、授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者又はその他やむを得ない事情があると認められる者
- (2) 学業成績が特に優秀であり、かつ、人物が優れていると認められる者
- (3) その他学長が必要と認める者

第64条 入学料及び授業料の免除及び徴収猶予に関し必要な事項は、別に定める。

(納付済みの検定料、入学料及び授業料)

第65条 納付済みの検定料、入学料及び授業料は返還しない。

2 前項の規定にかかわらず、次に掲げる場合は、授業料を返還する。

- (1) 第57条第3項の規定により春学期及び秋学期に係る授業料を併せて納付した者が、秋学期に係る授業料の納付期限前に退学した場合 秋学期に係る授業料相当額
- (2) 第57条第4項の規定により入学を許可する時に授業料を納付した者が、入学する月の前月の末日までに入学を辞退した場合 当該授業料相当額
- (3) 第57条に基づき授業料を納付した者が、特別の事情により、学年の途中で修了する場合 当該者が支払った授業料から、月額に在学する月数を乗じた額を減じて得た授業料相当額
- (4) 授業料を納付している者が休学する場合 第60条第2項に該当する授業料相当額

第13章 特別聴講学生、特別研究学生、科目等履修生及び研究生
(特別聴講学生)

第66条 教育上有益と認めるときは、他の大学院又は外国の大学院との協議に基づき、当該他の大学院又は外国の大学院に在学中の者を特別聴講学生として入学を許可し、研究科の授業科目を履修させることができる。

- 2 前項の規定は、我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの及び国際連合大学の場合について準用する。
- 3 特別聴講学生に関し必要な事項は、別に定める。

(特別研究学生)

- 第67条 教育上有益と認めるときは、他の大学院又は外国の大学院との協議に基づき、当該他の大学院又は外国の大学院に在学中の者を特別研究学生として入学を許可し、研究科の研究指導を受けさせることができる。
- 2 特別研究学生に関し必要な事項は、別に定める。

(科目等履修生)

- 第68条 本学の学生以外の者で研究科の授業科目中1科目又は複数科目を選択し履修しようとする者がある場合は、当該研究科の教育研究に支障がないと認めるときに限り、当該研究科の教授会の選考の上、科目等履修生として入学を許可し、単位を与えることができる。
- 2 科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

(研究生)

- 第69条 研究科において特定事項について研究しようとする者がある場合は、当該研究科の教育研究に支障のないときに限り、当該研究科の教授会の選考の上、研究生として入学を許可することがある。
- 2 研究生に関し必要な事項は、別に定める。

第14章 賞罰及び除籍

(賞罰)

- 第70条 学長は、表彰に価する行為を行った者があるときは、表彰することができる。
- 2 学長は、本学の規則に違反し又は本学の教育研究活動を著しく阻害する行為を行った者があるときは、当該研究科の教授会の審議に基づき、懲戒することができる。
 - 3 前項に規定する懲戒は、退学、停学及び訓告とする。

(除籍)

- 第71条 次の各号のいずれかに該当する者は、除籍する。
- (1) 在学期間が第32条に規定する在学年限を超えた者
 - (2) 休学期間が第47条第4項に規定する期間を超えた者
 - (3) 入学料の免除を許可されなかった者及び一部の免除を許可された者並びに徴収を猶予された者又は免除の許可を取り消された者で、その納付すべ

- き入学科を所定の期日までに納付しなかったもの
(4) 授業料の納付を怠り、督促を受けてなお納付しなかった者

第15章 学生宿舎

(学生宿舎)

第72条 本学に、学生宿舎を置く。

- 2 学生宿舎に関し必要な事項は、別に定める。

第16章 公開講座

(公開講座)

第73条 本学に、社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、公開講座を開設することができる。

- 2 公開講座に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 平成16年3月31日現在において本学に在学している者（以下この項で「在学者」という。）及び平成16年4月1日以後において在学者の属する年次に再入学及び転入学する者については、旧奈良先端科学技術大学院大学学則は、この学則の施行後も、なおその効力を有する。

附 則

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成17年4月21日から施行し、この学則による改正後の奈良先端科学技術大学院大学学則の規定は、平成17年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成17年11月17日から施行する。

附 則

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成20年1月24日から施行し、この学則による改正後の奈良先端科学技術大学院大学学則の規定は、平成19年12月26日から適用する。

附 則

この学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成22年12月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成22年12月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 情報科学研究科の情報処理学専攻、情報システム学専攻及び情報生命科学専攻並びにバイオサイエンス研究科の細胞生物学専攻及び分子生物学専攻は、改正後の第5条の規定にかかわらず、平成23年3月31日に当該専攻に在学する者が当該専攻に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
(平成23年度及び平成24年度の収容定員)
- 3 第21条の規定にかかわらず、平成23年度及び平成24年度の収容定員は、次の表に掲げるとおりとする。

年度	研究科	専攻	入学定員		収容定員
			博士前期課程	博士後期課程	
平成23年度	情報科学研究科	情報科学専攻	135人	40人	175人
		情報処理学専攻			96人
		情報システム学専攻			77人
		情報生命科学専攻			59人
		計	135人	40人	407人
	バイオサイエンス研究科	バイオサイエンス専攻 細胞生物学専攻 分子生物学専攻	125人	37人	162人
81人					
101人					
	計	125人	37人	344人	

平成24年度	情報科学研究科	情報科学専攻 情報処理学専攻 情報システム学専攻	135人	40人	350人 18人 14人
		計	135人	40人	393人
	バイオサイエンス研究科	バイオサイエンス専攻 細胞生物学専攻 分子生物学専攻	125人	37人	324人 15人 19人
		計	125人	37人	358人

(研究科において所要資格を取得できる教育職員の免許状の種類に関する経過措置)

- 4 附則第2項の専攻において取得できる教育職員の免許状の種類及び免許教科は、改正後の第46条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成24年6月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成25年2月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成26年4月1日から施行する。

別表（第21条関係）

研究科	専攻	入学定員		収容定員
		博士前期 課程	博士後期 課程	
情報科学研究科	情報科学専攻	135人	40人	390人
バイオサイエンス 研究科	バイオサイエンス専 攻	125人	37人	361人
物質創成科学研究 科	物質創成科学専攻	90人	30人	270人
合 計		350人	107人	1,021人

Regulations of Nara Institute of Science and Technology

April 1, 2004
Regulations No. 1

Table of Contents

- I. General Provisions (Articles 1 to 3)
- II. Educational and Research Organization (Articles 4 to 11)
- III. President, Vice President, Deans, etc. (Articles 12 to 19)
- IV. Faculty Council (Article 20)
- V. Admission Capacity and Enrollment Capacity (Article 21)
- VI. Academic Year, Semesters, and Closed Days (Articles 22 to 24)
- VII. Admission (Articles 25 to 30)
- VIII. Standard Terms of Study and Maximum Years of Enrollment (Articles 31 to 32)
- IX. Education at Graduate School (Articles 33 to 40)
- X. Course and Degree Requirements (Articles 41 to 46)
- XI. Leave of Absence, Study Abroad, Readmission, Transfer from/to another School, Transfer to another Graduate School within NAIST, and Withdrawal (Articles 47 to 53)
- XII. Entrance Examination, Admission and Tuition Fees (Articles 54 to 65)
- XIII. Special Auditing Students, Special Research Students, Non-Degree Students and Research Students (Articles 66 to 69)
- XIV. Rewards, Punishments and Expulsion (Articles 70 to 71)
- XV. Student Dormitories (Article 72)
- XVI. Open Lectures (Article 73)

Supplementary Provisions

I. General Provisions

Article 1 (Purpose)

Nara Institute of Science and Technology (“NAIST”) aims to promote cutting-edge research activities and train high-caliber personnel through advanced education based on the results of such research activities, thereby contributing to the advancement of science and technology and prosperity of society.

Article 2 (Self-assessment)

1. NAIST shall inspect and assess educational and research activities conducted internally (“Self-assessment”) and make the results of the Self-assessment publicly available, with a view to raising the standard of internal education and research and achieving its purpose and social mission described in the foregoing article.
2. NAIST shall have the results of the Self-assessment examined by third party reviewers.
3. Matters concerning implementation of the Self-assessment shall be provided for separately.

Article 3 (Active provision of information)

NAIST shall actively provide information on its educational and research activities through publications or other suitable means.

II. Educational and Research Organization

Article 4 (University with graduate school curriculum)

NAIST is a university with graduate school curriculum only.

Article 5 (Graduate School and department)

The Graduate Schools of NAIST have the graduate schools and departments shown in the following table.

Graduate School	Department
Information Science	Information Science
Biological Sciences	Biological Sciences
Materials Science	Materials Science

Article 6 (Objectives of Graduate Schools)

Respective Graduate Schools shall have the following objectives concerning educational and research activities.

(1) Graduate School of Information Science

Promotes advanced research on information science, offers systematic education programs covering diverse fields related to information science (including information processing technology for assisting senses and judgments, technology for building large-scale information systems, technology for building and operating reliable information networks, and extensive interdisciplinary research involving information science and life science), and thereby produces researchers capable of undertaking R&D in the future and engineers with advanced expertise.

(2) Graduate School of Biological Sciences

Promotes state-of-the-art research for elucidating the basic principles of life phenomena and

biological diversity on molecular, cellular, and individual levels, and for utilizing the results to resolve problems faced by the human society, offers systematic education programs covering diverse fields related to biological sciences, and thereby produces creative and leading-edge researchers and engineers with advanced expertise capable of promoting and utilizing biological sciences

(3) Graduate School of Materials Science

Elucidates structures and functions of materials on molecular, atomic, and electron levels, promotes creative research on materials science, and offers systematic education programs covering diverse fields related to materials science, and thereby produces human resources (i) who are keenly interested in the problems faced by human society and the needs of industrial circles and capable of undertaking creative and advanced research in materials science and interdisciplinary domains, and (ii) who assume active roles in fields of technological innovation and diverse sciences and technologies

Article 7 (Chairs)

1. The Graduate Schools have Chairs.
2. The Chairs of the Graduate School consist of basic, guest, endowed, collaborative, and educational collaborative chairs.
3. Matters relating to the Chairs shall be provided for separately.

Article 8 (Courses and their purposes)

1. The Graduate Schools of NAIST have doctoral courses.
2. Each of the doctoral courses consists of a former course (“Master’s Course”) and a latter course (“Doctoral Course”).
3. The Master’s Course aims to equip students with profound academic knowledge based on broader perspectives, and help students develop the ability to conduct advanced research in their fields of specialty or engage in professions that require highly specialized skills.
4. The Doctoral Course aims to help students develop the ability to conduct advanced research activities on their own, or research skills of the highest level necessary for highly sophisticated professions, and to foster profound academic knowledge indispensable for such research activities and professions.

Article 9 (NAIST Library)

1. NAIST has a library.
2. Matters relating to the library shall be provided for separately.

Article 10 (Common educational and research institutions)

1. NAIST has the following common educational and research institutions:
 - (1) Information Technology Center

(2) Research and Education Center for Genetic Information

(3) Research and Education Center for Materials Science

(4) Research Center for Advanced Science and Technology

2. Matters relating to the common educational and research institutions shall be provided for separately.

Article 11 (Health Care Center)

1. NAIST has a Health Care Center.

2. Matters relating to the Health Care Center shall be provided for separately.

III. President, Vice President, Deans, etc.

Article 12 (Organization)

1. The organization of NAIST consists of the following members:

President

Vice President

Deans of respective Graduate Schools

Vice Deans of respective Graduate Schools

Director of NAIST Library

Directors of the common educational and research institutions

Director of Information Technology Center

Director of Research and Education Center for Genetic Information

Director of Research and Education Center for Materials Science

Director of Research Center for Advanced Science and Technology

Director of Health Care Center

Faculty members

General staff members

Other staff members

2. The faculty members of NAIST consist of professors, associate professors, lecturers, assistant professors, and research associates.

3. General staff members of NAIST consist of administrative staff, technical staff, nurses and academic staff.

Article 13 (President)

The President shall be responsible for management of internal affairs at NAIST and supervision of all faculty and staff members thereof.

Article 14 (Vice President)

The Vice President shall be responsible for supporting the President.

Article 15 (Deans of respective Graduate Schools)

Each of the Deans shall be responsible for the administration of his or her Graduate School and the common educational and research institution associated therewith.

Article 16 (Vice Deans of respective Graduate Schools)

Each of the Vice Deans shall be responsible for supporting the Dean of his or her Graduate School.

Article 17 (Director of NAIST Library)

The Director of the NAIST Library shall be responsible for administration of the Library.

Article 18 (Directors of the common educational and research institutions)

Directors of the common educational and research institutions shall be responsible for affairs at the respective common educational and research institutions.

Article 19 (Director of Health Care Center)

The Director of the Health Care Center shall be responsible for its administration.

IV. Faculty Council

Article 20 (Faculty Council)

1. Each of the Graduate Schools has a Faculty Council.
2. The Faculty Council of each Graduate School shall be responsible for discussing matters relating to:
 - (1) Arrangement of curriculum
 - (2) Admission of students
 - (3) Students taking a leave of absence
 - (4) Students studying abroad
 - (5) Students transferring to another school
 - (6) Students withdrawing from studies
 - (7) Awarding of degrees
 - (8) Academic performance of students
 - (9) Students' groups, activities, and campus life
 - (10) Rewards and punishments to students
 - (11) Research systems
 - (12) Research and educational programs of the common educational and research institutions that are closely associated with the research and educational purposes of the relevant Graduate School
 - (13) Self-inspection
 - (14) Other educational and research issues

3. Each of the Faculty Councils shall consist of full-time professors and associate professors engaged in educational or research activities of the relevant Graduate School. However, the Dean of the Graduate School may invite faculty members involved in educational or research activities of other Graduate Schools to join its Faculty Council if necessary.
4. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, members of the Faculty Council who are on an official trip abroad, on leave of absence or absent for other reasons may be removed from the Faculty Council.
5. The Dean of each of the Graduate Schools shall serve as chairman of the respective Faculty Council.
6. The Chairman of each of the Faculty Councils shall preside over the council's meetings.
7. In case the Chairman has become unable to serve his or her role, the Vice Dean shall act as the chairman on his or her behalf.
8. For the meetings and resolutions of the Faculty Councils to be valid, a majority of all the members thereof shall be present.
9. Resolutions at Faculty Council meetings shall be passed with assenting votes of a majority of the faculty members present at the meeting. In case of a tied vote, the chairman shall cast the deciding vote.
10. The Dean may invite individuals who are not members of the Faculty Council to attend the council's meeting if he deems it necessary to do so.

V. Admission Capacity and Enrollment Capacity

Article 21 (Admission capacity and enrollment capacity)

The admission capacity and enrollment capacity of each of the Graduate Schools of NAIST shall be as shown in the attached Schedule.

VI. Academic Year, Semesters, and Closed Days

Article 22 (Academic year)

1. At NAIST, the academic year shall commence on April 1 and end on March 31 of the following year.
2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, the academic year shall commence on October 1 and end on September 30 of the following year for students who are admitted to NAIST in the autumn semester.

Article 23 (Semesters)

The academic year specified in the foregoing article shall consist of:

- (1) Spring semester (from April 1 to September 30), and

- (2) Autumn semester (from October 1 to March 31 of the following year).

Article 24 (Closed days)

1. NAIST shall be closed on the following days:

- (1) Sunday and Saturday
- (2) Days designated as national holidays under the Public Holiday Law (1948 Law No. 178)
- (3) Anniversary of the founding of NAIST (October 1)
- (4) Spring, summer and winter holidays

2. Details about the spring, summer and winter holidays shown in the foregoing subsection (4) shall be provided for separately.

3. The President may designate a temporarily closed day if he deems it necessary to do so.

4. Regardless of Article 1, classes may be held on holidays when deemed necessary for educational purposes by the dean.

VII. Admission

Article 25 (Applicant qualifications)

1. Admission to the Master's Course is granted to individuals who:

(1) Have graduated from university stipulated in Article 83-1 of the School Education Law (1947 Law No. 26)

(2) Have been awarded a bachelor's degree pursuant to Article 104-4 of the School Education Law

(3) Have completed a 16-year course of school education abroad

(4) Have taken a correspondence course in Japan offered by a foreign school, thereby completing a 16-year course of school education of the foreign country where the school is located

(5) Have completed a course of an educational institution that is recognized as offering a regular curriculum of a foreign university in compliance with the school education system of the country, and that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, provided that completion of the said course shall constitute completion of a 16-year course of school education in the country

(6) Have completed the specialized course offered by a special training school that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, on or after the day specified by the Minister, provided that the said course shall be a four-year or longer course, and meet all the other criteria set forth by the Minister

(7) Have been designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, in accordance with Article 155-1 (6), of the Enforcement Regulations for the School Education Law (1947 Ordinance of the Ministry of Education No. 11)

(8) Fall into any of the following categories and are recognized by NAIST as having earned the necessary credits with outstanding academic grades:

(a) Individuals who have been enrolled in university for at least three years

(b) Individuals who have completed a 15-year course of school education abroad

(c) Individuals who have taken a correspondence course in Japan offered by a foreign school, thereby completing a 15-year course of school education of the foreign country where the school is located

(d) Individuals who have completed a course of an educational institution that is recognized as offering a regular curriculum of a foreign university in compliance with the school education system of the country, and that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, provided that completion of the said course shall constitute completion of a 15-year course of school education in the country

(9) Have been enrolled in graduate school before pursuant to Article 102-2 of the School Education Law and are recognized by NAIST as having adequate academic ability to be educated at the Graduate School thereof

(10) Have been recognized by NAIST through an individual entrance screening as having academic ability equivalent to or greater than that of a university graduate and are at least 22 years of age

2. Admission to the Doctoral Course is granted to individuals who:

(1) Have been awarded a master's degree or a professional degree specified in Article 5-2 of the Rules for Degrees (1953 Ordinance of the Ministry of Education No. 9) pursuant to Article 104-1 of the School Education Law ("Professional Degree")

(2) Have been awarded a master's degree or other degree equivalent to a Professional Degree abroad

(3) Have been awarded a master's degree or other degree equivalent to a Professional Degree by completing a correspondence course in Japan offered by a foreign school

(4) Have been awarded a master's degree or other degree equivalent to a Professional Degree by completing a course of an educational institution in Japan that is recognized as offering a regular curriculum of a foreign graduate school in compliance with the school education system of the country, and that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology

(5) Have been designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, in accordance with Article 156-1 (4), of the Enforcement Regulations for the School Education Law

(6) Have been recognized by NAIST through an individual entrance screening as having academic ability equivalent to or greater than that of a master's degree or Professional Degree holder and are at least 24 years of age

3. Methods for implementing entrance screening, etc., set forth in Paragraph 1 (10) and

Paragraph 2 (6), hereof shall be stipulated separately by respective Graduate Schools.

Article 26 (Timing of admission)

Students shall be admitted to NAIIST at the beginning of each semester.

Article 27 (Application for admission)

To apply for admission to NAIIST, an admission application form shall be submitted together with designated documents to the President of NAIIST.

Article 28 (Screening)

Applicants for admission to NAIIST shall be screened by the procedures set forth separately.

Article 29 (Enrollment procedures and admission)

1. Applicants who have received notification of acceptance as a result of the screening specified in the foregoing article shall submit the designated documents to be admitted to NAIIST.
2. The President shall admit applicants to NAIIST upon completion of the procedures set forth in the foregoing subsection.

Article 30 (Admission to Doctoral Course)

Admission of students to the Doctoral Course upon completion of the Master's Course of NAIIST shall be subject to screening by the Faculty Council of the relevant Graduate School.

VIII. Standard Terms of Study and Maximum Years of Enrollment

Article 31 (Standard terms of study)

The standard terms of study at the Master's Course and Doctoral Course shall be two years and three years, respectively.

Article 32 (Maximum years of enrollment)

Maximum years of enrollment in the Master's Course and Doctoral Course shall be four years and six years, respectively.

IX. Education at Graduate Schools

Article 33 (Graduate school education)

Education at the Graduate Schools shall be provided by means of lectures on subjects and guidance on writing theses ("Research Guidance").

Article 34 (Courses, credits, and registration procedures)

The courses to be taught as set forth in the foregoing article, the credits allotted to the said

courses, and registration procedures shall be provided for separately by each of the Graduate Schools.

Article 35 (Calculation of credits)

1. Based on the general rule that one credit shall be composed of a total of 45 hours of studying by students, the following basis shall be adopted for calculating credits at NAIST, taking into consideration the educational effects and hours required for off-campus studying, which vary depending on how the subject is taught:

(1) Fifteen hours of lectures and seminars shall yield one credit.

(2) Thirty hours of experiments and practical work shall yield one credit.

(3) When a Graduate School employs a combination of two or more methods out of lectures, seminars, experiments, or practical work for a course, one credit shall consist of class hours determined by the Graduate School in light of the standards prescribed in the preceding two items, in accordance with the combination of such methods.

2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, the number of credits to be allotted to thesis writing and thematic research may be determined upon consideration of the amount of study needed therefor, if it is deemed appropriate to award credits based on an evaluation of the results of the study.

Article 35-2 (Publication of Standards for Evaluating Grades)

1. A Graduate School shall present to its students, in advance, a clear outline of the methodology and contents of classes and Research Guidance, as well as a class and Research Guidance schedule for the year.

2. A Graduate School shall, when assessing its students' academic achievement and theses and approving their completion, present them with a clear outline of the standards therefor, in advance, so as to ensure objectivity and rigidity, and shall conduct an assessment and approval process appropriately in accordance with said standards.

Article 35-3 (Organized Training for Improving Educational Contents)

1. NAIST shall conduct organized training and research for improving the contents and methodology used to give classes and Research Guidance at its Graduate Schools.

2. Necessary matters related to organized training for improving educational contents shall be stipulated separately.

Article 36 (Awarding of credits)

Students who have completed each course can earn credits therefor upon passing the examination or acceptance of a research report.

Article 37 (Studying in another Graduate School of NAIST)

1. Students may take a course offered by another Graduate School of NAIST if the Faculty Council of their Graduate School deems it educationally beneficial to do so.
2. Course credits that students have earned pursuant to the foregoing subsection may be counted toward degree credits specified in Article 35 to the extent permitted by their Graduate School.
3. Matters relating to taking of courses of other Graduate Schools shall be provided for separately.

Article 38 (Studying in another graduate school outside of NAIST)

1. Students may take a course offered by another graduate school outside of NAIST if the Faculty Council of their Graduate School deems it educationally beneficial to do so, subject to prior consultation with the relevant graduate school.
2. Course credits that students have earned pursuant to the foregoing subsection shall be treated as credits earned internally, provided that the number of such credits shall not exceed ten.
3. The period of studying at another graduate school pursuant to subsection 1 of this Article shall be counted toward the period of study at NAIST.
4. Matters relating to taking of courses of other graduate schools shall be provided for separately.

Article 39 (Treatment of credits earned prior to admission to NAIST)

1. Credits that a student has earned at another graduate school prior to admission to NAIST, including credits that have been earned by the student as a non-degree student as defined in the Standards for the Establishment of Graduate Schools (1974 Ordinance of the Ministry of Education No. 28), may be treated as credits that have been earned by the student at NAIST after his or her admission thereto, if the Faculty Council of his or her Graduate School deems it educationally beneficial to do so.
2. The number of credits that have been earned at another graduate school but are treated as having been earned at NAIST pursuant to the foregoing subsection shall not exceed ten.
3. Other matters relating to credits earned prior to admission to NAIST shall be provided for separately.

Article 40 (Research Guidance at another graduate school)

1. Students may receive Research Guidance offered by another graduate school or research institution outside of NAIST as needed, if the Faculty Council of their Graduate School deems it educationally beneficial to do so, subject to prior consultation with the relevant graduate school or research institution. However, the period during which students enrolled in the Master's Course are allowed to receive Research Guidance at another graduate school or research institution shall not exceed one year.

2. Research Guidance that students receive from another graduate school or research institution pursuant to the foregoing subsection may be treated as Research Guidance received by the students at the Graduate School of NAIST.
3. The period during which students receive Research Guidance pursuant to subsection 1 of this Article shall be counted toward the period of study at NAIST.
4. Matters relating to Research Guidance at another graduate school or research institution shall be provided for separately.

X. Course and Degree Requirements

Article 41 (Requirements for completion of Master's Course)

1. To complete the Master's Course, students shall have been enrolled in the Master's Course for the standard term of study at the shortest, earn at least thirty credits in the subjects designated by their Graduate School, receive necessary Research Guidance, and pass the master's thesis examination or final examination. However, students who have achieved outstanding research results may complete the Master's Course after having been enrolled in the said course for one year at the shortest, instead of the standard term of study.
2. For the purpose described in the foregoing subsection, an examination of research results on specified themes may be conducted in place of the master's thesis examination if the Faculty Council of the Graduate School deems it appropriate to do so.

Article 42 (Requirements for completion of Doctoral Course)

1. To complete the Doctoral Course, students shall have been enrolled in the Doctoral Course for the standard term of study at the shortest, receive necessary Research Guidance, and pass the doctoral thesis examination or final examination. However, students who have achieved outstanding research results may complete the Doctoral Course after having been enrolled in the said course for one year at the shortest, instead of the standard term of study.
2. The part of the provision of the foregoing subsection that reads "However, students who have achieved outstanding research results may complete the Doctoral Course after having been enrolled in the said course for one year at the shortest, instead of the standard term of study" shall read "However, students who have achieved outstanding research results may complete the Doctoral Course after having been enrolled in the said course for the period of three years less the period of enrollment in the Master's Course at the shortest, instead of the standard term of study," to apply to students who have completed the Master's Course at NAIST in one year at the shortest pursuant to subsection 1 of Article 41, or who have completed the master's course of another graduate school outside of NAIST taking between one and two years.
3. Notwithstanding the provisions of the foregoing two subsections, for students who have been admitted to the Doctoral Course after having been recognized as having academic ability

equivalent to or greater than that of a master's degree holder pursuant to Article 156 of the Enforcement Regulations for the School Education Law, the requirements for completion of the Doctoral Course shall be: enrollment in the said course for three years at the shortest, receipt of necessary Research Guidance, and passing of the doctoral thesis examination or final examination. However, students who have achieved outstanding research results may complete the Doctoral Course after having been enrolled in the said course for one year at the shortest, instead of three years.

Article 43 (Approval of completion)

Approval of completion of the Master's Course and Doctoral Course shall be given by the Faculty Council of the relevant Graduate School.

Article 44 (Awarding of degrees)

1. Students who have completed the Master's Course or Doctoral Course shall be awarded a master's degree or doctoral degree, respectively.
2. In addition to the provision of the foregoing subsection, a doctoral degree shall be awarded to individuals who have submitted a doctoral thesis to NAIST, passed the doctoral thesis examination and been recognized as having academic ability equivalent to or greater than that of an individual who has completed the Doctoral Course at NAIST.
3. Matters relating to awarding of degrees shall be provided for separately.

Article 45 (Timing of completion)

1. The Master's Course and Doctoral Course shall be completed at the end of each semester.
2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, the Master's Course and Doctoral Course may be completed during a semester if deemed necessary by the President.

Article 46 (Teaching qualifications)

1. Students who wish to obtain teaching qualifications shall earn the credits specified by the Teacher's Certificate Law (1949 Law No. 147) and the Enforcement Regulations for the Teacher's Certificate Law (1954 Ordinance of the Ministry of Education No. 26).
2. Teaching qualifications that can be obtained at the Graduate Schools of NAIST are as shown in the following table.

Graduate School	Department	Teaching qualification	Subject
Information Science	Information Science	High school teacher's qualification	Information
Biological Sciences	Biological Sciences	Junior high school teacher's qualification	Science
		High school teacher's qualification	Science

Materials Science	Materials Science	Junior high school teacher's qualification High school teacher's qualification	Science Science
----------------------	-------------------	---	--------------------

XI. Leave of Absence, Study Abroad, Readmission, Transfer from/to another School, Transfer to another Graduate School within NAIST, and Withdrawal

Article 47 (Leave of absence)

1. A student who is scheduled to be absent from school for three consecutive months or longer due to illness or for other justifiable reasons may take a leave of absence with prior permission of the President, following deliberation by the Faculty Council of his or her Graduate School.
2. The President may order a student who is recognized to be too ill to attend school to take leave of absence.
3. When the grounds for the leave of absence have been resolved, the student may return to school with permission of the President.
4. The period of leave of absence shall be up to one year, provided, however, that the said period may be extended for up to another one year if there is any justifiable reason.
5. The period of leave of absence shall not be counted toward the standard term of study specified in Article 31 and the minimum years of enrollment specified in Article 32.
6. The period of leave of absence shall not exceed two years in total during enrollment in the Master's Course or Doctoral Course, respectively.

Article 48 (Study abroad)

1. A student who wishes to study at a graduate school or research institution abroad shall obtain permission of the President in advance, following deliberation by the Faculty Council of his or her Graduate School.
2. The provisions of Article 38 and Article 40 shall apply for the treatment of credits earned during study abroad.

Article 49 (Readmission)

1. An individual who withdrew or was expelled from NAIST in the past and wishes to be readmitted in the Graduate School of NAIST may be permitted to do so by the President, subject to screening by the Faculty Council of the relevant Graduate School, only if doing so is deemed not to interfere in any way with the educational and research activities of the Graduate School.
2. If readmission is permitted pursuant to the provision of the foregoing subsection, the Faculty Council of the relevant Graduate School shall agree to count the credits earned during the previous enrollment and years of the previous enrollment toward course requirements.

Article 50 (Transfer from another school)

1. A student who is enrolled in another graduate school outside of NAIST and wishes to transfer to NAIST may be permitted to do so by the President, subject to screening by the Faculty Council of the relevant Graduate School, only if doing so is deemed not to interfere in any way with the educational and research activities of NAIST.

2. If transfer to NAIST is permitted pursuant to the provision of the foregoing subsection, the Faculty Council of the relevant Graduate School shall agree to count the credits earned during the previous enrollment and years of the previous enrollment toward course requirements.

Article 51 (Transfer from another Graduate School)

1. A student who is enrolled in a Graduate School at NAIST and wishes to transfer to another Graduate School at NAIST may be permitted to do so by the Dean of the Graduate School to which he or she wishes to transfer, subject to screening by the Faculty Council of the Graduate School, only if doing so is deemed not to interfere in any way with educational and research activities of the Graduate School.

2. If transfer to another Graduate School at NAIST is permitted pursuant to the provision of the foregoing subsection, the Faculty Council of the relevant Graduate School shall agree to count the credits earned during the previous enrollment and years of the previous enrollment toward course requirements.

Article 52 (Transfer to another graduate school)

A NAIST student who wishes to transfer to another graduate school outside of NAIST shall obtain permission of the President in advance following deliberation by the Faculty Council of his or her Graduate School.

Article 53 (Withdrawal)

A NAIST student who wishes to withdraw from NAIST shall obtain permission of the President in advance following deliberation by the Faculty Council of his or her Graduate School.

XII. Entrance Examination, Admission and Tuition Fees

Article 54 (Amounts of the entrance examination, admission and tuition fees)

The amounts of the entrance examination, admission and tuition fees shall be as shown in the following table.

Entrance examination fee	Admission fee	Annual tuition fee
30,000 yen	282,000 yen	535,800 yen

Article 55 (Payment of the entrance examination fee)

Individuals who apply for admission, readmission or transfer to NAIST shall submit an

application form and pay the entrance examination fee at the same time.

Article 56 (Payment of the admission fee)

Individuals who are to be admitted, readmitted or transferred to NAIST shall pay the admission fee by the due date specified by NAIST.

Article 57 (Payment of the tuition fee)

1. Students shall pay the annual tuition fee in two equal installments for the spring semester (from April to September) and the autumn semester (from October to March of the following year).
2. The due dates of the tuition payment shall be in May and November except when delayed payment is permitted pursuant to the provision of Article 63.
3. Notwithstanding the provisions of the foregoing two subsections, students, by submitting an application, may pay the tuition fee for the autumn semester at the same time as paying the tuition fee for the spring semester.
4. Notwithstanding the provisions of subsections 1 and 2 above, students may, by submitting an application, pay the tuition fee for the spring semester or for the spring and autumn semesters of the year of admission, at the time when accepted for admission.

Article 58 (Amount and payment of the tuition fee in case of re-enrollment)

In case of re-enrollment, transfer from another school, and readmission (“Re-enrollment”) during the spring or autumn semester, the tuition fee shall be paid in an amount of one twelfth of the annual tuition fee (“Monthly Fee”) multiplied by the number of months from the month of Re-enrollment to the month preceding the next tuition payment. Payment shall be made in the month of Re-enrollment.

Article 59 (Amount of the tuition fee in case of completion of the course before the end of the academic year)

In case of completion of the course before the end of the academic year due to special circumstances, the tuition fee shall be paid in an amount of the Monthly Fee multiplied by the number of months of enrollment in NAIST.

Article 60 (Amount of the tuition fee in case of leave of absence)

1. Payment of tuition fee is not required during leave of absence.
2. The amount of the tuition fee for which payment is not required shall be the Monthly Fee multiplied by the number of months from the month following the leave of absence to the month preceding Re-enrollment.

Article 61 (Amount of the tuition fee in case of withdrawal)

In case of withdrawal, whether voluntary or forced, transfer to another school, or expulsion

from NAIIST during a spring or autumn semester, the tuition fee for the entire semester shall be paid.

Article 62 (Exemption from payment of admission and tuition fees)

Students may be exempted from payment of all or part of the admission fee or allowed delayed payment thereof if he or she has difficulties paying the admission fee for financial reasons and also is recognized as having outstanding academic ability, or if he or she has other justifiable reasons.

Article 63

Students may be exempted from payment of all or part of the tuition fee or allowed delayed payment thereof if he or she has difficulties paying the tuition fee for financial reasons and also is recognized as having outstanding academic ability, or if he or she has other justifiable reasons.

Article 64

Matters relating to exemption of payment of admission and tuition fees and delayed payment thereof shall be provided for separately.

Article 65 (Treatment of entrance examination, admission and tuition fees once paid)

1. Once paid, entrance examination, admission and tuition fees cannot be refunded.
2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, the tuition fee shall be refunded in the following cases.
 - (1) If a student who paid the tuition fee for both the spring and autumn semester at the same time pursuant to the provision of Article 57-3 above is to withdraw from NAIIST before the due date of tuition payment for the autumn semester, the tuition fee for the autumn semester shall be refunded.
 - (2) If a student who paid the tuition fee at the time when he or she was accepted for admission pursuant to the provision of Article 57-4 above declares his or her intention to decline the acceptance by the last day of the month preceding the admission, the amount equivalent to the paid tuition fee shall be refunded.
 - (3) If a student who paid tuition fees pursuant to the provision of Article 57 is to complete his or her course before the end of the academic year due to special circumstances, the amount of the paid tuition fee less the Monthly Fee multiplied by the number of months of enrollment shall be refunded.
 - (4) If a student who paid tuition fees is to take leave of absence, the amount specified in Article 60-2 shall be refunded.

XIII. Special Auditing Students, Special Research Students, Non-Degree Students and

Research Students

Article 66 (Special auditing students)

1. If deemed beneficial for educational purposes, students enrolled in another graduate school outside of NAIST, whether domestic or foreign, may be admitted to NAIST as special auditing students to take a course at the Graduate School of NAIST, subject to consultation with the graduate school.
2. Matters relating to special auditing students shall be provided for separately.

Article 67 (Special research students)

1. If deemed beneficial for educational purposes, students enrolled in another graduate school outside of NAIST, whether domestic or foreign, may be admitted to NAIST as special research students to receive Research Guidance at the Graduate School of NAIST, subject to consultation with the graduate school.
2. Matters relating to special research students shall be provided for separately.

Article 68 (Non-degree students)

1. Individuals who are not NAIST students but wish to study one or more elective subjects at the Graduate School of NAIST may be admitted to NAIST as non-degree students and awarded credits, subject to screening by the Faculty Council of the relevant Graduate School, only if doing so is deemed not to interfere in any way with the educational and research activities of the Graduate School.
2. Matters relating to non-degree students shall be provided for separately.

Article 69 (Research students)

1. Individuals who wish to conduct research on a specific theme at the Graduate School of NAIST may be admitted to NAIST as research students, subject to screening by the Faculty Council of the relevant Graduate School, only if doing so is deemed not to interfere in any way with the educational and research activities of the Graduate School.
2. Matters relating to research students shall be provided for separately.

XIV. Rewards, Punishments and Expulsion

Article 70 (Rewards and punishments)

1. The President may commend students who have done something worthy of public recognition.
2. The President may take disciplinary measures against students who have acted against the rules of NAIST or who have materially disturbed the educational and research activities of NAIST, following deliberation by the Faculty Council of the relevant Graduate School.
3. The disciplinary measures set forth in the foregoing subsection shall mean forced withdrawal,

suspension from NAIST, and warning.

Article 71 (Expulsion)

A student shall be expelled from NAIST if he or she:

- (1) Has been enrolled in NAIST for longer than the period specified in Article 32.
- (2) Has been on leave of absence for longer than the period specified in Article 47-4.
- (3) Has failed to pay the admission fee by the due date if the student has not been exempted from payment of the admission fee, has been exempted from payment of part of admission fee, has been allowed delayed payment of the admission fee, or has the payment exemption withdrawn.
- (4) Has failed to pay the tuition fee by the due date and still not paid it even after receiving a reminder.

XV. Student Dormitories

Article 72 (Student dormitories)

1. NAIST has student dormitories.
2. Matters relating to the student dormitories shall be provided for separately.

XVI. Open Lectures

Article 73 (Open lectures)

1. NAIST may offer open lectures with a view to educating the public and contributing to cultural enrichment.
2. Matters relating to the open lectures shall be provided for separately.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2004.

(Transitional measures)

2. In case of amendment of the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology, the Regulations before the amendment shall remain applicable to the students who are enrolled in NAIST as of March 31, 2004 (“Existing Students”) and also to the students who are readmitted or transferred to NAIST after April 1, 2004 if they are in the same grade as the Existing Students.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2005.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 21, 2005, while the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology as amended hereunder shall be applied from April 1, 2005.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on November 17, 2005.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2007.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on January 24, 2008, while the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology as amended hereunder shall be applied from December 26, 2007.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2014.

Schedule (supplementary to Article 21)

Graduate school	Department	Admission capacity		Enrollment capacity
		Master's Course	Doctoral Course	
Information Science	Information Science	135	40	390
Biological Sciences	Biological Sciences	125	37	361
Materials Science	Materials Science	90	30	270
Total		350	107	1,021

奈良先端科学技術大学院大学特別研究学生交流規程

平成16年4月1日

規程第25号

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則（平成16学則第1号。以下「学則」という。）第40条第4項及び第67条第2項の規定に基づき、奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）の学生で、他の大学院（外国の大学院を含む。以下同じ。）又は研究所等（以下「他の大学院等」という。）において研究指導を受けようとする者（以下「特別研究派遣学生」という。）及び他の大学院の学生で、本学の研究科において研究指導を受けようとする者（以下「特別研究学生」という。）の取扱いに関し必要な事項を定める。

(他の大学院等との協議)

第2条 学則第40条第1項及び第67条第1項の規定に基づく本学と他の大学院等との協議は、研究指導計画その他関連する事項について、当該研究科の教授会の審議を経て、当該研究科長が行う。ただし、外国の大学院等にあつては、やむを得ない場合に限り、当該大学院等との協議を欠くことができる。

第2章 特別研究派遣学生

(出願手続)

第3条 特別研究派遣学生として、他の大学院等において研究指導を受けようとする者は、主指導教員の許可を得て、次の各号に掲げる書類を添えて当該研究科長に願い出なければならない。

- (1) 特別研究派遣学生申請書（様式第1号）
- (2) 他の大学院等の要求する書類

(派遣の許可)

第4条 前条の願い出があつたときは、当該研究科長は、第2条の協議の結果に基づき、これを許可する。

(他の大学院等における研究指導の期間)

第5条 他の大学院等において研究指導を受ける期間は、1年以内とする。ただし、博士後期課程の学生にあつては、教育研究上有益と認められるときは、他の大学院等との協議に基づき、その期間を延長することができる。

- 2 前項の期間は、博士前期課程の学生にあつては、通算して1年を超えることができない。

(在学期間の取扱い)

第6条 特別研究派遣学生として研究指導を受けた期間は、本学での在学期間に含めるものとする。

(研究報告書等の提出)

第7条 特別研究派遣学生は、他の大学院等における研究指導が終了したときは、直ちに（外国の大

学院又は研究所等において研究指導を受けた者にあつては、帰国の日から1月以内に)、当該研究科長に研究指導報告書(様式第2号)及び当該他の大学院等の交付する研究指導の概要を記載した報告書を提出しなければならない。

(研究指導の認定)

第8条 特別研究派遣学生が、他の大学院等において受けた研究指導は、前条に規定する報告書により、当該研究科の教授会の議に基づき、本学における課程修了に必要な研究指導の一部として認定することができる。

(授業料)

第9条 特別研究派遣学生は、本学の学生としての授業料を納付するものとする。

(派遣許可の取消し)

第10条 特別研究派遣学生が次の各号のいずれかに該当する場合は、当該研究科長は、当該他の大学院等との協議に基づき、派遣の許可を取り消すことができる。

- (1) 研究指導計画の完了の見込みがないと認められるとき。
- (2) 当該他の大学院等の規則等に違反し、又はその本分に反する行為があると認められるとき。
- (3) その他派遣の趣旨に反する行為があると認められるとき。

第3章 特別研究学生

(出願手続)

第11条 本学の特別研究学生を志願する者は、他の大学院を経て、次の各号に掲げる書類を提出しなければならない。

- (1) 特別研究学生申請書(様式第3号)
- (2) 受入れ研究科の必要とする書類

(受入れの許可)

第12条 他の大学院から特別研究学生の受入れの依頼があつたときは、当該研究科長は、第2条の協議の結果に基づき、これを許可する。

(受入れの期間)

第13条 他の大学院からの研究指導を受託する期間は、1年以内とする。ただし、博士後期課程に在籍する特別研究学生にあつては、研究の状況により、当該学生の所属する他の大学院からの申請に基づき、当該研究科の教授会の議を経て、その延長を許可することができる。

2 前項の期間は、博士前期課程の学生にあつては、通算して1年を超えることはできない。

(研究指導状況報告書)

第14条 特別研究学生の研究指導を終了したときは、当該研究科長は、指導教員の報告に基づき、研究指導状況報告書(様式第4号)を交付する。

(学生証)

第15条 特別研究学生は、所定の学生証の交付を受け、常に携帯しなければならない。

(授業料等)

第16条 特別研究学生に係る検定料及び入学料は、徴収しない。

- 2 特別研究学生が、国立大学の大学院の学生であるときは、授業料を徴収しない。
- 3 特別研究学生が、公立若しくは私立の大学の大学院又は外国の大学の大学院の学生である場合は、授業料として月額29,700円を徴収する。ただし、大学間交流協定に基づき授業料を徴収しないことが定められたときは、授業料を徴収しない。
- 4 前項の授業料は、研究指導を受ける期間が6月を超える場合は、初めの6月とこれを超える期間に分けて、それぞれの期間分に係る額を当該期間の当初の月に納付するものとし、研究指導を受ける期間が6月未満であるときは、その期間分に相当する額を当該期間の当初の月に納付するものとする。
- 5 納付した授業料は、返還しない。

(受入れ許可の取消し)

第17条 特別研究学生が次の各号のいずれかに該当する場合は、当該研究科長は、当該他の大学院との協議に基づき、受入れの許可を取り消すことができる。

- (1) 研究指導計画の完了の見込みがないと認められるとき。
- (2) 本学の規則等に違反し、又はその本分に反する行為があると認められるとき。
- (3) その他受入れの趣旨に反する行為があると認められるとき。

(準用)

第18条 学則その他学生に関する規定は、特別研究学生について準用する。

第4章 雑則

(雑則)

第19条 この規程に定めるもののほか、特別研究派遣学生及び特別研究学生の取扱いについては、当該他の大学院等との協議の上、決定するものとする。

附則

(施行期日)

- 1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。
- (経過措置)
- 2 平成16年3月31日に在学する特別研究派遣学生又は特別研究学生のうち研究指導の期間の末日が平成16年4月1日以降の者については、旧奈良先端科学技術大学院大学特別研究学生交流規則は、この規程の施行後も、なおその効力を有する。

附則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

Regulations for Special Research Students Exchange Program of Nara Institute of Science and Technology

April 1, 2004

Regulations No. 25

I. General Provisions

Article 1 (Purpose)

The purpose of these Regulations is to stipulate matters relating to the treatment of students of the Nara Institute of Science and Technology (“NAIST”) who wish to receive research guidance at another graduate school or research institution, whether in Japan or abroad (“External Graduate School”) (“Special Research Students”) and students of an External Graduate School who wish to receive research guidance at any of the Graduate Schools of NAIST (“Special Visiting Research Students”) pursuant, respectively, to the provisions of Article 40-4 and Article 67-2 of the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology (2004 Regulations No. 1) (“NAIST Regulations”).

Article 2 (Consultation with External Graduate School)

The Dean of the relevant Graduate School shall be responsible for consulting with the External Graduate School involved on behalf of NAIST pursuant to the provisions of Article 40-1 and Article 67-1 of NAIST Regulations, following deliberation on the research guidance program and other related matters by the Faculty Council of the Graduate School involved. However, such consultation with an External Graduate School that is located abroad may be omitted if there is a justifiable reason.

II. Special Research Students

Article 3 (Application procedures)

A student of NAIST who wishes to receive research guidance at an External Graduate School as a Special Research Student shall make an application by submitting the following documents to the Dean of his or her Graduate School, subject to receiving permission from his or her main research instructor:

- (1) Special Research Student Application Form (Form No. 1)
- (2) Documents required by the External Graduate School

Article 4 (Permission)

Upon receiving the application stipulated in the foregoing article, the Dean of the Graduate School shall give permission to the student, following the consultation under Article 2 above.

Article 5 (Period of research guidance at External Graduate School)

1. The period during which a Special Research Student receives research guidance at an External Graduate School shall be up to one year. In the case of a student enrolled in the Doctoral Course, however, the said period may be extended, subject to consultation with the External Graduate School, if doing so is deemed to be educationally beneficial.
2. The period specified in the foregoing subsection shall not exceed one year in total in the case of a student enrolled in the Master's Course.

Article 6 (Treatment of enrollment period)

The period during which a NAIST student receives research guidance at an External Graduate School as a Special Research Student shall count toward the number of years of enrollment at NAIST.

Article 7 (Submission of research report)

A Special Research Student shall submit a research report (Form No. 2) and report issued by the External Graduate School outlining the research guidance he or she has received to the Dean of his or her Graduate School at NAIST immediately upon completion of research guidance at the External Graduate School (within one month after returning to Japan if the student has received research guidance at a foreign graduate school or research institution).

Article 8 (Acceptance of research guidance)

The Research Guidance that a Special Research Student has received at an External Graduate School may be accepted as part of research guidance necessary for completing the course at NAIST, subject to submission of the reports specified in the foregoing article and deliberation by the Faculty Council of the relevant Graduate School.

Article 9 (Tuition fee)

Special Research Students shall be required to pay tuition fees as students of NAIST.

Article 10 (Withdrawal of permission)

The Dean of the relevant Graduate School may withdraw the permission for a student to receive research guidance at an External Graduate School as a Special Research Student, following consultation with the External Graduate School involved, if:

- (1) The research guidance is unlikely to be completed;
- (2) The student has failed to comply with the regulations of the External Graduate School or acted against the interests thereof; or
- (3) The student has failed to meet the purpose of the Special Research Students Exchange Program.

III. Special Visiting Research Students

Article 11 (Application procedures)

A student of an External Graduate School who wishes to study at NAIST as a Special Visiting Research Student shall submit the following documents via the External Graduate School:

- (1) Special Visiting Research Student Application Form (Form No. 3)
- (2) Documents required by the Graduate School of NAIST to which the student is to be admitted

Article 12 (Permission of acceptance)

Upon receiving a request to accept a Special Visiting Research Student from an External Graduate School, the Dean of the Graduate School shall give permission to accept the student, following the consultation under Article 2 above.

Article 13 (Period of research guidance at NAIST)

1. The period during which NAIST provides a Special Visiting Research Student with research guidance upon request from an External Graduate School shall be up to one year. In case of a Special Visiting Research Student enrolled in the Doctoral Course, however, extension of the said period may be permitted depending on the progress of the research, subject to deliberation by the Faculty Council of the Graduate School at NAIST, if requested by the External Graduate School.
2. The period specified in the foregoing subsection shall not exceed one year in total in case of a student enrolled in the Master's Course.

Article 14 (Research guidance report)

Upon completion of research guidance to a Special Visiting Research Student, the Dean of the Graduate School shall issue a Research Guidance Report (Form No. 4) based on the report submitted by the research instructor.

Article 15 (Student ID card)

A Special Visiting Research Student shall be issued with a student ID card and carry it at all times.

Article 16 (Tuition fee)

1. A Special Visiting Research Student shall be exempted from payment of screening and admission fees.
2. A Special Visiting Research Student who is enrolled in the graduate school of a national university shall not be liable to pay tuition fee for the research guidance provided by NAIST.
3. A Special Visiting Research Student who is enrolled in the graduate school of a public, private, or foreign university shall pay tuition fees for the research guidance provided by NAIST in the monthly amount of 29,700 yen, provided, however, that this provision shall not apply if waiver of tuition fee is agreed upon under an inter-university exchange arrangement.
4. If a Special Visiting Research Student receives research guidance at NAIST for longer than six months, the student shall pay the tuition fee stipulated in the foregoing subsection in two installments, for the first six-month term and for the remaining term, in the first month of the respective terms. If a Special Visiting Research Student receives research guidance at NAIST for less than six months, the student shall pay the tuition fee for the entire period in the first month thereof.
5. Tuition fees, once paid, shall not be refunded.

Article 17 (Withdrawal of permission)

The Dean of the relevant Graduate School may withdraw the permission for a student to receive research guidance at NAIST as a Special Visiting Research Student, following consultation with the graduate school of the student, if:

- (1) The research guidance program is unlikely to be completed;
- (2) The student has failed to comply with the regulations of NAIST or acted against the interests of NAIST; or
- (3) The student has failed to meet the purpose of the Special Visiting Research Student program.

Article 18 (Application of NAIST Regulations, etc.)

NAIST Regulations and other rules governing students of NAIST shall also apply to Special Visiting Research Students.

IV. Miscellaneous Provision

Article 19 (Miscellaneous provision)

Other matters relating to the treatment of Special Research Students and Special Visiting Research Students shall be decided through consultation between NAIST and the External Graduate School involved.

Supplementary provision

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2004.

(Transitional measures)

2. In case of amendment of these Regulations for the Special Research Students Exchange Program of the Nara Institute of Science and Technology, the Regulations before the amendment shall remain applicable to the Special Research Students and Special Visiting Research Students who are enrolled in NAIST as of March 31, 2004 and whose research guidance ends on or after April 1, 2004.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2005.

奈良先端科学技術大学院大学特別聴講学生交流規程

平成16年4月1日

規程第24号

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則（平成16年学則第1号。以下「学則」という。）第38条第4項及び第66条第2項の規定に基づき、奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）の学生で、他の大学院（外国の大学院を含む。以下同じ。）において授業科目を履修しようとする者（以下「特別聴講派遣学生」という。）及び他の大学院の学生で、本学の研究科において授業科目を履修しようとする者（以下「特別聴講学生」という。）の取扱いに関し必要な事項を定める。

(他の大学院との協議)

第2条 学則第38条第1項及び第66条第1項の規定に基づく本学と他の大学院との協議は、履修できる授業科目の範囲その他関連する事項について、当該研究科の教授会の審議を経て、当該研究科長が行う。ただし、外国の大学院にあつては、やむを得ない場合に限り、当該大学院との協議を欠くことができる。

第2章 特別聴講派遣学生

(出願手続)

第3条 特別聴講派遣学生として、他の大学院の授業科目を履修しようとする者は、主指導教員の許可を得て、次の各号に掲げる書類を添えて当該研究科長に願い出なければならない。

- (1) 他の大学院における履修願（様式第1号）
- (2) 他の大学院の要求する書類

(派遣の許可)

第4条 前条の願い出があつたときは、当該研究科長は、第2条の協議の結果に基づき、これを許可する。

(他の大学院における履修期間)

第5条 特別聴講派遣学生の履修期間は、原則として1年以内とする。

(在学期間の取扱い)

第6条 特別聴講派遣学生としての履修期間は、本学での在学期間を含めるものとする。

(履修できる授業科目)

第7条 特別聴講派遣学生が他の大学院で履修できる授業科目は、原則として講義のみとし、実験、実習、演習及び研究等は含めないものとする。

2 特別聴講派遣学生が他の大学院で履修できる単位数は、10単位を超えない範囲とする。

(学業成績証明書の提出)

第8条 特別聴講派遣学生は、履修が終了したときは、直ちに（外国の大学院において授業科目を履修した特別聴講派遣学生にあつては、帰国の日から1月以内に）、当該研究科長に当該他の大学院の交付する学業成績証明書を提出しなければならない。

（単位の認定）

第9条 特別聴講派遣学生が他の大学院において修得した単位は、前条に規定する学業成績証明書により、10単位を超えない範囲で、当該研究科の教授会の議を経た上、本学において修得したものと認定する。

（授業料）

第10条 特別聴講派遣学生は、本学の学生としての授業料を納付するものとする。

（派遣許可の取消し）

第11条 特別聴講派遣学生の行為が派遣の趣旨に反すると認められる場合は、当該研究科長は、当該他の大学院との協議に基づき、派遣の許可を取り消すことができる。

第3章 特別聴講学生

（出願手続）

第12条 本学の特別聴講学生を志願する者は、他の大学院を経て、次の各号に掲げる書類を提出しなければならない。

- (1) 特別聴講学生申請書（様式第2号）
- (2) 受入れ研究科の必要とする書類

（受入れの許可）

第13条 他の大学院から特別聴講学生の受入れの依頼があつたときは、当該研究科長は、第2条の協議の結果に基づき、これを許可する。

（受入れ期間）

第14条 特別聴講学生の受入れの期間は、原則として1年以内とする。

（履修できる授業科目）

第15条 特別聴講学生が本学で履修できる授業科目は、原則として講義のみとし、実験、実習、演習及び研究等は含めないものとする。

2 特別聴講学生が本学で履修できる単位数は、10単位を超えない範囲とする。

（学業成績証明書の交付）

第16条 特別聴講学生が所定の授業科目の履修を終了したときは、当該研究科長は、学業成績証明書を交付するものとする。

（学生証）

第17条 特別聴講学生は、所定の学生証の交付を受け、常に携帯しなければならない。

（授業料等）

第18条 特別聴講学生に係る検定料及び入学料は、徴収しない。

- 2 特別聴講学生が国立大学の大学院の学生であるときは、授業料を徴収しない。
- 3 特別聴講学生が公立若しくは私立の大学の大学院又は外国の大学の大学院の学生である場合は、授業料として1単位当たり14,800円とする。ただし、大学間交流協定に基づき授業料を徴収しないことが定められたときは、授業料を徴収しない。
- 4 前項の授業料は、春学期に係る履修科目については4月に、秋学期に係る履修科目については10月に納付するものとする。
- 5 納付した授業料は、返還しない。

(受入れ許可の取消し)

第19条 特別聴講学生の行為が受入れの趣旨に反すると認められる場合は、当該研究科長は、当該他の大学院との協議に基づき、受入れの許可を取り消すことができる。

(準用)

第20条 学則その他学生に関する規定は、特別聴講学生について準用する。

第4章 雑則

(雑則)

第21条 この規程に定めるもののほか、特別聴講派遣学生及び特別聴講学生の取扱いについては、当該他の大学院との協議の上、決定するものとする。

附則

(施行期日)

- 1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 平成16年3月31日に在学する特別聴講派遣学生又は特別聴講学生のうち履修期間の末日が平成16年4月1日以降の者については、旧奈良先端科学技術大学院大学特別聴講学生交流規程は、この規程の施行後も、なおその効力を有する。

附則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

Regulations for Special Auditing Students Exchange Program of Nara Institute of Science and Technology

April 1, 2004

Regulations No. 24

I. General Provisions

Article 1 (Purpose)

The purpose of these Regulations is to stipulate matters relating to the treatment of students of the Nara Institute of Science and Technology (“NAIST”) who wish to study specific subjects for credit at another graduate school, whether in Japan or abroad (“External Graduate School”) (“Special Auditing Students”) and students of an External Graduate School who wish to study specific subjects for credit at any of the Graduate Schools of NAIST (“Special Visiting Auditing Students”) pursuant, respectively, to the provisions of Article 38-4 and Article 66-2 of the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology (2004 Regulations No. 1) (“NAIST Regulations”).

Article 2 (Consultation with External Graduate School)

The Dean of the relevant Graduate School shall be responsible for consulting with the External Graduate School involved on behalf of NAIST pursuant to the provisions of Article 38-1 and Article 66-1 of NAIST Regulations, following deliberation on the subjects to be offered under the Special Auditing Students Exchange Program and other related matters by the Faculty Council of the Graduate School involved. However, such consultation with an External Graduate School that is located abroad may be omitted if there is a justifiable reason.

II. Special Auditing Students

Article 3 (Application procedures)

A student of NAIST who wishes to study specific subjects at an External Graduate School as a Special Auditing Student shall make an application by submitting the following documents to the Dean of his or her Graduate School, subject to permission of his or her main research instructor:

- (1) Application Form for Study at External Graduate School (Form No. 1)
- (2) Documents required by the External Graduate School

Article 4 (Permission)

Upon receiving the application stipulated in the foregoing article, the Dean of the Graduate School shall give permission to the student, following the consultation under Article 2 above.

Article 5 (Period of study at External Graduate School)

In principle, the period during which Special Auditing Students may study at an External Graduate School shall be up to one year.

Article 6 (Treatment of enrollment period)

The period for Special Auditing Students to study at an External Graduate School shall count toward the number of years of enrollment at NAIST.

Article 7 (Subjects)

1. In principle, the subjects that Special Auditing Students are allowed to study at an External Graduate School shall be limited to lectures. Experiments, practical works, seminars and research shall not be offered under this Program.
2. Special Auditing Students shall earn no more than 10 credits at an External Graduate School.

Article 8 (Submission of certificate of academic record)

A Special Auditing Student shall submit a certificate of academic record issued by the External Graduate School to the Dean of his or her Graduate School at NAIST immediately upon completion of the study at the External Graduate School (within one month after returning to Japan if the student has studied at a foreign graduate school).

Article 9 (Awarding of credits)

As for credits that a Special Auditing Student has earned while studying at an External Graduate School, up to ten such credits may be treated as credits earned at NAIST, subject to submission of the certificate of academic record specified in the foregoing article and deliberation by the Faculty Council of the Graduate School involved.

Article 10 (Tuition fee)

Special Auditing Students shall be required to pay tuition fees as students of NAIST.

Article 11 (Withdrawal of permission)

The Dean of the relevant Graduate School may withdraw the permission for a student to study at an External Graduate School as a Special Auditing Student, following consultation with the External

Graduate School involved, if the student has failed to meet the purpose of the Special Auditing Students Exchange Program.

III. Special Visiting Auditing Students

Article 12 (Application procedures)

A student of an External Graduate School who wishes to study at NAIST as a Special Visiting Auditing Student shall submit the following documents via the External Graduate School:

- (1) Application Form for Study at NAIST as Special Visiting Auditing Student (Form No. 2)
- (2) Documents required by the Graduate School of NAIST to which the student is to be admitted

Article 13 (Permission of acceptance)

Upon receiving a request to accept a Special Visiting Auditing Student from an External Graduate School, the Dean of the Graduate School of NAIST shall give permission to accept the student, following the consultation under Article 2 above.

Article 14 (Period of study at NAIST)

In principle, the period during which Special Visiting Auditing Students may study at NAIST shall be up to one year.

Article 15 (Subjects)

1. In principle, the subjects that Special Visiting Auditing Students are allowed to study at NAIST shall be limited to lectures. Experiments, practical works, seminars and research shall not be offered under this Program.
2. Special Auditing Students shall earn no more than 10 credits at NAIST.

Article 16 (Issuance of a certificate of academic record)

Upon completion of study by a Special Visiting Auditing Student at NAIST, the Dean of the Graduate School involved shall issue a certificate of academic record to the student.

Article 17 (Student ID card)

A Special Visiting Auditing Student shall be issued with a student ID card and shall carry it at all times.

Article 18 (Tuition fee)

1. A Special Visiting Auditing Student shall be exempted from payment of screening and

admission fees.

2. A Special Visiting Auditing Student who is enrolled in the graduate school of a national university shall not be liable to pay tuition fees for studying at NAIST.
3. A Special Visiting Auditing Student who is enrolled in the graduate school of a public, private, or foreign university shall pay tuition fees for studying at NAIST in the amount of 14,800 yen per credit, provided, however, that this provision does not apply if a waiver of tuition fee is agreed upon under an inter-university exchange arrangement.
4. The tuition fee specified in the foregoing subsection shall be paid in April for the spring semester and in October for the autumn semester.
5. Tuition fees, once paid, shall not be refunded.

Article 19 (Withdrawal of permission)

The Dean of the relevant Graduate School may withdraw the permission for a student to study at NAIST as a Special Visiting Auditing Student, following consultation with the External Graduate School involved, if the student has failed to meet the purpose of the Special Auditing Students Exchange Program.

Article 20 (Application of NAIST Regulations, etc.)

NAIST Regulations and other rules governing students of NAIST shall also apply to Special Visiting Auditing Students.

IV. Miscellaneous Provision

Article 21 (Miscellaneous provision)

Other matters relating to the treatment of Special Auditing Students and Special Visiting Auditing Students shall be decided through consultation between NAIST and the External Graduate School involved.

Supplementary provision

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2004.

(Transitional measures)

2. In case of amendment of these Regulations for Special Auditing Students Exchange Program of the Nara Institute of Science and Technology, the Regulations before the amendment shall remain applicable to the Special Auditing Students and Special Visiting Auditing Students who are enrolled in NAIST as of March 31, 2004 and whose study at an External Graduate School or NAIST, respectively,

ends on or after April 1, 2004.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2005.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2013.

奈良先端科学技術大学院大学研究生規程

平成16年4月1日
規程第27号

(趣旨)

第1条 この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則(平成16年学則第1号。以下「学則」という。)第69条第2項に基づき、奈良先端科学技術大学院大学における研究生に関し必要な事項を定める。

(許可)

第2条 研究生として入学を志願する者があるときは、当該研究科の教授会において選考の上、学長が入学を許可する。

(入学資格)

第3条 研究生として入学できる者は、大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力を有すると当該研究科において認めた者とする。

(出願手続)

第4条 研究生として入学を志願する者は、次の各号に掲げる書類に検定料を添えて願出しなければならない。

- (1) 研究生入学願書(所定様式)
- (2) 最終出身学校の卒業証明書及び成績証明書
- (3) 写真2枚

2 会社等(官公庁を含む。以下同じ。)に在職している者にあつては、前項に規定する書類のほか、次の各号に掲げる書類を提出しなければならない。

- (1) 個人的研究のため研究生を志願する者である旨の本人の確約書
- (2) 会社等の事業目的のために派遣する者ではない旨の所属長の確約書

3 外国人にあつては、前2項に規定する書類のほか、在留カード(両面)の写しを提出しなければならない。ただし、国内に在留していない者は、入学後提出するものとする。

(入学の時期)

第5条 入学の時期は、学期の始めとする。ただし、特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(研究期間)

第6条 研究期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由により引き続き研究を願出た者については、当該研究科の教授会の議を経て研究期間を延長することができる。

(研究)

第7条 研究生は、指導教員のもとで、研究に従事するものとする。

(研究証明書の交付)

第8条 研究事項について、研究証明書を必要とするときは、これを交付する。

(授業料等)

第9条 研究生の検定料、入学料及び授業料（以下「授業料等」という。）の額は、次のとおりとする。

検定料 9,800 円

入学料 84,600 円

授業料 29,700 円（月額）

2 前項の授業料は、研究予定期間が6月を超える場合は、初めの6月とこれを超える期間に分けて、それぞれの期間分に係る額を当該期間の当初の月に納付するものとし、研究予定期間が6月未満であるときは、その期間分に係る額を当該期間の当初の月に納付するものとする。

3 納付した授業料等は返還しない。

(退学)

第10条 研究生が研究期間中に退学しようとするときは、当該研究科長に願い出て、学長の許可を受けなければならない。

(準用)

第11条 学則その他学生に関する規定は、研究生について準用する。

(雑則)

第12条 この規程に定めるもののほか、研究生に関し必要な事項は、別に定める。

附則**(施行期日)**

1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 平成16年3月31日に在学する研究生のうち研究期間の末日が平成16年4月1日以降の者については、旧奈良先端科学技術大学院大学研究生規則は、この規程の施行後も、なおその効力を有する。

附則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成26年2月1日から施行する。

Regulations for Research Students of Nara Institute of Science and Technology

April 1, 2004

Regulations No. 27

Article 1 (Purpose)

The purpose of these Regulations is to stipulate matters relating to research students of the Nara Institute of Science and Technology (“NAIST”) (“Research Students”) pursuant to the provision of Article 69-2 of the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology (2004 Regulations No. 1) (“NAIST Regulations”).

Article 2 (Admission)

Individuals who wish to study at NAIST as a Research Student may be admitted to NAIST by the President, subject to screening by the Faculty Council of the relevant Graduate School of NAIST.

Article 3 (Eligibility)

Admission to NAIST as a Research Student is granted to individuals who have graduated from university or who have been recognized by the relevant Graduate School of NAIST as having academic ability equivalent to or greater than that of a university graduate.

Article 4 (Application procedures)

1. Individuals who wish to be admitted to NAIST as a Research Student shall submit the following documents and pay the entrance examination fee:
 - (1) Application Form for Admission to NAIST as Research Student (prescribed form)
 - (2) Certificate of graduation and certificate of academic record issued by the last school attended
 - (3) Two photographs
2. If an employee of a company or governmental agency (“Company”) applies for admission to NAIST as a Research Student, the applicant shall submit the following documents in addition to the documents specified in the foregoing subsection:
 - (1) Written confirmation of the applicant that he or she is applying for admission to NAIST as a Research Student for the exclusive purpose of pursuing personal research interests
 - (2) Written confirmation of the immediate supervisor of the applicant at the Company that the applicant is to study at NAIST as a Research Student, and not for the purpose of the Company

3. If a foreign national applies for admission to NAIST as a Research Student, the applicant shall submit his or her copy of “resident card” (Both Sides) in addition to the documents specified in the foregoing subsections, provided, however, that the copy of “resident card” (Both Sides) may be submitted after admission to NAIST if he or she has not yet been granted resident status in Japan at the time of application.

Article 5 (Timing of admission)

Research Students shall be admitted to NAIST at the beginning of each semester, provided, however, that this provision does not apply if there is a justifiable reason.

Article 6 (Period of research at NAIST)

The period for which Research Students can conduct research at NAIST shall be up to one year, provided, however, that the said period may be extended subject to deliberation by the Faculty Council of the relevant Graduate School, if the Research Student applies for an extension thereof with a justifiable reason.

Article 7 (Research at NAIST)

Research Students shall engage in research at NAIST under the guidance of their research instructor.

Article 8 (Issuance of research certificate)

NAIST shall issue a research certificate concerning research matters as needed.

Article 9 (Tuition and other fees)

1. Research Students shall pay the screening, admission and tuition fees (“Tuition and Other Fees”) in the following amounts.
Screening fee: 9,800 yen
Admission fee: 84,600 yen
Tuition fee: 29,700 yen per month
2. If a Research Student conducts research at NAIST for longer than six months, the student shall pay the tuition fee stipulated in the foregoing subsection in two installments, for the first six-month term and for the remaining term, in the first month of the respective terms. If a Research Student conducts research at NAIST for less than six months, the student shall pay the tuition fee for the entire period in the first month thereof.
3. Tuition and Other Fees, once paid, shall not be refunded.

Article 10 (Withdrawal)

A Research Student who wishes to withdraw from NAIST shall ask the Dean of his or her Graduate School for withdrawal status and obtain permission from the President of NAIST.

Article 11 (Application of NAIST Regulations, etc.)

NAIST Regulations and other rules governing students of NAIST shall also apply to Research Students.

Article 12 (Miscellaneous provision)

Other matters relating to Research Students shall be provided for separately.

Supplementary provision

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2004.

(Transitional measures)

2. In case of amendment of these Regulations for Research Students of the Nara Institute of Science and Technology, the Regulations before the amendment shall remain applicable to the Research Students who are enrolled in NAIST as of March 31, 2004 and whose research at NAIST ends on or after April 1, 2004.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2005.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on February 1, 2014.

奈良先端科学技術大学院大学科目等履修生規程

平成16年4月1日

規程第26号

(趣旨)

第1条 この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則(平成16年学則第1号。以下「学則」という。)第68条第2項に基づき、奈良先端科学技術大学院大学における科目等履修生に関し必要な事項を定める。

(許可)

第2条 科目等履修生として入学を志願する者があるときは、当該研究科の教授会において選考の上、学長が入学を許可する。

(入学資格)

第3条 科目等履修生として入学できる者は、大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力を有すると当該研究科において認めた者とする。

(出願手続)

第4条 科目等履修生として入学を志願する者は、次の各号に掲げる書類に検定料を添えて願い出なければならない。

- (1) 科目等履修生入学願書(所定様式)
 - (2) 最終出身学校の卒業証明書及び成績証明書
 - (3) 写真2枚
- 2 他の大学院、外国の大学院、民間企業、研究機関等と連携し実施する教育プログラム(以下「連携教育プログラム」という。)の授業科目の履修に係る検定料について、学長が徴収しないことが適当であると認めた場合は、前項の規定にかかわらず、当該検定料を徴収しない。
- 3 外国人にあつては、第1項に規定する書類のほか、在留カード(両面)の写しを提出しなければならない。ただし、願い出の時に国内に在留していない者は、入学後に提出するものとする。

(入学の時期)

第5条 入学の時期は、学期の始めとする。

(在学期間)

第6条 在学期間は、1年以内とする。ただし、本人の願い出があつた場合は、当該研究科の教授会の議を経て1年に限り在学期間を延長することができる。

(履修科目等)

第7条 科目等履修生が履修できる授業科目は、原則として講義によって行う科目のみとする。

(単位修得証明書の交付)

第8条 履修科目について、単位修得証明書を必要とするときは、これを交付する。

(授業料等)

第9条 科目等履修生の検定料、入学料及び授業料(以下「授業料等」という。)の額は、次のとおり

とする。

検定料 9,800 円

入学料 28,200 円

授業料 14,800 円 (1 単位当たり)

- 2 入学料は、所定の期日までに納付しなければならない。
- 3 授業料は、春学期に係る履修科目については4月に、秋学期に係る履修科目については10月に納付しなければならない。
- 4 連携教育プログラムの授業科目の履修に係る入学料及び授業料について、学長が徴収しないことが適当であると認めた場合は、前2項の規定にかかわらず、当該入学料及び授業料を徴収しない。
- 5 納付した授業料等は、返還しない。

(退 学)

第10条 科目等履修生が在学期間中に退学しようとするときは、当該研究科長に願い出て、学長の許可を受けなければならない。

(準 用)

第11条 学則その他学生に関する規定は、科目等履修生について準用する。

(雑 則)

第12条 この規程に定めるもののほか、科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年1月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年2月1日から施行する。

Regulations for Non-Degree Students of Nara Institute of Science and Technology

April 1, 2004

Regulations No. 26

Article 1 (Purpose)

The purpose of these Regulations is to stipulate matters relating to non-degree students of the Nara Institute of Science and Technology (“NAIST”) (“Non-Degree Students”) pursuant to the provision of Article 68-2 of the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology (2004 Regulations No. 1) (“NAIST Regulations”).

Article 2 (Admission)

Individuals who wish to study at NAIST as a Non-Degree Student may be admitted to NAIST by the President, subject to screening by the Faculty Council of the relevant Graduate School of NAIST.

Article 3 (Eligibility)

Admission to NAIST as a Non-Degree Student is granted to individuals who have graduated from university or who have been recognized by the relevant Graduate School of NAIST as having academic ability equivalent to or greater than that of a university graduate.

Article 4 (Application procedures)

1. Individuals who wish to be admitted to NAIST as a Non-Degree Student shall submit the following documents and pay the entrance examination fee:
 - (1) Application Form for Admission to NAIST as Non-Degree Student (prescribed form)
 - (2) Certificate of graduation and certificate of academic record issued by the last school attended
 - (3) Two photographs
2. Screening fee for taking courses of the collaboration program with other universities’ graduate schools, foreign graduate schools, private corporations, and research institutes (“Collaborative Educational Program”) shall be exempted, regardless of the foregoing subsection, provided that president approves the exemption appropriate.
3. If a foreign national applies for admission to NAIST as a Non-Degree Student, the applicant shall submit his or her copy of “resident card” (Both Sides) in addition to the documents specified in the subsection 1 of this Article, provided, however, that the copy of “resident card” (Both Sides) may be

submitted after admission to NAIST if he or she has not yet been granted resident status in Japan at the time of application.

Article 5 (Timing of admission)

Non-Degree Students shall be admitted to NAIST at the beginning of each semester.

Article 6 (Period of enrollment)

The period for Non-Degree Students to study at NAIST shall be up to one year, provided, however, that the said period may be extended for up to one additional year, subject to deliberation by the Faculty Council of the relevant Graduate School, if the Non-Degree Student applies for extension thereof.

Article 7 (Subjects)

In principle, the subjects that Non-Degree Students are allowed to study at NAIST for credits shall be limited to those offered by means of lecture.

Article 8 (Issuance of certificate of credits earned)

NAIST shall issue a certificate of credits earned for the relevant subjects as needed.

Article 9 (Tuition and other fees)

1. Non-Degree Students shall pay the screening, admission and tuition fees (“Tuition and Other Fees”) in the following amounts.

Screening fee: 9,800 yen

Admission fee: 28,200 yen

Tuition fee: 14,800 yen per credit

2. Screening fee shall be paid by prescribed due date.

3. The tuition fee shall be paid in April for the spring semester and in October for the autumn semester.

4. The Admission fee and tuition fee for taking courses of Collaborative Educational Program shall be exempted, regardless of the foregoing subsection 2, provided that president approves the exemption appropriate.

5.. Tuition and Other Fees, once paid, shall not be refunded.

Article 10 (Withdrawal)

A Non-Degree Student who wishes to withdraw from NAIST shall ask the Dean of his or her Graduate

School for withdrawal and obtain the permission of the President of NAIST.

Article 11 (Application of NAIST Regulations, etc.)

NAIST Regulations and other rules governing students of NAIST shall also apply to Non-Degree Students.

Article 12 (Miscellaneous provision)

Other matters relating to Non-Degree Students shall be provided for separately.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2004.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2005.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on January 1, 2011.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on February 1, 2014.

奈良先端科学技術大学院大学学生表彰規程

平成16年12月7日
規程第89号

(趣旨)

第1条 この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則第70条の規定に基づき、奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）の学生（学生団体を含む。）の表彰に関し必要な事項を定める。

(表彰の基準)

第2条 表彰は、次の各号のいずれかに該当する者に行うことができる。

- (1) 学業において、研鑽に励み、他の学生の模範となった者
- (2) 学術研究活動において、特に優れた成果を挙げた者
- (3) 社会活動において、特に顕著な業績を挙げた者
- (4) 課外活動その他の活動において、特に顕著な業績を挙げた者
- (5) その他表彰に値する行為等があったと認められる者

2 前項に規定する者には、表彰の時点において、死亡等の者を含むものとする。

(表彰候補者の推薦)

第3条 役員又は研究科長は、前条に該当すると認められる者がある場合は、推薦書（別紙様式第1号）を、学長に提出するものとする。

(表彰者の決定)

第4条 学長は、前条の推薦に基づき、表彰者を決定する。

(表彰の方法)

第5条 学長は、前条の表彰者を決定したときは、表彰状（別紙様式第2号）を授与する。

2 学長は、前項の表彰状に添えて、記念品等を贈呈することができる。

(表彰の時期)

第6条 表彰の時期は、学位記授与式又は当該表彰の内容を勘案し、学長が決定する。

(事務)

第7条 学生の表彰に関する事務は、教育研究支援部学生課が行う。

(雑則)

第8条 この規程に定めるもののほか、学生の表彰に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成16年12月7日から施行する。

附 則

この規程は、平成18年11月15日から施行し、平成18年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成19年7月26日から施行し、平成19年4月1日から適用する。

Regulations for Student Commendation of Nara Institute of Science and Technology

December 7, 2004
Regulations No. 89

Article 1 (Purpose)

The purpose of these Regulations is to stipulate matters relating to commendation of performance worthy of public recognition that has been achieved by students (including groups of students) of the Nara Institute of Science and Technology (“NAIST”) pursuant to the provision of Article 70 of the NAIST Regulations.

Article 2 (Commendation criteria)

1. NAIST shall commend students for:

- (1) Hard work in academic studies that sets a good example for other students;
- (2) Remarkable performance achieved in academic and research activities;
- (3) Remarkable performance achieved in social activities;
- (4) Remarkable performance achieved in extracurricular and other activities; or
- (5) Other conduct judged to be worthy of public recognition.

2. Students to be commended pursuant to the foregoing subsection shall include those who are dead at the time of commendation.

Article 3 (Nomination)

Administrative staff or the Dean of the relevant Graduate School shall submit a letter of nomination (Form No. 1 attached hereto) to the President to recommend a student who is deemed to meet any of the commendation criteria specified in the foregoing subsection for commendation.

Article 4 (Decision on commendation of student)

The President shall decide whether to commend the student based on the nomination specified in the foregoing article.

Article 5 (Commendation)

1. The President shall award a certificate of commendation (Form No. 2 attached hereto) to the student whom it was decided should be commended pursuant to the provision of the foregoing article.
2. The President may present a commemorative gift to the student in addition to the certificate of commendation specified in the foregoing subsection.

Article 6 (Timing of commendation)

The President shall determine the timing of commendation, in consideration of the timing of the degree conferring ceremony or the nature of the commendation.

Article 7 (Clerical work)

The Student Affairs Division of the Education and Research Support Department shall be responsible for handling clerical work necessary for student commendations.

Article 8 (Miscellaneous provision)

Other matters relating to student commendations shall be provided for separately.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on December 7, 2004.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on November 15, 2006 and be retrospectively applied from April 1, 2006.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on July 26, 2007 and be retrospectively applied from April 1, 2007.

奈良先端科学技術大学院大学優秀学生奨学制度規程

平成22年9月21日
規程第4号

(目的)

第1条 この規程は、奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）の学生のうち、特に優秀な学生を奨励・支援することにより、優れた人材の養成に資することを目的とする奨学制度に関し、必要な事項を定める。

(名称)

第2条 奨学制度の名称は、奈良先端科学技術大学院大学優秀学生奨学制度とする。

(奨学対象者)

第3条 奨学制度の対象者（以下「奨学対象者」という。）は、奨学対象者を決定する年度（以下「当該年度」という。）に本学の博士後期課程1年次に在籍する学生で、学業成績が特に優秀であり、かつ、人物が優れた者とする。ただし、国費外国人留学生及び奈良先端科学技術大学院大学留学生特別支援制度に採用された者を除くものとする。

(奨学対象枠)

第4条 奨学制度の対象枠は、毎年度15名以内とする。

(奨学の方法)

第5条 奨学支援の方法は、当該年度の授業料の全額免除の方法とする。

(奨学対象者の決定時期)

第6条 奨学対象者を決定する時期は、4月とする。

(奨学対象候補者推薦枠の通知)

第7条 学長は、研究科ごとに奨学対象者の候補者（以下「奨学対象候補者」という。）の推薦枠を決定し、あらかじめ、研究科長に通知する。

(奨学対象候補者の決定)

第8条 研究科長は、奨学対象候補者を選考するための基準（以下「選考基準」という。）を定め、推薦枠とともに学内に公表し、奨学対象候補者を公募する。

2 研究科長は、前項の選考基準に基づき、応募者のうちから奨学対象候補者を決定し、選考基準と推薦順位を添えて、学長に推薦する。

(奨学対象者の選考)

第9条 学長は、研究科長の推薦に基づき奨学対象者の選考を行うため、奈良先端科学技術大学院大学優秀学生選考委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 学長が指名する理事
- (3) 学長が指名する副学長
- (4) 各研究科長

3 委員会に委員長を置き、学長をもって充てる。

4 委員長は、委員会を主宰する。

5 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する委員が委員長の職務を代行する。

6 委員長が必要と認めるときは、第2項に規定する委員以外を出席させることができる。

(奨学対象者の決定)

第10条 学長は、委員会の選考に基づき、奨学対象者を決定する。

2 学長は、各研究科長に選考結果を通知するとともに、学内に選考結果を公表する。

(表彰及び報告会)

第11条 学長は、奨学対象者を表彰し、奨学対象者による報告会を開催する。

(事務)

第12条 奨学制度に関する事務は、教育研究支援部学生課が行う。

(雑則)

第13条 この規程に定めるもののほか、奨学制度に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、平成22年10月1日から施行する。

(経過措置)

2 平成22年度に限り、奨学支援の方法は、第5条の規定に関わらず、当該年度の授業料の半額免除の方法とし、奨学対象者を決定する時期は、第6条の規定に関わらず、10月とする。

Regulations for NAIST Excellent Student Scholarship Program

September 21, 2010

Regulations No. 4

Article 1 (Objective)

These regulations provide for necessary matters regarding the scholarship program that is intended to help develop excellent human resources by giving incentives to and supporting excellent students of Nara Institute of Science and Technology (hereinafter referred to as “NAIST”).

Article 2 (Name)

The name of the scholarship program shall be the NAIST Excellent Student Scholarship Program.

Article 3 (Qualified students)

Students qualified to receive scholarships under the scholarship program (hereinafter referred to as “qualified students”) shall be students who are enrolled in the first year of a doctoral course at NAIST in an academic year in which qualified students are selected (hereinafter referred to as “the academic year”) and whose academic performance is outstanding and whose character is excellent, excluding foreign students financed by the Japanese government and those selected for the NAIST International Scholar Program.

Article 4 (Maximum number of qualified students)

The maximum number of qualified students shall be 15 in each academic year.

Article 5 (Method of scholarship support)

The scholarship support shall be provided in the form of exemption from payment of all tuition fees for the academic year.

Article 6 (Timing of selecting qualified students)

Qualified students shall be selected in April.

Article 7 (Notification of the number of scholarship candidates subject to recommendation)

The President shall set the number of candidates for qualified students (hereinafter referred to as “scholarship candidates”) subject to recommendation for each graduate school and notify the deans in advance.

Article 8 (Selection of scholarship candidates)

1. The deans shall set the criteria for screening scholarship candidates (hereinafter referred to as “the screening criteria”), announce on campus the screening criteria together with the number of candidates for qualified students, and solicit applications for scholarship candidates.
2. The deans shall select scholarship candidates from among the applicants based on the screening criteria set forth in the preceding paragraph, and recommend the scholarship candidates to the President, also providing the screening criteria and the order of recommendation.

Article 9 (Screening of qualified students)

1. The President shall set up a NAIST Excellent Student Screening Committee (hereinafter referred to as “the Committee”) to screen qualified students based on the deans’ recommendations.
2. The Committee shall consist of the following members:
 - (1) President
 - (2) Executive Director appointed by the President
 - (3) Vice President appointed by the President
 - (4) Deans
3. The Committee shall have a chairperson, who shall be the President.
4. The chairperson shall preside over the meetings of the Committee.
5. If the chairperson becomes unable to serve, a Committee member appointed by the chairperson in advance shall perform the duties of the chairperson.
6. If the chairperson finds it to be necessary, individuals other than Committee members set forth in Paragraph 2 shall be allowed to attend the Committee meetings.

Article 10 (Selection of qualified students)

1. The President shall select qualified students based on screening by the Committee.
2. The President shall notify the deans of the screening results, and announce the screening results on campus.

Article 11 (Commendation and presentation session)

The President shall commend qualified students, and shall host a presentation session by the qualified students.

Article 12 (Clerical work)

Clerical work regarding the scholarship program shall be undertaken by the Student Affairs Division of the Academic Affairs Department.

Article 13 (Miscellaneous provisions)

In addition to the matters provided for in these regulations, necessary matters concerning the scholarship program shall be provided for separately.

Supplementary provisions

1 (Effective date)

These regulations shall come into effect on October 1, 2010.

2 (Transitional measures)

For academic year 2010 alone, the scholarship support shall be provided in the form of exemption from payment of half the tuition fees for the academic year regardless of the provisions of Article 5, and qualified students shall be selected in October regardless of the provisions of Article 6.

奈良先端科学技術大学院大学 学歌

作曲：古川 聖

若々しく ♩ = 116



かす がやま ずい うんなびき あけ ぼののそら のはるけさ
 とみ おがわ たゆ ることなく せせ らぎのひか りはながる
 いこ まやま ゆう こえみれば なに わづにつ ど うももふね



ちの もりの さい せんたんへ どく そうのせいふう を おくめ
 さか りゆく みら いのそらへ えい えんのしんり を おしめ
 じょう ほうは こ にあ つ まり せん たんのえ い ち を つ な



る な ら せ んたん か が く ぎ じゅつ だいが く いん た か き り そ
 す な ら せ んたん か が く ぎ じゅつ だいが く いん か が や く ち
 ぐ な ら せ んたん か が く ぎ じゅつ だいが く いん あ ら た な じ



一(う)の きざ は し の ぼ る
 せいの きざ は し の ぼ る
 だいの きざ は し の ぼ る

奈良先端科学技術大学院大学学歌

- 一、春日山 瑞雲なびき
 あけぼのの 空の遙けさ
 知の森の 最先端へ
 独創の 清風を送る
 奈良先端科学技術大学院
 高き理想の階のぼる
- 二、富雄川 絶ゆることなく
 せせらぎの 光は流る
 盛りゆく 未来の蒼天へ
 永遠の 真理を示す
 奈良先端科学技術大学院
 輝く知性の階のぼる
- 三、生駒山 夕越え見れば
 難波津に 集う百船
 情報は 平城に集まり
 先端の 叡知を繋ぐ
 奈良先端科学技術大学院
 新たな時代の階のぼる

原作：岡部 剛機

